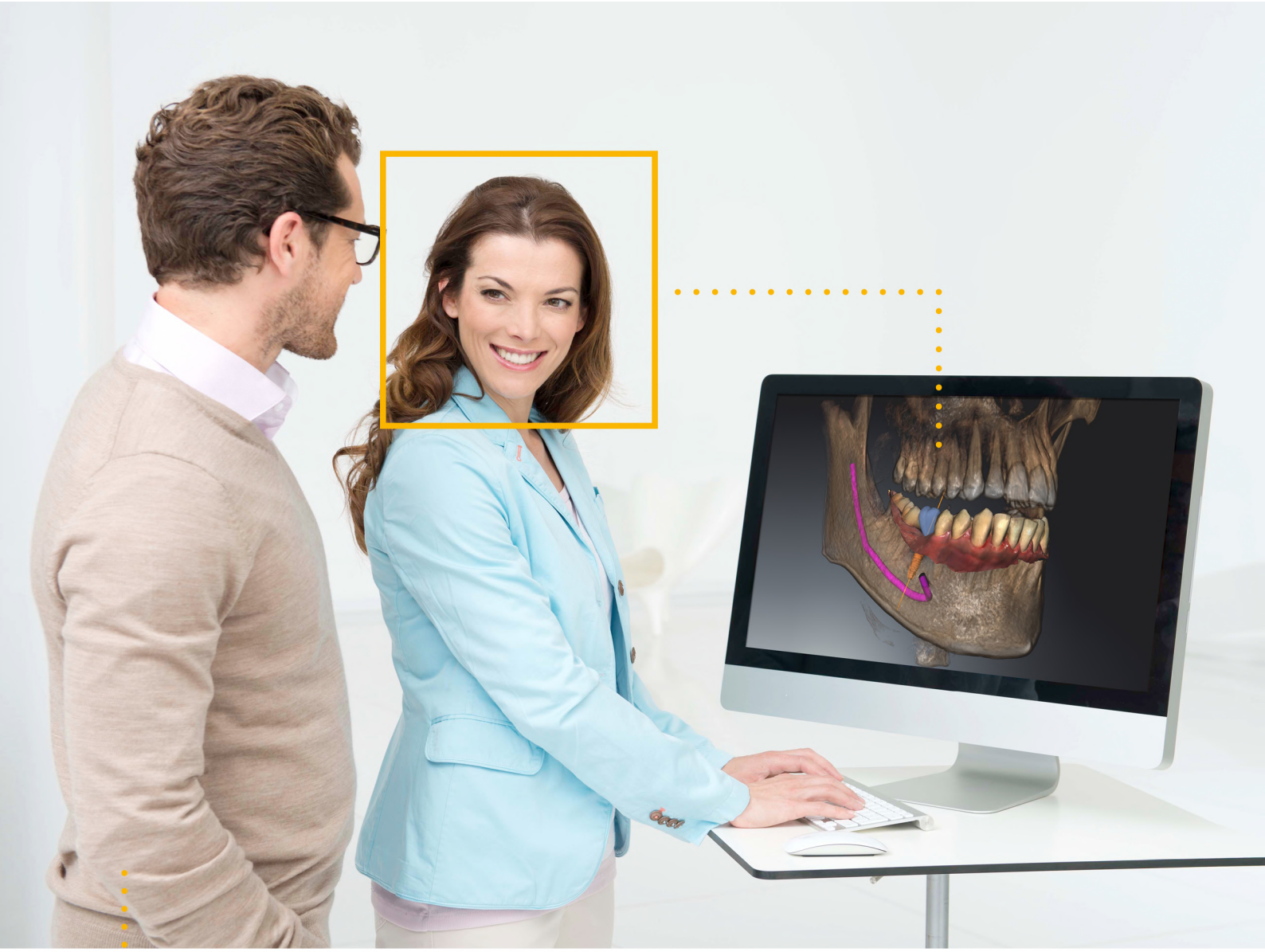
SICATIMPLANT



SICAT IMPLANT バージョン 2.0.20

取扱説明書 | 日本語

取扱説明書の構成

この文書にはSICAT Implantについて二種類の取扱説明書が含まれています。

- SICAT Implantスタンドアロン
- SICAT ImplantをSIDEXIS 4モジュールとして

それぞれの取扱説明書には特定の種類用の情報が全て含まれています。例えば、SICAT ImplantをSIDEXIS 4モジュールとしてのみ使用している場合は取扱説明書の該当部分のみ読む必要があります。SIDEXIS 4 は、Dentsply Sironaのイメージングソフトウェアです。

例外はマークの説明と最終ページのメーカーおよびサポートへの連絡先と取扱説明書の項目番号のみです。全文書の最後でこれらの情報を一覧することができます。

SICATIMPLANT

SICAT IMPLANT バージョン 2.0.20

取扱説明書 | 日本語 | Standalone

目次 - Standalone

1 目的と効能 10

2 臨床上の有益性 11

3 システム要件 12

4 安全に関する情報 15

4.1 危険レベルの定義 16

4.2 オペレーターの資格 17

5 使用するアイコンおよび強調 18

6 取扱説明書の概要 19

7 SICAT Suiteの概要 20

8 SICAT Suiteのインストール 22

9 SICAT Implantデータベースのインストール 28

10 OSアップデートの確認手順を実行する 30

11 SICAT Suiteの更新、修復 34

12 SICAT Implantデータベースの更新、修復 35

13 このバージョンでの特徴 37

14 次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します 40

15 SICAT Implantの標準ワークフロー 43

16 SICAT Suite をスタートする 47

17 SICAT Suiteのユーザーインターフェース 48

17.1 「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 50

18 SICATのアプリケーションを相互に切り替える 52

19 取扱説明書を開く 53

20 ライセンス 54

20.1 「ライセンス」のウィンドウを開く 58

20.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする 59

20.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする 61

20.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する 63

20.5 ネットワークライセンスを有効にする 65

21 患者ファイリング 67

21.1 「患者ファイリング」ウインドウを開く 70

21.2 患者ファイリングを追加する ... 71
21.3 別の患者ファイリングをアクティブにする ... 73
21.4 患者ファイリングを除去する ... 75

22 データインポート ... 76
22.1 対応しているDICOMフォーマット ... 79
22.2 インポートするデータを選択する ... 80
22.3 インポートオプションの選択 ... 82
22.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成 ... 83
22.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる ... 84

23 患者ファイル ... 87
23.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く ... 88
23.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え ... 89
23.3 患者ファイルをアクティブにする ... 91
23.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業 ... 92
23.5 患者ファイルの特性を変更する ... 94
23.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く ... 95
23.7 SICAT SuiteでのSICAT Implant検討 ... 97
23.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する ... 100
23.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 ... 101
23.10患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 ... 103

24 SICAT Implantのユーザーインターフェース ... 105
24.1 ワークフローのツールバー ... 107
24.2 オブジェクトバー ... 110
24.3 計画の切替えと管理 ... 112
24.4 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 ... 113
24.5 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 ... 115
24.6 SICAT Implantオブジェクト ... 117

25 ワークスペース ... 119
25.1 パノラマワークスペースの概要 ... 120
25.2 インプラントアライン済みワークスペースの概要 ... 122
25.3 MPR/放射性ワークスペースの概要 ... 123
25.4 ワークスペースを切り替える ... 124
25.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット ... 125
25.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する ... 126

26 ビュー ... 127
26.1 ビューの調整 ... 128

26.2 アクティブなビューの切り替え 130
26.3 ビューの最大化および復元 131
26.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット 132
26.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動 134
26.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール 135
26.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 136
26.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 137
26.9 ビューの傾斜 139
26.10ビューの回転 140
26.11ビューをアクティブなインプラントの回りに回す 141
26.12光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする 143
26.13ビューをリセットする 144
26.14画像のスクリーンショットを作成する 145

27 3Dビューの調整 146
27.1 3Dビューの目線を変更する 147
27.2 3Dビューの表示タイプを切り替える 149
27.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する 150
27.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え 152
27.5 クリッピング領域の固定 154
27.6 ボリュームの自動回転 155

28 計画の管理 156
28.1 計画を開く 158
28.2 計画のブロック/ブロック解除 159
28.3 計画名の変更 160
28.4 計画説明の追加と変更 161
28.5 新規計画の作成 162
28.6 計画の複製 163
28.7 計画の削除 164
28.8 計画のエクスポート 165
28.9 計画のインポート 168

29 グレースケール値 169
29.1 グレースケール値を調整する 171

30 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する 173
30.1 ボリュームの配置を調整する 175
30.2 パノラマ エリアを調整する 180

31 距離/角度測定 ... 184
31.1 距離測定を追加する ... 185
31.2 角度測定を追加する ... 186
31.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する ... 188
32 光学印象 ... 190
32.1 光学印象をインポートする ... 192
32.1.1 Hubから光学印象をダウンロードする ... 193
32.1.2 ファイルから光学印象をインポートする ... 197
32.1.3 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する ... 200
32.2 光学印象の記録と確認 ... 202
33 下顎神経のマーキングと調整 ... 206
33.1 下顎神経のマーキング ... 207
33.2 神経点の移動、追加、削除 ... 209
33.3 神経直径の変更 ... 210
34 インプラントの計画 ... 211
34.1 インプラントの追加 ... 213
34.2 インプラントの移動とアライン ... 217
34.3 インプラントを軸の回りに回転する ... 219
34.4 インプラント寸法とインプラントモデルの変更 ... 220
34.5 インプラント固有のアライン ... 222
34.6 名称（歯の位置）の変更 ... 223
34.7 安全範囲の非表示/表示 ... 224
34.8 孔の非表示/表示 ... 225
34.9 距離警告 ... 226
35 アバットメントの計画 ... 227
35.1 アバットメントの追加 ... 228
35.2 アバットメントをインプラント軸の周りに回す ... 230
35.3 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更 ... 231
35.4 アバットメントの非表示/表示 ... 233
36 スリーブの計画 ... 234
36.1 スリーブの追加 ... 235
36.2 ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 ... 238
36.3 スリーブモデルの変更 ... 240
36.4 スリーブ位置の変更 ... 241
36.5 スリーブの非表示/表示 ... 243

37 注文プロセス ... 244
37.1 SICATドリルテンプレートをカートに入れる ... 245
37.2 カートを開く ... 248
37.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する ... 249
37.4 インターネット接続を使用した注文の終了 ... 250
37.5 SICATポータルでの注文手順 ... 251
37.6 SICAT WebConnector ... 252
37.7 インターネット接続を使用しない注文の終了 ... 254
38 CEREC Guide用にエクスポート ... 258
38.1 CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする ... 259
38.2 CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする ... 262
39 計画レポートの作成 ... 264
40 データエクスポート ... 269
40.1 「データの転送」ウィンドウを開く ... 270
40.2 データのエクスポート ... 271
41 設定 ... 273
41.1 一般設定の使用 ... 274
41.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション ... 276
41.3 歯科医院情報の使用 ... 278
41.4 Hubの使用を有効または無効にする ... 279
41.5 可視化設定の変更 ... 281
41.6 SICAT Implant設定の変更 ... 283
41.6.1 優先インプラントシリーズの指定 ... 284
41.6.2 安全範囲の設定 ... 286
41.6.3 孔の設定 ... 287
42 サポート ... 289
42.1 サポート態勢のページを開く ... 290
42.2 連絡先情報およびサポートツール ... 291
42.3 インフォメーション ... 293

43 データを書き込み禁止で開く 294
44 SICAT Implantを終了する 296
45 SICAT Suiteを閉じる 297
46 ショートカットキー 298
47 SICAT Implantデータベースのアンインストール 299
48 SICAT Suiteのアンインストール 300
49 安全に関する注意事項 303
50 精度 311
用語集 312
索引 314

1 目的と効能

SICAT Implant は、顎顔面領域の画像情報を可視化するためのソフトウェアです。画像データは医療用スキャナ(CT/DVTスキャナなど)で取得します。SICAT Implantは、歯科インプラントの計画と口腔外科手術の計画において、資格のある歯科医を支援するための計画およびシミュレーション用ソフトウェアです。インプラントデザインはSICAT Implantからエクスポートし、CAD(Computer-Aided Design)およびラピッドプロトタイピングシステムへの入力情報として使用されます。

禁忌事項

禁忌はありません。

しかし、SICATインプラントは、複数の異なる医薬製品を必要とする、一貫した完全な治療に使用されます。 この製品では、メーカーの説明書に記載されている禁忌に注意する必要があります。

患者対象グループ

このタイプの患者には、除外基準はありません。

しかし、SICATインプラントは、複数の異なる医薬製品を必要とする、一貫した完全な治療に使用されます。 この製品では、患者のタイプを含めて、メーカーの説明書に記載されている禁忌に注意する必要があります。

対象ユーザー

意図されてるユーザーは、歯科医などの、歯科治療に携わる資格を持った方です。

2 臨床上の有益性

SICATインプラントがその目的通りに使用された場合、患者に次のような治療を提供できます:

- 3Dレントゲン画像を基に計画され、そのため2D画像を基に計画された治療と同等か、それ以上に正確です。
- ドリルの型板などを使用して行う、方向が定められた手術との組み合わせにより、フリーハンドで行われた治療と同等か、それ以上に正確で、さらにフリーハンドの治療に比べて術後の痛みや腫れが少なくなる可能性があります。

3 システム要件

⚠ 注意	**お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。** ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサー	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64 ビット版)、 更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8.1（64ビット版、デスクトップ） Windows 10（64ビット版、デスクトップ） これらのオペレーティングシステムは、マイクロソフト社がサポートを継続する期間内でサポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SIDEXIS 4	バージョン4.3.1以降(SiPlanAPI V5)
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降

＊SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限ります。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくとると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーションをご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.6.2
- CodeMeterライセンス管理ソフト7.10a
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152～65534

SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 244 - Standalone]*を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- *危険レベルの定義 [▶ページ 16 - Standalone]*
- *オペレーターの資格 [▶ページ 17 - Standalone]*
- *安全に関する注意事項 [▶ページ 303 - Standalone]*

本製品を使用したために重篤事象（重症など）が発生した場合はメーカーおよび管轄当局に届け出てください。

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。

⚠ 注意	**この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。**

注記	**重要であるが、安全に関連していると見なされない情報を示しています。**

4.2 オペレーターの資格

⚠ **注意**

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

ℹ	この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

   ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

3. **オプションまたは条件付きステップ：**オプションまたは条件付きステップでは、ステップの目標または条件の前にコロンが付きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

6 取扱説明書の概要

SICAT Implant は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 22 - Standalone]*を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- スタンドアロン版
- SIDEXIS 4のモジュールを追加

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのアンインストール [▶ページ 300 - Standalone]*を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant - SICAT Implantの用途については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール

⚠ 注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠ 注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠ 注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe**ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報は*システム要件 [▶ ページ 12 - Standalone]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteはSICATのホームページからダウンロードできます。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

   ▶ **オートスタート**のウィンドウが開きます。

2. SICAT Suiteをダウンロード版として購入した場合は、SICATのホームページからISOファイルをダウンロードして、インストールに使用してください。

3. **オートスタート**のウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exeを実行する**のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

   ▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、**はじめに**のウィンドウが開きます。

4. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**のウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

▶ **使用許諾契約書**のウィンドウが開きます。

5. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。**のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ**をクリックします。

▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

7. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

   ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをどこにインストールしますか？**のボックス内に貼り付けます。

8. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

9. **インストールする**のボタンをクリックします。

▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。

▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。

▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

10. **終了する**のボタンをクリックします。
    - ▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。
    - ▶ SICAT Implantデータベース・インストールプログラムが自動的に起動します。これに関するその他の情報は*SICAT Implantデータベースのインストール [▶ページ 28 - Standalone]*を参照してください。

> 後ほど手動でSICAT Implantデータベースのインストールを開始するには、SICAT Implantインストールメディアのファイル**SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動し、その際にファイル名にはSICAT Implantデータベースのバージョンが含まれます。

9 SICAT IMPLANTデータベースのインストール

⚠ 注意	**SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。** 1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。 2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意	**承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。** SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

SICAT ImplantデータベースのインストールはSICAT Suiteのインストールに引き続き自動的に起動します。または、インストールを後に手動で起動することができます。

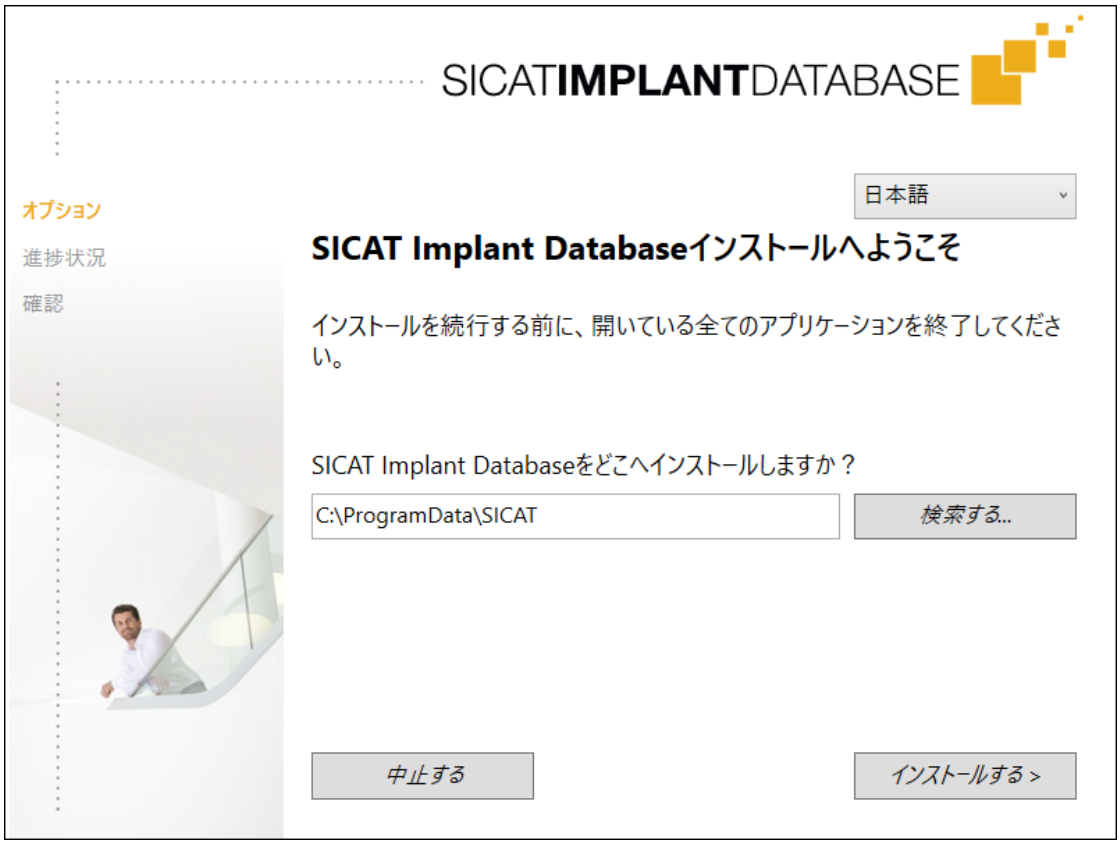
☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースはインストールされていません。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. SICAT Implantデータベースのインストールプログラムがすでに起動していない場合、SICAT Suiteのインストールメディアかダウンロードバージョンの ISOファイルからファイル名にSICAT Implantデータベースのバージョンを含むファイル**SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動してください。

▶ SICAT Implantデータベースのインストールプログラムが起動します。



2. ウィンドウ右上にある**オプション**でSICAT Implantデータベースのインストールプログラムの希望する言語を選択します。

3. インストール先ディレクトリは**検索する**ボタンをクリックして変更することができます。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

4. ご希望のフォルダが見つかったら、OKをクリックします。

5. **インストールする**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースがインストールされます。

   ▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

6. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースのインストールプログラムが終了します。

10 OSアップデートの確認手順を実行する

⚠ **注意**

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Implantが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Implantの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

準備

1. **Windows**ボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによって、SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンでスタートします。
2. 誰も意図せぬ変更をしていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除します。
3. ファイル「SICATSuite_ReferenceDataset_2.0.zip」から基準データセットをインポートします。SICAT Suiteのインストールメディア状にデータセットがあります。
4. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Implantで開きます。

設定

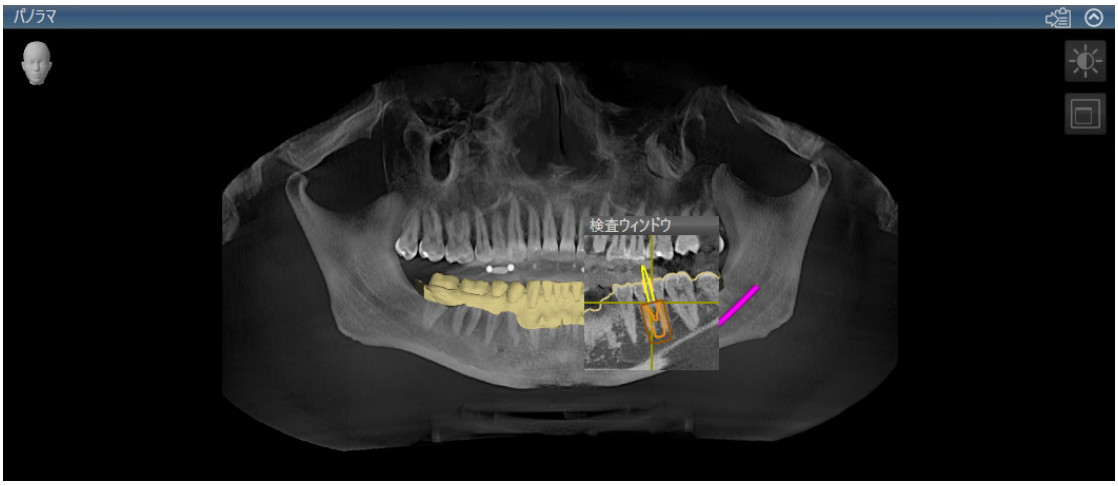
1. FDI歯型図が有効であることを確認してください。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 274 - Standalone]*を参照してください。
2. 見ている方向の「PR」がアクティブであることを確認してください。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 281 - Standalone]*を参照してください。

3. インプラント周囲の安全範囲が次の指示通りに設定されていることを確認してください。これに関する情報は*安全範囲の設定 [▶ページ 286 - Standalone]*を参照してください。
   - 横方向の最小距離：1.5 mm
   - 先端からの最小距離：2.0 mm
4. インプラントのパイロットボアチャンネルが下記の指定の通り設定されていることを確認してください。これに関する情報は*孔の設定 [▶ページ 287 - Standalone]*を参照してください。
   - パイロットドリル孔の孔径：2.0 mm
   - 長さ：15.0 mm
5. クロスヘアとフレームが表示されていることを確認してください。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 136 - Standalone]*を参照してください。

パノラマワークスペース

1. ワークスペース**パノラマ**へ切り替えてください。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報は*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 125 - Standalone]*を参照してください。
3. 表示をリセットしてください。これに関する情報は*ビューをリセットする [▶ページ 144 - Standalone]*を参照してください。
4. **パノラマ** ビューで、**検査ウィンドウを標準サイズで表示**の表示モードに設定されていることを確認します。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 137 - Standalone]*を参照してください。
5. **パノラマ**ビューで**輝度**値と**コントラスト**値がそれぞれ基準値50%に一致していることを確認してください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*を参照してください。
6. **オブジェクトブラウザ**でグループ**インプラント**を開きます。
7. **オブジェクトブラウザ**で対応するエントリーをダブルクリックしてインプラント36にフォーカスします。

8. 以下のスクリーンショットで**パノラマ**ビューを比較してください。



ワークスペース インプラントアライン済

1. ワークスペース**アライメント済みインプラント**へ切り替えてください。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

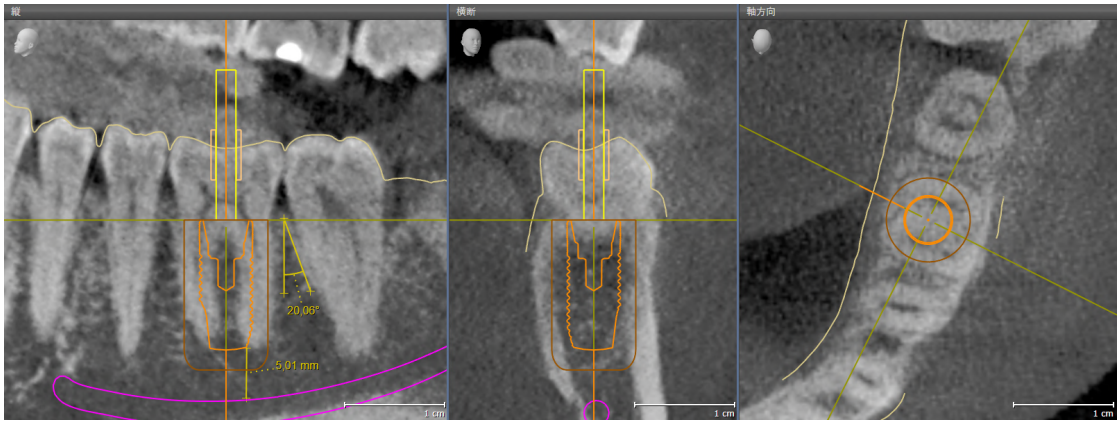
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報は*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 125 - Standalone]*を参照してください。

3. 表示をリセットしてください。これに関する情報は*ビューをリセットする [▶ページ 144 - Standalone]*を参照してください。

4. **縦**と**横断**さらに**軸方向**のビューで**輝度**値と**コントラスト**値がそれぞれ基準値50%に一致していることを確認してください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*を参照してください。

5. **オブジェクトブラウザ**でまたはビュー上でインプラントをクリックしてインプラント 36を有効にします。

6. 以下のスクリーンショットで**縦**、**横断**、**軸方向**ビューを比較してください。特に長さ測定値、角度測定値、画像データを基準とした以下のオブジェクトの姿勢を確認してください。距離測定、角度測定、光学印象、下顎神経、インプラント、安全領域、パイロットドリル孔、スリーブ



11 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

⚠ 注意	**不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。** ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

ℹ	SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両者で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 22 - Standalone]*を参照してください。

12 SICAT IMPLANTデータベースの更新、修復

SICAT IMPLANTデータベースの更新

⚠ 注意	**承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。** SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースの前バージョンはすでにインストールされています。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. SICAT Implant V2.0以降用の最新バージョンSICAT Implantデータベースをwww.sicat.comからダウンロードします。SICAT Implantデータベースは**サービス** > **ダウンロード**の下のメニューにあります。

2. ダウンロードしたファイル**SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動します。ここで、ファイ名にSICAT Implantデータベースバージョン番号が含まれています。

   ▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

3. **更新する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースが更新されます。

   ▶ 更新が完了すると、**確認**ウィンドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ **確認**ウイドウが閉じます。

SICAT IMPLANTデータベースの修復

☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースはすでにインストールされています。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。

   ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Implantデータベース**項目をクリックします。

3. **修理する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースインストールプログラムが起動します。

4. **修理する**のボタンをクリックします。

   ▶ 修復が完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

5. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ **確認**ウイドウが閉じます。

13 このバージョンでの特徴

SICAT Implantを単独で使用するか、他のソフトウェアと併用するかに応じて、特定のエリアに違いがあります。

患者データ、立体画像のデータ

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンには、ボリュームデータおよび患者の固有の中央管理が含まれます。SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンの患者ファイルのコンセプトは、標準的な患者ファイルに例えることができます。

- 患者ファイルは、書類整理庫に例えることのできる患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイルをアクティブにすることは、患者ファイルを書類保管庫から取り出してテーブルに置くことに例えることができます。
- 患者ファイルからの患者データをSICATアプリケーションで開くことは、患者ファイルから書類を取り出すことに例えることができます。
- 3D X線撮影画像を患者ファイルに追加することは、標準的な患者ファイルの2D X線撮影画像を追加することに例えることができます。
- 3D X線撮影画像は、複数のプロジェクトの基礎となり得ます。プロジェクトは患者ファイルの一部でもあります。
- 付属のプロジェクトを含む3D X線撮影画像はスタディと呼ばれます。

患者ファイルフォルダーの管理に関する内容は、*患者ファイリング [▶ページ 67 - Standalone]*の節をご覧ください。患者ファイルの管理に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

設定

スタンドアロン版では、SICAT Suite自体が設定内容のすべてを管理します。これに関する情報は*設定 [▶ページ 273 - Standalone]*を参照してください。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

スタディで、書込権限のあるものとないものを開く

SICAT Implantのスタディに対して変更を行い、その変更内容を保存するときは、以下の各条件を満たしておいてください。

- SICAT Implantのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。
- 患者ファイリングを開いておくこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、 SICAT Implantのスタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。SICAT Implantビューアライセンスをアクティベーション済みの場合、3DX線撮影画像とSICAT Implantのスタディを表示することができます。

以下の表には、SICATアプリケーションライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	アプリケーションでフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いてある	アプリケーションでビューアライセンスのアクティベーションが完了しているが、患者ファイルフォルダーが開いていない	アプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了で、患者ファイルフォルダーも開いていない
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
SICAT Implant-設定	有	有	無
データエクスポート	有	無	無
患者ファイリングの管理	有	無	無
患者ファイルの管理	有	無	無
データインポート	有	無	無
ヘルプ	有	有	有

以下の表には、SICAT Implantについてライセンスのアクティベーションを完了し、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	SICAT IMPLANT-フルバージョンライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いてある	SICAT IMPLANT-ビューアライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いてある	SICAT IMPLANTアプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了であるが、患者ファイルフォルダーが開いてある
SICAT Implantのスタディに変更を加える	有	無	無
データをビューアモードで開く	無	有	無

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Implantのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

スタンドアロンバージョンでは、ライセンスステータスは **SICAT Suiteホーム**ウインドウで使用できる機能にも影響します。これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 50 - Standalone]*を参照してください。

詳細は*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 294 - Standalone]*を参照してください。

14 次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します

SICAT Implantは以下のドリルテンプレートに対応します。

ドリルテンプレート	説明	詳細
SICAT **CLASSIC**ガイド	患者が3D X線撮影画像の際身につけるレントゲンテンプレートに基づくドリルテンプレート。レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https://www.sicat.com/ (「インプラントロジー ドリルテンプレート」メニュー項目)
SICAT **OPTI**ガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT **OPTI**ガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルを基に作成する光学印象に基づくドリルテンプレート。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT **DIGITAL**ガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	
SICAT **DIGITAL**ガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルから作成する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	

ドリルテンプレート	説明	詳細
CEREC ガイド 2と CEREC ガイド 3	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。クリニックでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

SICAT Implantは以下のスリーブシステムの計画に対応しています。

スリーブシステム	説明	詳細
異なるメーカーの一貫ガイド付き外科システム	初期ドリルからインプラント挿入まで一貫ガイド付きの手術が可能になります。	SICAT Implantでは各マスタースリーブが各インプラントメーカーの規定に従ってのみ（「メーカー処置要綱に従う」）計画可能なようになっています。このことは各インプラントスリーブの組み合わせについて対応するインプラントとの互換性及び可能な離間スリーブ位置に該当します。 SICATドリルテンプレートが当面対応している一貫ガイド外科 システム: https://www.sicat.com/ （「ダウンロード - インプラントロジー」メニュー項目） CERECガイドが当面対応している一貫ガイド外科システム: https://www.dentsplysirona.com （「CERECインプラントロジー」メニュー項目） メーカーの特定一貫ガイド外科システムについての詳細: メーカーのウェブサイト

スリーブシステム	説明	詳細
SICATスリーブインスリーブ	外径 5 mm、内径3.5 mmの外部スリーブ及び、1.6 mm～2.9 mmの異なる内径を持つ内部スリーブから選択して組み合わせて構成するスリーブシステム。パイロットボア及び少なくとも1つの拡張ボアを顎に通して開けることができます。	外部スリーブにはそれぞれ1つの内部スリーブを嵌めることができます。外部スリーブはどの所望の高さにも計画できます。ご注文の際は1つまたは2つの内部スリーブを選択することができます。
SICATパイロットスリーブ	SICATパイロットスリーブは外径が3 mm、1.1 mm～2.3 mmの異なる内径があります。パイロットボアを顎に通して開けることができます。	SICATパイロットスリーブはどんな所望の高さにも計画できます。
CERECガイドドリルキー	対応するCERECガイドドリルキーにホルダーの高さ1 mmを差し引いて一致する計画に合う異なる直径の仮想スリーブ3つで構成するスリーブシステムCERECガイドドリルキーでパイロットボア及び拡張ボアを顎に通して開けることができます。	スリーブはどんな高さにも計画できます。 特に対応するインプラントシステム/外科キット及び設定対象の計画パラメータ (スリーブモデルとスリーブ位置)についての詳細情報入手先： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

次表にスリーブシステムとドリルテンプレートの基本的対応関係を示します。

スリーブシステム	SICAT CLASSICGUIDE SICAT OPTIGUIDE SICAT DIGITALGUIDE	CERECガイド
異なるメーカーの一貫ガイド付き外科システム	有	有 (CERECガイド 3、特定メーカーに限る)
SICATスリーブインスリーブ	有	無
SICATパイロットスリーブ	有	無
CERECガイドドリルキー	有	有 (CEREC ガイド 2)

15 SICAT IMPLANTの標準ワークフロー

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

⚠ 注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ 注意	**ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。** ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT SuiteとSICAT Implantデータベースをインストールする場合、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 22 - Standalone]*と*SICAT Implantデータベースのインストール [▶ページ 28 - Standalone]*にあります。

フルバージョンで使用可能にする

1. SICAT Implantのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - Standalone]*を参照してください。

2. データを保存できるため、少なくとも一つの患者ファイリングを登録し、これをアクティブにします。これに関する情報は*患者ファイリング [▶ページ 67 - Standalone]*を参照してください。

ℹ	SICAT Implantのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビュアーモードで個別に開いてください。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 294 - Standalone]*の節をご覧ください。

ℹ	SICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、ネットワーク構成がこれを可能にする場合、患者ファイリングおよび含まれている患者ファイルをネットワークファイルシステムに保存することができます。通常、ネットワークファイルシステムはそのためにNFSプロトコルまたはSMBプロトコルに対応している必要があります。この表示に関する内容は、*患者ファイリング [▶ページ 67 - Standalone]*の節をご覧ください。

開始

SICAT Suiteの起動手順は、*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 47 - Standalone]*の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は*設定 [▶ページ 273 - Standalone]*を参照してください。

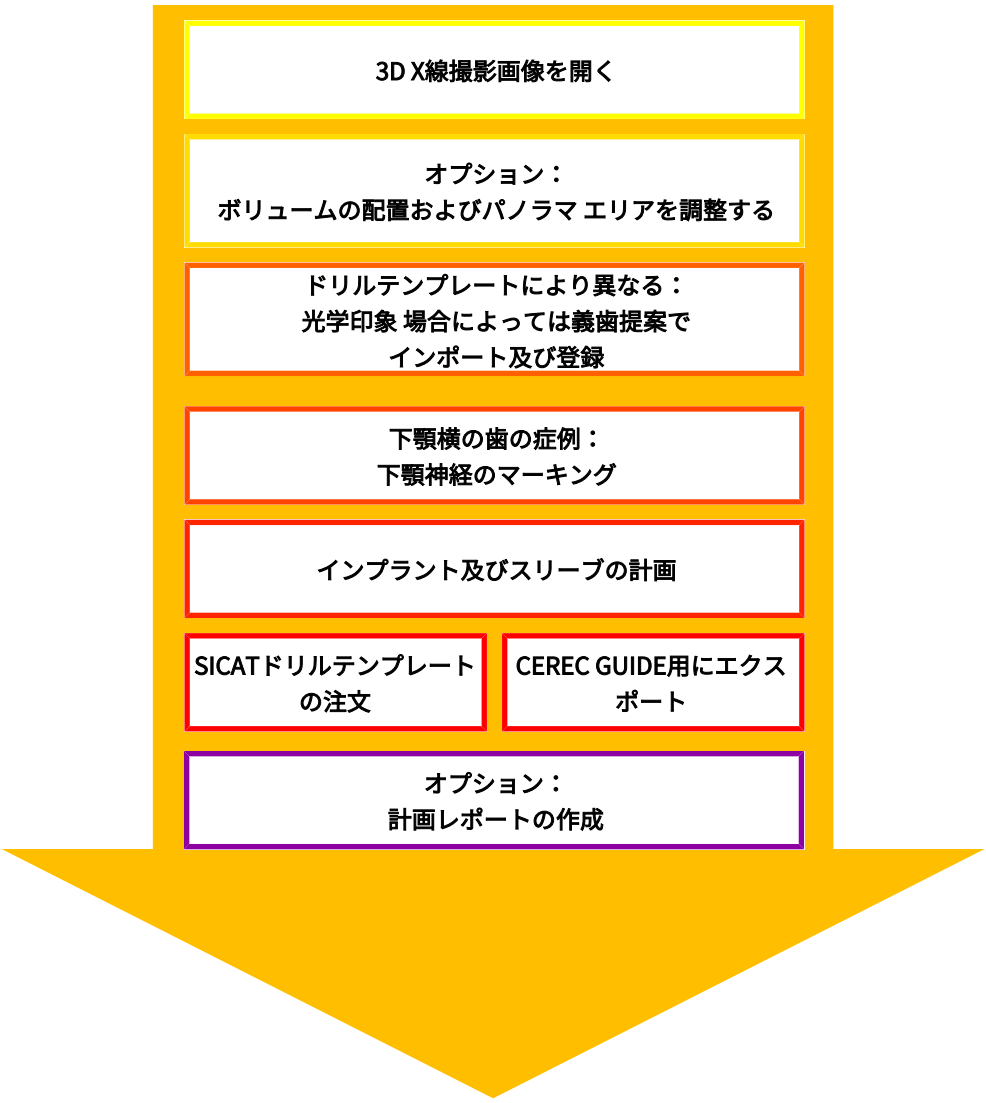
データセットを開く

1. 3D X線撮影画像を患者ファイリングにインポートします。これに関する情報は*データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*を参照してください。

2. 患者ファイルを検索し、インポートしたデータを管理する手順は、*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*の節に記載の手順に従ってください。

3. 患者ファイルのデータで作業するには、SICAT Implantで、患者ファイルを開きます。これに関する情報は*患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 95 - Standalone]*を参照してください。

SICAT IMPLANTの作業手順



1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマ エリアを調整します。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 173 - Standalone]*を参照してください。

2. 所望のドリルテンプレートのために必要（*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*を参照）またはインプラント計画の際に所望の場合、場合によっては3Dレントゲンデータとともに義歯提案を含め、光学印象をインポートして登録してください。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。

3. 下顎横の歯の症例の場合、対応する下顎神経にマークします。これに関する情報は*下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 206 - Standalone]*を参照してください。

4. インプラント, 場合によってはアバットメント及びスリーブの計画を行ってください。その際希望のドリルテンプレートを選び、望みのスリーブシステムを選択してください。これに関する情報は*インプラントの計画 [▶ページ 211 - Standalone]*、*アバットメントの計画 [▶ページ 227 - Standalone]*および*スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*を参照してください。

5. SICAT ドリルテンプレートをご注文ください、またはCEREC ガイドの独自生産用計画をエクスポートしてください。患者との練習に関する情報は*注文プロセス [▶ページ 244 - Standalone]*と*CEREC Guide用にエクスポート [▶ページ 258 - Standalone]*を参照してください。

6. お望みなら独自の文書またはOP用の計画レポートを作成してください。これに関する情報は*計画レポートの作成 [▶ページ 264 - Standalone]*を参照してください。

ℹ	お望みなら、セカンドオピニオンを求める場合などのためにデータをエクスポートします。患者との練習に関する情報は*計画の管理 [▶ページ 156 - Standalone]*と*データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、アクティブな患者ファイルを閉じて、これを保存してください。これに関する情報は*SICAT Suiteを閉じる [▶ページ 297 - Standalone]*を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 53 - Standalone]*を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は*サポート [▶ページ 289 - Standalone]*を参照してください。

16 SICAT SUITE をスタートする

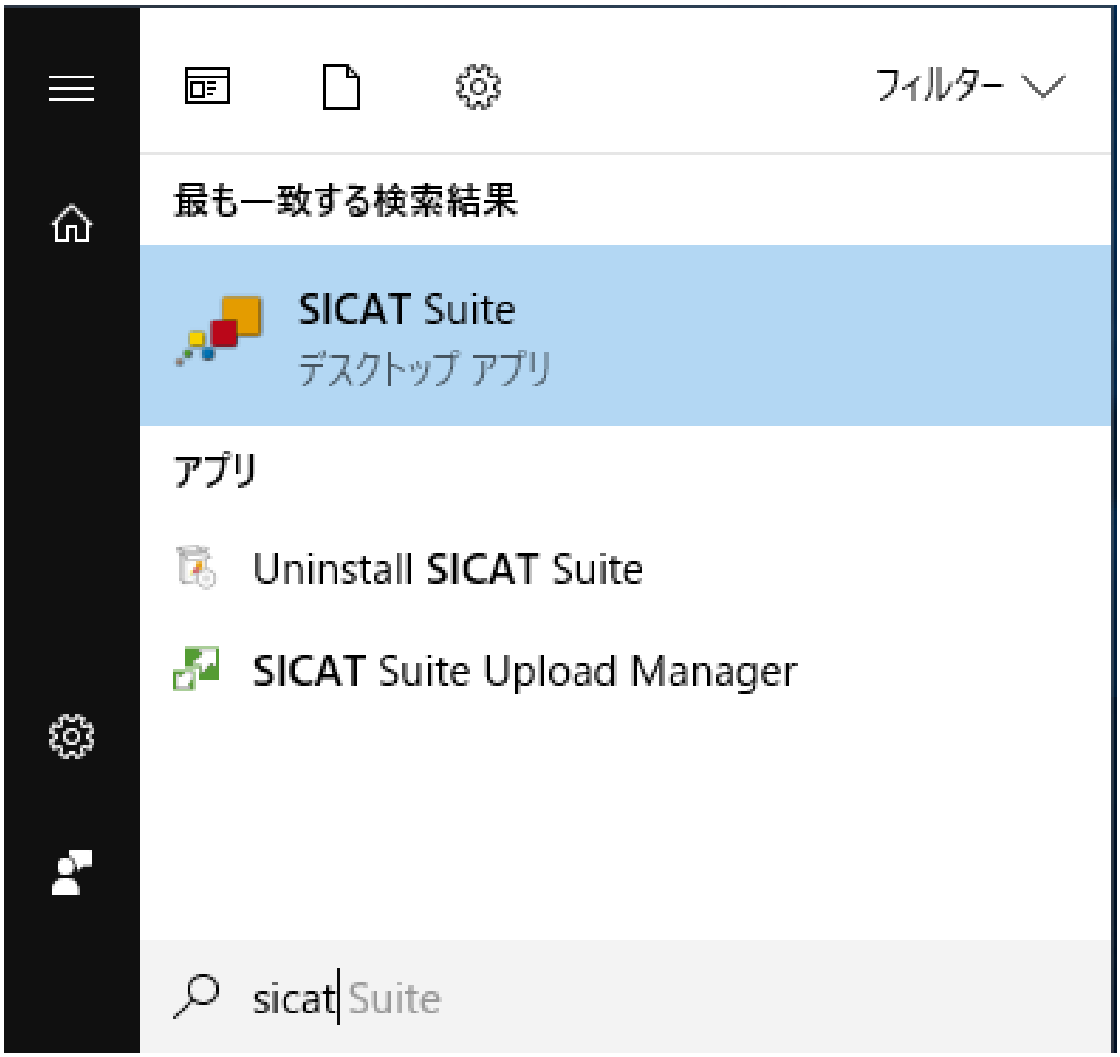
SICAT Suiteを起動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 22 - Standalone]*を参照してください。

- インストール時にデスクトップアイコンを作成した場合、Windowsのデスクトップにある**SICAT Suite**アイコンをクリックします。

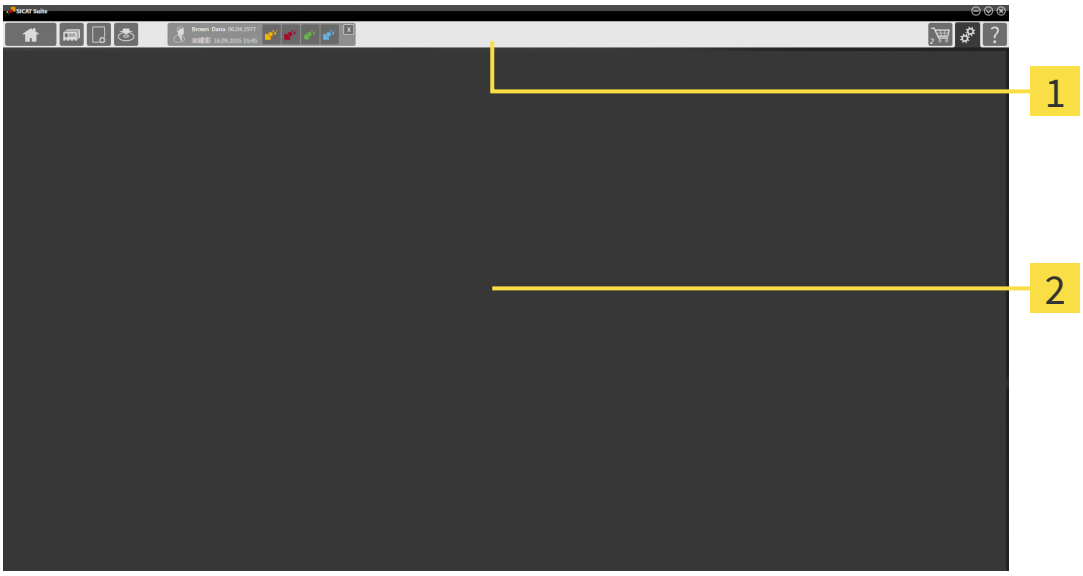
▶ SICAT Suiteがスタートし、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウが開きます。これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 50 - Standalone]*を参照してください。

Windowsボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによってSICAT Suiteをスタートすることもできます。



17 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 **ナビゲーションバー**

2 **アプリケーション領域**

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは3つのエリアで構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。SICAT Suiteでは、一つの患者ファイルがアクティブになっている場合のみ、そのエリアが中央に表示されます。

左側のエリアには次のタブがあります。

- **SICAT Suiteホーム** - これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 50 - Standalone]*を参照してください。

- **患者ファイル** - これに関する情報は*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*を参照してください。

- **新規データを追加する** - これに関する情報は*データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*を参照してください。

- **データを共有する** - これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*を参照してください。

中央のエリアには次のタブがあります。

- **有効な患者ファイル** - これに関する情報は*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*を参照してください。

- **アプリケーション** - これに関する情報は*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 52 - Standalone]*を参照してください。

右側のエリアには次のタブがあります。

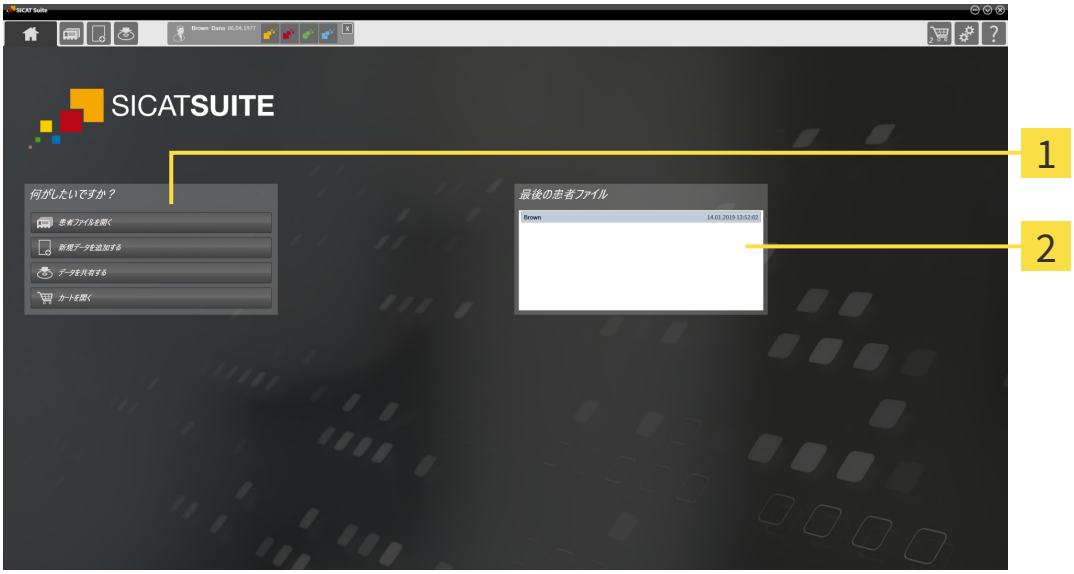
- **カート** - これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 244 - Standalone]*を参照してください。

- **設定** - これに関する情報は*設定 [▶ページ 273 - Standalone]*を参照してください。

- **サポート** - これに関する情報は*サポート [▶ページ 289 - Standalone]*を参照してください。

17.1 「SICAT SUITEホーム」ウインドウの概要

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンをスタートすると、**SICAT Suiteホーム**ウインドウが表示されます。



1 エリア **何がしたいですか？**

2 エリア **最後の患者ファイル**

SICAT Suiteホームアイコンをクリックすると、いつでもこのウインドウに戻ることができます。**SICAT Suiteホーム**ウインドウの内容は、以下のパラメーターによって異なります。

- アクティベーションの状態とライセンスの種類
- 患者ファイルフォルダの状態

アクティベート済みのライセンスがない場合、**SICAT Suiteホーム**メッセージとボタンだけの **ライセンスを有効にする**ウィンドウが表示されます。

最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効で、SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスがない場合はSICAT Suiteがビューアモードで起動します。このモードでは、患者ファイリングへの接続、患者ファイリングの作成ができず、患者データをインポート、編集、保存する機能が使用できません。そのため、**SICAT Suiteホーム**ボタンと**新規データを見る**ボタンしか**ライセンスを有効にする**ウインドウに表示されません。

フルバージョンライセンスはアクティブになっているが、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっていない場合、患者ファイリングを作成することはできますが、患者データをインポート、編集、保存する機能は使用できません。そのため、**SICAT Suiteホーム**ボタンと**新規データを見る**ボタンしか**患者ファイリングを設定する**ウインドウに表示されません。

フルバージョンライセンスがアクティブで、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム** ウインドウの**何がしたいですか？**エリアに次のボタンが表示されます。

- **開く** - これに関する情報は*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*を参照してください。

- **新規データを追加する** - これに関する情報は*データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*を参照してください。

- **データを共有する** - これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*を参照してください。

- **カート** - これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 244 - Standalone]*を参照してください。

- さらに、**最後の患者ファイル**エリアに、直近に開いた患者ファイルのリストが表示されます。これらの患者ファイルは、ダブルクリックすると開くことができます。

> **患者情報を匿名で表示する**がアクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム**ウインドウに**最後の患者ファイル**エリアが表示されます。

18 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。

- **ナビゲーションバー**から、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

19 取扱説明書を開く

サポートウィンドウを経由することで、SICATアプリケーションの取扱説明書をPDFファイル形式で参照可能です。

サポートウィンドウは、 **ナビゲーションバー**の**サポート**アイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。

1 **取扱説明書**のタブ

2 **取扱説明書**のウィンドウ

希望するヘルプは、**取扱説明書を表示する**のボタンをクリックして開くことができます。

20 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。

SICAT Suiteで機能 **新規データを追加する** または **新規データを見る** が有効なライセンスに基づき使用できる場合、以前エクスポートしたデータセットを有効なSICAT Implantライセンスなしで表示することができます。

ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの *License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にすると、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのアクティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプリケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーショライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピューターで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされています。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動的に解放されます。

次に続くアクション

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンス**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 59 - Standalone]*を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 61 - Standalone]*を参照してください。

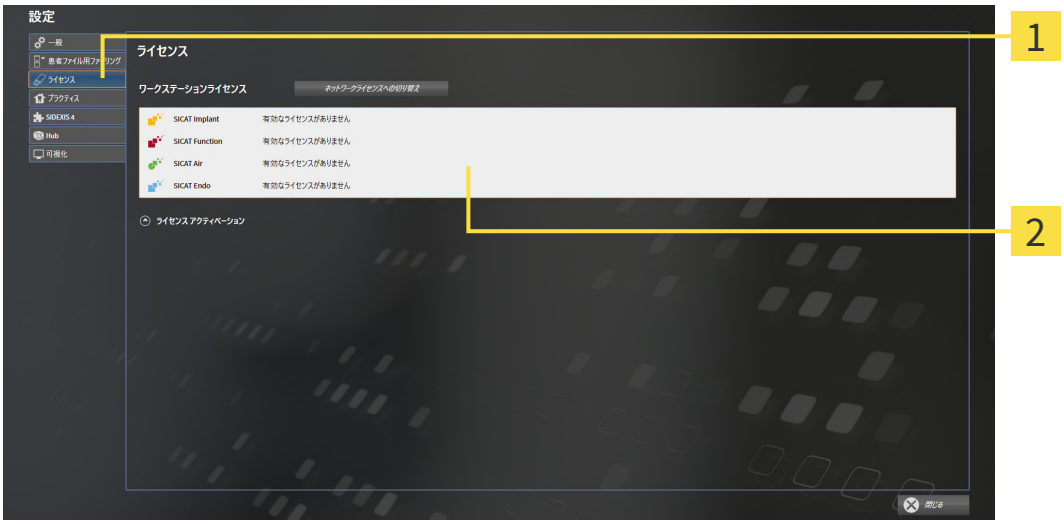
各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - Standalone]*を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、*ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 65 - Standalone]*をご覧ください。

20.1 「ライセンス」のウィンドウを開く

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **ライセンス**のタブをクリックします。
   ▶ **ライセンス**のウィンドウが開きます。



1 **ライセンス**のタブ

2 **ライセンス**のウィンドウ

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 59 - Standalone]*
- *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 61 - Standalone]*
- *ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 65 - Standalone]*
- *ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - Standalone]*

20.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

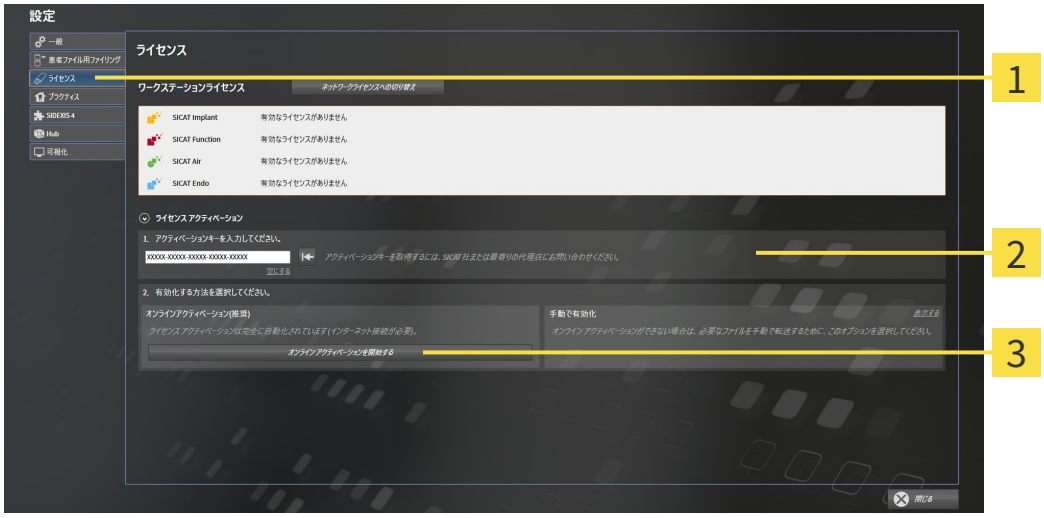
☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。

   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。



1 **ライセンス アクティベーション**のボタン

2 エリア

3 **オンライン アクティベーションを開始する**のボタン

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。

3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。

▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

20.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

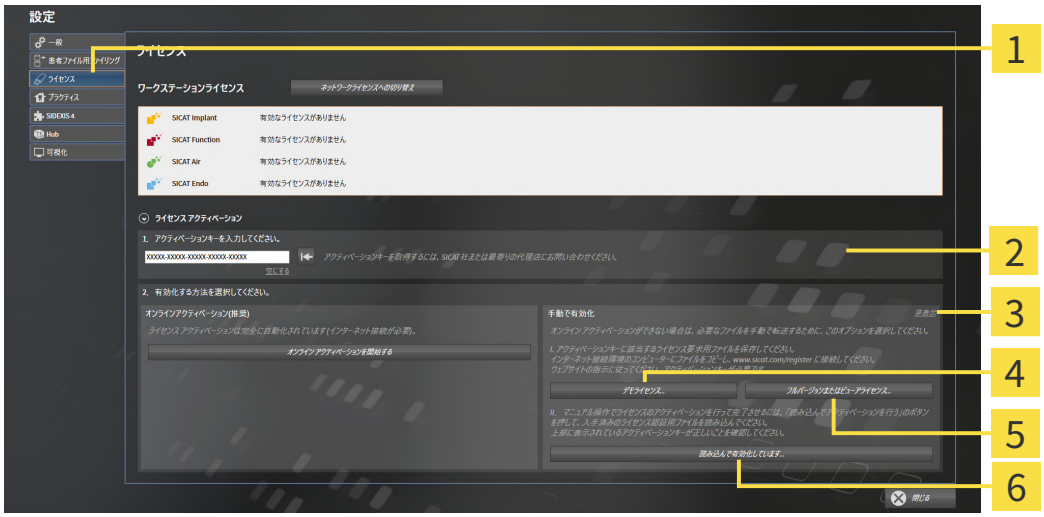
☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。

   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。

2. **手動アクティブ化**エリアの**表示する**をクリックします。

   ▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。



1	**ライセンス アクティベーション**	4	**デモライセンス**のボタン
2	エリア	5	**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタン
3	**表示する**	6	**読み込んで有効化しています**のボタン

3. フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタンをクリックします。

4. デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。

   ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。

6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。

7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.com/registerを開きます。

8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。

   ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。

   ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータへダウンロードしてください。

9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。

10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。

11. **ライセンス**のウィンドウで、**読み込んで有効化しています**のボタンをクリックします。

    ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。

▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

20.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

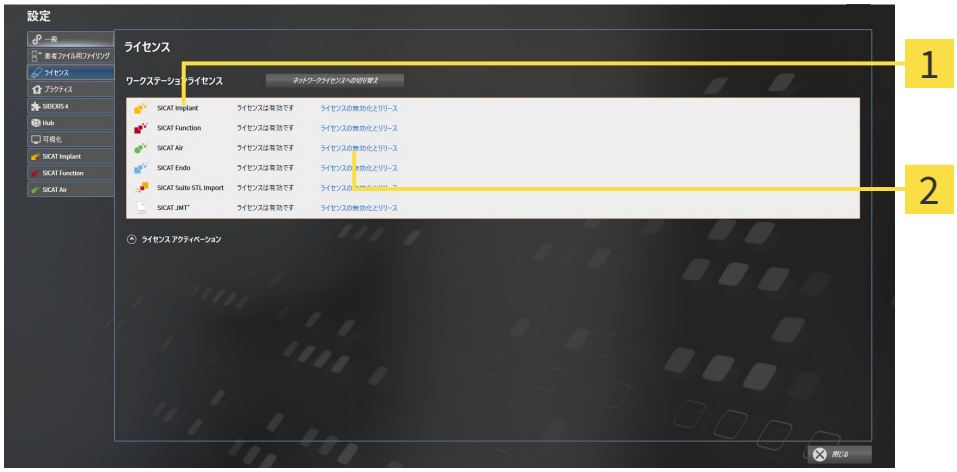
注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 **ライセンスの無効化とリリース**のボタン

- **ライセンス**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスの無効化とリリース**のボタンをクリックします。

▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**。

▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

インターネット接続のないコンピューターでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

20.5 ネットワークライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンスが欠けています。

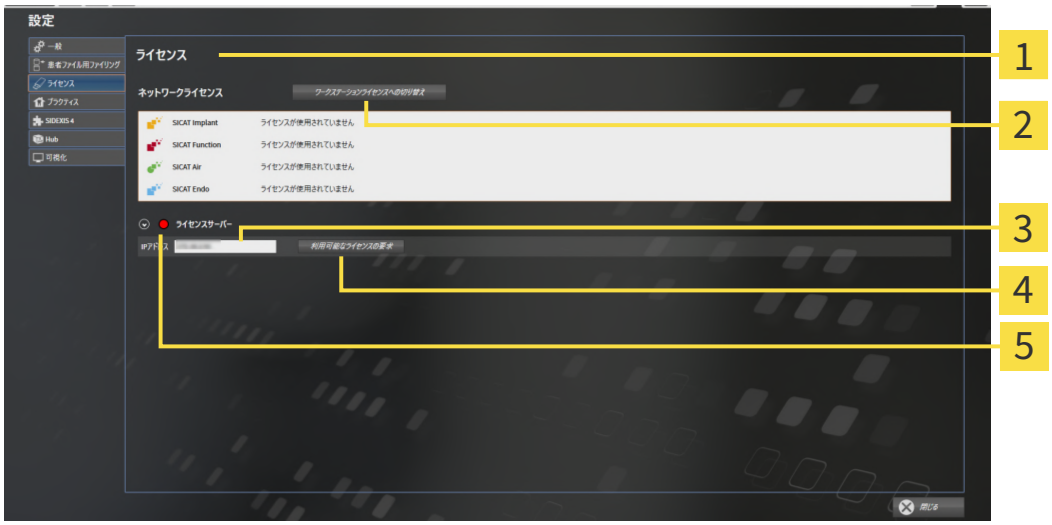
☑ ライセンスサーバーを設定しました。

☑ SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワークへのアクティブなネットワーク接続を行っています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンスへの切り替え**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はネットワークライセンスに関する情報を表示し、**ライセンスサーバー**エリアが開きます。



1 **ライセンス**のウィンドウ

2 **ワークステーションライセンスへの切り替え**のボタン

3 **IPアドレス**エリア

4 **利用可能なライセンスの要求**のボタン

5 状態表示

2. **IPアドレス**エリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力します。

3. **利用可能なライセンスの要求**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。

▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。

▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。

▶ **ライセンスサーバー**エリアが閉じます。

21 患者ファイリング

ヒューズ

⚠ 注意	**患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。** 定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

患者ファイルフォルダーにある患者データにつきましては、ご自分自身の責任でバックアップファイルを作成してください。。患者ファイルフォルダーの保存場所は、**患者ファイル用ファイリング**の各種設定で確認できます。患者ファイルフォルダーを**患者ファイル用ファイリング**のリストから削除してあるときは、 適切なデータ保存媒体にその患者ファイルフォルダーが保存してあっても、SICAT Suiteでは、該当する患者ファイルフォルダーを表示しません。

ℹ	患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

データのセキュリティ

⚠ 注意	**SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。** ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意	**SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。** ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

一般的なお知らせ

患者ファイリングの管理機能は、SICAT Suiteでアプリケーションのライセンスがアクティブになっている場合のみ使用することできます。

SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT Suiteは患者データを次のように管理します。

- 一人の患者の全3D撮影画像と付属する全ての計画プロジェクトが患者ファイルに整理されています。
- 患者ファイルが患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイリングはローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダに保存されます。

SICAT Suiteをフルバージョンで作動させるには、少なくとも一つの患者ファイリングが必要です。複数の患者ファイリングを管理することができます。ただし、ある時点で同時にアクティブにできる患者ファイリングは、常に一つだけです。ローカルファイルシステムでもネットワークファイルシステムでも、患者ファイリングに同時にアクセスできるSICAT Suiteは一つだけです。使用中の患者ファイリングの患者ファイルのみ編集および保存することができます。

ネットワークファイルシステム上の患者ファイリングには、特定の最小帯域幅のネットワーク接続が必要です。システムの要件に関する内容は、*システム要件 [▶ページ 12 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者ファイリングを管理するために使用できる操作：

- *「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 70 - Standalone]*
- *患者ファイリングを追加する [▶ページ 71 - Standalone]*
- *別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ページ 73 - Standalone]*
- *患者ファイリングを除去する [▶ページ 75 - Standalone]*

21.1 「患者ファイリング」ウインドウを開く

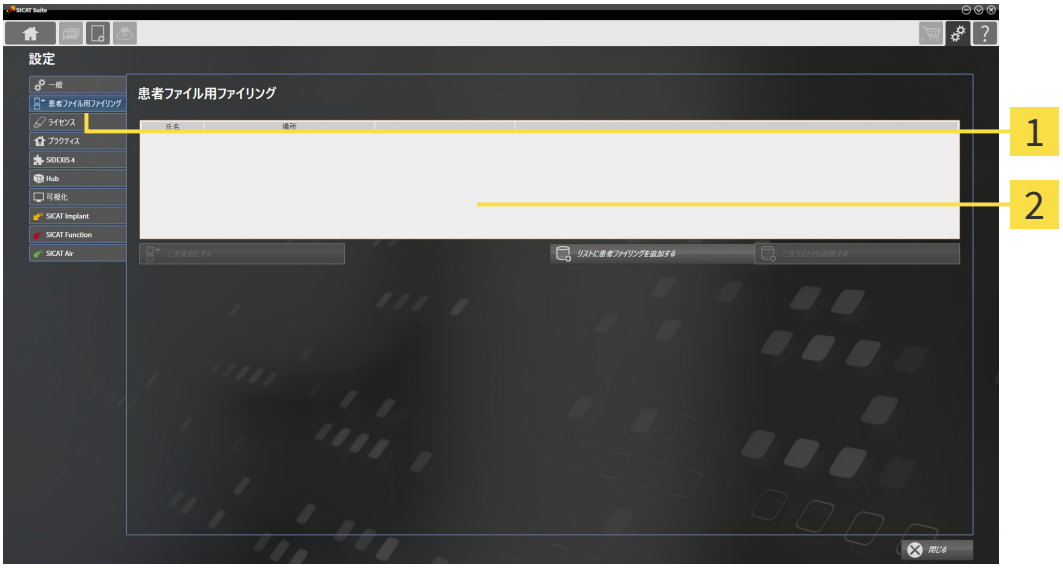
患者ファイル用ファイリング ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **患者ファイル用ファイリング**タブをクリックします。

   ▶ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウが開きます。



1 タブ **患者ファイル用ファイリング**

2 ウインドウ **患者ファイル用ファイリング**

以下の操作を続行します：

- *患者ファイリングを追加する [▶ページ 71 - Standalone]*
- *別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ページ 73 - Standalone]*
- *患者ファイリングを除去する [▶ページ 75 - Standalone]*

21.2 患者ファイリングを追加する

注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

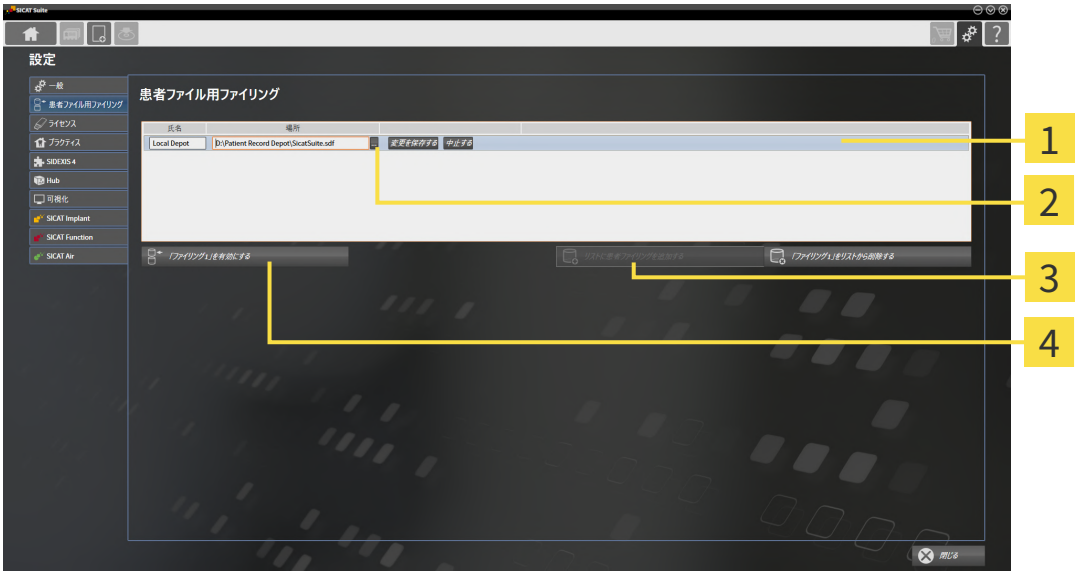
定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

SICAT Suiteは、患者ファイリングをファイルシステムに保存します。患者ファイリングは、各フォルダに一つしか保存できません。そのため、新しい患者ファイリングを保存するフォルダは空でなくてはなりません。

以下の条件に該当する場合、SICAT Suiteは既存の患者ファイリングを追加します。選択したフォルダには、すでに一つの患者ファイリングが入っていますが、患者ファイリングのリストには記載されていません。

新しい患者ファイリングを作成、または既存の患者ファイリングを追加するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 70 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 新しい患者ファイリングの行

2 ボタン **検索する**

3 ボタン **リストに患者ファイリングを追加する**

4 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウで、**リストに患者ファイリングを追加する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル用ファイリング**のリストに新しい患者ファイリングのために新しい行を追加します。

2. 新しい患者ファイリングの行にある**検索する**ボタンをクリックします。

▶ **検索する** のウィンドウが開きます。

3. **検索する**ウインドウで任意のフォルダを選択し、**OK**をクリックします。

   ▶ **検索する**ウインドウは閉じ、SICAT Suiteは任意のフォルダへのパスを新しい患者ファイリングの行に追加します。

4. 新しい患者ファイリングの行にある**氏名**欄をクリックし、新しい患者ファイリングに対して覚えやすい名前を入力します。

5. 新しい患者ファイリングがなおも選択されている場合は、**変更を保存する**をクリックします。

   ▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

6. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは新しい患者ファイリングをアクティブにします。これに付属する行の書式は太字に変わります。

▶ SICAT Suiteは、それまでアクティブになっていた患者ファイリングを無効にします。これに付属する行の書式は標準に変わります。

	中止するをクリックして、患者ファイリングの追加を中断することができます。

	作成した患者ファイリングは、各フォルダ内に一つのSDFファイルであることから識別することができます。

21.3 別の患者ファイリングをアクティブにする

アクティブな患者ファイリングの変更は、次のようなケースに役立つことがあります。

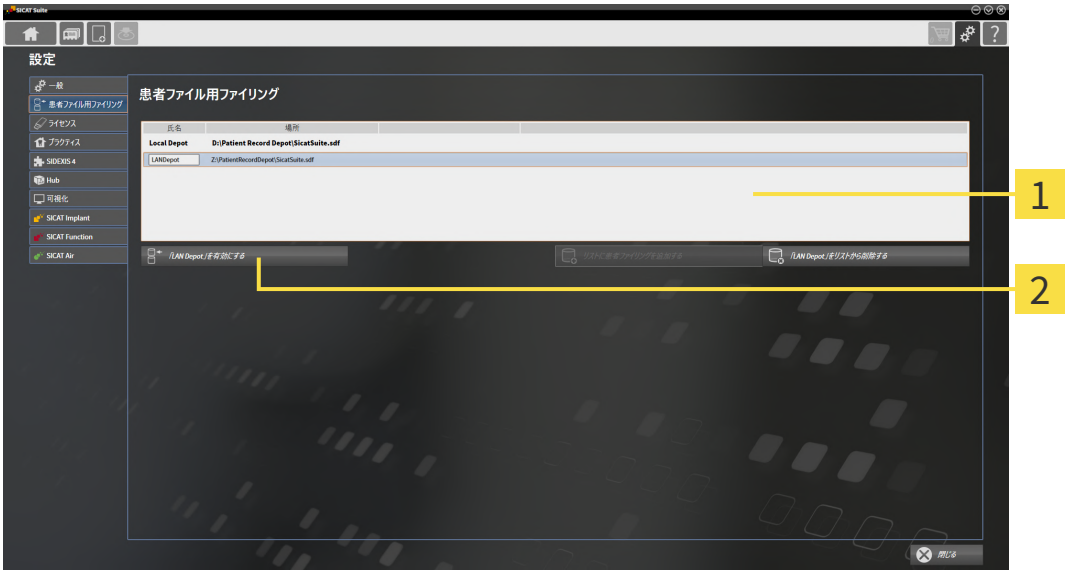
- 施設のネットワークファイルシステム上にある患者ファイリングとノートPC上の患者ファイリング間で切り替えたいとします。
- 別の患者ファイリングに匿名で保存されている患者データを、例えば、研修などの目的で公開したいとします。

別の患者ファイルフォルダを開くときは、次の手順で行います。

☑ アクティブになっている患者ファイルはありません。患者ファイルがアクティブになっている場合、SICAT Suiteによって自動的に閉じられます。

☑ アクティブにしたい患者ファイリングは、別のコンピューターのSICAT Suiteで開かれていません。

☑ **患者ファイル用ファイリング**ウインドウはすでに開いています：これに関する情報は*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 70 - Standalone]*を参照してください。



1 リスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウインドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。

2. 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタンをクリックします。

   ▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

3. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングをアクティブにします。

SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

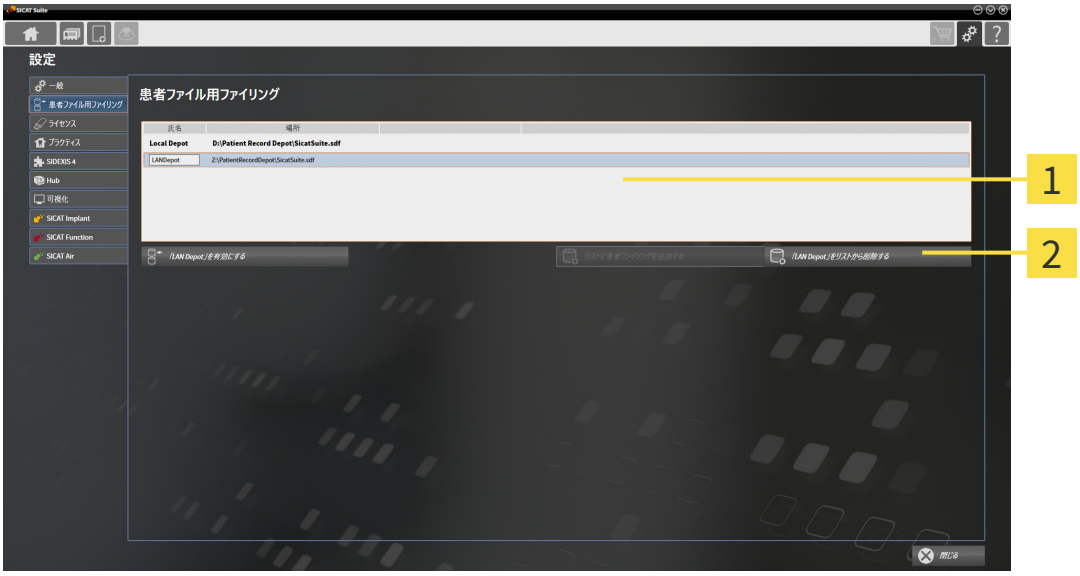
21.4 患者ファイリングを除去する

> SICAT Suiteは患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するだけです。患者ファイリングをファイルシステムから削除することはありません。**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去された既存の患者ファイリングは、改めて追加することができます。この表示に関する内容は、*患者ファイリングを追加する [▶ページ 71 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するには、次のように行います。

☑ 開いている患者ファイルはありません。

☑ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 70 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングを除去するボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウインドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。

2. 選択した患者ファイリングを除去するボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去します。

22 データインポート

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意	**オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。** インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

ℹ	データインポートは、ライセンスがアクティブで、患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合のみ実行可能です。ライセンスまたは患者ファイリングがない場合は、ビューアモードでしかデータを開くことができません。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 294 - Standalone]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteは、以下のデータショーマットの3D X線撮影画像をインポートすることができます。

- SICAT Suite DICOMデータ
- 3D X線撮影画像（DICOM形式、DICOMに関する内容は、*対応しているDICOMフォーマット [▶ページ 79 - Standalone]*の節をご覧ください)
- SICATインプラントデータ
- SICATドリルテンプレート注文データ
- GALILEOS Wrap&Goデータ

次の二つの設定で、SICAT Suite 3D X線撮影画像を使用中の患者ファイリングにインポートする方法を規定します。

- インポート設定は、SICAT Suiteが3D X線撮影画像をインポートするか、インポートしないか、既存の3D X線撮影画像に上書きするか、コピーを作成するか規定します。
- 割り当て設定は、SICAT Suiteがインポートした3D X線撮影画像を割り当てる患者ファイルを規定します。

1件のデータセットに、SICATのアプリケーションで作成した3D治療計画スタディが複数、含まれているときは、SICAT Suiteでは、3D治療計画スタディを、それら含まれる3D X線撮影画像と併せてインポートを行います。

3D X線撮影画像のインポートに適用する設定内容

アクティブな患者ファイリングに患者ファイルが含まれている場合、3D X線撮影画像用に異なるインポート設定を選択することができます。使用可能なインポート設定は、インポートするデータのIDがアクティブな患者ファイリング内の患者ファイルのIDと一致するかどうかによって異なります。

各3D X線撮影画像に対して、それぞれインポート設定を選択することができます。

データタイプ	IDが一致する	IDが一致しない	常に使用可能
SICAT Suite DICOMデータ SICATインプラントデータ SICATドリルテンプレート注文データ	**既存に上書きする** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	**追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	**追加しないでください** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。。
第三者のDICOMデータ Galileos Wrap&Goデータ	**さらに追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を既存のデータセットのコピーとしてインポートします。	**追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	**追加しないでください** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。。

患者ファイル割り当て用の特性比較

SICAT Suiteはインポートするデータの様々な特性を分析します。特性の種類：

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID、社会保険番号、施設の内部患者IDなど

患者ファイル割り当て用の設定

次のリストは、SICAT Suiteが特性比較に基づいて提案するインポートオプションを示しています。

- インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**および対応する患者ファイルを提案します。
- インポートするデータの特性の一部がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**新規患者ファイルを作成する**を提案します。

どちらの場合も、データを手動で別の患者ファイルに割り当てることができます。

データをインポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- *インポートするデータを選択する [▶ページ 80 - Standalone]*
- *インポートオプションの選択 [▶ページ 82 - Standalone]*
- *既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ページ 84 - Standalone]*

あるいは

- *データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ページ 83 - Standalone]*

22.1 対応しているDICOMフォーマット

DICOMデータセットをインポートする場合、SICAT Suiteは次の基準を満たしているデータセットに対応しています。

- データセットのフォーマットがDICOM 3.0である。
- データセットにパラレルレイヤーしか含まれない。
- データセットが圧縮されていない、JPEG形式またはJPEG 2000形式で圧縮されている。
- データセットが次のリストの対応しているタイプのいずれかと一致する。

対応しているデータセットタイプ：

- CT画像
- デジタルX線画像
- デジタル口内X線画像
- X線3D頭蓋顔面画像
- セカンダリーキャプチャー画像（グレースケール）（モダリティCT用のみ）
- マルチフレームグレースケールワードセカンダリーキャプチャー画像（モダリティCT用のみ）

その他の基準については、DICOM適合性宣言を参照してください。この宣言書は、ご要望に応じてSICATからご提供させていただきます。お問い合わせ先がご必要のときは、裏面をご覧ください。

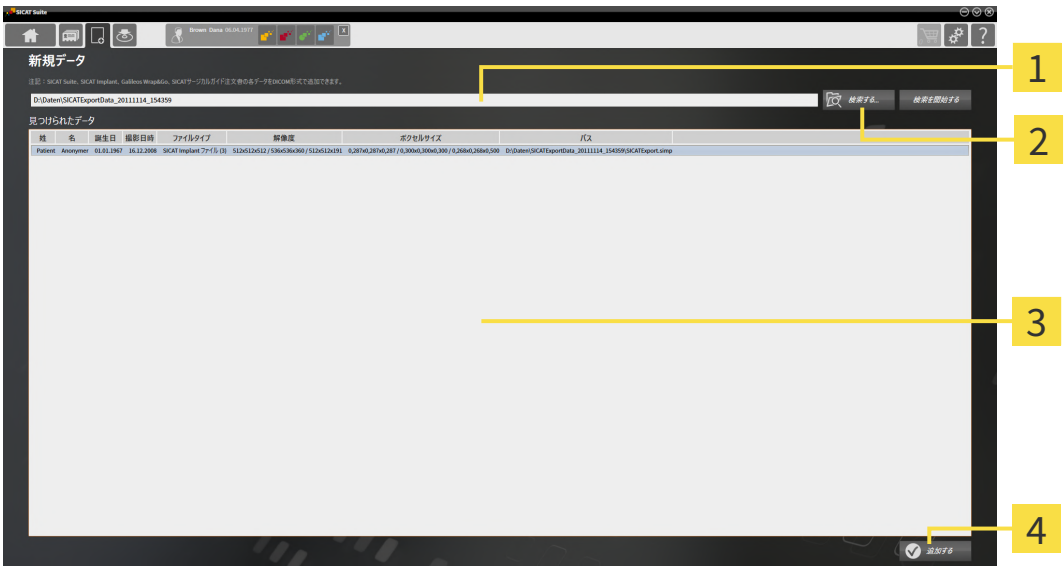
22.2 インポートするデータを選択する

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

アクティブな患者ファイリングのデータをインポートするには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **新規データ**のアイコンをクリックします。
   ▶ **新規データ** のウィンドウが開きます。



1 欄 **データはどこにあるのですか？**

2 ボタン **検索する**

3 のリスト **見つけられたデータ**

4 ボタン **追加する**

2. **検索する** のボタンをクリックします。
   ▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する**ウインドウで任意のファイルまたはフォルダを選択し、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したものへのパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。

▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストにファイルの内容を表示します。

▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストに表示します。

SICAT Suiteにデータをインポートする際に、ドラッグ＆ドロップを利用することもできます。

説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。

互換性があるにもかかわらず、SICAT Suiteが特定のファイルを検出しない場合、そのファイルへのパスが長過ぎることが原因の可能性があります。それらのファイルをファイルシステムの一つ上の階層にコピーし、改めて検索を開始してください。

以降の操作は、*インポートオプションの選択 [▶ ページ 82 - Standalone]*の節に沿って、進めてください。

22.3 インポートオプションの選択

各スタディのインポートオプションを選択するには、次の手順で行います。

1. **見つけられたデータ**リストから希望のスタディを選択し、**追加する**ボタンをクリックします。

   ▶ **追加する** のウィンドウが開きます。

1 列 **アクション**

2. **追加する**ウィンドウで**アクション**列から各スタディ用に以下のエントリを選択します。**追加しないでください**、 **さらに追加する**、 **追加する** または **既存に上書きする**。オプションに関する詳細な説明は、*データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。

▶ これらをインポートするかどうかについては、全てのスタディに対して個別に設定します。

以下の操作を続行します：

- *既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ページ 84 - Standalone]*
- *データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ページ 83 - Standalone]*

22.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成

アクティブな患者ファイリングに同じ特性の組み合わせを持つ患者ファイルがない場合、データインポートによって新しい患者ファイルを作成することができます。

1 オプション **新規患者ファイルを作成する**

2 ボタン **続行する**

インポートするデータを新しい患者ファイルに割り当てるには、次の手順で行います。

- **患者リストへの割り当て**エリアで**新規患者ファイルを作成する**オプションを選択し、**続行する**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択したデータの特性を持つ新しい患者ファイルを作成します。

▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを新しい患者ファイルに割り当てます。

▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*の節をご覧ください。

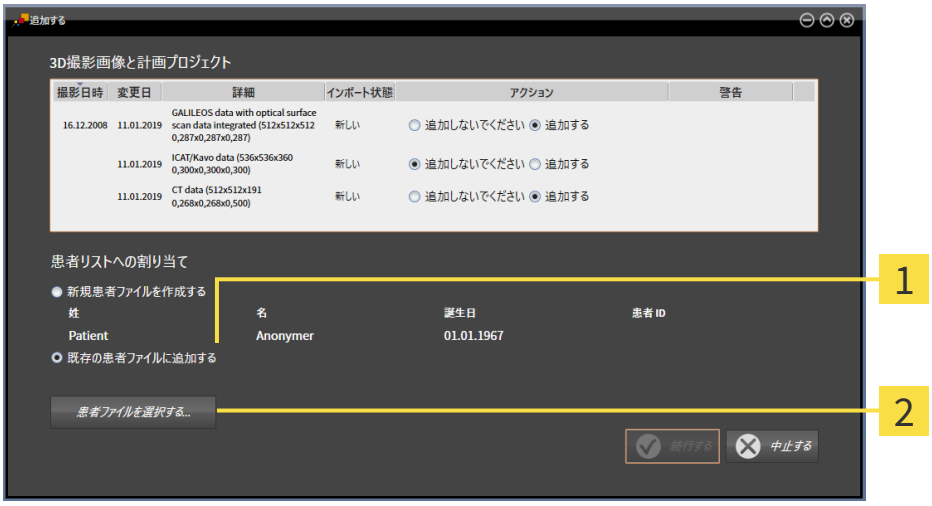
22.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる

注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

次の条件に該当する場合、SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**オプションを付属の患者ファイルによって自動的に選択します：インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。



1 オプション **既存の患者ファイルに追加する**

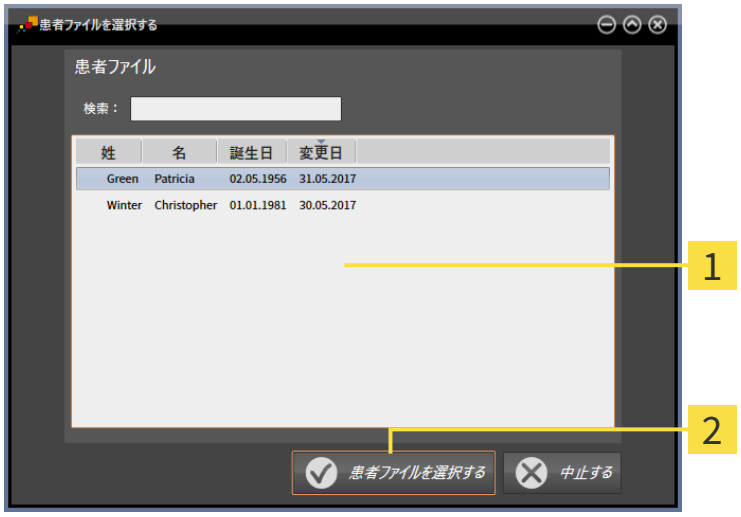
2 ボタン **患者ファイルを選択する**

インポートするデータを既存の患者ファイルに手動で割り当てるには、次の手順で行います。

☑ アクティブな患者ファイリングには、最低一つの患者ファイルが含まれます。

1. **患者リストへの割り当て**エリアで**既存の患者ファイルに追加する**オプションを選択し、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

▶ **患者ファイルを選択する**ウィンドウが開き、既存の患者ファイルのリストが表示されます。



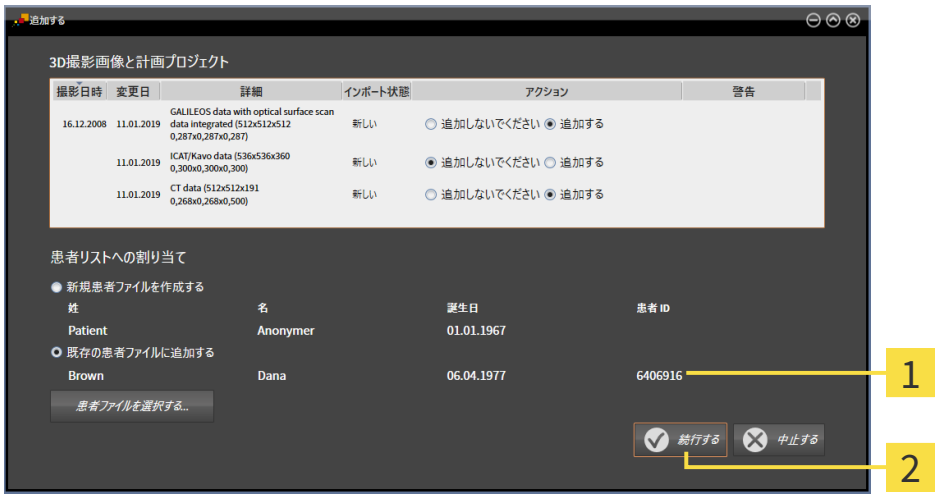
1 のリスト **患者ファイル**

2 ボタン **患者ファイルを選択する**

2. 希望する患者ファイルをクリックし、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

▶ **患者ファイルを選択する**ウイドウが閉じます。

▶ **追加する**ウインドウに選択した患者ファイルの特性が表示されます。

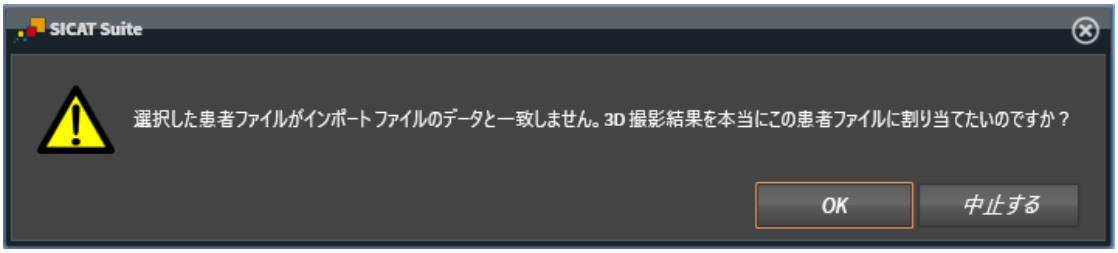


1 選択した患者ファイルの特性

2 ボタン **続行する**

3. **追加する** のウィンドウで、**続行する**のボタンをクリックします。

4. インポートするデータの特性が選択した患者ファイルの特性と一致しない場合、次の警告メッセージが表示されます。



5. それでもデータをインポートする場合、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを既存の患者ファイルに割り当てます。

▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 87 - Standalone]*の節をご覧ください。

23 患者ファイル

患者ファイルには複数の3Dスタディが含まれる可能性があります。スタディは3D X線撮影画像と付属の計画プロジェクトで構成されています。さらに、患者ファイルには計画中に作成された文書が含まれる場合があります。

患者ファイルを管理するために使用できる操作：

- *「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*
- *患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ページ 89 - Standalone]*
- *患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 91 - Standalone]*
- *患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 95 - Standalone]*
- *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*
- *患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 94 - Standalone]*
- *患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ページ 101 - Standalone]*
- *患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 103 - Standalone]*

さらに、患者ファイルへのデータのインポートおよび患者ファイルからのデータのエクスポートを行うことができます。

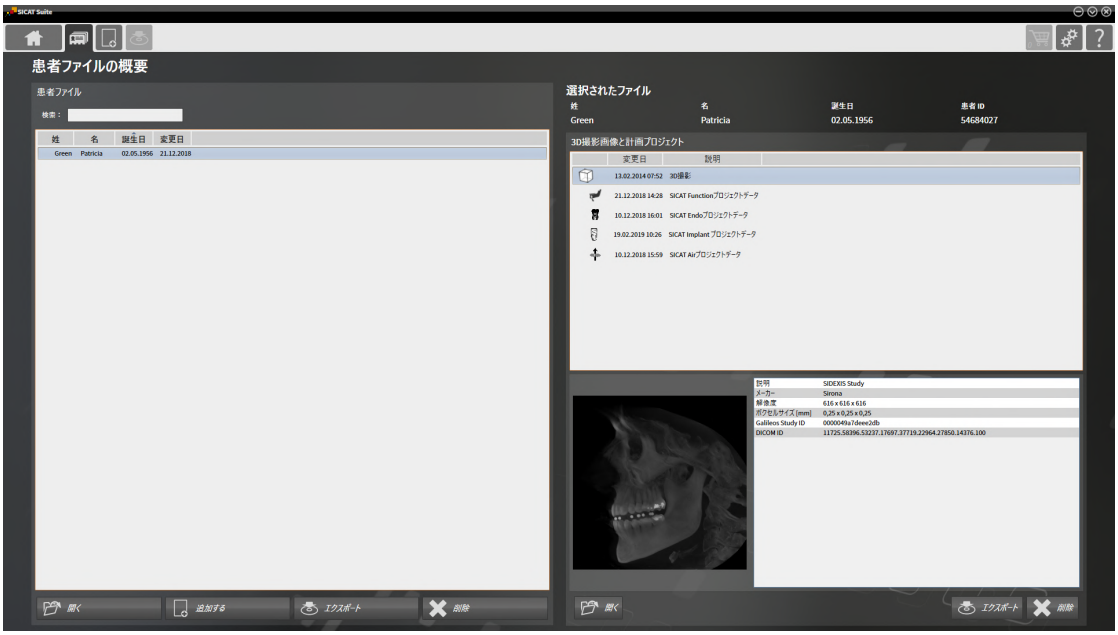
- *データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*
- *データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*

23.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く

患者ファイルの概要 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

- **ナビゲーションバー** で、**患者ファイル**のアイコンをクリックします。

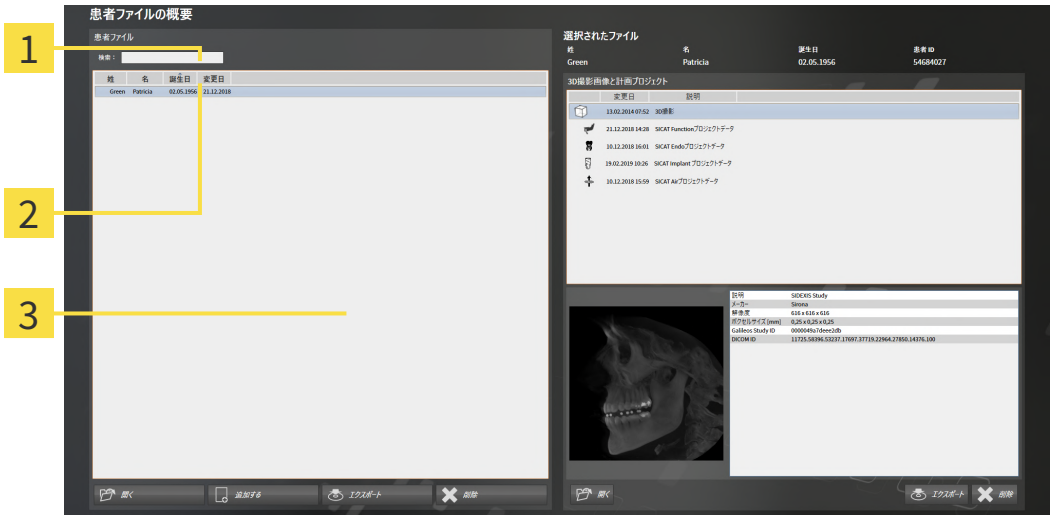
▶ **患者ファイルの概要** のウィンドウが開きます。



以下の操作を続行します：

- *患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ページ 89 - Standalone]*
- *患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 91 - Standalone]*
- *患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 95 - Standalone]*
- *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*
- *患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 94 - Standalone]*
- *患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ページ 101 - Standalone]*
- *患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 103 - Standalone]*

23.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え



1 欄 **検索：**

2 列のタイトル（特性を含む）

3 のリスト **患者ファイル**

患者ファイルの検索

SICAT Suiteは、入力した検索テキストに従って全ての患者ファイルの特性を検索します。

患者ファイルを検索するには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **検索：**欄に希望の検索テキストを入力します。

▶ **患者ファイル**リストに、入力した検索テキストが特性に含まれる全患者ファイルが表示されます。

SICAT Suiteは、入力を始めると直ちに検索を開始します。

特性に基づく患者ファイルの並べ替え

以下の特性に基づいて、患者ファイルを並べ替えることができます。

- **姓**
- **名**
- **誕生日**
- **変更日**

患者ファイルを特性に基づいて並べ替えるには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*の節をご覧ください。

1. **患者ファイル**リストで希望の特性の列のタイトルをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル**リストを希望の特性で順番に並べ替えます。

2. **患者ファイル**リストで希望の特性の列のタイトルをもう一度クリックします。

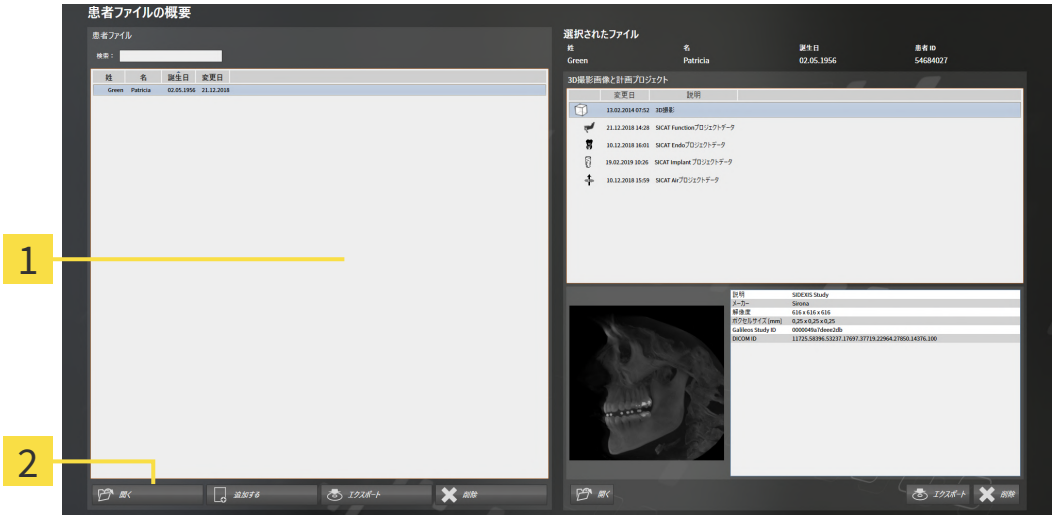
   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル**リストを希望の特性で逆の順序に並べ替えます。

通常、患者ファイルは変更日の降順に並べ替えられています。

23.3 患者ファイルをアクティブにする

患者ファイルを使用して作業するために、これを次のようにアクティブにします。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
2. 選択した患者ファイルをアクティブにするボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイルをアクティブにします。

以降の操作は、*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*の節に沿って、行ってください。

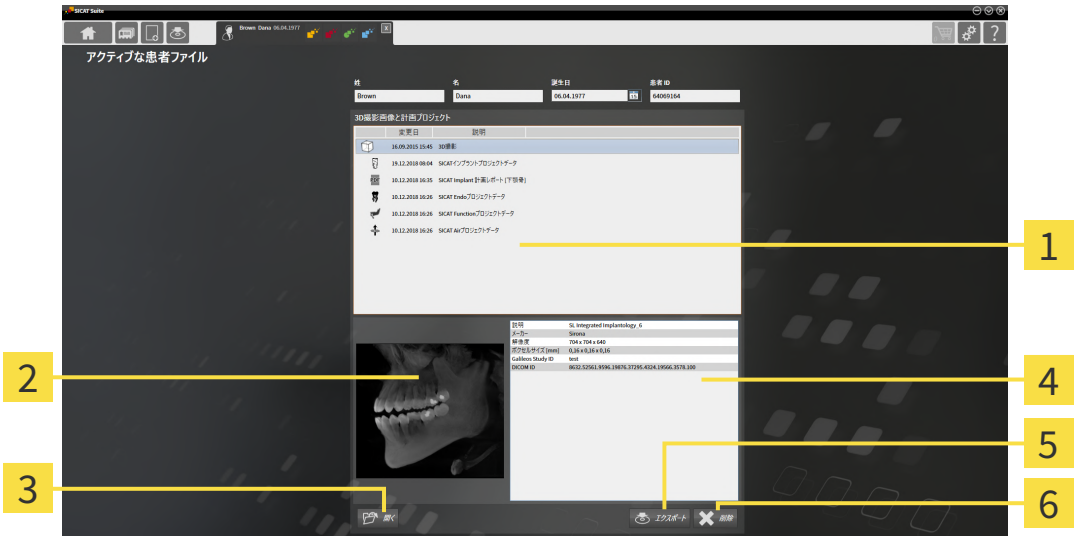
23.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業

⚠ 注意	**削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。** 患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意	**3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。** 3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

開いた患者ファイルで作業するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は*患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 91 - Standalone]*を参照してください。



1 **3D撮影図と計画プロジェクト**のリスト

2 **概要**エリア

3 **開く**のボタン

4 **詳細**エリア

5 **エクスポート**のボタン

6 **削除**のボタン

1. **アクティブな患者ファイル**ウィンドウで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトを選択します。
   - ▶ **概要**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトのプレビューが表示されます。
   - ▶ **詳細**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトの詳細 (DICOM メタデータなど) が表示されます。

2. SICATアプリケーションの選択した3D X線撮影画像、または付属のSICATアプリケーションの選択した計画プロジェクトを開くには、**開く**のボタンをクリックします。

3. デフォルトのPDFビューアで選択したドキュメントを開くには、まず**開く**のボタンをクリックして、暗号化されていないバージョンを保存する必要があります。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

4. ドキュメントを保存するディレクトリを変更してください。

5. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

   ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

   ▶ SICAT Implantはドキュメントを PDFファイルで保存します。

   ▶ SICAT Implantはドキュメントをデフォルトの PDFビューアで開きます。

6. 選択したスタディをアクティブな患者ファイルからエクスポートするには、**エクスポート**のボタンをクリックします。これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*を参照してください。

7. 選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトをアクティブな患者ファイルから削除するには、**削除**のボタンをクリックします。これに関する情報は*患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 103 - Standalone]*を参照してください。

8. アクティブな患者ファイルの属性の変更手順は、*患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 94 - Standalone]*をご覧ください。

23.5 患者ファイルの特性を変更する

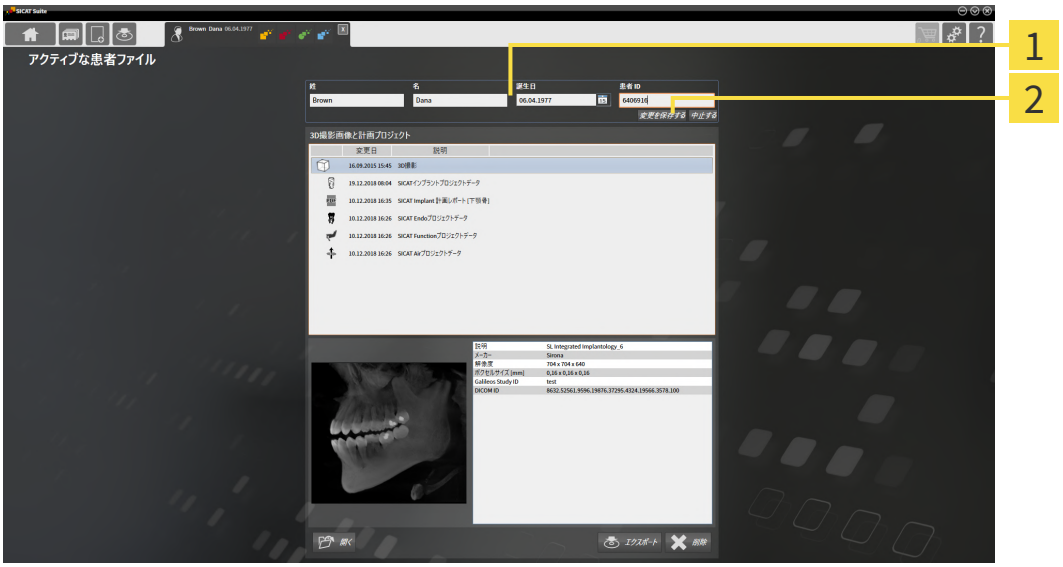
アクティブな患者ファイリング内にある各患者ファイルの特性の組み合わせは明確でなくてはなりません。

患者ファイルの以下の特性を変更することができます。

- **姓**
- **名**
- **誕生日**
- **患者 ID**

患者ファイルの特性を変更するには、次の手順で行います。

☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は*患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 91 - Standalone]*を参照してください。



1 特性欄

2 ボタン **変更を保存する**

1. **アクティブな患者ファイル**ウインドウで特性欄に希望の値を入力します。
2. **変更を保存する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが変更内容を保存します。

患者IDはDICOM IDと一致しません。任意の各IDを患者IDとして入力することができます（社会保険番号、施設の内部患者IDなど）。

23.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

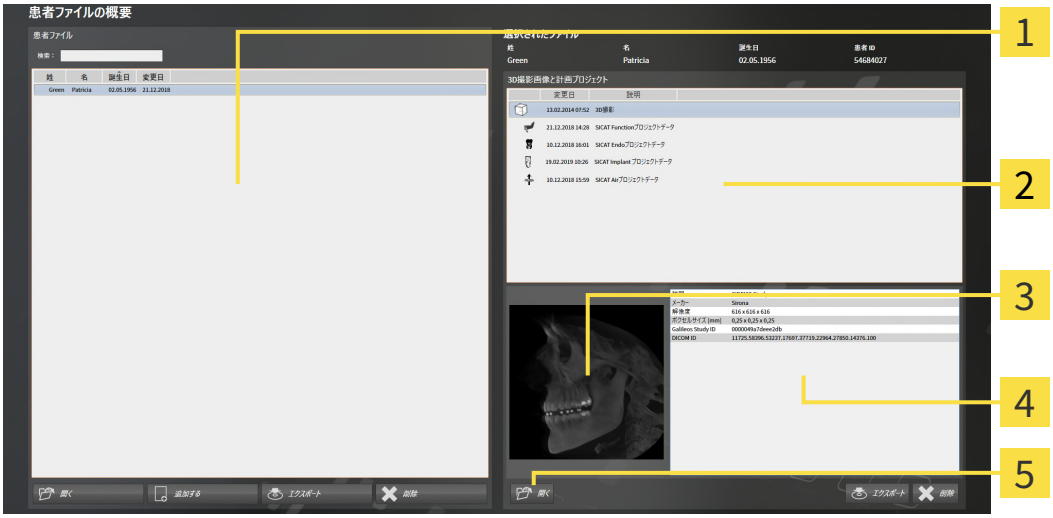
⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを**患者ファイルの概要**から開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*を参照してください。



1 **患者ファイル**のリスト

2 **3D撮影図と計画プロジェクト**のリスト

3 **概要**エリア

4 **詳細**エリア

5 **開く**のボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

   ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。

2. **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望するデータセットまたは希望するドキュメントを選択します。

   ▶ **概要**エリアと**詳細**エリアに、選択したデータセットまたはドキュメントに関する情報が表示されます。

3. **開く**のボタンをクリックします。

▶ データセットを選択すると、これはSICATアプリケーションで開かれます。

▶ ドキュメントを選択すると、Windowsファイルエクスプローラウィンドウが開き、そのドキュメントを任意のディレクトリに保存できます。その後、デフォルトのPDFビューアでドキュメントを開くことができます。

3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

23.7 SICAT SUITEでのSICAT IMPLANT検討

⚠ 注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

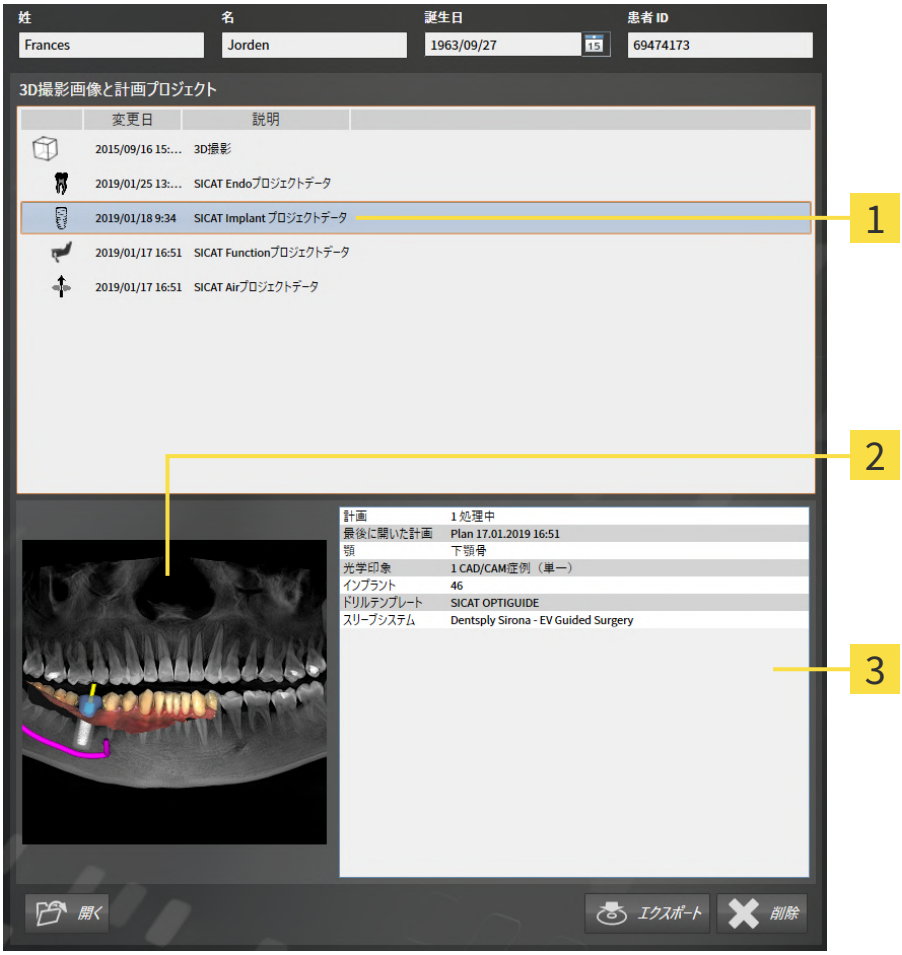
SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ 注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

3D撮影図と計画プロジェクトメニュー項目からSICAT Implantスタディを選択した場合、**患者ファイルの概要**はSICAT Implantスタディについての情報を表示します。

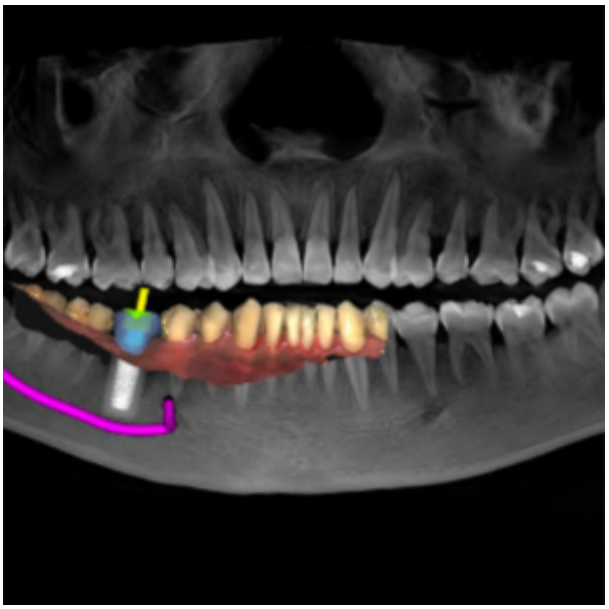


1 選択したSICAT Implantスタディ

2 **概要**エリア

3 **詳細**エリア

概要メニュー項目は**パノラマ**ビューを表示します。



詳細エリアに次の情報が表示されます。

- 計画数と状態
- 最後に開いた計画の情報
  - 氏名
  - 顎
  - インポートしたCAD/CAM事例数
  - 計画したインプラント歯の位置
  - 計画したドリルテンプレート
  - 計画したスリーブシステム

23.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する

アクティブな患者ファイルを閉じるために、それに含まれる計画プロジェクトを保存するには、次のように行います。

- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じ、計画プロジェクトで実行した変更内容を保存します。

23.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除

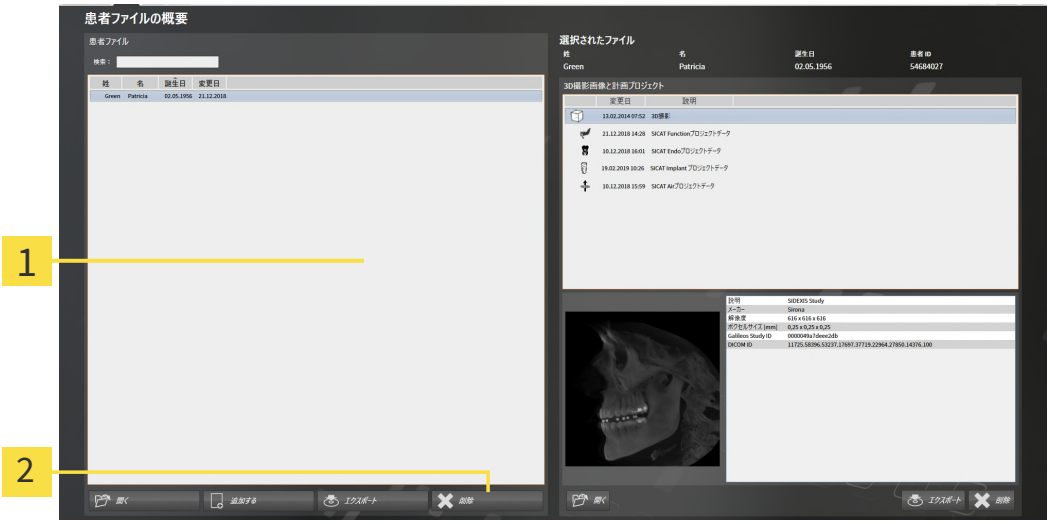
注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルおよびそれに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*の節をご覧ください。



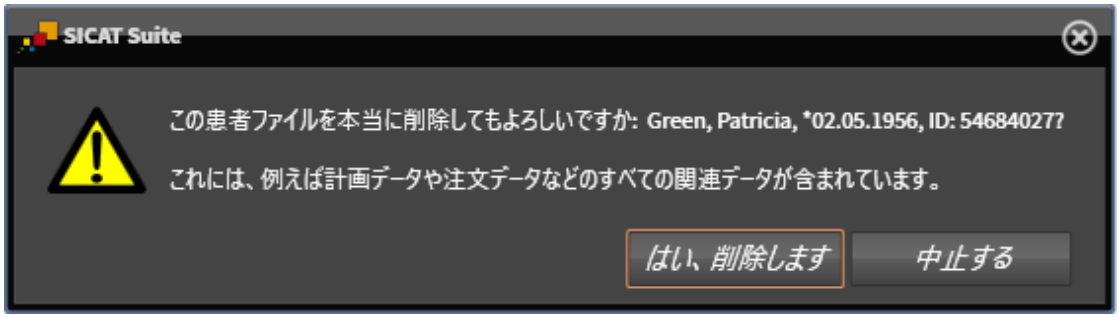
1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルを削除するボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

2. 選択した患者ファイルを削除するボタンをクリックします。

   ▶ 確認メッセージが開きます。



3. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します** をクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイル、それに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトをアクティブな患者ファイリングから削除し、 **患者ファイル**のリストから除去します。

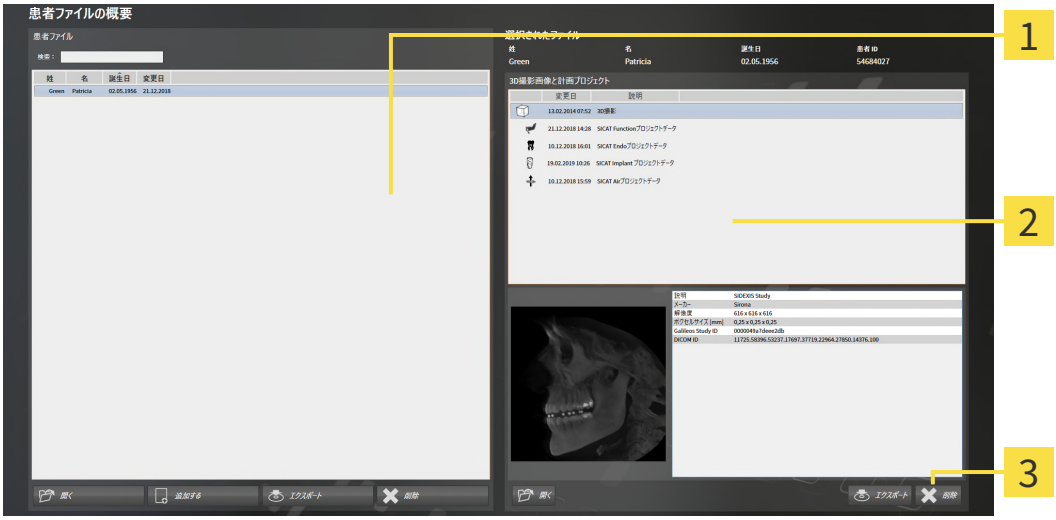
23.10 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除

> ⚠ **注意**
>
> **削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。**
>
> 患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

> ⚠ **注意**
>
> **3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。**
>
> 3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

3D X線撮影画像および計画プロジェクトを患者ファイルから削除するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 88 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 のリスト **3D撮影図と計画プロジェクト**

3 ボタン **削除**

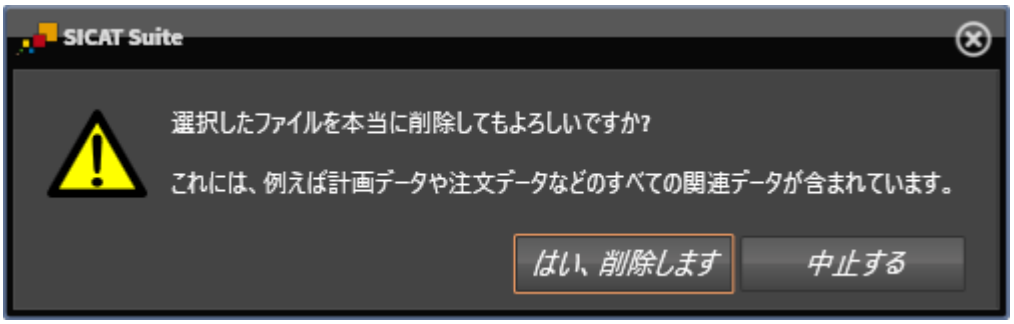
1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

   ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像と計画プロジェクトが表示されます。

2. **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。

3. **削除** のボタンをクリックします。

   ▶ 確認メッセージが開きます。



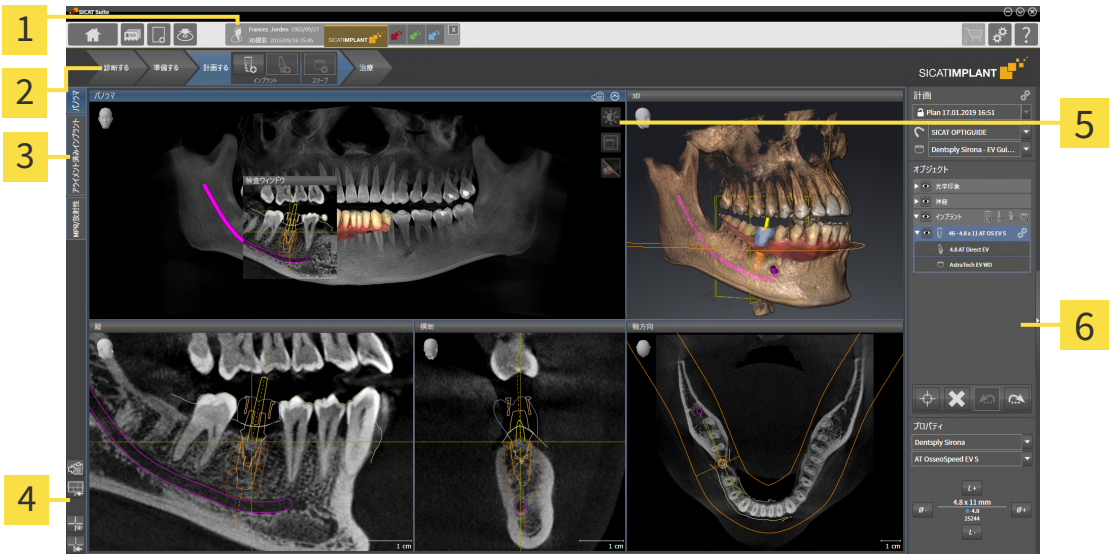
4. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します** をクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルおよび **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから削除します。

> 3D X線撮影画像または計画プロジェクトを **アクティブな患者ファイル**ウインドウで患者ファイルから削除することもできます。この表示に関する内容は、*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*の節をご覧ください。

24 SICAT IMPLANTのユーザーインターフェース

SICAT Implantのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 3D X線撮影画像とSICATアプリケーションの選択用ボタンについての情報が記載された開いた患者ファイル

2 **ワークフローのツールバー**

3 ワークスペースの切替用ボタン

4 **ワークスペースのツールバー**

5 **画像のツールバー**

6 **オブジェクトバー**

- **ワークフローのツールバー** は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。ワークフローステップに関する内容は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 107 - Standalone]*の節をご覧ください。
- **ワークスペースエリア** は**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Implantで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は*ワークスペース [▶ページ 119 - Standalone]*を参照してください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。患者との練習に関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]*と*3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*を参照してください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のオブジェクトを管理するための各種ツールが用意されています。患者との練習に関する情報は*オブジェクトバー [▶ページ 110 - Standalone]*と*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 136 - Standalone]*、*ビューをリセットする [▶ページ 144 - Standalone]*、*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 125 - Standalone]*および*ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 126 - Standalone]*を参照してください。

24.1 ワークフローのツールバー

SICAT Implantでは、**ワークフローのツールバー**は4つのワークフローステップで構成されています。

1. **診断する**
2. **準備する**
3. **計画する**
4. **治療**

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. 「診断」ワークフローステップ

ワークフロー・ステップ**診断する**では、以下のツールを使用できます。

- **グレースケール値を調整する** - これに関する情報は*グレースケール値を調整する [▶ページ 171 - Standalone]*を参照してください。このツールが使用でき、また、必要になるのは、シロナ社製以外の機器で表示するボリュームに限ります。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します** - これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 175 - Standalone]*と*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 180 - Standalone]*を参照してください。

- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は*距離測定を追加する [▶ページ 185 - Standalone]*を参照してください。

- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は*角度測定を追加する [▶ページ 186 - Standalone]*を参照してください。

2. 「準備」ワークフローステップ

ワークフロー・ステップ**準備する**では、以下のツールを使用できます。

- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。

- **下顎神経のマーキング** - これに関する情報は*下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 206 - Standalone]*を参照してください

3. 「計画」ワークフローステップ

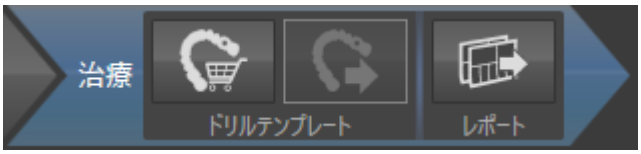
ワークフロー・ステップ**計画する**では、以下のツールを使用できます。

- **インプラントの追加** - これに関する情報は*インプラントの追加 [▶ページ 213 - Standalone]*を参照してください。

- **アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は*アバットメントの追加 [▶ページ 228 - Standalone]*を参照してください

- **スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は*スリーブの追加 [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください

4. 「治療」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ**治療**では、以下のツールを使用できます。

- **SICATドリルテンプレートを注文する** - これに関する情報は*SICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ページ 245 - Standalone]*を参照してください。

- **CEREC Guide用にエクスポート** - これに関する情報は*CEREC Guide用にエクスポート [▶ページ 258 - Standalone]*を参照してください。

- **計画レポートの作成** - これに関する情報は*計画レポートの作成 [▶ページ 264 - Standalone]*を参照してください。

24.2 オブジェクトバー

1	**計画**エリア	4	**オブジェクトツールバー**
2	**オブジェクトブラウザ**	5	**プロパティ**エリア
3	**オブジェクトバーを非表示にする**のボタンまたは**オブジェクトバーを表示する**のボタン		

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- SICAT Implantは計画内の診断オブジェクトと計画オブジェクトを管理します。**計画**エリアでは、現在開いている計画のドリルテンプレートとスリーブシステムを変更するだけでなく、計画を変更して管理することができます。これに関する情報は*計画の切替えと管理 [▶ページ 112 - Standalone]*および*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 238 - Standalone]*を参照してください。

- **オブジェクトブラウザ**は、診断や治療計画の対象 (オブジェクト) として、現在開いている計画に追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにす

る、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。
- **プロパティ**エリアでは、アクティブなオブジェクトの最も重要なプロパティを表示したり、特定のオブジェクト用にそれらを変更したりできます。

オブジェクトバーの視点を**オブジェクトバー**の右側の2つのボタンで変更することができます。**オブジェクトバーを非表示にする**および**オブジェクトバーを表示する**

SICAT Implantで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*をご覧ください。

24.3 計画の切替えと管理

治療計画は診断オブジェクトと計画オブジェクトを含む計画に常に基づいています。現在開いている計画は**計画**エリアに表示されます。

1 開いた計画の状態と名前

2 **計画の管理**アイコン

3 **計画の切替え**ボタン

計画の切替え

☑ スタディには2つかそれ以上の計画があります。

1. **計画切替え**ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが計画リストを表示します。
2. 開きたい計画をクリックします。

▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。

▶ SICAT Implantは所望の計画を開きます。

計画の管理

計画の管理アイコンをクリックすると**計画の管理**ウィンドウを呼び出せます。詳細は*計画の管理 [▶ページ 156 - Standalone]*を参照してください。

> **ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更**
> ドリルテンプレート及びスリーブシステムの変更についての情報は*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 238 - Standalone]*をご参照ください。

24.4 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。

1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックします。

   ▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。

2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。

▶ SICAT Implant は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。

▶ SICAT Implant は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。

▶ SICAT Implant は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。

> オブジェクトをクリックすることによって、ビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。

1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一部表示**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。

▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコンが表示されます。

2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**非表示**アイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。

▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示されます。

セキュリティエリア、チャンネル、アバットメント、およびスリーブの非表示および表示については、以下を参照してください。

- *安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 224 - Standalone]*
- *孔の非表示/表示 [▶ページ 225 - Standalone]*
- *アバットメントの非表示/表示 [▶ページ 233 - Standalone]*
- *スリーブの非表示/表示 [▶ページ 243 - Standalone]*

24.5 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*の節をご覧ください。

☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。

- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Implantには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。

オブジェクトブラウザをダブルクリックして、オブジェクトに焦点を合わせることもできます。ビュー内で特定のオブジェクトをダブルクリックしても、それらに焦点を合わせることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**のアイコンをクリックします。
   ► SICAT Implantは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。

2. **オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**のアイコンをクリックします。

► SICAT Implantは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。

SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

24.6 SICAT IMPLANTオブジェクト

オブジェクトブラウザではSICAT Implantが以下のようにアプリケーション固有オブジェクトグループとオブジェクトをグループ化しています。

- 修復を伴う光学印象
- 神経
- アバットメントとスリーブ付きインプラント

オブジェクトグループ「光学印象」

SICAT Implantでは複数のCAD/CAM事例をインポートできます。インポートした各CAD/CAM事例ごとにSICAT Implantはオブジェクトグループ**光学印象**内の**オブジェクトブラウザ**に対応する歯の位置とともに下位オブジェクトグループ **CAD/CAM症例**を表示します。オブジェクトグループ**CAD/CAM症例**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- **光学印象 上顎骨**
- **光学印象 下顎骨**
- 対応する歯の位置とともに1つまたは複数の **修復**オブジェクト

アクティブなCAD/CAM事例に対して SICAT Implant は**プロパティ**エリアにインポート日及びフォーマットを表示します。アクティブな光学印象に関しては **プロパティ**エリアに撮影日と撮影システムが表示されます。

CAD/CAM事例オブジェクトを1つ削除するとSICAT Implantが対応するCAD/CAM事例を削除します。CAD/CAM事例を削除すると復元できなくなります。

「神経」オブジェクトグループ

下顎神経をマークすると、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**神経**を表示します。オブジェクトグループ**神経**は以下のオブジェクトを含むことができます。

- **左下顎神経**
- **右下顎神経**

神経にフォーカスすると前回にアクティブだった神経上のポイントに焦点が行きます。

> 神経が表示されていないと、神経の計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするには神経を再び表示してください。

「インプラント」オブジェクトグループ

計画したインプラントごとに、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**インプラント**にある下位オブジェクトグループ**インプラント**を歯の位置、インプラント直径(mm)、インプラントの長さ(mm)、インプラントシリーズとともに表示します。オブジェクトグループ**インプラント**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- 角度付きアバットメント用角度（°）ありのアバットメント、プラットフォーム、アバットメントシリーズ
- スリーブ

インプラント及びアバットメントにフォーカスするとインプラントの咬合点に焦点が合います。スリーブにフォーカスするとスリーブの中心に焦点が合います。

> インプラントが表示されていないときは、インプラントやアバットメント、スリーブの計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするにはインプラントを再び表示してください。

25 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

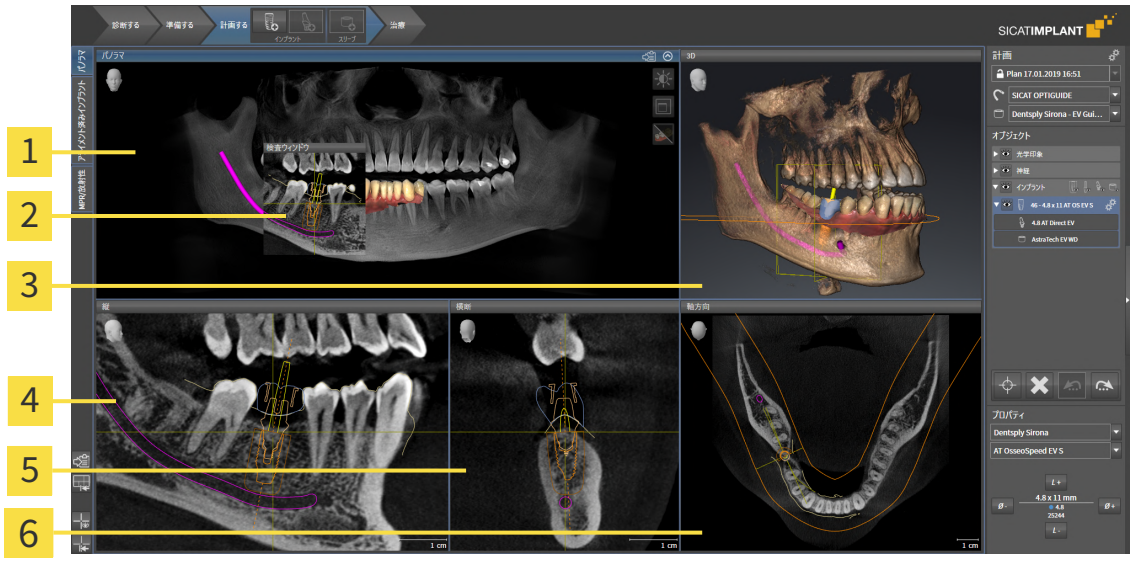
SICAT Implantでは、異なる3種類のワークスペースが用意されています。

- **パノラマ**ワークスペースに関する情報は*パノラマワークスペースの概要 [▶ページ 120 - Standalone]*を参照してください。
- **アライメント済みインプラント**ワークスペースに関する情報は*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 122 - Standalone]*を参照してください
- **MPR/放射性**ワークスペースに関する情報は*MPR/放射性ワークスペースの概要 [▶ページ 123 - Standalone]*を参照してください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- *ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*。
- *アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 125 - Standalone]*。
- *ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]*。
- **3D**ビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は*ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 126 - Standalone]*を参照してください。

25.1 パノラマワークスペースの概要



1 **パノラマ**-ビュー

2 **検査ウィンドウ**

3 **3D**-ビュー

4 **縦**-ビュー

5 **横断**-ビュー

6 **軸方向**-ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する [▶ページ 180 - Standalone]*の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、**パノラマ**ビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、**パノラマ**ビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 137 - Standalone]*を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

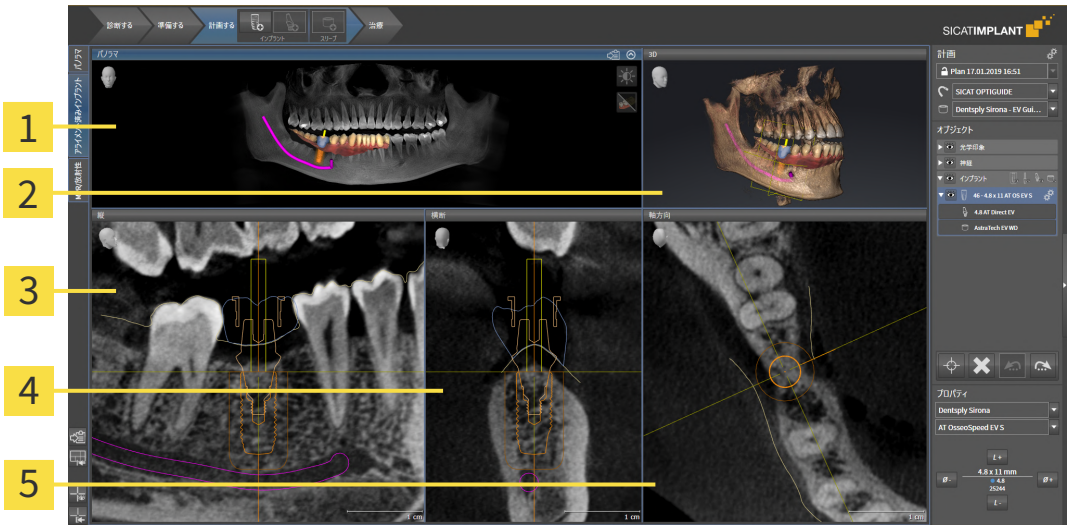
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 281 - Standalone]*の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、*ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*をご参照ください。

25.2 インプラントアライン済みワークスペースの概要



1 パノラマビュー

2 3Dビュー

3 縦ビュー

4 横断ビュー

5 軸方向ビュー

ワークスペース**アライメント済みインプラント**ではインプラントを正確に位置決めし、アラインメントを調節し、計画を最終的に確認します。詳細は*インプラントの移動とアライン [▶ページ 217 - Standalone]*を参照してください。

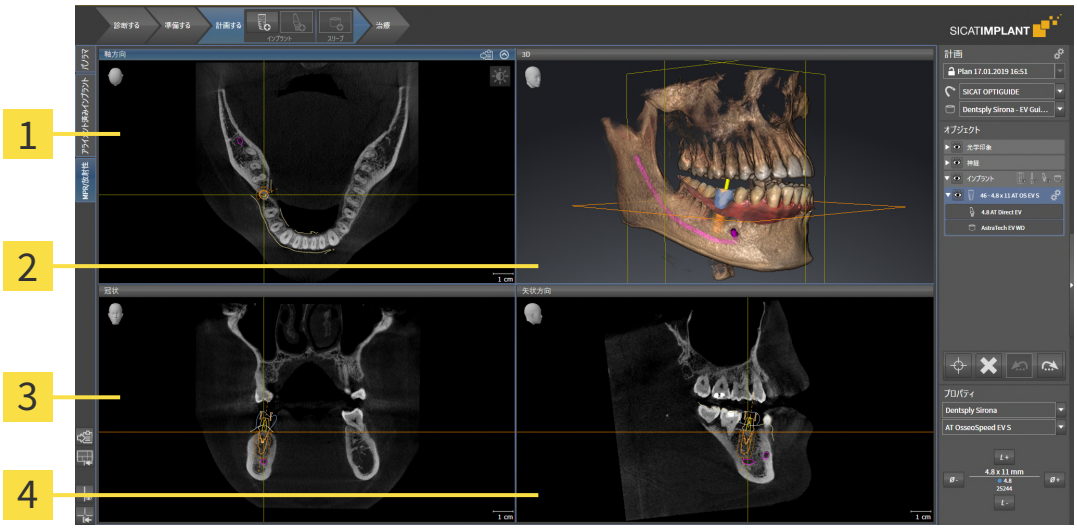
ワークスペース**アライメント済みインプラント**にはワークスペース **パノラマ**と同じビューが表示されます。しかしレイヤービューは常にアクティブなインプラントにアラインされています。アクティブなインプラントの位置や向きを変更したりアクティブなインプラントを入れ替えるやいなや、SICAT Implantがレイヤービューを3つの寸法全てにおいて常に最適なインプラント断面を視野に把握できるように適切に調整します。

さらに、ワークスペース**アライメント済みインプラント**では、**縦**ビューと**横断**をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画をどの向きからも最適に判断し、必要な場合には調整できます。詳細は*ビューをアクティブなインプラントの回りに回す [▶ページ 141 - Standalone]*を参照してください。

ビューの機能については*ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]*と*3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*をご覧ください。

> ボリュームの配置とパノラマカーブを精確に調整してあればあるほど、インプラントの計画をワークスペース **アライメント済みインプラント**で容易にできるようになります。詳細は*ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する [▶ページ 173 - Standalone]*を参照してください。

25.3 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 **軸方向**- ビュー

2 **3D**- ビュー

3 **冠状**- ビュー

4 **矢状方向**- ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 281 - Standalone]*の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの**矢状方向**ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。**矢状方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 281 - Standalone]*の節をご覧ください。

ビューの機能については以下をご覧ください。 *ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]* および *3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*。

25.4 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。

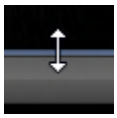
▶ 選択したワークスペースが開きます。

25.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
   ▶ マウスポインターの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
   ▶ 境界線の位置が変わります。
   ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー** で、 **アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

25.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

26 ビュー

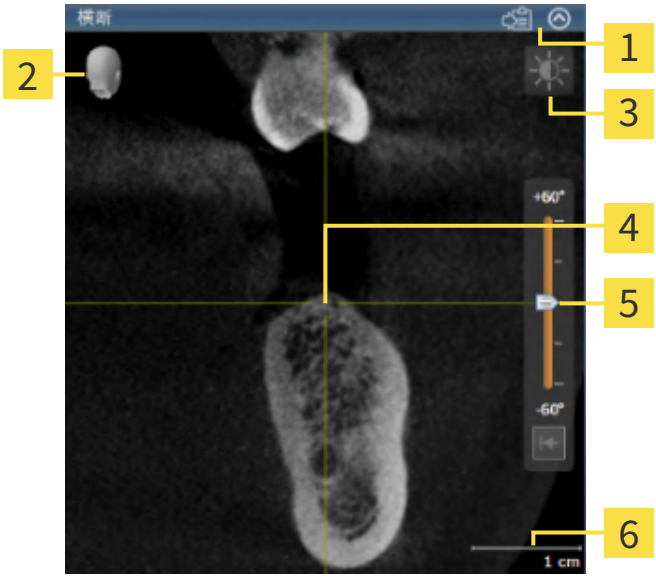
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 *ワークスペース [▶ページ 119 - Standalone].*

ビューを調整することができます。これに関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 128 - Standalone]* と *3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*を参照してください。

26.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、*アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 130 - Standalone]*の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



1	タイトルバー	4	十字線
2	オリエンテーションヘッド	5	傾きを調整するためのスライダー
3	画像のツールバー	6	尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Implantは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*
- *ビューの最大化および復元 [▶ページ 131 - Standalone]*
- *2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*
- *ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ページ 134 - Standalone]*
- *レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 135 - Standalone]*
- *十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 136 - Standalone]*
- *検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 137 - Standalone]*
- *ビューの傾斜 [▶ページ 139 - Standalone]*
- *ビューの回転 [▶ページ 140 - Standalone]*
- *ビューをアクティブなインプラントの回りに回す [▶ページ 141 - Standalone]*
- *光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 143 - Standalone]*
- *ビューをリセットする [▶ページ 144 - Standalone]*

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 146 - Standalone]*を参照してください。

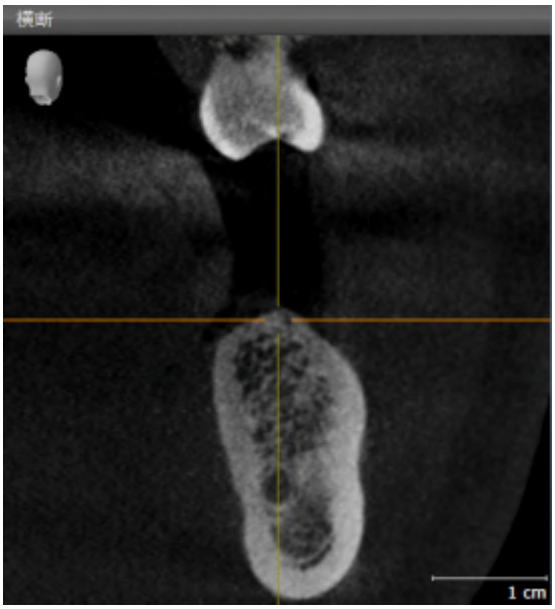
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は*画像のスクリーンショットを作成する [▶ページ 145 - Standalone]*を参照してください。

26.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

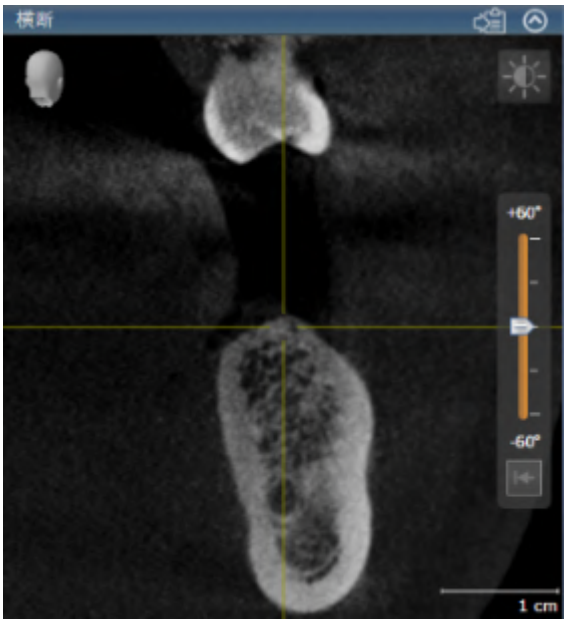
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Implantがビューを有効にします。



作業対象として選択したビューは、タイトルバーが青色になりますので、それとわかります。

26.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*。

☑ 希望のビューは最大化していません。

1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がビューを最大化します。

2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant では、ビューが元のサイズに戻ります。

ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

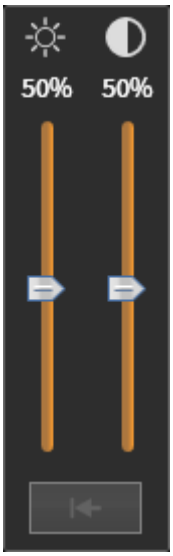
26.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

1. 2Dビューの**画像のツールバー**に**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Implant では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在の輝度を保持します。

5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Implant では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **輝度およびコントラストの調整** の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。

全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

26.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズーミングするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
   ▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。

▶ ビューがズームアウトします。

上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

26.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
   ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
   ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

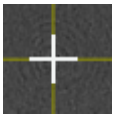
26.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
   ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、十字線が移動後の位置を維持します。

> 十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. **ワークスペースのツールバー** で、 **十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューででフレームが隠れます。

2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューでフレームが表示されます。

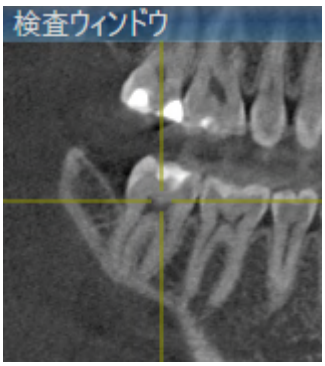
26.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、*アクティブなワークスペースの切り替え [▶ページ 124 - Standalone]*の節をご覧ください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さずに表示しておきます。



1. **パノラマ**ビューで、**検査ウィンドウ**のタイトルバーにマウスポインタを重ねます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ **検査ウィンドウ**は、マウスポインタの動きに追随します。
   ▶ SICAT Implantは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

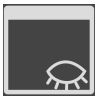
検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**パノラマ**ビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ SICAT Implantは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



2. **検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

3. **検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

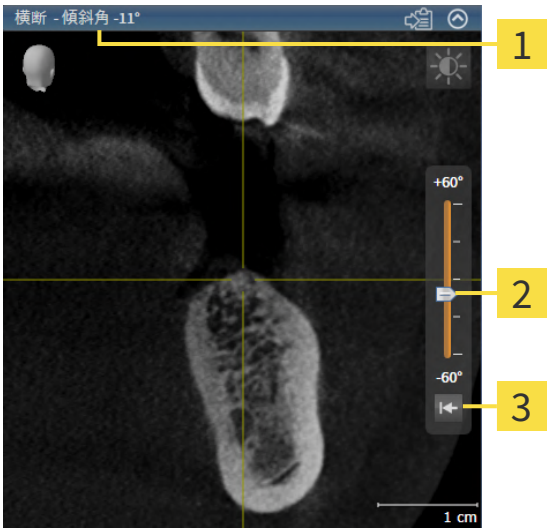
   ▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

4. **検査ウィンドウの最大化**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、検査ウィンドウを最大化します。

26.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで**縦**ビュー、および**横断**を傾けることができます。これにより、特定の解剖学的構造 (歯など) または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化することができます。



1 現在設定されている傾斜

2 傾きを調整するためのスライダー

3 **傾斜をリセットする**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

☑ **縦**ビュー、もしくは**横断**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

- 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**アップ**と**ダウン**することにより、傾斜を変更することもできます。

▶ SICAT Implantアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

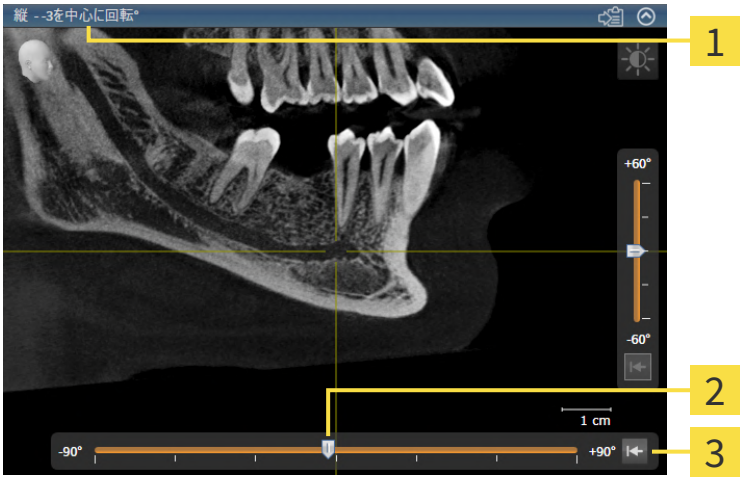
▶ SICAT Implantは**縦**もしくは**横断**ビュー内の十字線を更新します。

▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを傾けます。

傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻すことができます。

26.10 ビューの回転

ワークスペース**パノラマ**で**縦** ビューを回せます。例として下顎神経のマーキングのために、下顎神経の上昇幹が一つのレイヤーに見えるようにビューを回すことができます。



1 現在設定されている回転

2 起点調整スライダー

3 **回転のリセット**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

☑ **縦**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

- 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**右**と**左**に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implantはアクティブビューを回し、現在設定されている回転をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implantはクロスヘアの対応する線をビュー **横断**と**軸方向**で回転します。

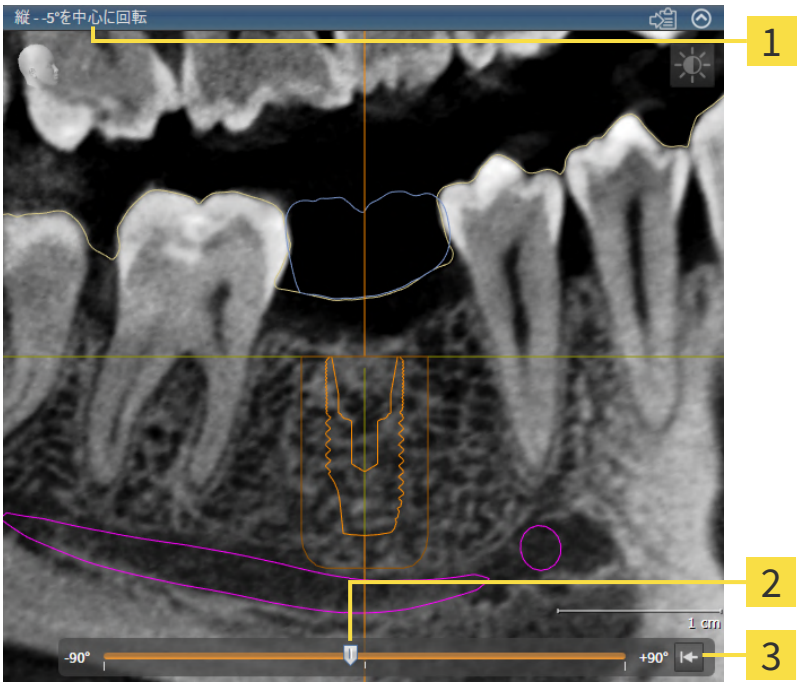
▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを回します。

ℹ	回転はクロスヘアの現在位置の回りに実行されます。ビューを他の位置に回すには、まずその位置にフォーカスします。

ℹ	**回転のリセット**のボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

26.11 ビューをアクティブなインプラントの回りに回す

ワークスペース**アライメント済みインプラント**ではビュー **縦**と**横断** をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画を全方位から最適に見極めて、必要な場合には調整することができます。



1 現在設定されている回転

2 起点調整スライダー

3 **回転のリセット**のボタン

☑ **アライメント済みインプラント**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 124 - Standalone]*を参照してください。

1. **オブジェクト**からまたは表示でインプラントをクリックし表示を変更したいインプラメントを有効にします。

2. ビューアクティブなインプラントを回転させたい**縦** ビューまたは**横断**ビューを有効にします。

3. 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**右**と**左**に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implant は**縦**と**横断**ビューを同時に回し、現在設定されている回転を両方のビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implant は十字線を**軸方向**ビュー の中で回転します。

▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを回します。

回転のリセットのボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

26.12 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラーが有効になっている場合は、**パノラマ**および**3D**ビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

☑ **パノラマ**ビュー、もしくは**3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオフにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。

2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。

光学印象のカラー表示を**3D**ビューで切り替えるとき、表示は同時に**パノラマ**ビューでも切り替わります。これは逆にも当てはまります。

26.13 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー**で、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantでは、すべてのビューで、ズーミング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。

▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

▶ SICAT Implantはビューの傾きと回転を0°にリセットします。

26.14 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl＋C）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

27 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、*3Dビューで視線方向を変更する [▶ページ 147 - Standalone]*の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- *3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 149 - Standalone]*
- *3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 150 - Standalone]*
- *3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 152 - Standalone]*
- *クリッピング領域の固定 [▶ページ 154 - Standalone]*

さらに、音量を自動的に回転させることもできます。これに関する情報は*ボリュームの自動回転 [▶ページ 155 - Standalone]*を参照してください。

27.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを3Dビューに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
   ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantでは、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 3Dビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
   ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。

   ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

▶ **3D**ビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。

3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

27.2 3Dビューの表示タイプを切り替える

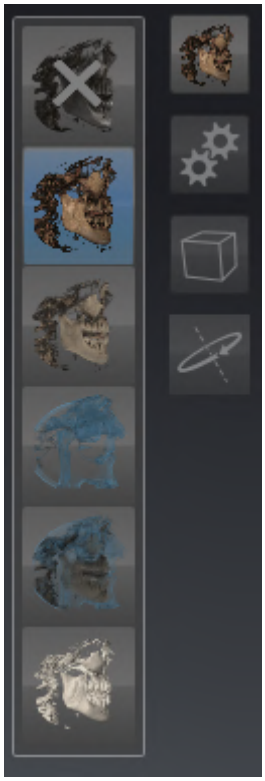
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え* *[▶ページ 130 - Standalone]*。

1. 3Dビューの**画像のツールバー**で、 **表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える** の透明なウィンドウが閉じます。

27.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する

アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 149 - Standalone]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**アクティブな表示モードを設定する**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが開きます。

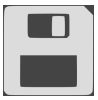
2. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが閉じます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

27.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューでボリュームの一部を一時的にトリミングして、残りの部分を良く調べたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価したりできます (「クリッピング」) 。

各ワークスペースの2Dスライスビューおよび/またはフォーカスポイント周辺のエリアに沿ってボリュームをトリミングできます。クリッピングエリアは通常他のビューと同期しています。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 154 - Standalone]*を参照してください。

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**切り抜きモードを切り替える**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

視線方向でクリッピングエリアを調整する
各ワークスペースの2Dレイヤービューに沿ってボリュームをトリミングする場合は、**3D**ビューで視線方向を変更することで行うことができ、両方のボリューム部分のうちの1つがトリミングされます。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 154 - Standalone]*を参照してください。

顎を解除する
顎を解除するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **現在の軸方向レイヤーでクリッピング**切り抜きモードを選択してください。

2. 咬合方向から目的の顎を見られるように**3D**ビューで視線方向を変更します。
3. 咬合平面に達するまで軸方向のビューをスクロールします。
4. 現在設定されているクリッピングエリアを修正します。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 154 - Standalone]*を参照してください。

27.5 クリッピング領域の固定

3Dビューで現在設定されているクリッピング領域を固定するには次の手順で行います。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

☑ ボリュームの一部が一時的に切り抜かれる切り抜きモードが選択されています。これに関する情報は*3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 152 - Standalone]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域を固定します。

2. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域の固定を解除します。

> 他の切り抜きモードを選択するとクリッピング領域の固定が自動的に解除されます。

27.6 ボリュームの自動回転

ボリュームを全ワークスペースの**3D**ビュー内で自動回転させるには次の手順で行います。

☑ 開いたワークスペースの**3D**ビューはすでにアクティブです。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

1. **自動回転**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantはボリュームを主軸の回りに自動回転させ始めます。

2. 自動回転を終了するには **自動回転**ボタンまたは**3D**ビューの任意の個所を再度クリックします。

28 計画の管理

一人の患者について複数の代替治療計画をスタディ一件で作成できます。これらの計画の間で迅速に切り替えて計画を相互に比較し、最終的計画を手術のために指定できます。さらに、SICAT Implant はSICAT ドリルテンプレーの発注やCEREC ガイドへのエクスポート、計画のエクスポート時には開いた計画のコピーを「完了」状態で保存します。「完了」状態ではそれ以上変更できなくなります。

治療計画のどの時点でも一つの計画が常に開いています。一件のスタディを最初に開くと日付と時刻表記付きで一つの計画が名前に作成されます。全計画機能は開いた計画に関しています。例えば距離測定を追加すると、測定が開いているプランに追加されます。後に再度開きたいまたはすでにインポートした計画は計画を閉じたまたはエクスポートした時と同じ状態になっています。

計画管理は次のアクションを含みます。

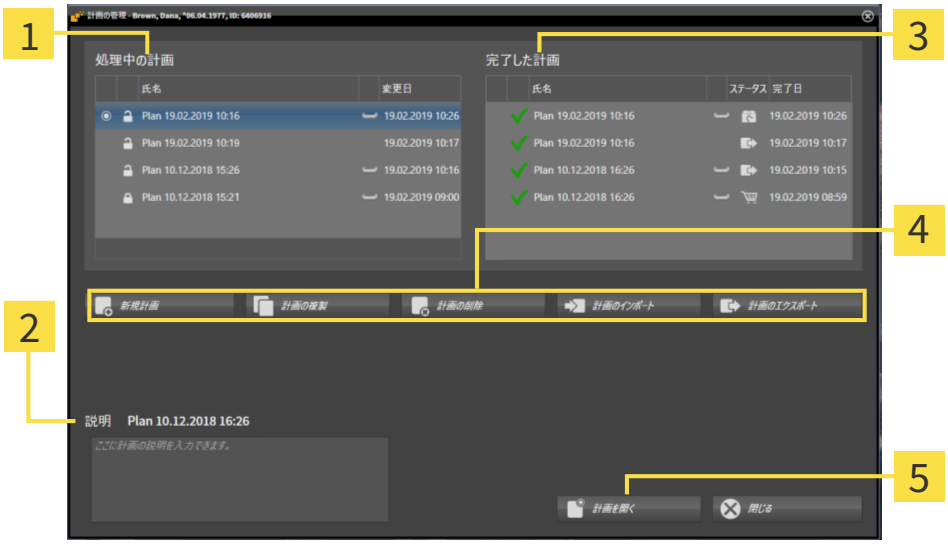
- *計画切替え [▶ページ 112 - Standalone]及び計画を開く [▶ページ 158 - Standalone]*
- *計画のブロック/ブロック解除 [▶ページ 159 - Standalone]*
- *計画名の変更 [▶ページ 160 - Standalone]*
- *計画説明の追加と変更 [▶ページ 161 - Standalone]*
- *新規計画の作成 [▶ページ 162 - Standalone]*
- *計画の複製 [▶ページ 163 - Standalone]*
- *計画の削除 [▶ページ 164 - Standalone]*
- *計画のエクスポート [▶ページ 165 - Standalone]とインポート [▶ページ 168 - Standalone]*

オブジェクトバーにある**計画**領域について詳しくは*計画の切替えと管理 [▶ページ 112 - Standalone]*をご覧ください。

「計画の管理」ウィンドウを呼び出す

- **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantに**計画の管理**ウィンドウが開きます。



1 **処理中の計画**エリア

2 計画の説明

3 **完了した計画**エリア

4 計画管理用ボタン

5 **計画を開く**のボタン

開いた計画は選択済みであり、アイコンが強調表示されます。上顎および下顎のアイコンが表示されここに両顎のインプラント計画が出ます。

計画は**処理中の計画**エリアで変更日別にソートされています。編集中の計画は「ブロック」または「ブロック解除」状態のどちらかです。

計画は**完了した計画**エリアで **完了日**日別にソートされています。完了した計画はアイコンでわかります。完了した 計画は次のうちいずれかの状態になります。

- 「カートにある」
- 「発注済」/「CEREC ガイド用にエクスポート済」
- 「エクスポート済」 (**計画のエクスポート**ボタンで)

28.1 計画を開く

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されています。

2. 開きたい計画をクリックします。

3. **計画を開く**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。

▶ SICAT Implant は所望の計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。

計画は計画をワークスペースで**計画**エリアに切り替えるだけですぐに開きます。これに関する情報は*計画の切替えと管理 [▶ページ 112 - Standalone]*を参照してください

28.2 計画のブロック/ブロック解除

計画をブロックし、計画を不慮の編集や削除から保護できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。

2. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Implantは計画をブロックします。
   ▶ アイコンがに変わります。

3. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Implantが計画をブロック解除します。
   ▶ アイコンがに変わります。

28.3 計画名の変更

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. **処理中の計画**エリアで名前を変更したい計画をクリックします。ブロック解除された計画のみ名前を変更できます。
3. 計画行で名前をクリックします。
   ▶ 計画名は編集可能です。
4. 名前を入力し、名前を確定します。名前が空であってはなりません。

▶ 名前欄を出るとSICAT Implantが変更後の名前を適用します。

28.4 計画説明の追加と変更

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。

2. 希望の計画をクリックします。ブロックされていない計画の説明のみ追加または変更できます。

3. **説明**欄をクリックし、説明を入力してください。

▶ 説明欄を終えるとSICAT Implantが説明を適用します。

28.5 新規計画の作成

診断オブジェクトまたは計画オブジェクトがいまだない新規計画を作成します。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。

2. **新規計画**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが新規計画を今日の日付を作成日として**処理中の計画**エリアに追加し、計画を選択します。

3. **新規計画を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が新規計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。

28.6 計画の複製

既存の計画を全診断オブジェクトまたは計画オブジェクトごと複製もできます。この機能では例えば完了した計画に基づいて変更を行うことができます。複製したい計画はブロック、ブロック解除、完了のいずれかの状態です。複製は常にブロックされていません。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。
2. 複製したい計画をクリックします。

3. **計画の複製**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が複製計画を**処理中の計画**エリアに追加し、選択します。複製計画は**完了した計画**エリアからも**処理中の計画**エリアに保存されます。

4. **複製を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が複製を開きます。

28.7 計画の削除

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されています。

2. 削除したい計画をクリックします。ブロックされているか完了した計画を削除することはできません。

3. **計画の削除** ボタンをクリックし、確認メッセージを確認してください。

▶ SICAT Implant が計画を削除します。スタディの前回計画を削除すると、SICAT Implant は自動的に新規計画を作成します。

28.8 計画のエクスポート

注意

不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

正しい計画をエクスポート用に選択するようにしてください。

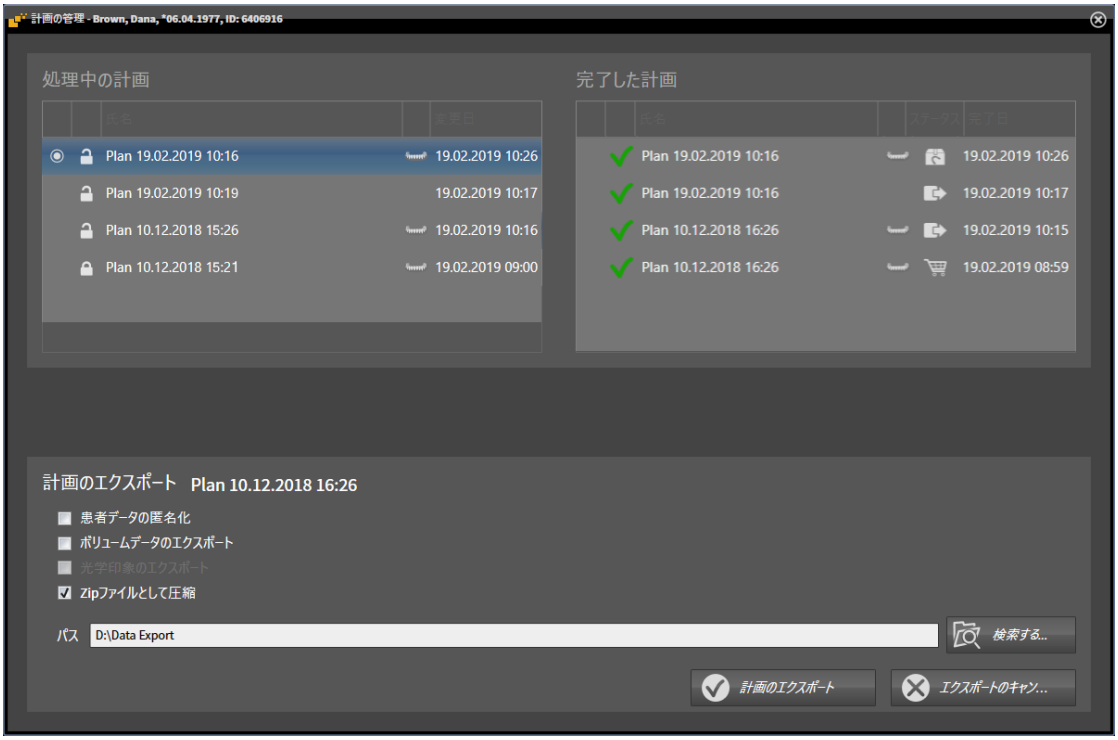
計画をエクスポートして例えば計画を転送し、セコンドオピニオンを取得するか訂正した計画をSICATサポートに送信します。この機能を使用できるのは同一3Dレントゲンデータが送信側にも受信側にもある場合のみです。

受信者のSICAT Suiteにまだ同じ3Dレントゲンデータがなければ、最初に送る側のSICAT Suiteでデータエクスポートを利用して3Dレントゲンデータをエクスポートしてください。これに関する詳細は*データエクスポート [▶ページ 269 - Standalone]*を参照してください。送り先のSICAT Suiteでデータインポートを利用する必要があります。

3Dレントゲンデータのデータエクスポートによりプランが自動的にエクスポートされます。このためデータエクスポートの利用時におけるプランの以下のエクスポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他のプランをSICAT Suiteと送り先のSICAT Suiteにある既存の同じ3Dレントゲンデータを基にエクスポートするとき使用できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. エクスポートしたい計画をクリックします。
3. **計画のエクスポート**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画管理**ウィンドウ下部にはエクスポートの設定を行う**計画のエクスポート**エリアが表示されます。



4. 必要な場合に以下のオプションの一つまたは複数を有効にします。
   – **患者データの匿名化**、患者データをエクスポート後のプランで匿名化する。
   – **ボリュームデータのエクスポート**、3Dレントゲンデータを計画とともにエクスポートする。
   – **光学印象のエクスポート**、計画の光学印象もともにエクスポートする。
   – **Zipファイルとして圧縮**、エクスポートデータをサイズの小さいファイルに圧縮する。

5. **パス**欄に計画のエクスポート先ディレクトリを指定します。これは **検索する** ボタンをクリックしてディレクトリを選んでもできます。

6. **計画のエクスポート**をクリックします。

▶ SICAT Implant はボリュームデータをエクスポートしない場合はエクスポートした計画をSIMPPファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。

▶ SICAT Implant はボリュームデータをエクスポートする場合は、エクスポートした計画をSIMPDファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。

▶ オプション**Zipファイルとして圧縮** にチェックが入っているときはSICAT Implant は選択されたデータをZIPファイルに圧縮して保存します。

▶ SICAT Implant はエクスポートのために選択した元の計画のコピーを**完了した計画**エリアのステータス「エクスポート済み」に作成しません。

▶ SICAT Implantはエクスポート後にメッセージを表示します。

ボリュームデータのエクスポートオプションを有効にし、これで計画を3Dレントゲンデータと共にSIMPDファイルにエクスポートする場合、この方法でエクスポートした3Dレントゲンデータを計画のインポート機能によって受信者のSICAT Suiteにインポートすることは技術的にできなくなります。しかし受信者は計画を3Dレントゲンデータとともにインポートするためにに SICAT Suiteのデータインポートを利用することはできます。

エクスポート用にコピーされており、**完了した計画**エリアに保存されている計画を複製できます。エクスポートした計画に基づいて処置を後のために再計画できます。

28.9 計画のインポート

SICAT Implant で以前にエクスポートした計画をインポートすることができます。SICAT Implant は全光学印象をまだ手元のシステムにはないインポートする計画にインポートします。

> この機能によりインポート対象計画のSIMPDファイルにある3Dレントゲンデータをインポートすることはできません。
>
> インポート対象計画の3Dレントゲンデータも含めてインポートする場合、データインポートをご利用ください。詳細は*データインポート [▶ページ 76 - Standalone]*を参照してください。
>
> データインポートでは計画もインポートされます。このためデータインポートの利用時における計画の以下のインポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他のプランをSICAT Suiteと送り先のSICAT Suiteにある既存の同じ3Dレントゲンデータを基にインポートするとき使用できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。

2. **計画のインポート**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT ImplantはWindowsファイルエクスプローラーウィンドウを開きます。

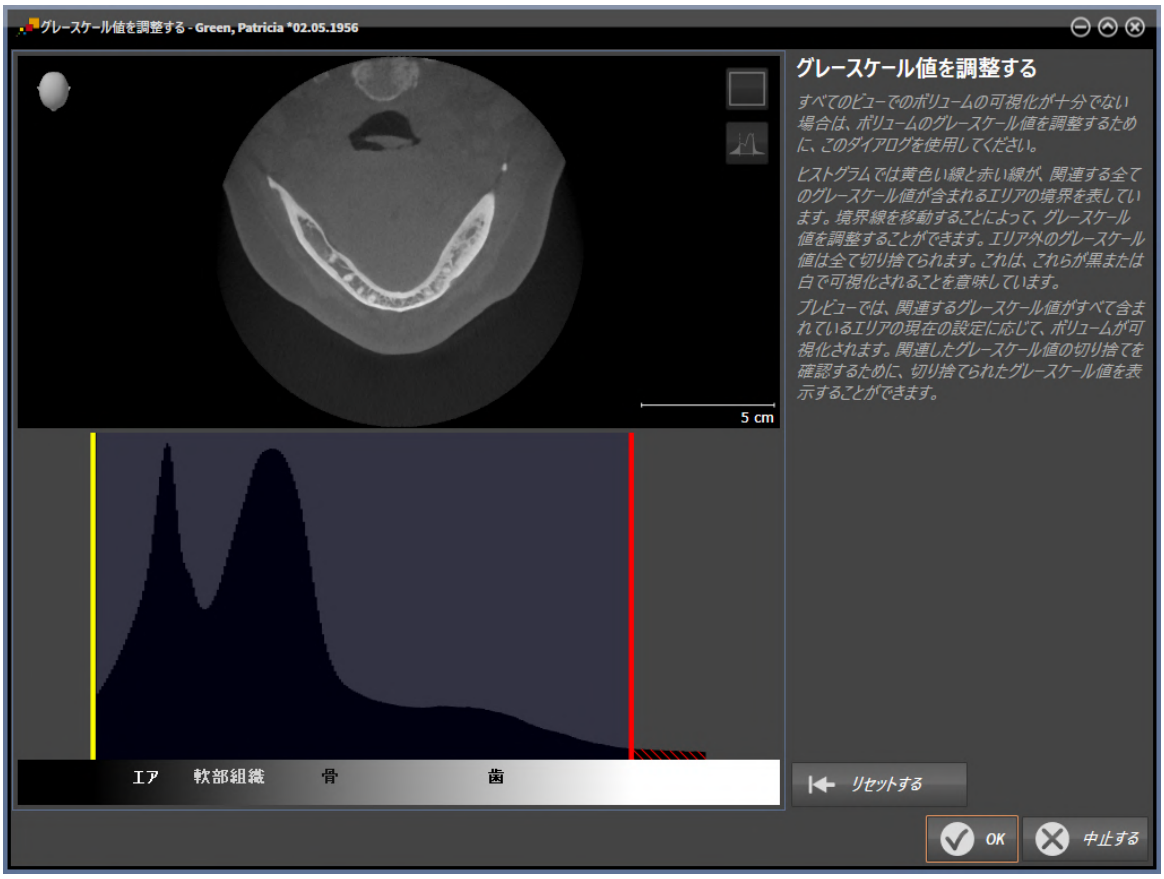
3. インポートするSIMPPファイルまたはZIPファイルのあるディレクトリに切替え、ファイルを選択したら、 **開く**をクリックします。
   ▶ インポートした計画は**処理中の計画**エリアに追加されます。同名の計画がすでにあればインポートした計画には(2)等の括弧入り数字が付記されます。
   ▶ SICAT Implant が計画をインポートできなければ、SICAT Implant はエラーメッセージを追加情報とともに表示します。

4. **インポートした計画を開く。計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはインポートした計画を開きます。

29 グレースケール値

> グレースケール値を他社製3D X線機器によって作成されたボリューム用としてのみ調整することができます。

ボリュームの表示が不十分な場合、ボリュームのグレースケール値を**グレースケール値を調整する**ウインドウで調整することができます。



グレースケール値を調整するウインドウは二つの部分で構成されています。

- 上側は**軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビューを示しています。
- 下側は、グレースケール値の度数分布を含むヒストラムを示しています。

ヒストグラムでは黄色い線と赤い線が、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの境界を表しています。境界を移動することによって、グレースケール値を調整することができます。SICAT Implant エリア外のグレースケール値を全て切り捨てます。これは、ソフトウェアがこれらを黒または白で表示することを意味しています。

SICAT Implant ボリュームを**軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビューで、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアに応じて表示します。SICAT Implantに関連するビュー情報が隠れていないことを確認するために、ソフトウェアは切り捨てたグレースケール値を表示することができます。

軸方向レイヤービューでは、レイヤーをスクロールし、これらを個別に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

冠状投影ビューでは、全てのレイヤーを一度に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

グレースケール値の調整は、全てのビューでボリュームの表示が不十分な場合にのみ行います。これに関する情報は*グレースケール値を調整する [▶ページ 171 - Standalone]*を参照してください。

例えば、特定の解剖学的組織をハイライト表示するときは、2Dビューの明るさやコントラストを調整して、一時的に変更することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*を参照してください。

その他、**3D**ビューの表示を調整することができます。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 149 - Standalone]*、*3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 150 - Standalone]*と*3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 152 - Standalone]*を参照してください。

29.1 グレースケール値を調整する

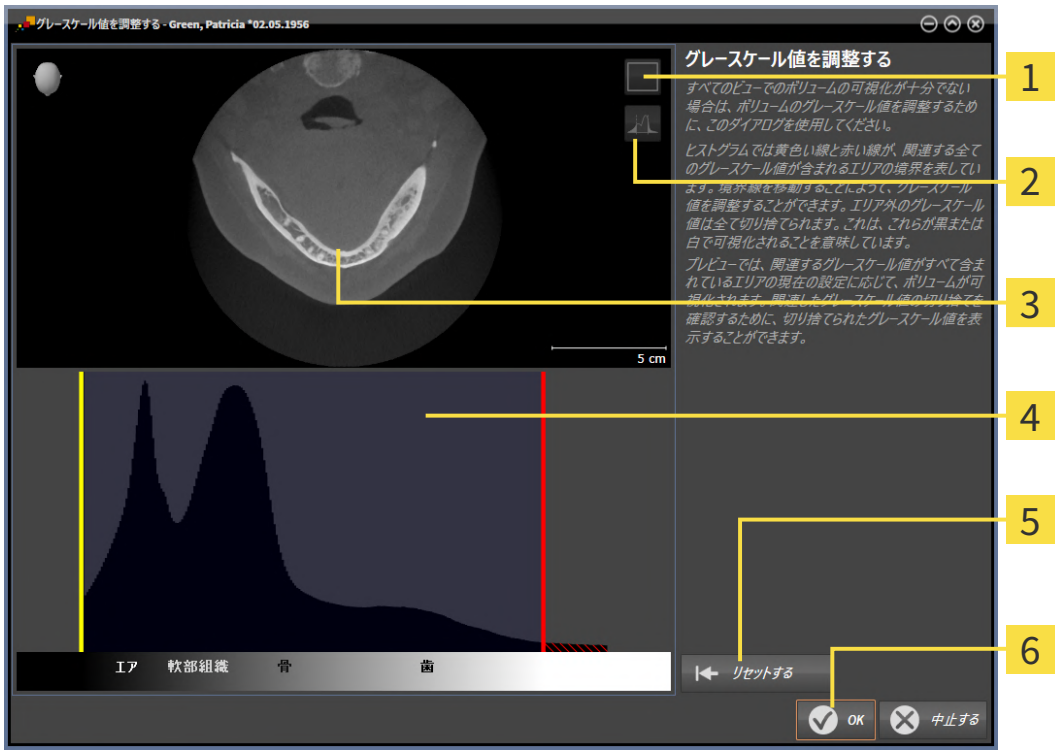
グレースケール値に関する一般的な情報は、*グレースケール値 [▶ページ 169 - Standalone]*の節をご覧ください。

ボリュームのグレースケール値を調整するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**準備する** は、展開させておきます。

1. **グレースケール値を調整する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **グレースケール値を調整する** のウィンドウが開きます。



1 アイコン**冠状の投影モードをアクティブにする**またはアイコン **軸方向レイヤーモードをアクティブにする**

2 アイコン**切り捨てたグレースケール値を表示しない**またはアイコン **切り捨てたグレースケール値を表示する**

3 **軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビュー

4 ヒストグラム

5 ボタン **リセットする**

6 ボタン **OK**

2. 軸方向レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。

3. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの下限を調整するには、黄色い線を移動させます。

▶ SICAT Implant は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。

▶ SICAT Implant は関連する最低グレースケール値より低い全てのグレースケール値を黄色で表示します。

4. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が黄色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、黄色い線をもう一度移動させます。

5. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの上限を調整するには、赤色の線を移動させます。

   ▶ SICAT Implant は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。

   ▶ SICAT Implant は関連する最高グレースケール値より高い全てのグレースケール値を赤色で表示します。

6. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が赤色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、赤色の線をもう一度移動させます。

7. **OK**をクリックします。

▶ **グレースケール値を調整する**ウインドウが閉じ、SICAT Implantが調整されたグレースケール値に応じてすべてのビューでボリュームを表示します。

記載されている手順に加え、以下の操作が**グレースケール値を調整する**ウインドウで使用できます：

- **冠状の投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックして、すべてのレイヤーを一度に判断することもできます。**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックすることにより、**軸方向**レイヤービューを再び切り替えることができます。
- 両方の境界を一度に移動させるには、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアをクリックして移動させます。
- 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアを標準設定にリセットするには、**リセットする**ボタンをクリックします。
- 切り捨てられたグレースケール値を表示したくない場合、**切り捨てたグレースケール値を表示しない**アイコンをクリックします。
- 変更内容を保存しない場合、**中止する**をクリックします。

30 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する

ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

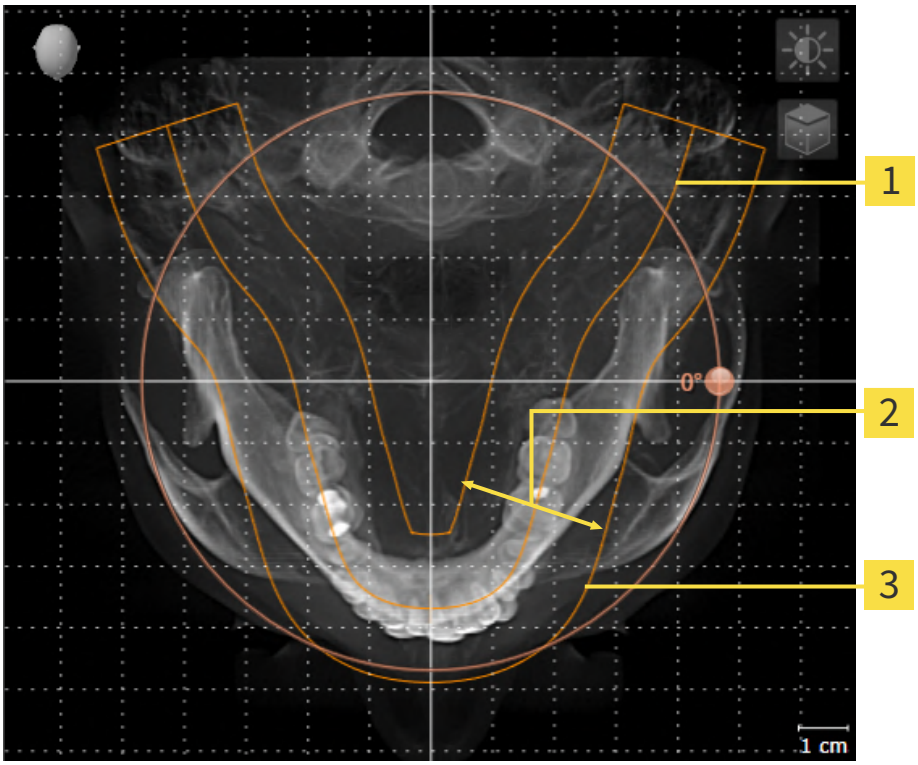
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- **パノラマ**ビューの最適化

音量調整をSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 175 - Standalone]*の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Implantでは、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、**パノラマ**ビューを出力します。**パノラマ**ビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマ エリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマ エリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマ エリアをSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を転送します。

パノラマ エリアを調整する手順は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 180 - Standalone]*の節をご覧ください。

30.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**[▶ページ 173 - Standalone]*に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

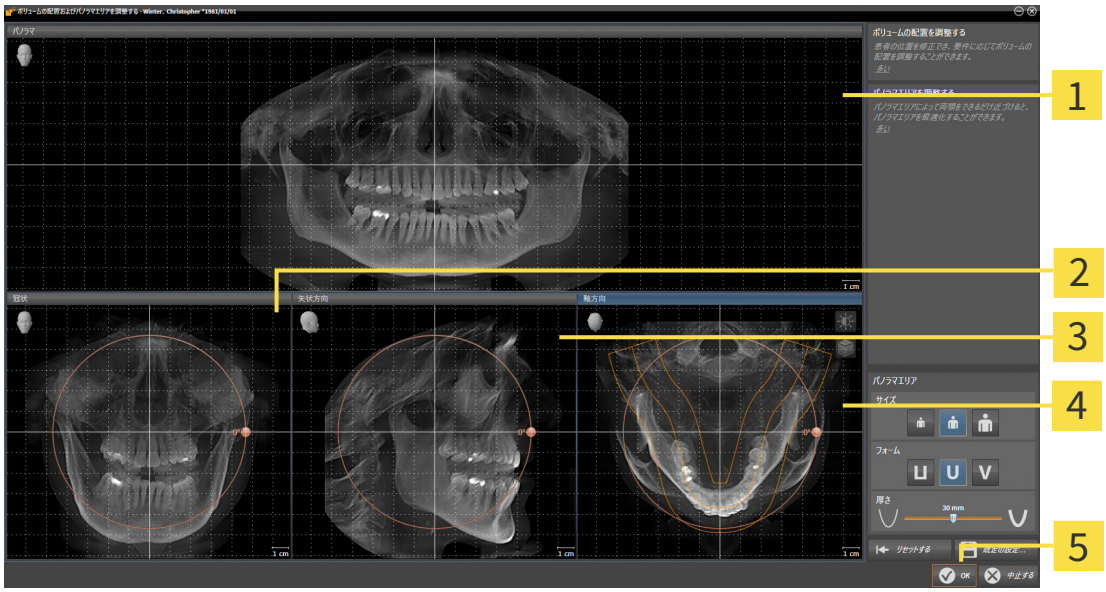
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **冠状**ビューでボリュームを回す
- **矢状方向**ビューでボリュームを回す
- **軸方向**ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 **冠状**ビューと**回転**スライダー

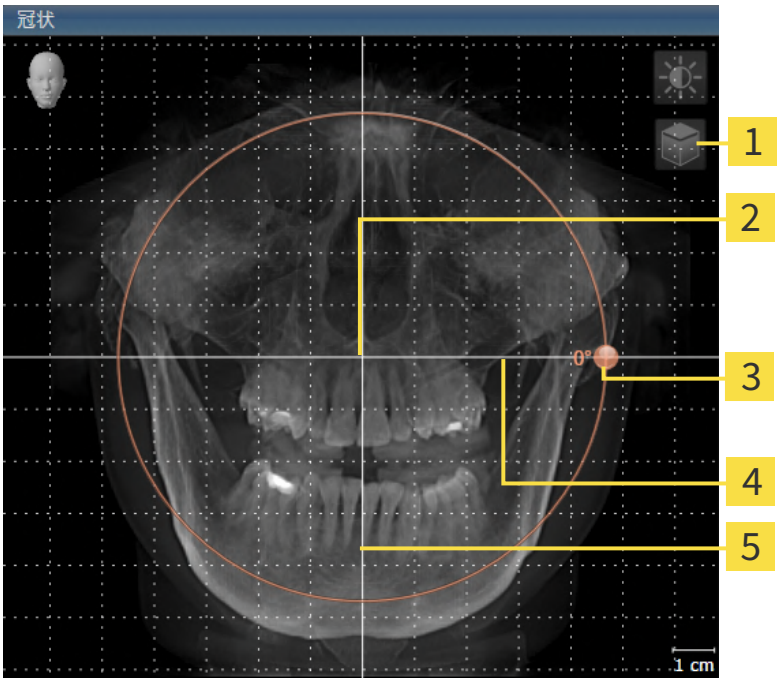
3 **矢状方向**ビューと**回転**スライダー

4 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

5 **OK**のボタン

冠状ビューでボリュームを回す

1. **冠状**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

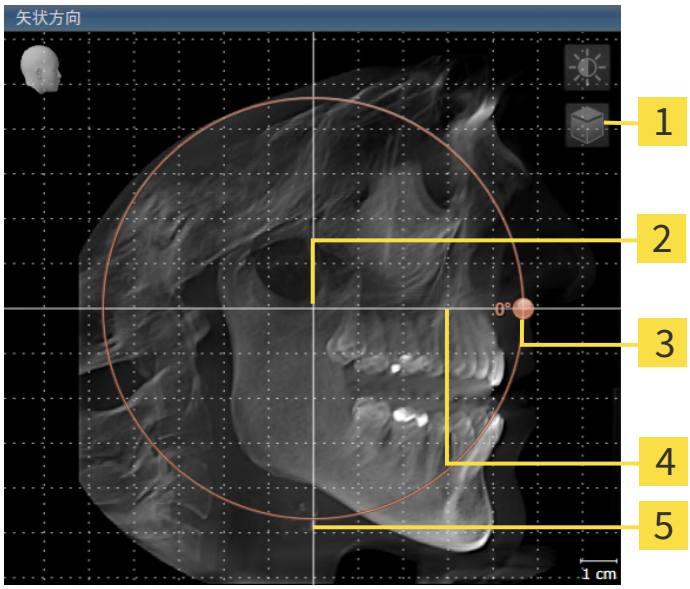
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**冠状**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. **矢状方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

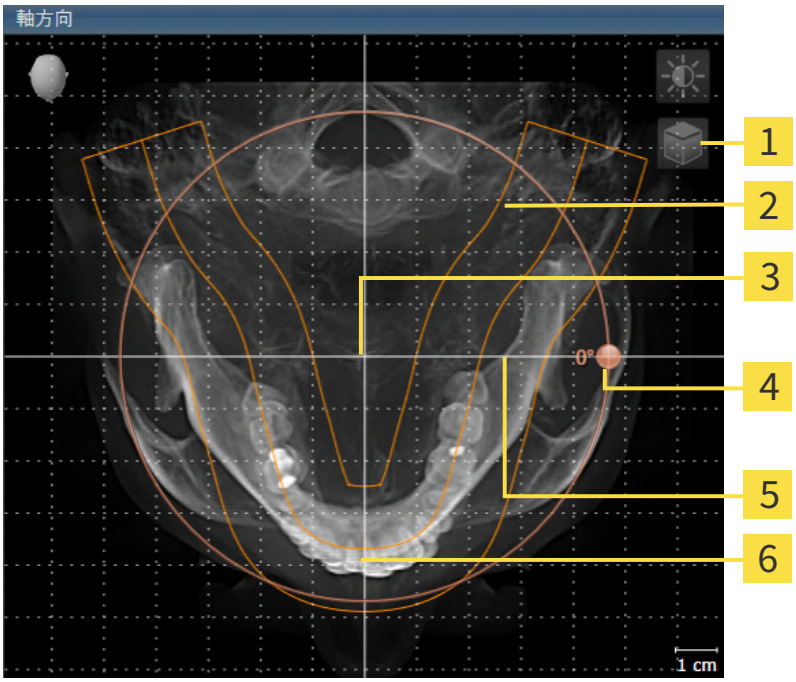
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**矢状方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	**回転**スライダー
2	パノラマ エリア	5	水平基準線
3	回転中心	6	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. その必要があれば、パノラマ エリアの移動は、**軸方向**ビューで行います。このときは、パノラマ エリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Implantでは、パノラマ エリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。

4. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

6. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**軸方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

7. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマ エリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

   ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICAT Implantに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Implantで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

9. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

▶ SICAT Implantは調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Implantは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

30.2 パノラマ エリアを調整する

パノラマ エリアに関する一般的な情報は、*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 173 - Standalone]*の節をご覧ください。

パノラマ エリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

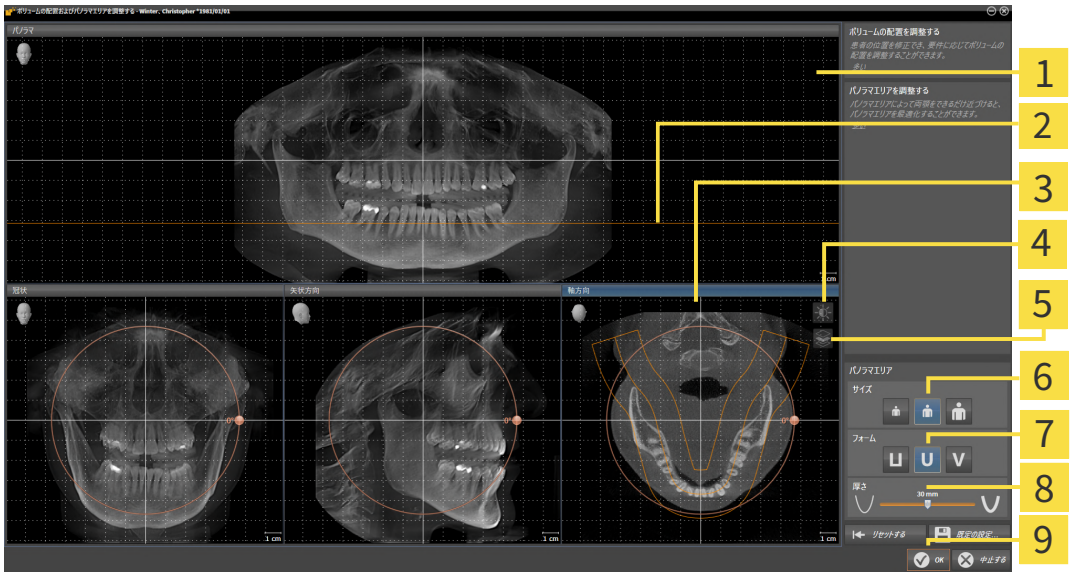
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **軸方向**ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマ エリアを移動する
- **軸方向**ビューでボリュームを回す
- **サイズ**、**フォーム**および**厚さ**のパノラマ エリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1	**パノラマ**ビュー	6	**サイズ**のボタン
2	軸方向基準線	7	**フォーム**のボタン
3	**軸方向**ビューと**回転**スライダー	8	**厚さ**スライダー
4	**輝度およびコントラストの調整**アイコン	9	**OK**のボタン
5	**投影モードをアクティブにする**アイコンまたは**レイヤーモードをアクティブにする**アイコン		

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する

1. **軸方向**ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効になっている場合は、**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックします。
2. **パノラマ**ビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向**ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。

   ▶ **軸方向**ビューのレイヤーは、**パノラマ**ビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

   ▶ **軸方向**ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマ エリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Implant では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマ エリアの調整が行われます。
4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ パノラマ エリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転**調整つまみに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**調節つまみを移動させます。
   ▶ SICAT Implant では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマ エリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する

1. パノラマ エリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。

2. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。

3. パノラマ エリアの**厚さ**を選択は、**厚さ**のスライダー位置を移動させて行います。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

4. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Implantでは、ボリュームの配置とパノラマ エリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、 **パノラマ**ビューは、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 132 - Standalone]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Implantは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

31 距離/角度測定

SICAT Implantには2種類の測定タイプがあります：

- 距離測定

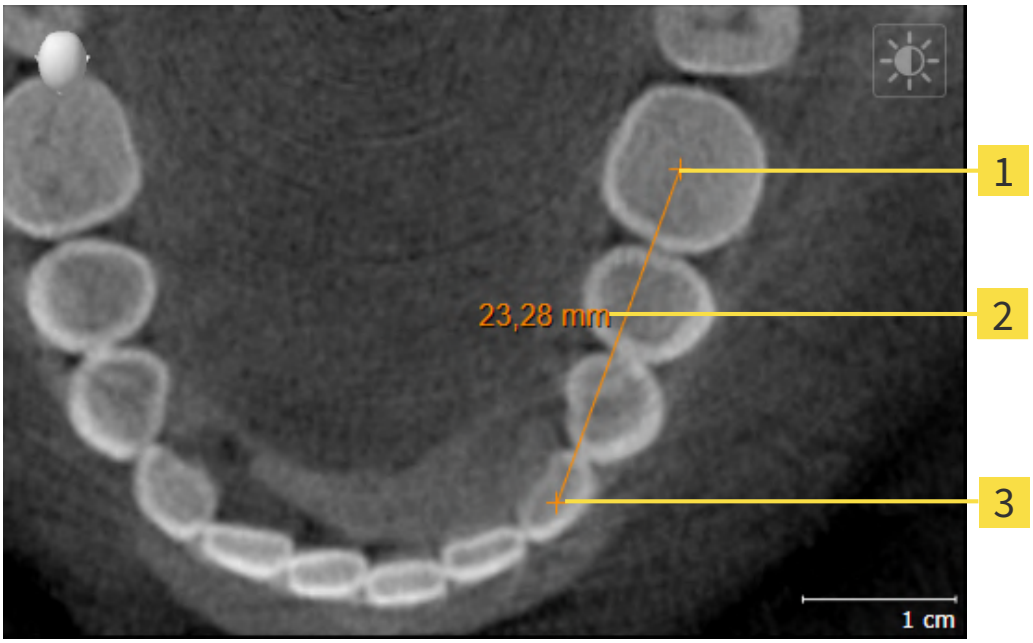
- 角度測定

測定を追加するツールは、**ワークフローのツールバー**の**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Implantはその測定を**測定**のグループ**オブジェクトブラウザ**にも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する [▶ページ 185 - Standalone]*
- *角度測定を追加する [▶ページ 186 - Standalone]*
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する [▶ページ 188 - Standalone]*
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*の節をご覧ください。

31.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

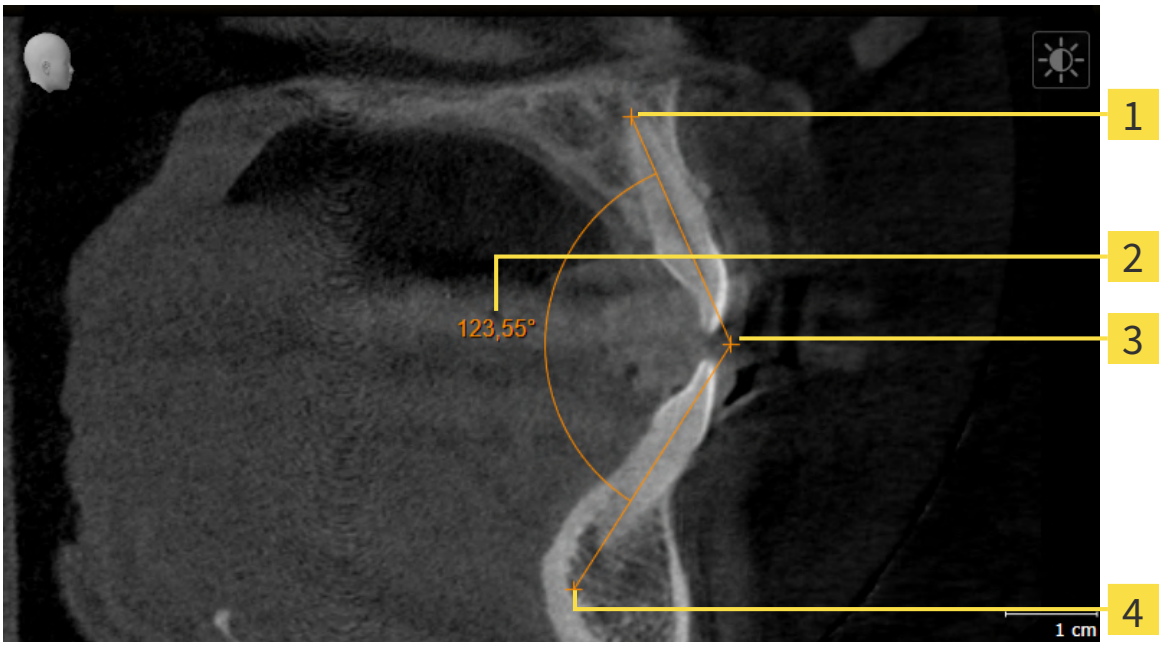
☑ ワークフロー・ステップの**診断する** は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Implant は小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Implant は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
   ▶ SICAT Implant 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implant は小さい十字で終点を表します。

> 測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

31.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 頂点

4 終点

角度測定を追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。

1. ワークフローステップ**診断する**で**角度測定を追加する**(A)アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Implantは小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Implantは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは小さい十字で頂点を表します。
   ▶ SICAT Implantは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。

▶ SICAT Implantは角度測定の2本の辺の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

31.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
   ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
   ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
   ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
   ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Implant は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定値の位置を保持します。

ℹ	1回の測定の値を移動すると、SICAT Implantはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

32 光学印象

同じ患者について、SICAT Implantは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を重ね合わせることが (記録することが) できます。光学印象に加えて、既存のデジタル義歯の提案もまた重ね合わせて表示されます。

表示の重ね合わせは、計画および実施のための追加情報を提供します。デジタル義歯の提案は義歯ベースのインプラント計画を可能にし、3D X線データによる患者の解剖学的構造に加えて、計画された義歯修復を考慮することも可能にします。重ね合わされた表示では、歯茎のプロセスもよりよく認識できます。

重ね合わせでは、光学印象に基づいたドリルガイドを使用することもできます。詳細は*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*を参照してください。

たとえば2つの異なる光学撮影画像を比較するために、計画ごとに光学印象と修復を含む複数のCAD/CAMデータセットをインポートできます。インポートされたCAD/CAMデータセット用に、オブジェクトブラウザにあるCAD/CAMの例が作成されます。これに関するその他の情報は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
   - *Hubから光学印象をダウンロードする [▶ページ 193 - Standalone]*
   - *ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 197 - Standalone]*
   - *SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ページ 200 - Standalone]*
2. 3D X線データによる光学印象の記録 (重ね合わせ)。 *光学印象の記録と確認 [▶ページ 202 - Standalone]*

> SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する場合、記録は必要ありません。

SICAT Implant 光学印象および修復用に次のデータ形式に対応しています。

- SIXD上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、目標のインプラント位置と同様に一つ以上の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降を使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、**または**下顎の光学印象を含むデータセット*。修復はサポートされていません。STLフォーマットをサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、一本または隣接する複数の歯の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降、またはinLabソフトウェアを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。

*STLデータセットには、有効になっている**SICAT Suite STLインポート**ライセンスが必要です。さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報は*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 199 - Standalone]*を参照してください。

次のアクションは光学印象および修復に使用することができます。

- 光学印象および修復を有効化、非表示、および表示する。*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*
- 光学印象や修復に焦点を合わせて削除する。*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*
- カラーの光学印象の表示を設定する。*光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 143 - Standalone]*

32.1 光学印象をインポートする

⚠ 注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ 注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

32.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象と既存する場合は修復をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、 SICAT Implantにインポートできます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ページ 279 - Standalone]*を参照してください。

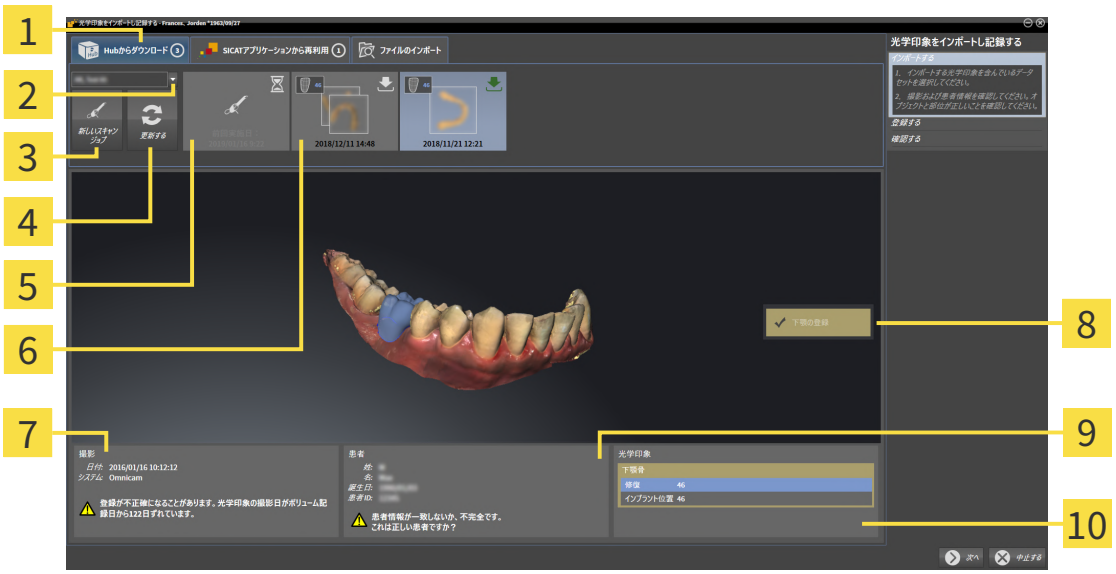
☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。
3. 患者1名を選択してください。

▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



1	**Hubからダウンロード**タブ	6	ステータス付きの使用できる光学印象。 一本の歯のデータを含む一回の修復、もしくは複数の歯のデータを含む数回の修復 まだダウンロードされていません ダウンロード済みです
2	**患者選択**のボタン	7	撮影図情報
3	**新しいスキャンジョブ**のボタン	8	記録の選択
4	**更新する**のボタン	9	患者情報
5	ステータス付きのスキャンジョブ。 は保留中 は、まだダウンロードされていません	10	**光学印象**エリア

4. 希望する光学印象をクリックしてください。

   ▶ SICAT Implant は、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、SICAT Implantは印象を**3D**ビューで表示します。

5. 記録の選択を確認してください。

6. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。

7. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

8. **次へ**をクリックします。

▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

9. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

   ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 202 - Standalone]*セクションの手順に従ってください。

たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

- 希望する光学印象が表示されない場合は、**更新する**のボタンをクリックして概要を更新できます。あるいは、Hubに光学印象を記録するジョブを送ることができます。これに関する情報は*光学印象のスキャンジョブを作成する [▶ページ 196 - Standalone]*を参照してください。
- デフォルトでは、Hubへの接続は切断されています。接続の設定に関する情報は、*Hubの使用を有効または無効にする [▶ページ 279 - Standalone]*を参照してください。
- Hubを使用するための適切なライセンスを有効にしていれば、Hubを使用できます。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - Standalone]*を参照してください。

32.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 279 - Standalone]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ ページ 54 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。
3. 患者1名を選択してください。
   ▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。

4. **新しいスキャンジョブ**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは、**新しいスキャンジョブ**ウィンドウを表示します。スキャンジョブの情報を指定できます。
5. 医師を選択します。
6. 下顎と上顎の歯の位置をそれぞれクリックして義歯の位置を決定します。
7. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。
8. スキャンジョブをHubに送信するには、**スキャンジョブの作成**をクリックし、照会を**OK**で確定します。

▶ SICAT Implantはスキャンジョブを Hubに送信し、保留中のスキャンジョブを**Hubからダウンロード**タブに⌛アイコンで表示します。

▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

32.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

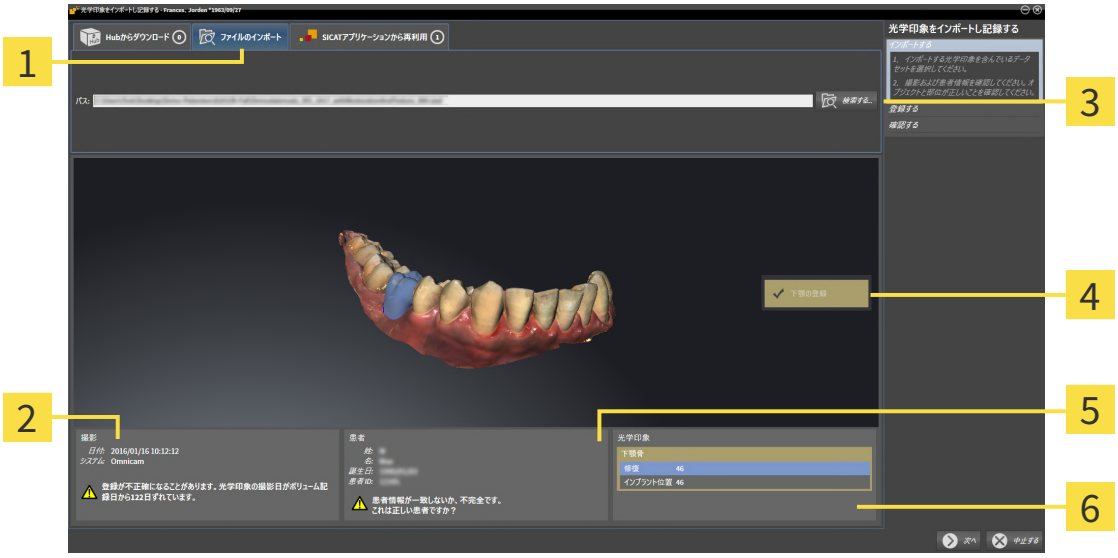
計画ごとに光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **ファイルのインポート**のタブをクリックします。



1	**ファイルのインポート**タブ	4	記録の選択
2	撮影図情報	5	患者情報
3	**検索する**のボタン	6	**光学印象**エリア

3. **検索する**のボタンをクリックします。

4. **ファイルを光学印象で開く**ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、選択したファイルを開きます。

5. **STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。**上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Implantがウィンドウを1つ開きます。*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 199 - Standalone]*の手順に従ってください。
   欠如していた上顎または下顎の別のSTLファイルを選択し、顎の割り当てと方向を調整することができます。続いて、次のステップに進んでください。

6. 記録の選択を確認してください。

7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

8. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

9. **次へ**をクリックします。

   ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

    ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 202 - Standalone]*セクションの手順に従ってください。

ℹ	たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。

ℹ	これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

32.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ **SICAT Suite STL Import**ライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 197 - Standalone]*を参照してください。

   ▶ ウィンドウ**STL Import-Assistent**が開きます。

1 顎の選択

2 向きの変更

3 内側と外側の交換

2. **顎**エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。

3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. **パラメータ**エリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. **OK**のボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Implantは、2つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

   ▶ SICAT Implantは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能に表示します。

7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 197 - Standalone]*を参照してください。

32.1.3 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

☑ 開いているスタディのために、SICAT Implantでまだ使用していない、適合する複数の光学印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

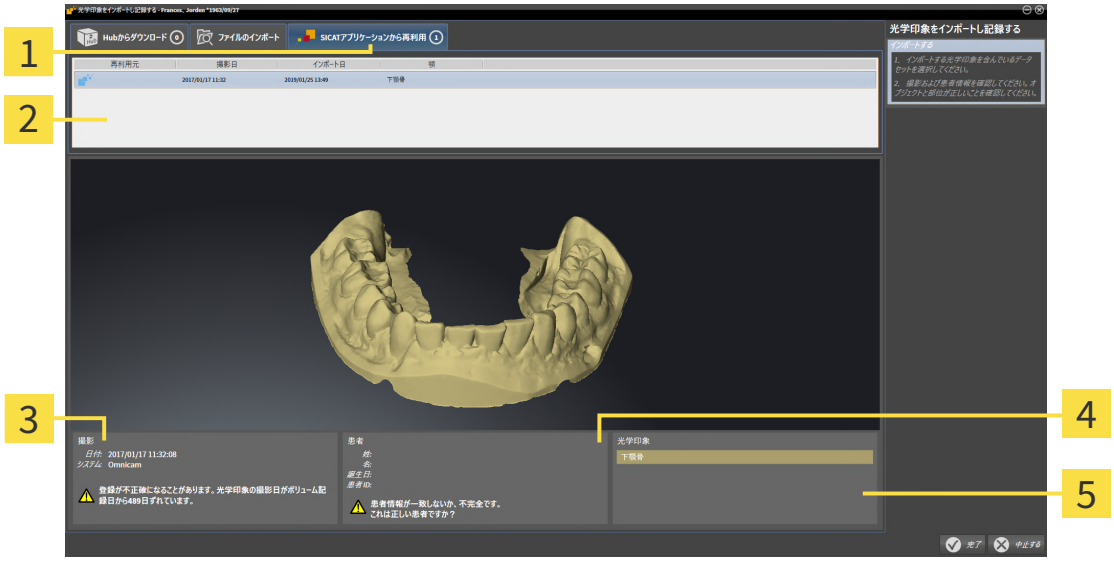
1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **SICATアプリケーションから再利用**のタブをクリックします。

3. 上のエリアにある再利用したい複数の光学印象のラインをクリックします。

   ▶ SICAT Implantに選択した複数の光学印象が表示されます。



1	**SICATアプリケーションから再利用**タブ	4	患者情報
2	再利用可能な光学印象の一覧	5	**光学印象**エリア
3	撮影図情報		

4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

5. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

6. **完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を表示します。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

32.2 光学印象の記録と確認

⚠ 注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

⚠ 注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

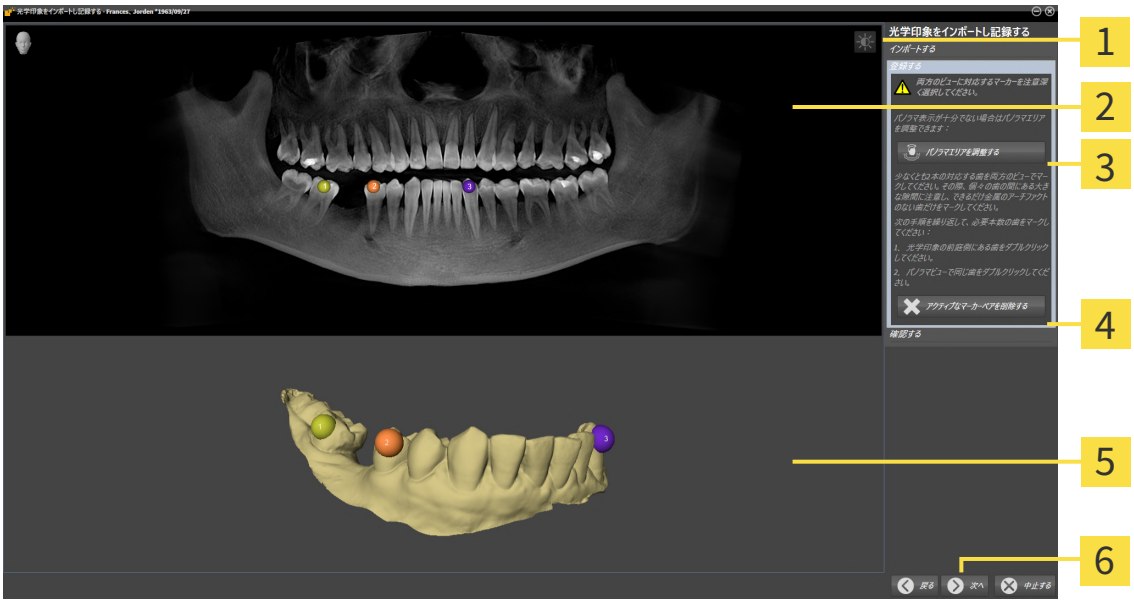
光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

カラー光学印象は**インポートする**ステップで、3Dプレビューに自動的にカラーで表示されます。**登録する**ステップ、および**確認する**ステップでは、カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**登録する**ステップで開いています。



1 **輝度およびコントラストの調整**アイコン

2 **パノラマ**ビュー

3 **パノラマ エリアを調整する**のボタン

4 **アクティブなマーカーペアを削除する**のボタン

5 **3D**ビューは、最初の光学印象を表示します

6 **次へ**のボタン

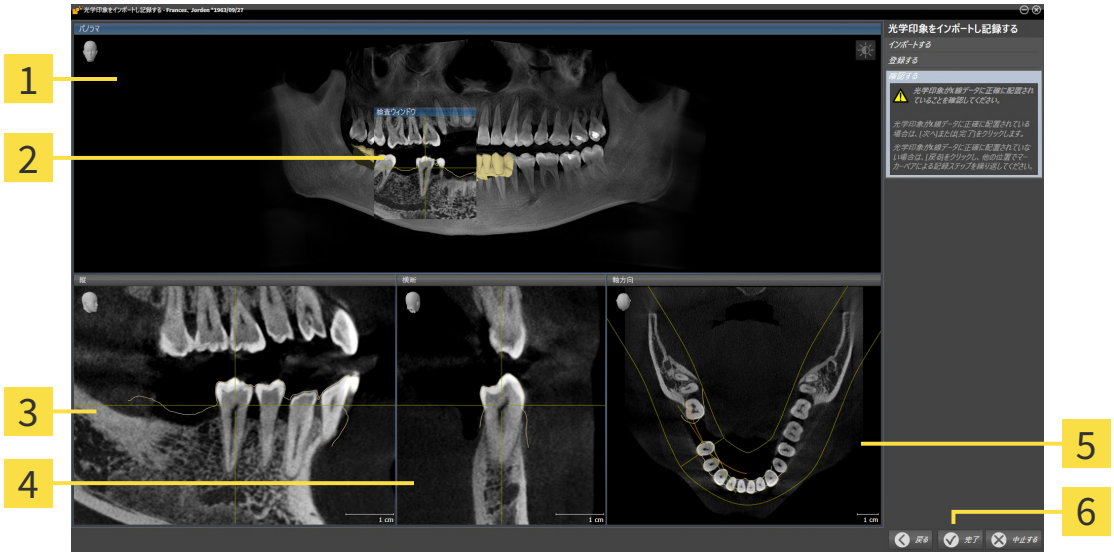
1. **パノラマ**ビューと**3D**ビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が**2本**以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。光学印象が顎弓の3/4以上を覆っている場合は、一致する歯を少なくとも**3本**マークします。

   ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

2. **次へ**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ **確認する**のステップが開きます。



1	**パノラマ**ビュー	4	**横断**ビュー
2	**検査ウィンドウ**	5	**軸方向**ビュー
3	**縦**ビュー	6	**完了**のボタン

3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを**各レイヤービュー**でスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。

5. 光学印象がX線データに正確に配置されていて、記録用に2つの光学印象を選択した場合は、**次へ**のボタンをクリックしてください。2回目の光学印象について前の手順を繰り返します。

6. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Implantに記録されている光学印象と既存の修復が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能で使用できます。

- **輝度およびコントラストの調整**アイコンをクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 132 - Standalone]*を参照してください。
- パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 180 - Standalone]*を参照してください。
- **登録する**で特定のマーカーペアを削除する場合、両方のビューでペアのマーカーをマウスクリックで選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**のボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

33 下顎神経のマーキングと調整

SICAT Implant はインプラント計画時に下顎神経からじゅうぶん安全距離を維持できるようにサポートしてくれます。

インプラントを下顎の側面歯領域に計画し、対応する下顎神経または両側の下顎神経を3Dレントゲンデータにマークしてください。マーキングは点列（神経点列）入力により、 SICAT Implant により自動的に一つのチューブを設定します。

マーキング後に下顎神経をインプラント計画の際全ビューではっきり認識できます。インプラントが下顎神経との安全距離内に入ると警告が出ます。これに関する詳細は*距離警告 [▶ページ 226 - Standalone]*を参照してください。

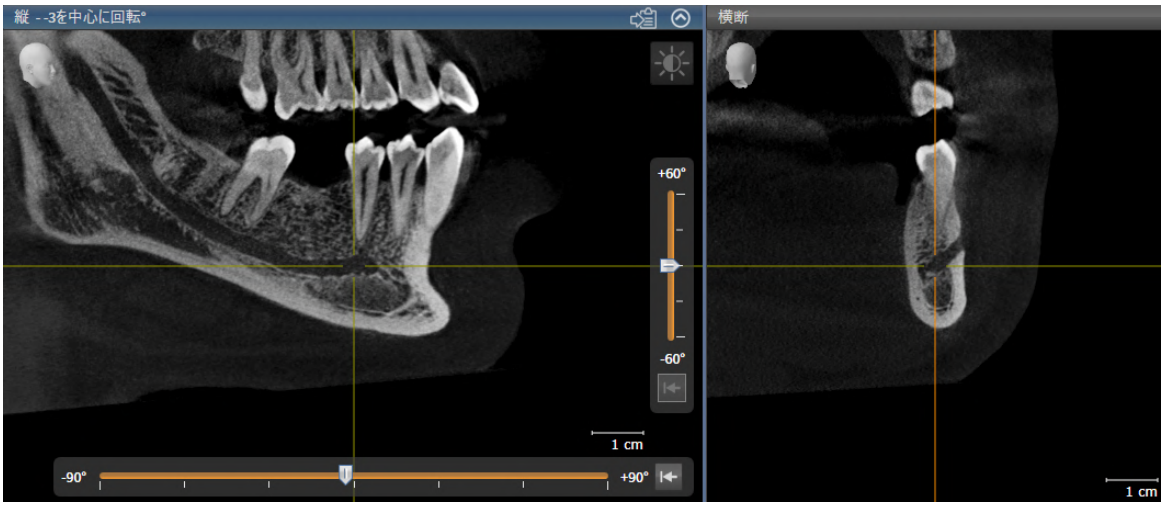
以下の機能は下顎神経のマーキングと調整のために利用できます。

- *下顎神経のマーキング [▶ページ 207 - Standalone]*
- 神経の有効化、非表示および表示 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*をご覧ください。
- 神経に焦点を当てる、神経を削除する、神経操作を元に戻して再度実行する - この手順に関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*をご覧ください。
- *神経点の移動、追加、削除 [▶ページ 209 - Standalone]*
- *神経直径の変更 [▶ページ 210 - Standalone]*

33.1 下顎神経のマーキング

ビューを上下左右に調整する

ビュー**縦**と**横断**は下顎神経が完全に見えるように調整します。



このためには以下の手順に従ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースは開いています。

1. 検査ウィンドウはオトガイ孔がビュー**横断**に見えるように移動します。

   ▶ 次にビュー**横断**で神経経路が神経出口まで見えるはずです。

2. 十字線を**横断** ビューで見えている神経経路の最も深い位置に移動します。こうしてステップ4で使う良好な回転点を設定できます。

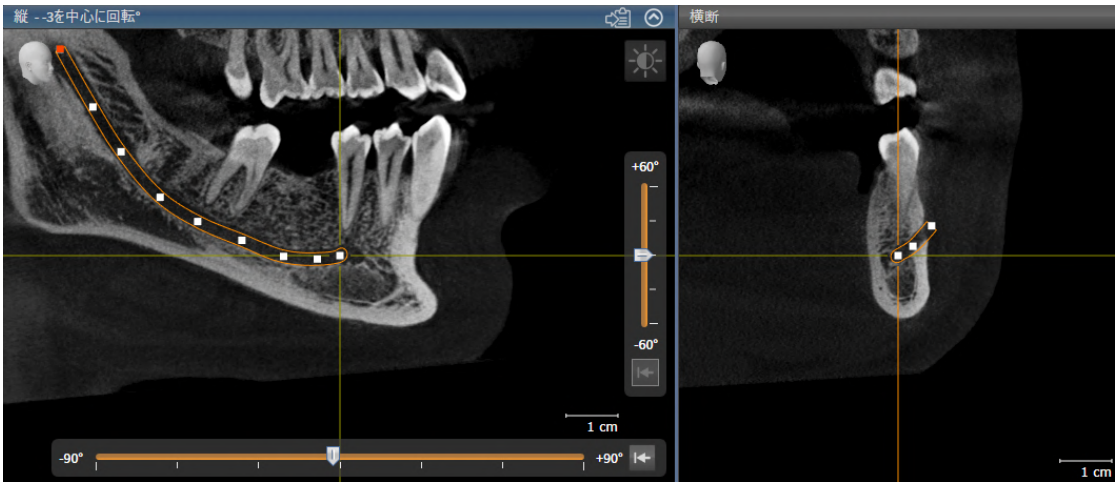
3. **縦**ビューを有効にします、このためには例えば**縦**ビューをクリックします。

4. **縦**ビューを回転し、下顎神経の上向き幹が**縦**ビューに見えるようにします。これに関する詳細は*ビューの回転 [▶ページ 140 - Standalone]*を参照してください。

下顎神経のマーキング

☑ ワークフロー ステップ**準備する**は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ**準備する**で**下顎神経のマーキング**アイコンをクリックします。



2. ビュー **横断**で神経出口をクリックし最初の神経点を追加します。
3. さらにビュー **横断** をクリックして第2の神経点を見える神経経路の中点に追加し、第3の神経点は見える神経経路の最も深い位置に置きます。
4. **縦** の表示に切り替え、再度クリックしてその他の神経点を神経の近心と遠心方向に沿って追加します。
5. 最後の神経点をシングルクリックせずにダブルクリックして追加できます。

▶ 下顎骨神経は全表示でも**オブジェクト** でも表示されます。

神経の位置を特定するために神経のマーキング中でもレイヤー間をスクロールできます。これに関する詳細は*レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 135 - Standalone]*を参照してください。

神経のマーキング中に右クリックするとそれぞれ最後に追加した神経点を削除できます。

下顎神経のマーキングを**ESC**キーまたは **下顎神経のマーキング**ボタンを再度クリックして中断できます。

33.2 神経点の移動、追加、削除

神経点の移動

神経点の移動は、以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで所望の神経点をクリックし、マウス左ボタンを押したままにします。マウスを動かして神経点を移動します。
3. 所望の位置でマウスボタンを放します。

▶ SICAT Implant が神経点を移動します。

神経点の追加

神経点を後から追加するには次の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. **中間点の追加：**2Dレイヤービューで既存の神経点2つの間で所望の神経位置をダブルクリックします。
3. **エンドポイントの追加：**2Dレイヤービューでこれまでの端点近辺にある所望の神経位置をダブルクリックします。

▶ SICAT Implant が神経点を所望の位置に追加します。

神経点の削除

神経点の削除は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで神経点をクリックして削除する神経点を有効化します。
3. **プロパティ**エリアで**点削除**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは神経点を削除します。

33.3 神経直径の変更

神経直径の変更は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. **プロパティ**エリアで所望の神経直径を選択します

▶ SICAT Implantが神経の直径を変えます。

34 インプラントの計画

⚠ 注意	**処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。** 計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。

⚠ 注意	**インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースには異なるメーカーのインプラントモデルを含んでいます。インプラントモデルは各メーカーごとのインプラントシリーズに組織化されています。

同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを標的に絞って提案できます。詳細は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 284 - Standalone]*を参照してください。

希望のインプラントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、インプラント計画とインプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントがマークされた下顎神経に近すぎたり相互に近すぎて計画されていれば警告を出します。これに関する詳細は*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 224 - Standalone]*および*距離警告 [▶ページ 226 - Standalone]*を参照してください。

SICAT Implant はインプラントの咬合延長部に孔を1つ表示します。詳細は*孔の非表示/表示 [▶ページ 225 - Standalone]*を参照してください。

SICAT Implantは2分割インプラントと一体インプラントに対応します。2分割インプラント用のアバットメントをインプラントごと計画したり、後から追加できます。アバットメントの計画についての詳細は *アバットメントの計画 [▶ページ 227 - Standalone]*をご参照ください。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合スリーブを計画する必要があります。スリーブはインプラントごと計画したり、後から追加できます。スリーブ計画についての詳細は *スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*をご参照ください。

以下の機能をインプラント計画のためにご利用になれます。

- *インプラントの追加 [▶ページ 213 - Standalone]*
- インプラントの有効化、非表示および表示 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*をご覧ください。
- インプラントに焦点を当てる、インプラントを削除する、インプラント操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*をご覧ください。
- *インプラントの移動とアライン [▶ページ 217 - Standalone]*
- *インプラントを軸の回りに回転する [▶ページ 219 - Standalone]*
- *インプラント寸法とインプラントモデルの変更 [▶ページ 220 - Standalone]*
- *インプラント固有のアライン [▶ページ 222 - Standalone]*
- *名称（歯の位置）の変更 [▶ページ 223 - Standalone]*
- *安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 224 - Standalone]*
- *孔の非表示/表示 [▶ページ 225 - Standalone]*
- *距離警告 [▶ページ 226 - Standalone]*

34.1 インプラントの追加

⚠ **注意**

CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。

⚠ **注意**

複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。

新規インプラントまたは複数の新規インプラントを同じ側の顎で開いた計画に追加するのは次の手順で行います。

☑ 所望のドリルテンプレートに応じてインプラントの全位置をカバーする顎の光学印象(場合によっては修復あり)をインポートし登録しました。これに関する情報は*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*と*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。

☑ インプラント1つまたは複数のインプラントを下顎横の歯列に計画する場合、対応する下顎神経をマークしました。詳細については*下顎神経のマーキング [▶ページ 207 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ**計画する**で**インプラントの追加**アイコンをクリックします。

▶ インプラント選択ウィンドウが表示されます。

1	選択された歯の位置	5	インプラントモデルの選択用表
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	6	**アライメント**の選択用アイコン
3	**メーカー-インプラント**と**一般的なインプラント**間の切替え用ボタン	7	商品番号付き3Dプレビュー
4	メーカー及びインプラントシリーズの選択用ボタン		

2. 新規インプラントの歯の位置（複数可能）を選択します。光学印象を修復及び/または予定しているインプラント位置ごとインポートして表示させた場合、歯の位置はすでに自動選択されています。（事前）選択された歯の位置は選択された歯の位置を（再度）クリックすると選択解除できます。

   注記：
   以下のボタンは少なくとも一つの歯の位置を選択していれば表示されます。

3. 所望のメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。前回使用したメーカーとインプラントシリーズはそれぞれのコンボボックスのいちばん上にあります。

4. 表の対応するセルをクリックして所望のインプラントモデルを選択してください。表には選択されたインプラントシリーズの利用可能なインプラントモデルが含まれています。行は異なるインプラントの長さに対応し、列は異なるインプラントの直径(mm)に対応します。2つ

の直径が出ていれば最初の直径が咬合直径です。小さいアバットメントアイコンとスリーブアイコンが出ていれば、メーカーの適切なアバットメント及びメーカーの一貫ガイド外科システムスリーブを計画できます。

▶ 選択されたインプラントモデルは3Dプレビューにある表に対応する商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままインプラントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

5. **事前アラインの選択：**所望の事前アラインはマウスポインターをアイコン **アライメント** の上にホーバーさせ、次のアイコンのどれかを クリックして選択します。
   - 垂直
   - SIXDフォーマットで修復の場合は修復軸に従い、それ以外は垂直。このオプションを選択できるのは少なくとも一つ選択された歯の位置で修復がSIXDフォーマットであり、表示されているときに限られます。
   - 計画済み顎のインプラントと平行。このオプションを選択できるのはインプラントを顎に計画済みの場合に限られます。

6. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。インプラントのおおまかな位置決めはインプラントまたは複数のインプラントを追加するかということと修復と予定のインプラント位置が存在して表示されているかということに依存します。

   ▶ インプラントを修復にも予定インプラント位置にも対応しない一つの歯の位置で追加する場合、インプラントをマウスクリックで2Dビューにある所望の位置におおまかな位置決めします。

   ▶ インプラントを表示されている修復または予定インプラント位置に対応する歯の位置に追加する際、 SICAT Implant はインプラントを自動的におおまかな位置決めします。

   ▶ 複数のインプラントを追加すると、SICAT Implantがインプラントを先に自動位置決めし、このとき垂直位置が通常は軸レイヤーの現位置に適用されます。

▶ 新規インプラント（複数も可）は全ビューでも **オブジェクト**にも表示されます。

優先インプラントシリーズの指定
治療に使用したいメーカーとインプラントシリーズからのみ選択するように設定できます。詳細は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 284 - Standalone]*を参照してください。

ジェネリックインプラントの使用
希望のインプラントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックインプラントを使用することもできます。このためには**一般的なインプラント**ボタンをクリックし、インプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力してください。

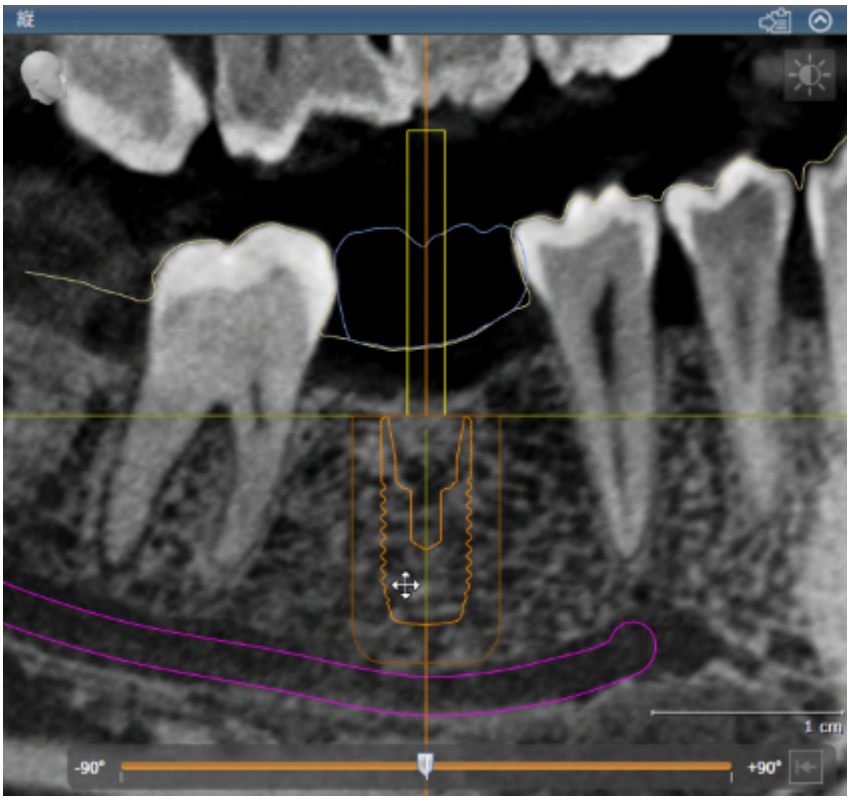
アバットメント及び/またはスリーブの同時計画
インプラント（複数あり）と同時にアバットメント及び/またはスリーブも計画する場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**アバットメント**または**スリーブ**をクリックします。これに関する詳細は*アバットメントの追加 [▶ページ 228 - Standalone]*および*スリーブの追加 [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

FDI-/ADA歯型図
この取扱説明書ではどの画像でもFDI歯型図を使用しています。SICAT ImplantはADA歯型図にも対応します。歯型図の切替えに関する情報は、*一般設定の使用 [▶ページ 274 - Standalone]*を参照してください。

34.2 インプラントの移動とアライン

インプラントは精緻に移動とアラインできます。

インプラントの移動

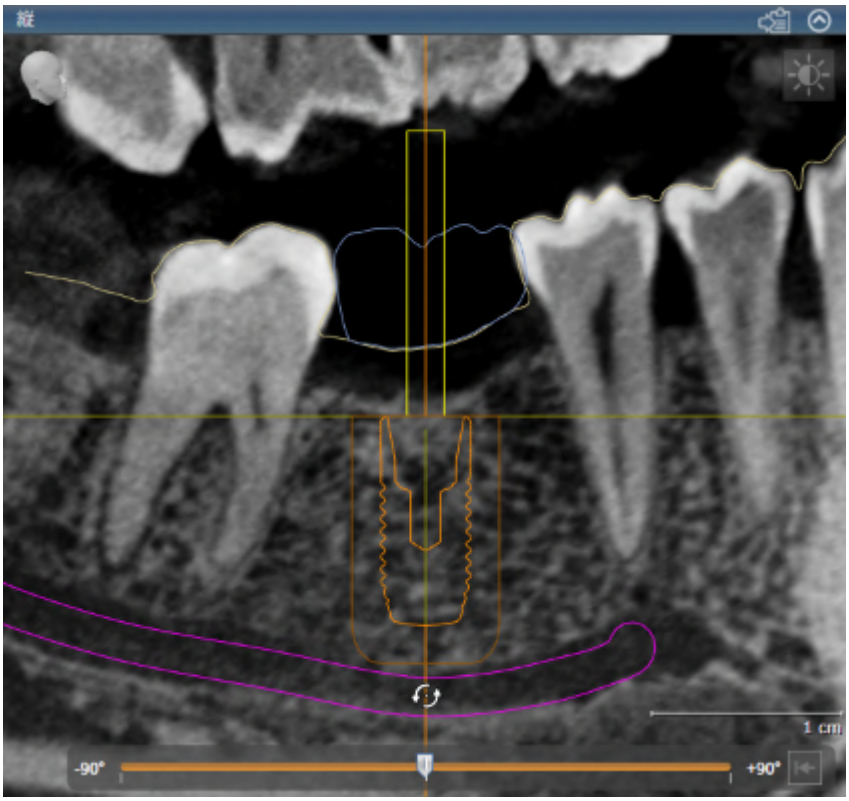


1. 2Dビューの一つでインプラントにマウスポインターを重ねます。
   ▶ マウスポインタの形が✥に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターをご希望のインプラントの位置に動かします。
   ▶ SICAT Implant がインプラントをマウスポインターの動きに沿って移動します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantは現在のインプラントの位置を保持します。

ワークスペース インプラントアライン済
インプランはワークスペース**アライメント済みインプラント**のビュー**縦**と**横断**で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 122 - Standalone]*の節をご覧ください。

インプラントの配置



1. マウスポインターを2Dレイヤービューで**軸方向**ビューを例外として、インプラント軸の頂点部分へ動かし、インプラントを咬合端点の回りで回転したり、インプラント軸の咬合部分へ動かすとインプラントを咬合端点の回りで回転できます。

   ▶ マウスポインタの形が⟲に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の方向が決まるまで移動します。

   ▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに沿って方向を決めます。

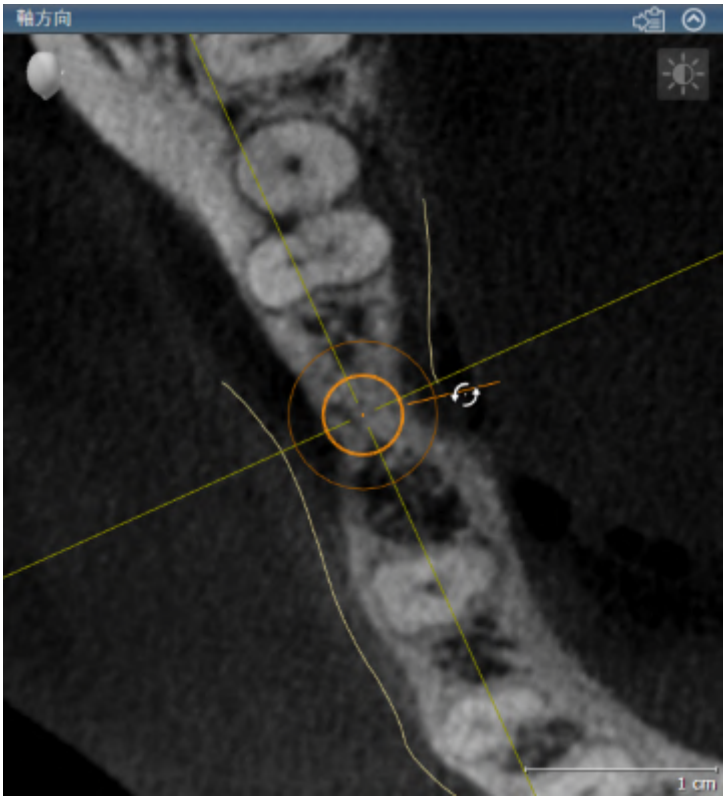
4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implantは現在のインプラントの向きを保持します。

ワークスペース インプラントアライン済
インプランはワークスペース**アライメント済みインプラント**のビュー**縦**と**横断**で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 122 - Standalone]*の節をご覧ください。

34.3 インプラントを軸の回りに回転する

インプラントを自軸の周りに回して例えば角度付きアバットメントを自由に計画することができます。



1. マウスポインターを**軸方向**ビューでインプラントのロータリーグリップの上に置きます。
   ▶ マウスポインタの形が⟲に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の回転位置になるまで移動します。
   ▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに応じて軸の回りに回します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantはその軸の周りのインプラントの現在の回転を保持します。

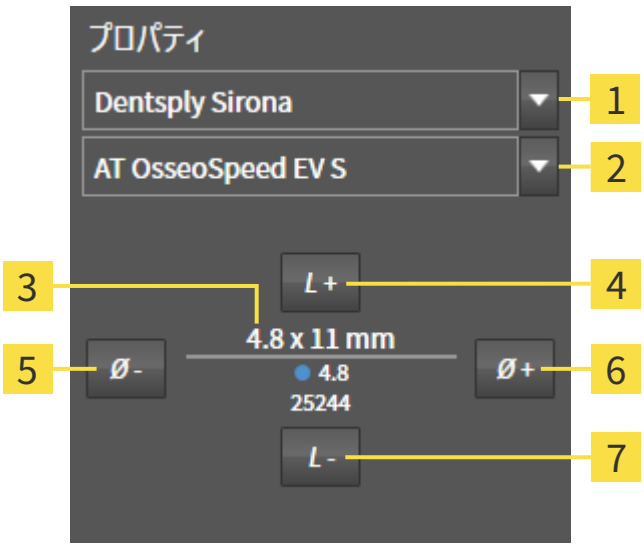
ワークスペース インプラントアライン済
インプラントはワークスペース**アライメント済みインプラント**の表示**軸方向**で最もシンプルかつ安全にその軸の周りに回せます。インプラントをその軸の周りに回転させる場合はビュー**縦**と**横断** またはビュー**3D**を基準にします。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 122 - Standalone]*の節をご覧ください。

34.4 インプラント寸法とインプラントモデルの変更

インプラントの寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、変更したいインプラントを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアでアクティブなインプラントの現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



1	**製造元**のボタン	5	**より狭い**のボタン
2	**インプラントシリーズ**のボタン	6	**より幅広い**のボタン
3	**現在のインプラントモデル：**直径 x 長さ、プラットフォーム、商品番号	7	**より短い**のボタン
4	**より長い**のボタン		

2. **インプラントメーカーとインプラントシリーズの変更：**所望のインプラントメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。

   ▶ SICAT Implant はインプラントモデルと場合によってはインプラント寸法も変更します。

3. **インプラント寸法とインプラントモデルの変更：より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたインプラントシリーズから選択します。**より長い** または**より短い**ボタンをクリックし次に長いまたは次に短いモデルを選択されたインプラントシリーズで選択します。

▶ SICAT Implantがインプラント寸法とインプラントモデルを変更します。

インプラント選択ウィンドウ
インプラントの寸法とモデルをインプラント選択ウィンドウで、 **オブジェクト**の下で変更したいインプラントの横のアイコンをクリックして変更します。そこで**メーカー-インプラント**と**一般的なインプラント**の間を切り替えます。詳細は*インプラントの追加 [▶ ページ 213 - Standalone]*を参照してください。

ジェネリックインプラント
プロパティエリアでまたはインプラント選択ウィンドウでもジェネリックインプラントの寸法を変更できます。

アバットメントの自動調整
インプラントの寸法またはモデルを変更し、対応するアバットメントが変更後に合わなくなる場合、SICAT Implantがアバットメントを自動的に適合します。この際、SICAT Implantは選択したアバットメント系列内部で互換であり、プラットフォームの直径さらに場合によっては排出口直径まで元のアバットメントと一致するアバットメントを選択します。こうしたアバットメントが見つからない場合、SICAT Implantはそのアバットメントを削除します。

スリーブの自動調整
インプラントの寸法またはモデルを変更し、その後は対応するスリーブが互換でなくなったりスリーブ位置がもはや許容範囲を超えていれば、SICAT Implant がスリーブ及び/またはスリーブ位置を自動的に調整します。この際、SICAT Implantは選択されたスリーブシステムの中で互換なスリーブ及び/または許容範囲にあるスリーブ位置を自動的に選択します。この種のスリーブを利用できない場合、 SICAT Implant がスリーブを削除します。

34.5 インプラント固有のアライン

インプラントを事後的に以下の通り固有アラインできます。

- 垂直
- 修復軸に従っSIXDフォーマットての修復
- 同じ顎に計画済みインプラントと平行

このためには以下の手順に従ってください。

1. **オブジェクト**でインプラントの横にあるアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。
2. 所望の固有のアラインを選択します。マウスポインターをアイコン **アライメント** の上に置き、所望の固有アラインメントに対応するアイコンをクリックします。詳細は*インプラントの追加 [▶ページ 213 - Standalone]*を参照してください。
   ▶ SICAT Implant がインプラントの向きを変えます。
3. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

34.6 名称（歯の位置）の変更

インプラントの名称（歯の位置）が間違っていれば、名称(歯の位置)を次のようにして変更できます。

1. **オブジェクト**でインプラントの横にあるアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。

2. 新規歯の位置を選択します。詳細は*インプラントの追加 [▶ページ 213 - Standalone]*を参照してください。

   ▶ SICAT Implant がインプラントの名称（歯の位置）を変更します。

3. OKをクリックしてウィンドウを閉じます。

34.7 安全範囲の非表示/表示

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントの計画時に例えば隣接する歯根が隣接するインプラントや歯の縁、下顎神経または洞との一定の最小距離が保たれるかを判断できます。安全範囲に基づいて距離警告も出ます。距離警告について詳しくは*距離警告 [▶ページ 226 - Standalone]*を参照してください。

インプラント周囲の安全範囲寸法は設定で調整できます。そこでは新規計画の際に安全範囲を表示させるかの初期設定を行うことができます。これに関する詳細は*安全範囲の設定 [▶ページ 286 - Standalone]*を参照してください。

計画中に全インプラントに対して安全範囲を同時に非表示または表示させることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

☑ 安全範囲は現在表示されています。

1. オブジェクトグループ **インプラント**でマウスポインターを**安全範囲表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲の非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **安全領域を非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲を非表示します。

3. **安全領域の表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲を表示します。

> **安全範囲表示/非表示**アイコンの上にマウスポインターを置いてクリックし、安全範囲の表示/非表示を切り替えられます。再度クリックすると安全範囲の表示か非表示に切り替わります。

> 安全範囲が非表示されている場合でも、距離警告の際に該当する安全範囲はビューでは表示されています。

34.8 孔の非表示/表示

SICAT Implant はインプラント用のパイロットドリル孔またはインプラント孔を表示できます。これで特に支障なく孔にアクセスできるかを確認できます。パイロットドリル孔はスクリュー孔を表示するのに利用します。

パイロットドリル孔の直径及び両孔の長さを自分で設定できます。インプラント孔の直径は対応するインプラントの最大直径に常に一致します。設定では新規計画でパイロットドリル孔, インプラント孔を表示または孔を表示しないかを指定できます。これに関する詳細は*孔の設定 [▶ページ 287 - Standalone]*を参照してください。

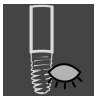
計画中にパイロットドリル孔とインプラント孔を全てのインプラントに対して同時に非表示または表示させることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

☑ パイロットドリル孔は現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント**でマウスポインターを**孔表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implantが孔の非表示/表示用アイコンを表示します。



2. **孔を表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が孔を非表示します。

3. **パイロットドリル孔の表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はパイロットドリル孔を表示します。

4. **インプラント孔を表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はインプランアチャンネルを表示します。

アイコン**孔表示/非表示**の上へマウスポインターをホーバーしてクリックし、孔の見え方を切り替えられます。再度クリックすると孔の見え方をアイコンの順序に切り替えられます。

34.9 距離警告

⚠ 注意	**距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

SICAT Implantが以下の対象間の安全距離を検証します。

- マークした下顎神経へのインプラント - 詳細は *下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 206 - Standalone]*をご参照ください。
- インプラントへのインプラント

2つのオブジェクト間の安全距離が規定値（*安全範囲の設定 [▶ページ 286 - Standalone]*を参照）より短くなると、対応するオブジェクトやその安全範囲はビューに赤く表示されます。さらに該当するオブジェクトは**オブジェクトブラウザ**に警告アイコン付きで出ます。

35 アバットメントの計画

注意

SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。

SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのインプラントモデルも含んでいます。インプラントモデルは各メーカーのインプラントシリーズ別で整理されています。

SICAT Implant では直物や角度付き標準アバットメントならびにチタンベースも計画できます。計画したインプラントに対してインプラントと互換なアバットメントモデルのみ提案されます。

希望のアバットメントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、ジェネリックアバットメントを計画し、角度とアバットメント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

以下の機能をアバットメント計画のためにご利用になれます。

- *アバットメントの追加 [▶ページ 228 - Standalone]*
- アバットメントの有効化 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*を参照してください。
- アバットメントに焦点を当てる、アバットメントを削除する、アバットメント操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*をご覧ください。
- *アバットメントをインプラント軸の周りに回す [▶ページ 230 - Standalone]*
- *角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更 [▶ページ 231 - Standalone]*
- *アバットメントの非表示/表示 [▶ページ 233 - Standalone]*

35.1 アバットメントの追加

計画した2分割インプラントにアバットメントを追加するには、次の手順で行います。

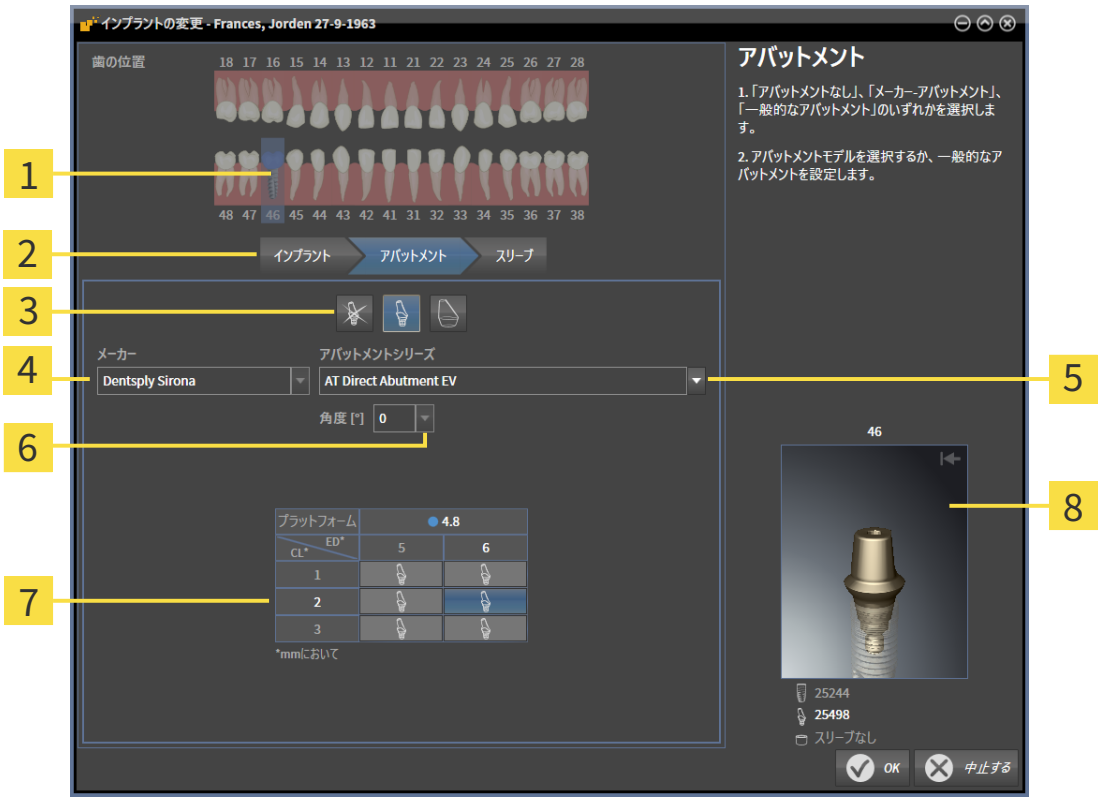
☑ 計画したインプラントにはまだアバットメントがない。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、アバットメントを追加したいインプラントを有効にします。

2. ワークフローステップ**計画する**で**アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する**アイコンをクリックします。

   ▶ アバットメント選択ウィンドウが表示されます。



1	インプラントの歯の位置	5	アバットメントシリーズ選択用ボタン
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	6	角度選択用ボタン
3	**アバットメントなし**、**メーカー-アバットメント**、**一般的なアバットメント**間の切替え用ボタン	7	アバットメントモデルの選択用表
4	製造元	8	商品番号付き3Dプレビュー

3. 所望のアバットメントシリーズを選択してください。

4. 所望の角度を選択してください。

   注記：
   どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

5. 表の対応するセルをクリックして所望のアバットメントモデルを選択してください。表には選択されたアバットメントシリーズの利用可能な全アバットメントモデルが計画したインプラントと互換な選択された角度付きで含まれ明日。行は異なるカラー部高さ及び/またはポスト部高さに対応し、列は異なる出口直径(mm)に対応します。

   ▶ 選択されたアバットメントモデルは3Dプレビューにある表に商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままアバットメントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

6. **OK**をクリックし、ウィンドウを閉じます。

▶ 新規アバットメントは全ビューで対応するインプラントの咬合延長部及び**オブジェクト** の下の対応するインプラントの下側に表示されます。

ジェネリックアバットメントの使用
希望のアバットメントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックアバットメントを使用することもできます。このためには**一般的なアバットメント** ボタンをクリックし、角度とアバットメント寸法をメーカーの規定値に従って入力してください。

インプラント及び/またはスリーブの同時変更
アバットメントを追加するときに同時に対応するインプラントまたは対応するスリーブも変更したい場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**インプラント**または**スリーブ**をクリックします。

35.2 アバットメントをインプラント軸の周りに回す

アバットメントをインプラント軸の周りに回して特に角度付きアバットメントを自由に計画することができます。

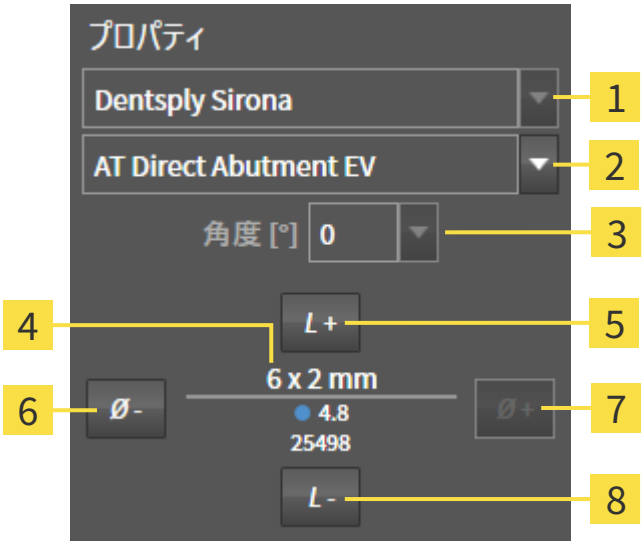
そのためには対応するインプラントをその軸の周りに回してください。詳細は*インプラントを軸の回りに回転する [▶ページ 219 - Standalone]*を参照してください。

35.3 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更

アバットメントの角度や寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. **オブジェクト**からまたは表示でアバットメントをクリックして変更したいアバットメントを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアにアクティブなアバットメントの現在の角度、現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



1	**製造元**	5	**より長い**のボタン
2	**アバットメントシリーズ**のボタン	6	**より狭い**のボタン
3	**角度**のボタン	7	**より幅広い**のボタン
4	**現在のアバットメントモデル：**カラー部高さ及び/またはポスト部高さ x 出口直径、プラットフォーム、商品番号	8	**より短い**のボタン

2. **アバットメントシリーズの変更：**所望のアバットメントシリーズを選択してください。

   ▶ SICAT Implant はアバットメントモデル及び場合によっては角度とアバットメント寸法も変更します。

3. **角度の変更：**所望の角度を選択してください。

   注記：
   どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

   ▶ SICAT Implant はアバットメントトモデルと場合によってはアバットメント寸法も変更します。

4. **アバットメント寸法とアバットメントモデルの変更：より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。**より長い**または**より短い**ボタンをクリックし、次に長いまたは次に短いモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。

   ▶ SICAT Implantがアバットメント寸法とアバットメントモデルを変更します。

インプラント選択ウィンドウ
アバットメントの角度と寸法さらにモデルをアバットメント選択ウィンドウで、 **オブジェクト**の下で変更したいアバットメントの横のアイコンをクリックして変更します。そこで**メーカー-アバットメント**と**一般的なアバットメント**、**アバットメントなし**の間を切り替えます。詳細は*アバットメントの追加 [▶ページ 228 - Standalone]*を参照してください。

ジェネリックインプラント
プロパティエリアでまたはアバットメント選択ウィンドウでもジェネリックアバットメントの角度と寸法を変更できます。

35.4 アバットメントの非表示/表示

すべてのインプラントのアバットメントは同時に非表示または表示にすることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

☑ アバットメントは現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント** でマウスポインターを**アバットメント表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントの非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **アバットメントを表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントを非表示します。

3. **アバットメントの表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントを表示します。

> アイコン**アバットメント表示/非表示**の上にマウスポインターを置き、クリックし、アバットメントの見え方を切り替えられます。再度クリックするとアバットメントの表示か非表示に切り替わります。

> アバットメントが非表示されているとき、一部のアバットメント計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはアバットメントを再び表示してください。

36 スリーブの計画

⚠ 注意	**スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのスリーブモデルも含んでいます。スリーブモデルは各メーカーごとのスリーブシステムに整理されています。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合スリーブを計画する必要があります。インプラント計画が実際実行可能かを検証してください。例えば、スリーブは隣接する歯やスリーブ、歯茎（歯茎をオペで返さない場合）あるいは骨（歯茎をオペで返す場合）とじゅうぶん距離があることが必要です。

SICAT Implant が対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*をご参照ください。

SICAT Implant はドリルテンプレートの選択後は選択されたドリルテンプレートが対応しており計画したインプラントと互換なスリーブシステムしか提案してきません。例外：CEREC ガイドドリルキーは全インプラントシステムにCERECガイドドリルキーが対応しているわけではなくてもSICAT Implantで全インプラントと互換です。CEREC ガイドドリルキーが対応するインプラントシステム/外科キットについて詳しくはCEREC ガイドの取扱説明書をご参照ください。

一貫ガイドスリーブシステムのスリーブモデルはメーカープロトコルに従ってインプラントと相対的に許容される離間的スリーブ位置で計画できます。それ以外のスリーブシステムのスリーブモデルはインプラントと相対的に入力するスリーブ位置で計画できます。

以下の機能をスリーブ計画のためにご利用になれます。

- *スリーブの追加 [▶ページ 235 - Standalone]*
- スリーブの有効化 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 113 - Standalone]*を参照してください。
- スリーブに焦点を当てる、スリーブを削除する、スリーブの操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 115 - Standalone]*をご覧ください。
- *ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 238 - Standalone]*
- *スリーブモデルの変更 [▶ページ 240 - Standalone]*
- *スリーブ位置の変更 [▶ページ 241 - Standalone]*
- *スリーブの非表示/表示 [▶ページ 243 - Standalone]*

36.1 スリーブの追加

計画したインプラントにスリーブを追加するには、次の手順で行います。

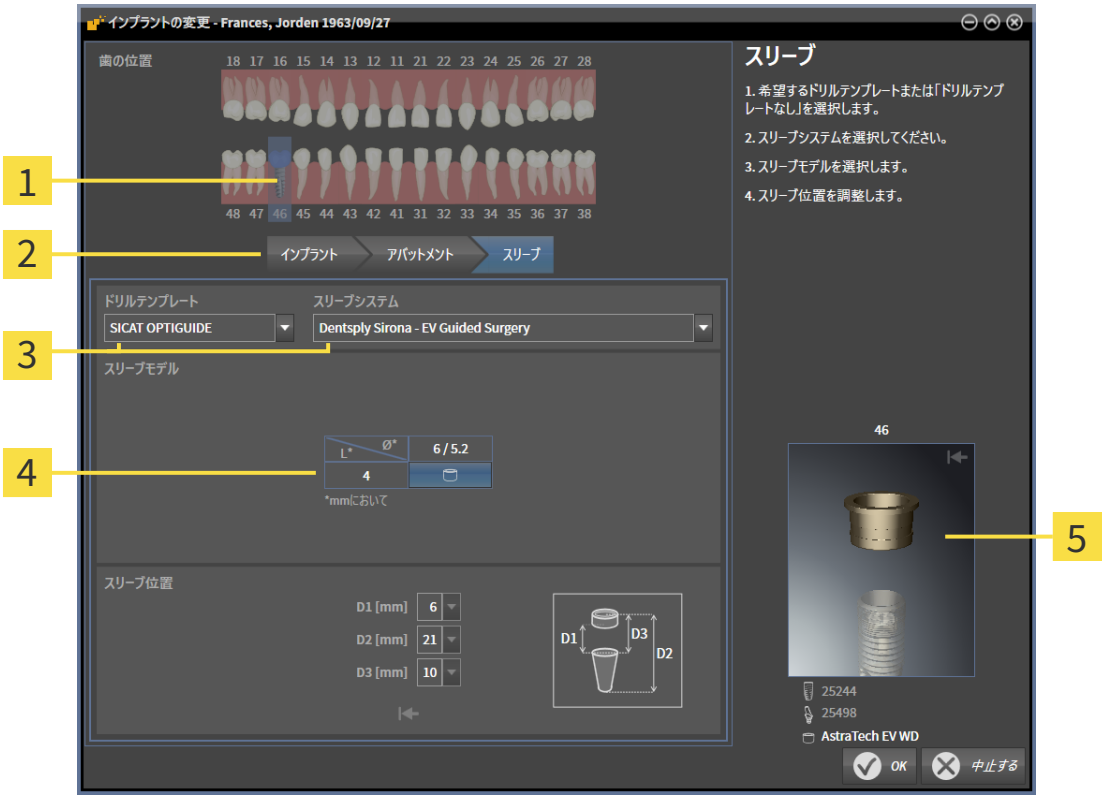
☑ ドリルテンプレートもスリーブシステムも選択していない。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、スリーブを追加したいインプラントを有効にします。

2. ワークフローステップ**計画する**で**スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する**アイコンをクリックします。

   ▶ スリーブ選択ウィンドウが表示されます。



1	インプラントの歯の位置	4	スリーブモデルの選択用表
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	5	スリーブデザイン付き3Dプレビュー
3	ドリルテンプレートとスリーブシステムの選択用ボタン		

3. 希望するドリルテンプレートを選択してください。SICAT Implantが対応するドリルテンプレートについて詳しくは *次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*をご参照ください。

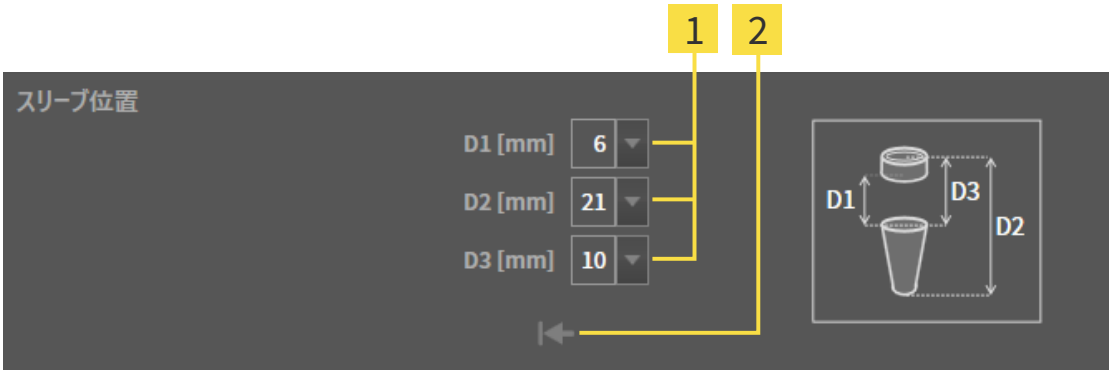
注記：
以下のボタンは一つのドリルテンプレートを選択していれば表示されます。

4. 所望のスリーブシステムを選択してください。SICAT Implant が対応するスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*をご参照ください。

5. 表の対応するセルをクリックして所望のスリーブモデルを選択してください。表は選択されたスリーブシステムの、計画したインプラントと互換な利用可能な全スリーブモデルを含みます。利用可能な多くのスリーブシステムにおいて各対応インプラントについてそれにぴたりと合うスリーブモデルがあります。行は異なるスリーブ長さに対応しており、列は異なるスリーブ直径(外径 / 内径、mm)に対応します。

   ▶ 選択されたスリーブモデルは3Dプレビューにある表にその名称とともに表示されます。マウスボタンを押したままスリーブを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

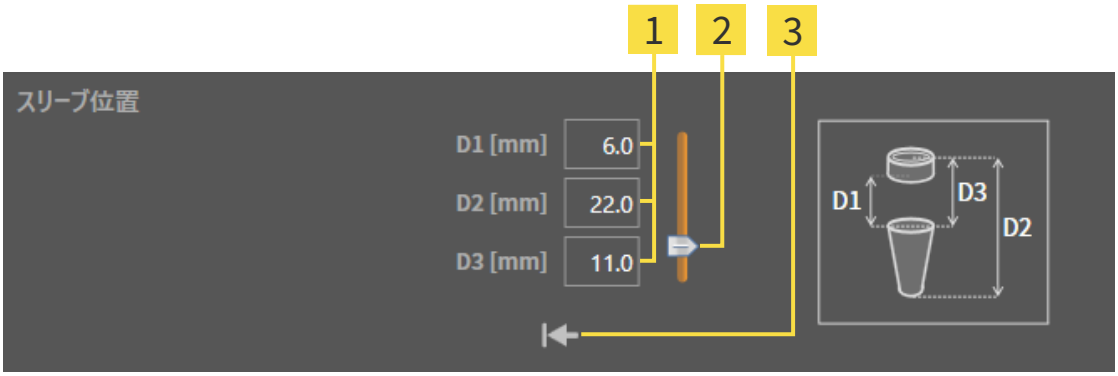
6. **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム：**所望のスリーブ位置を選択してください。選択できるのはメーカー要綱に従って、選択されたインプラントスリーブの組み合わせに認め得る全スリーブ離間位置です。D値の一つを選択すると他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の選択用ボタン

2 **スリーブ位置のリセット**のボタン

7. **スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム：**所望のスリーブ位置を欄のどれかに入力する、または所望のスリーブ位置をスライダーで決めることもできます。D値をいずれか入力すると、他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の入力欄

2 スリーブ位置調整用スライダー

3 **スリーブ位置のリセット**のボタン

8. OKをクリックしてウィンドウを閉じます。

▶ 新規スリーブは全ビューで、設定したスリーブ位置においては対応するインプラントに対して及び**オブジェクト**の下の対応するインプラントの下側に表示されます。

開いた計画の残りインプラントへの影響
選択されたドリルテンプレートと選択された スリーブシステムは全体計画つまり開いた計画の全インプラントに関連しています。スリーブシステムを選択または変更したら開いている計画の残りのインプラントのスリーブモデルとスリーブ位置も確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細は*スリーブモデルの変更 [▶ページ 240 - Standalone]*および*スリーブ位置の変更 [▶ページ 241 - Standalone]*を参照してください。

インプラント及び/またはアバットメントの同時変更
スリーブを追加するときに同時に対応するインプラントまたは対応するアバットメントも変更したい場合、 OKでウィンドウを閉じる前に**インプラント**または**アバットメント**ボタンをクリックします。

36.2 ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更

ドリルテンプレートまたはスリーブシステムは後からでも変更できます。SICAT Implant が対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 40 - Standalone]*をご参照ください。

1 **ドリルテンプレート変更**ボタン

2 **スリーブシステム変更**ボタン

ドリルテンプレート変更

1. **オブジェクトバー**バーの**計画**エリアで**ドリルテンプレート変更**ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは対応ドリルテンプレートのリストを表示します。
2. インプラント計画の実行に使う新規ドリルテンプレートをクリックします。

▶ SICAT Implantが ドリルテンプレートを変更します。

▶ 新規ドリルテンプレートがそれまで選択していたスリーブシステムに対応していない場合、SICAT Implantが新規ドリルテンプレートに対応するスリーブシステムに切り替えます。この場合、開いている計画の全計画済みインプラントのスリーブシステム及びスリーブモデルさらにスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。詳しくは この節の*スリーブシステム変更、スリーブモデルの変更 [▶ページ 240 - Standalone]、スリーブ位置の変更 [▶ページ 241 - Standalone]*をご参照ください。

スリーブシステムの変更

1. **オブジェクトバー**の**計画**エリアで**スリーブシステムの変更**ボタンをクリックします。

   注記：
   スリーブシステム変更ボタンが表示されるのは ドリルテンプレートの選択後です。

   ▶ SICAT Implantには選択されたドリルテンプレートが対応し、計画したインプラントと互換なスリーブシステムリストが表示されます。

2. 使用したい新規スリーブシステムをクリックします。

▶ SICAT Implantがスリーブシステムを変更します。

▶ 以前のスリーブシステムの計画したスリーブが削除され、計画したインプランが新規スリーブシステムと互換である限り新規スリーブシステムのスリーブに追加されます。

▶ 開いている計画の計画した全インプラントのスリーブモデルとスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細は*スリーブモデルの変更 [▶ページ 240 - Standalone]*および*スリーブ位置の変更 [▶ページ 241 - Standalone]*を参照してください。

36.3 スリーブモデルの変更

計画した一つのインプラントに選択されたスリーブシステムの複数のスリーブモデルが互換な場合、スリーブモデルを後から変更できます。

このためには以下の手順に従ってください。

☑ 所望の ドリルテンプレートと所望のスリーブシステムをすでに選択したこと。ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更について詳しくは*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 238 - Standalone]*をご参照ください。

1. **オブジェクト**からまたは任意の表示でスリーブをクリックして、スリーブモデルを変更したいスリーブを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアに現在のスリーブモデルが表示されます。

1 **より狭い**のボタン

2 **現在のスリーブモデル：**外径 / 内径 x 長さ及び名称

3 **より幅広い**のボタン

2. **より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたスリーブシステムから選択します。

   ▶ SICAT Implantがスリーブモデルを変更します。

   ▶ SICAT Implantが必要ならスリーブ位置を変更します。

3. スリーブ位置を確認し、場合によってはこれを調整します。詳細は*スリーブ位置の変更 [▶ページ 241 - Standalone]*を参照してください。

> **スリーブ選択ウィンドウ**
> スリーブモデルはスリーブ選択ウィンドウで**オブジェクト**の下のスリーブ横にあるスリーブモデルを変更したいアイコンをクリックして変更します。詳細は*スリーブの追加 [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

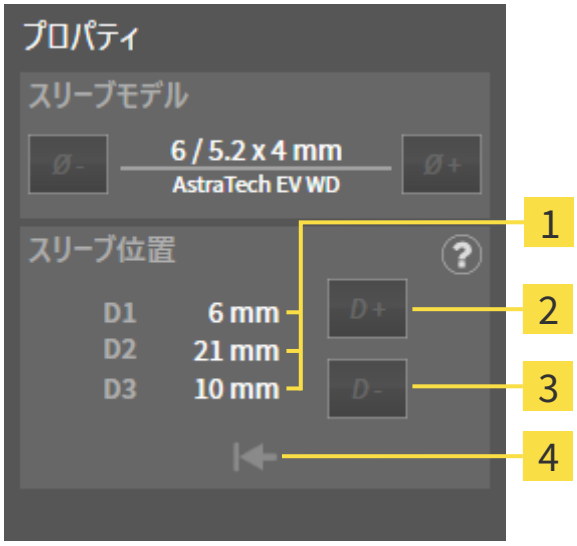
36.4 スリーブ位置の変更

計画したスリーブの位置を後から変更するには次の手順で行います。

☑ 任意のスリーブ位置があるスリーブシステムを選択したかスリーブ離間位置による一貫ガイドスリーブシステムを選択してあり、インプラントスリーブの組み合わせ用にメーカー要綱に従って複数のスリーブ離間位置が可能です。

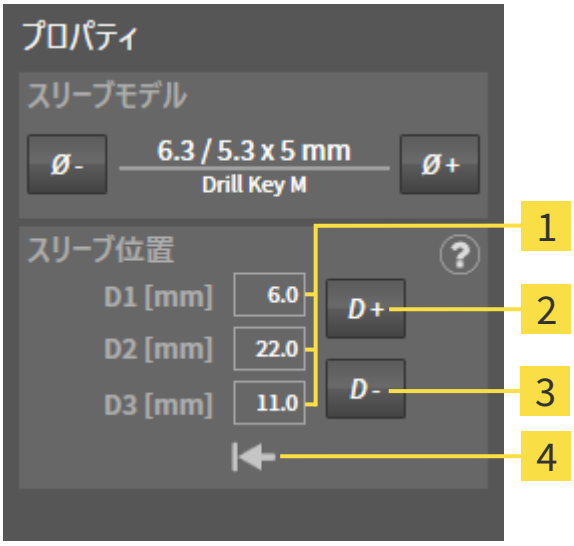
1. **オブジェクト**からまたは表示でスリーブをクリックして位置を変更したいスリーブを有効にします。

   ▶ **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム：プロパティ**エリアに下のように現在のスリーブ位置が出ます。



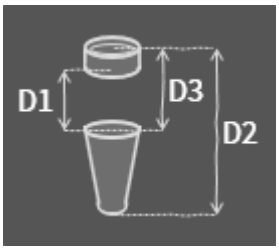
1	現在のスリーブ位置	3	**縮小**のボタン
2	**拡大**のボタン	4	**スリーブ位置のリセット**のボタン

▶ **スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム：プロパティ**エリアに下のように現在のスリーブ位置が出ます。



1	現在のスリーブ位置用入力欄	3	**縮小**のボタン
2	**拡大**のボタン	4	**スリーブ位置のリセット**のボタン

▶ **D値の説明**



2. **拡大** または **縮小**ボタンをクリックし次に大きいまたは次に小さいスリーブ位置を選択します。任意のスリーブ位置があるスリーブシステムでは所望のスリーブ位置を欄の一つにも入力できます。D値を調整すると、他の二つのD値も自動調整されます。

▶ SICAT Implantはスリーブ位置を変更します。

> **スリーブ位置をビューで直接変更**
> スリーブ位置は、所望のスリーブをクリックし、マウスボタンを押したまま上または下にドラッグしてビュー**軸方向**以外の2Dレイヤービューでも変更できます。スリーブ離間位置を持つ一貫ガイドスリーブシステムではこの方法でもメーカー要綱に従ってのみ可能なスリーブ位置に設定できます。

> **スリーブ選択ウィンドウ**
> スリーブ位置はスリーブ選択ウィンドウで、位置を変更したいスリーブ横の **オブジェクト**でアイコンをクリックして変更できます。詳細は*スリーブの追加 [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

36.5 スリーブの非表示/表示

スリーブは全インプラントについて同時に非表示/表示できます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 117 - Standalone]*を参照してください。

☑ スリーブは現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント**でマウスポインターを**スリーブ表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant がスリーブ非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **スリーブを表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がスリーブを非表示します。

3. **スリーブの表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant スリーブを表示します。

> アイコン**スリーブ表示/非表示**の上へマウスポインターをホーバーしてクリックし、スリーブの見え方を切り替えられます。再度クリックするとスリーブ表示か非表示に切り替わります。

> スリーブが非表示されている場合、いくつかの スリーブ計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはスリーブを再び有効にしてください。

37 注文プロセス

希望するSICATドリルテンプレートを注文するには、以下の手順に従ってください。

- SICAT Implantにショッピングカート内の計画データを含む希望するSICATドリルテンプレートを入れます。これに関する情報は*SICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ページ 245 - Standalone]*を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報は*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 249 - Standalone]*を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報は*インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 250 - Standalone]*もしくは*インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 254 - Standalone]*を参照してください。

ℹ	様々な患者、3D X線撮影図およびアプリケーションに属する注文をショッピングカートに追加することができます。ショッピングカートの内容は、SICAT Suite終了時も保持されます。

37.1 SICATドリルテンプレートをカートに入れる

> ⚠ **注意**
>
> **不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。**
>
> 発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

SICAT Implant で最初の注文プロセスでSICATドリルテンプレートをカートに入れます。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 211 - Standalone]*を参照してください。

☑ 所望のSICAT ドリルテンプレートと所望のスリーブシステムを選択してあり、さらに各インプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2を計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画について選択されたSICAT ドリルテンプレートを発注するには、ワークフローステップ **治療**で**SICATドリルテンプレートを注文する**をクリックします。

   ▶ SICAT OPTIGUIDEまたはSICAT DIGITALGUIDEを発注したいときでまだ光学印象はインポートも登録もしていないとき、次から選択できます。
   – 光学印象をインポートして登録するこれに関する詳細は*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。
   – 光学印象なしで発注する。この場合は対応する顎の石膏モデルをSICATへご送付ください。SICATが石膏モデルを元に必要な光学印象を作成します。

   ▶ **SICATドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが出ます。

2. **患者**と**注文への詳細**エリアで患者情報と発注用明細情報が正しいことを確認します。

3. **スリーブシステム「SICATスリーブインスリーブ」用内部スリーブを選択する。**スリーブシステムに「SICATスリーブインスリーブ」を選択した場合、**注文への詳細**エリアに第1と第2内部スリーブの内径を選択します。内部スリーブは1つでよければ、**内部スリーブ**用の二つの欄で「無し」を選びます。

4. 計画を確認してください。発注が正しい計画に基づいたものであることとインプラント、スリーブ、スリーブ位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ インプラントのための全発注条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン ⚠ を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン ⚠の上に置くと、対応する注記が出ます。
   発注の前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラントとスリーブシステムに互換性がない。
   – スリーブシステムとして「CEREC ガイドドリルキー」を選択してあり、スリーブ位置はまだ計画していない場合。
   安全距離より近い場合。
   これらの場合は発注を止め、問題を解決してください。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもドリルテンプレートをカートに入れることは可能なことも指定できます。

5. 希望する場合、**追加情報**欄にSICATの追加情報を入力します。

6. 一貫ガイド外科システムを発注のために初めてお使いになる場合、**確認**エリアで対応する外科キットがあることを確認してください。

7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは所望のSICAT ドリルテンプレートを計画データごとSICAT Suiteカートに入れます。

   ▶ SICAT Implant を計画のコピーを「完結」状態で作成します。SICAT ドリルテンプレートの発注用の基礎とする計画を後から元の状態で検討することができます。

   ▶ SICAT Implant は**SICATドリルテンプレートを注文する**ウインドウを閉じます。

   ▶ SICAT ImplantはSICAT Suiteのカートを開きます。

8. *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 249 - Standalone]*で続行してください。

9. **SICAT CLASSICガイドの発注：**レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。

> **両顎インプラント計画**
> 上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次に **SICATドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが出ます。ドリルテンプレートを注文したい顎を選びます。ドリルテンプレーを最初の顎用にカートに入れてから、第2の顎用ドリルテンプレートは**SICATドリルテンプレートを注文する**ボタンを再度クリックしてカートに入れます。

SICAT CLASSICガイドの発注
レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATにお送りください。SICATで小包を受領後初めて受注処理が可能ですのでそれからSICAT CLASSICガイドの製造を始めます。

37.2 カートを開く

カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。

- ショッピングカートをまだ開いていない場合、**ナビゲーションバー**の**カート**のボタンをクリックします。

▶ **カート**のウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

- *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 249 - Standalone]*

37.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ **カート**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*カートを開く [▶ページ 248 - Standalone]*を参照してください。

1 **注文するアイテムへ**のリスト

2 **注文の準備**のボタン

1. **カート**ウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
2. **注文のため患者データを匿名化する**のチェックボックスを有効または無効にします。
3. **注文の準備**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文状況を**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 250 - Standalone]*
- *インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 254 - Standalone]*

37.4 インターネット接続を使用した注文の終了

Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**は有効になっています。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 274 - Standalone]*を参照してください。

☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

   ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されます。

2. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 251 - Standalone]*の指示に従ってください。

▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。

▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。

SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピュータで、同じ患者ファイルフォルダーを開いているときは、注文をアップロードしているのが別のコンピュータであっても、すべてのコンピュータで、その注文内容が表示されます。注文内容のアップロードを開始したコンピュータであれば、そのコンピュータで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。

アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

37.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。

患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

37.6 SICAT WEBCONNECTOR

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 12 - Standalone]*を参照してください。

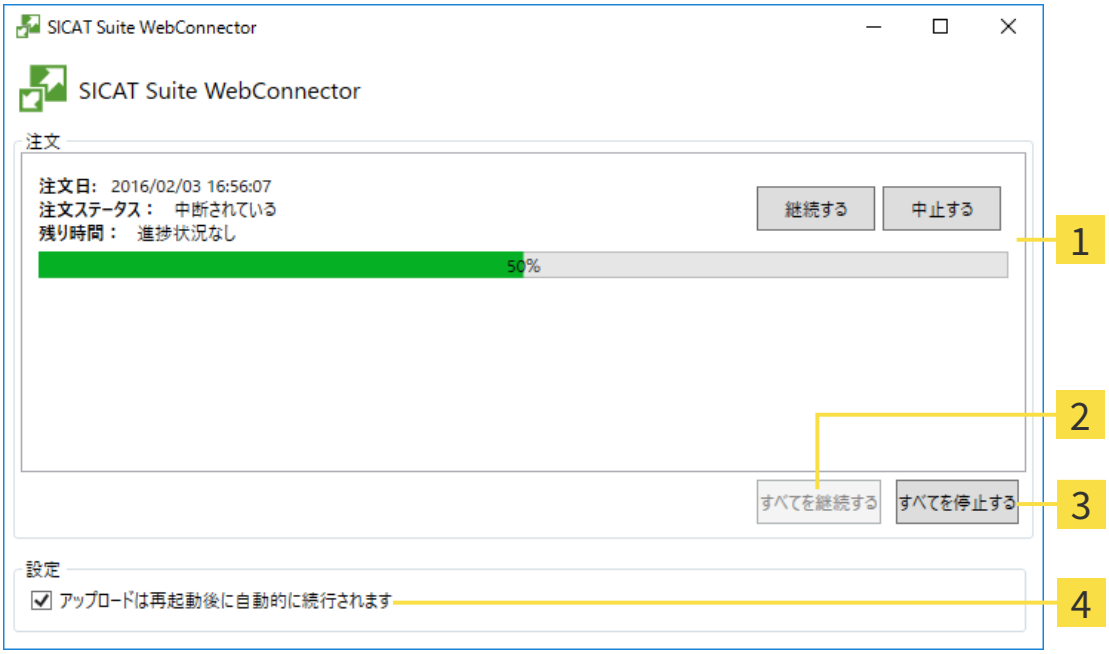
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Implant 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectoを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われないことがありますが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く

- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト **注文**

2 ボタン **すべて再開する**

3 ボタン **すべて停止する**

4 チェックボックス **再起動後にアップロードを自動で再開する**

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

37.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT Suiteが**SICAT Suite - SICAT サーバーに接続できない**ウィンドウを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- **インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**
- **SICATポータルにアクセスできません。**
- **「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。**
- **「SICATWebConnector」サービスが起動していません。**
- **未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

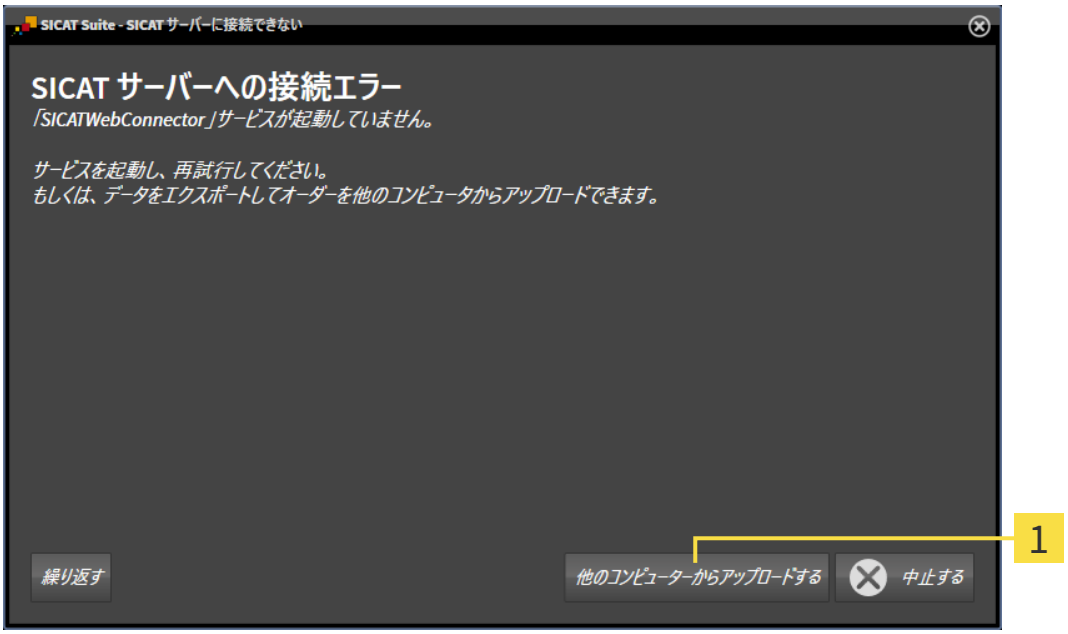
一般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無効にした場合は、**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウが直接開きます。

トラブルシューティングの代わりとして、またはインターネットへのアクセスを無効にしている場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

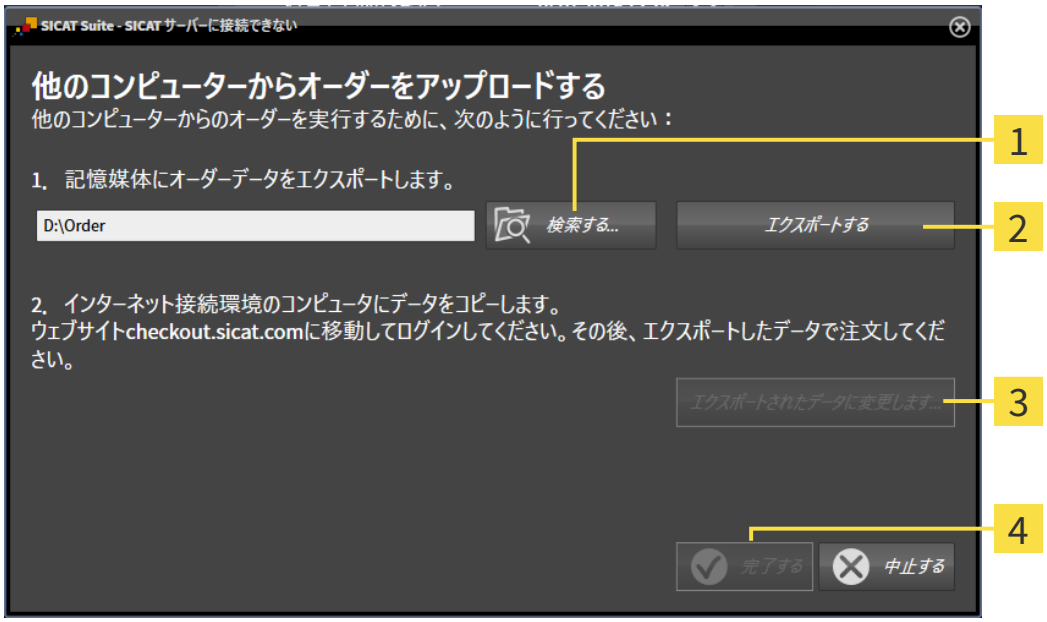
☑ ウインドウに表示されるメッセージ： **SICAT サーバーへの接続エラー**



1 **他のコンピューターからアップロードする**のボタン

1. **他のコンピューターからアップロードする**のボタンをクリックします。

   ▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**のウィンドウが開きます。



1 **検索する**のボタン

2 **エクスポートする**のボタン

3 **エクスポートされたデータに変更します**のボタン

4 **完了する**のボタン

2. **検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

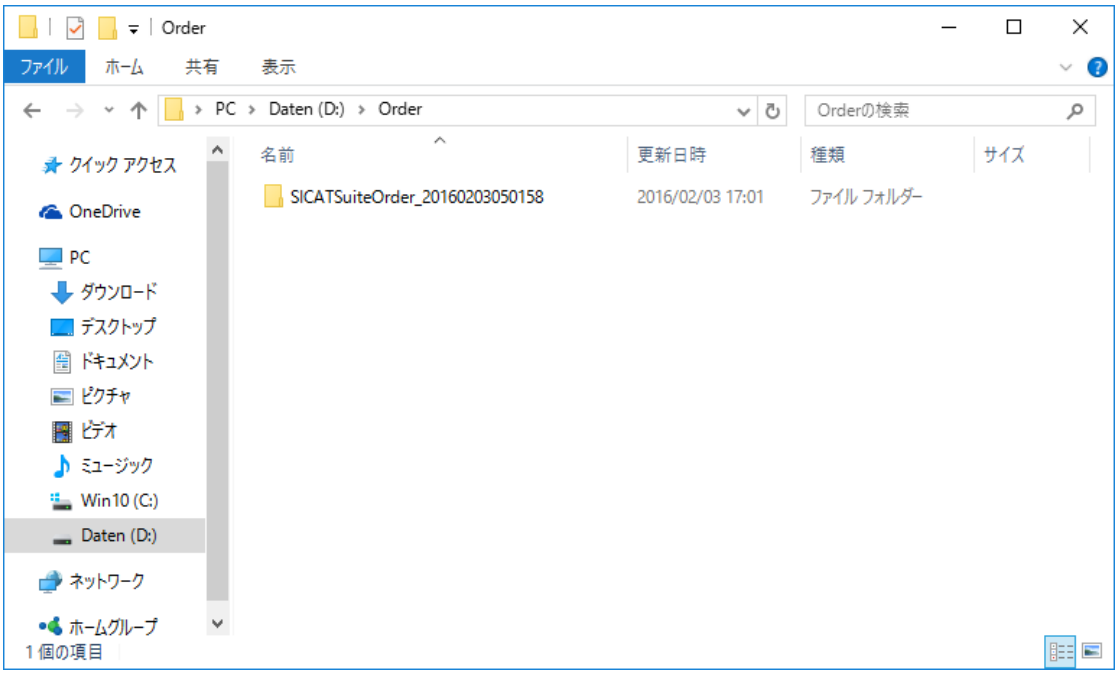
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。

7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。

   ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。

8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページwww.sicat.comを開きます。

9. SICATポータルへのリンクをクリックします。

   ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。

12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。

    ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。

13. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 251 - Standalone]*の指示に従ってください。

14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。

15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。

▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

ℹ	SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

38 CEREC GUIDE用にエクスポート

⚠ 注意	**不正計画またはCEREC ガイド用不正エクスポートデータに基づくCEREC ガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。** CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。

⚠ 注意	**CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。** 1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。 2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。

⚠ 注意	**スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。** スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに精確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り精確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

SICAT ドリルテンプレートの発注に加え、計画をCEREC ガイドの作成用に光学印象に基づいてエクスポートできます。

SICAT Implant は2種類のエクスポートに1つのCEREC ガイドについて対応します。

- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSIXDフォーマットで実行する、*CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする [▶ページ 259 - Standalone]*の節をご参照ください。CEREC ガイド 3またはCEREC ガイド 2のワークフロー用にCERECソフトウェアのバージョン5.1以降を使用するときはこの方法を取ります。この方法ではデータをHub経由でCERECソフトウェアへ転送できます。
- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSSIフォーマットで実行するには*CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする [▶ページ 262 - Standalone]*の節をご参照ください。CERECソフトウェアのバージョン5.1より前またはinLabソフトウェアを使用している場合は、CERECガイド2ワークフローにこの方法を適用してください。

ℹ	CERECガイドの取扱説明書を参照し、用途についてのご案内や適合する方法についてご参考にしてください。

38.1 CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

☑ 「CEREC ガイド エクスポート」ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。

☑ インプラントの全位置をカバーする光学印象 (場合によっては修復あり)をSIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 211 - Standalone]*を参照してください。

☑ **オプション：**チタンベースを計画した。詳細は*アバットメントの計画 [▶ページ 227 - Standalone]*を参照してください。

☑ **CEREC ガイド3ワークフロー：**ドリルテンプレートとして「CEREC ガイド」、CEREC ガイド3が対応する一貫ガイドスリーブシステムを選択してあり、さらにインプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*を参照してください。

☑ **CEREC ガイド2ワークフロー：**ドリルテンプレートとして「CERECガイド」、スリーブシステムには「Dentsply Sirona – CEREC ガイドドリルキー」を選択してあり、さらにインプラント毎にスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*を参照してください。

注記：
CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

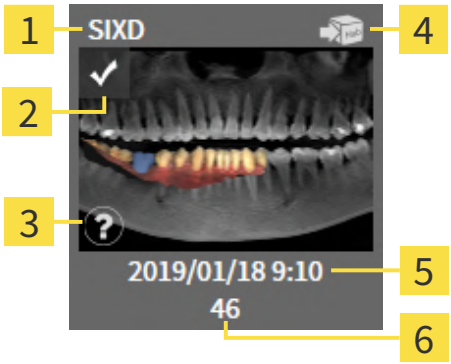
☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ**治療**で**CEREC Guide用にエクスポート**をクリックします。

▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていなければ対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされている場合は、次のウィンドウが出ます。

2. 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。

3. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際SIXDフォーマットの光学的投影に基づいて1つのCAD/CAMケースがSIXDフォーマットで選択されていることを確認してください。Hubアイコンは対応するCAD/CAMケースをHubに送ることが可能なことを表します。



1	データフォーマット	4	Hubアイコン
2	オプションチェックボックス	5	インポート日とインポート時間
3	撮影日と撮影システムを記載した情報ウィンドウ	6	修復

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエク、スートするインプラントが「グレーアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン⚠を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン ⚠の上に置くと、対応する注記が出ます。
   エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
   – CERECガイド3ワークフローでインプラントとスリーブシステムが互換でない場合。
   – CERECガイド2ワークフローでスリーブ位置が未計画だった場合。
   安全距離より近い場合。
   この場合は別の光学印象を選択またはエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。

5. **Hubへ送る**：**Hubに送信**をクリックします。HubからこれらのデータをCERECソフトウェアのバージョン 5.1以降からはダウンロードできます。

6. **ファイルにエクスポート**：**ファイルにエクスポート**をクリックし、バージョン5.1以降のCERECソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。

▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

Hubに送信ボタンはSICAT SuiteがHubと結合され、Hubのライセンスが有効なとき表示されます。

Hubに送信ボタンは特に次の前提が成立しているときに有効です。

- CAD/CAM症例を事前にHubからダウンロードした。
- CAD/CAM事例のワークフローステータスが適していること。
- CAD/CAM事例を含む計画が別の計画の複製ではないこと。
- CAD/CAM事例は別のSICATアプリケーションによって適用されなかったこと。

38.2 CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

☑ 「CEREC ガイド エクスポート」ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。

☑ インプラントのSSISIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は*光学印象 [▶ページ 190 - Standalone]*を参照してください。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 211 - Standalone]*を参照してください。

☑ ドリルテンプレートに「CEREC ガイド」、スリーブシステムに「Dentsply Sirona - CEREC ガイドドリルキー」を選択し、各インプラントについてスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 234 - Standalone]*を参照してください。

注記：
CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

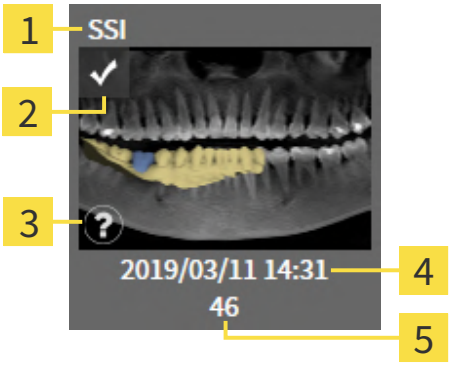
☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ**治療**で**CEREC Guide用にエクスポート**をクリックします。

   ▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていなければ対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされていれば、次のウィンドウが出ます。

2. 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。

3. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際、SSIフォーマットで光学的投影に基づいて1つまたは複数のCAD/CAMケースがSSIフォーマットで選択されていることを確認してください。



1	データフォーマット	4	インポート日とインポート時間
2	オプションチェックボックス	5	修復
3	撮影日と撮影システムを記載した情報ウィンドウ		

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエク、スートするインプラントが「グレーアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン⚠を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン⚠の上に置くと、対応する注記が出ます。
   エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
   – スリーブ位置が未計画な場合。
   安全距離より近い場合。
   この場合は別の光学印象を選択するかエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。

5. **ファイルにエクスポート**をクリックし、CERECソフトウェアまたはinLabソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。

▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

39 計画レポートの作成

⚠ **注意**	**計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながることがあります。** 診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。これは医療画像データの表示専用です。

インプラント計画は計画レポートとして文書化できます。

SICATドリルテンプレートをご注文の場合、ドリルテンプレートレポートをオペのためにご報告します。CERECガイドをご利用の場合、計画レポートはドリルテンプレートレポートとしてもオペ用にご利用可能です。

計画レポートには全インプラントが記載された概要ページを含むほかインプラント毎の明細ページにインプラントの詳細情報が記載されています。計画レポートはPDFファイルに保存または印刷できます。

「計画レポートの作成」のウィンドウを開く

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 211 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

- 開いた計画について計画レポートを作成するには、ワークフローステップ**治療**で**計画レポートの作成**をクリックします。

▶ **計画レポートの作成**のウィンドウが開きます。

1	**内容**エリア	3	**グローバル設定**エリア
2	ページナビゲーション	4	プレビュー
		5	**結果**エリア

両顎インプラント計画
上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次に **計画レポートの作成**ウィンドウが出ます。計画レポートを作成したい顎を選びます。

計画レポート設定の変更

1. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
2. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
   ▶ SICAT Implantが、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報を計画レポート上に表示します。

計画レポートをPDFファイルに保存

1. **結果**エリアで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
2. 計画レポートの保存先ディレクトリに移ってください。
3. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

▶ SICAT Implantは計画レポートをPDFファイルに保存します。

SICAT ImplantはPDFファイルも暗号化して患者ファイルに保存します。

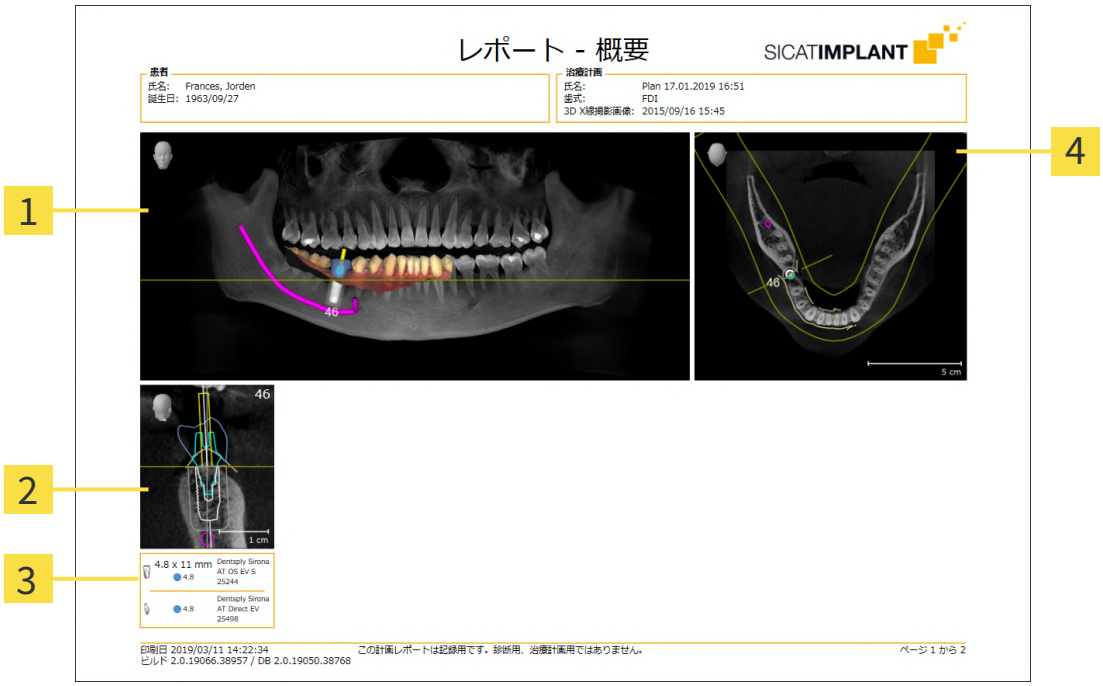
計画レポートの印刷

適切な品質の計画レポートには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 12 - Standalone]*を参照してください。

1. **印刷する**のボタンをクリックします。
   ▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。
2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
3. **印刷する**をクリックします。

▶ SICAT Implantはプリンターに計画レポートを送信します。

計画レポートの説明

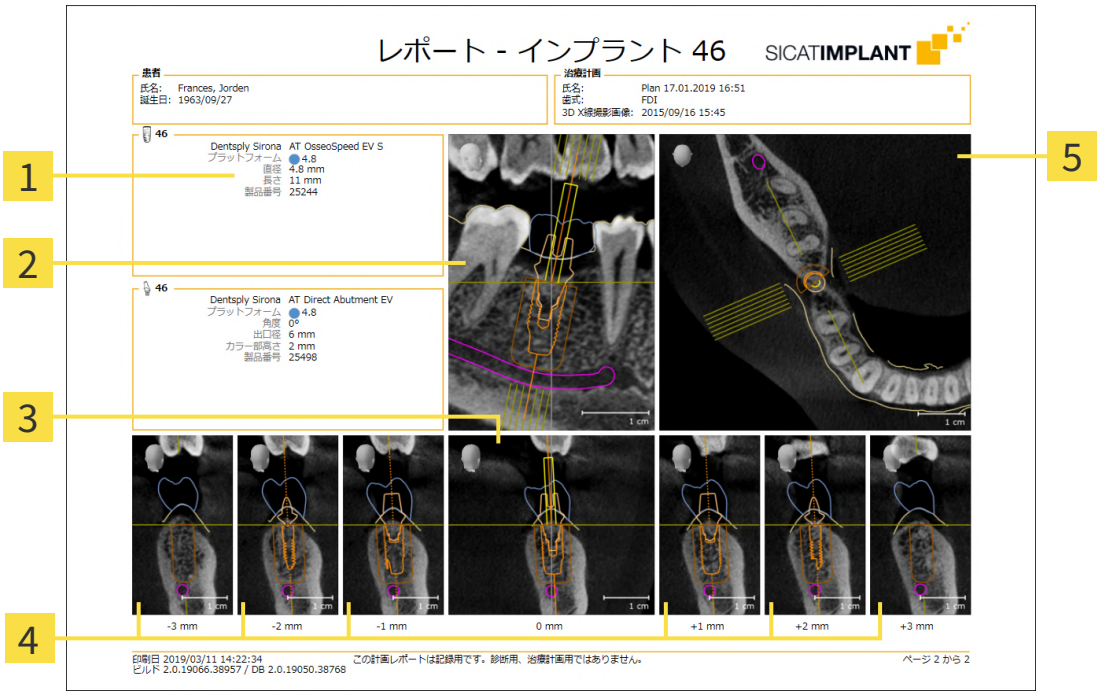


1 **パノラマ**ビュー

2 インプラント毎のインプラントアライン済ビュー **横断**

3 インプラント毎の寸法とモデル情報

4 **軸方向**ビュー



1 寸法とモデル情報

2 インプラントアライン済ビュー**縦**

3 インプラントアライン済ビュー**横断**

4 ビュー **横断**と平行なビュー

5 **軸方向**ビュー

オブジェクトの表示
インプラントは計画レポートでは常時表示されます。スリーブは計画レポートでは、SICATドリルテンプレートとともに入手されるスリーブ情報はSICATドリルテンプレートレポートでは主要な要素なのでSICAT ドリルテンプレートに対しては表示されません。その他の全オブジェクトは計画レポートの作成時にSICAT Implantに表示されている限り、計画レポートに表示されます。

40 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

現在開いている患者ファイルのスタディをエクスポートすることができます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル（DICOM）
- 3Dスタディ
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3Dスタディ	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像とスタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

文書をエクスポートするには、**3D撮影図と計画プロジェクト**エリアの文書を選択し、**エクスポート**ボタンをクリックします。その後、Windows ファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポート先のディレクトリを選択することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウインドウを開く。これに関する情報は*「データの転送」ウィンドウを開く [▶ページ 270 - Standalone]*を参照してください。
- 希望のデータをエクスポートします。これに関する情報は*データのエクスポート [▶ページ 271 - Standalone]*を参照してください。

40.1 「データの転送」ウィンドウを開く

データをエクスポートするにはまず**データを共有する**ウィンドウを開く必要があります。

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンで **データを共有する**ウインドウを開くには、次の操作のうちいずれかを実行します：

- 患者ファイルが有効になっている場合、**ナビゲーションバー**で**データを共有する**アイコンをクリックします。

▶ **データを共有する** のウィンドウが開きます。

- **SICAT Suiteホーム** のウィンドウで、**データを共有する**のボタンをクリックします。

▶ **データを共有する** のウィンドウが開きます。

- **アクティブな患者ファイル**ウインドウで3D X線撮影図、スタディまたは計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、選択したデータに関する**データを共有する**ウインドウが開きます。

- **患者ファイルの概要**ウインドウで患者ファイルを選択し、選択した患者ファイルを転送するボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウインドウが開きます。患者ファイルの全ての3D X線撮影図と計画プロジェクトをエクスポートするために選択します。

- **患者ファイルの概要**ウインドウで3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウインドウが開きます。

SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

*データのエクスポート [▶ページ 271 - Standalone]*で続行してください。

40.2 データのエクスポート

スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

☑ **データを共有する**ウインドウはすでに開いています：これに関する情報は*「データの転送」ウィンドウを開く [▶ページ 270 - Standalone]*を参照してください。

1	チェックボックス **匿名にする**	4	欄 **目的のパスを選択してください。**
2	患者ファイルの特性	5	ボタン **データを共有する**
3	3Dスタディのリスト	6	チェックボックス **結果をZipファイルにする**

1. 希望する場合、**データを共有する**ウインドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。

   ▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓**（**患者**）、**名**（**匿名**）、**1月1日**（**誕生日**が誕生年月）に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

2. 希望の患者の任意の3Dスタディが選択されていることを確認してください。

3. **検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを検索する** のウィンドウが開きます。

4. **フォルダを検索する**ウインドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

   ▶ **フォルダを検索する**ウインドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパスを選択してください。**欄に転記します。

5. **結果をZipファイルにする**のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。

6. **データを共有する**のボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは選択したスタディをZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

41 設定

設定ウインドウで一般設定を変更または閲覧することができます。**設定**アイコンをクリックすると、**設定**ウインドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 274 - Standalone]*を参照してください。
- **患者ファイル用ファイリング** - 患者ファイルの保存場所を指定できます。これに関する情報は*患者ファイリング [▶ページ 67 - Standalone]*を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - Standalone]*を参照してください。
- **プラクティス** - クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は*歯科医院情報の使用 [▶ページ 278 - Standalone]*を参照してください。
- **SIDEXIS 4** - が該当するのは、SIDEXIS 4がシステムにインストールされている場合のみです。
- **Hub** - Hubの使用を有効または無効にします。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ページ 279 - Standalone]*を参照してください。
- **可視化** — ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 281 - Standalone]*を参照してください。
- **SICAT Implant** — アプリケーション固有のSICAT Implant設定内容を変更します。これに関する情報は*SICAT Implant設定の変更 [▶ページ 283 - Standalone]*を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Implantが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

41.1 一般設定の使用

一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **ナビゲーションバー** で、 **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **一般**タブをクリックします。
   ▶ **一般** のウィンドウが開きます。

1	**一般**のタブ	4	**ツール**エリア
2	**局所設定**エリア	5	**ディレクトリ**エリア
3	**患者**エリア	6	**注文**エリア

以下の設定を変更することができます。

- **局所設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を変更することができます。
- **局所設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を変更できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。チェックボックスが選択されている場合、SICAT Suiteでは患者ファイルの属性は**ナビゲーションバー**に**患者**は**姓**、**匿名**は**名**、および**誕生日**では**01.01.**と誕生年で表示されます。**SICAT Suiteホーム**ウィンドウで、SICAT Suiteは**最後の患者ファイル**リストを表示しません。
- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。
- **注文**エリアでは、**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール**、**モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**のボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報は*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ページ 276 - Standalone]*を参照してください。

対応している歯型図はFDIとADAです。

41.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション

⚠ **注意**

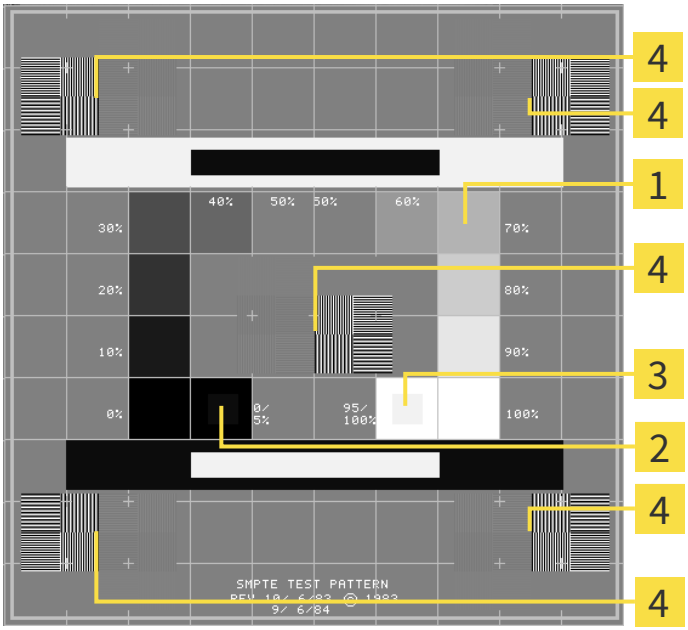
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0% ～ 5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95% ～ 100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。

- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

ℹ	多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。

▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

41.3 歯科医院情報の使用

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

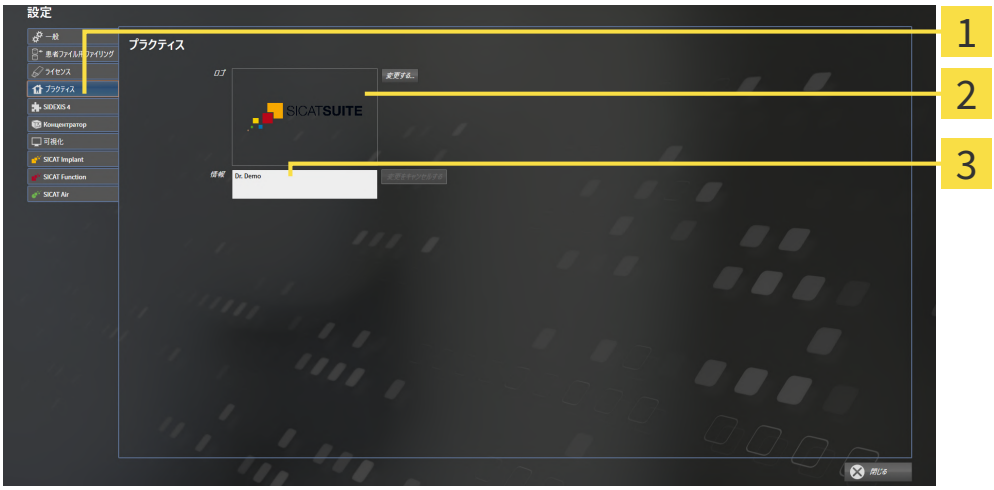
歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **プラクティス**タブをクリックします。

   ▶ **プラクティス** のウィンドウが開きます。



1 **プラクティス**のタブ

2 **ロゴ**エリア

3 **情報**エリア

以下の設定を変更することができます。

- **ロゴ**エリアでは、歯科医院のロゴを設定することができます。**変更する**ボタンで歯科医院のロゴを選択することができます。SICAT Suiteは指定のファイルをSICAT Suiteユーザーディレクトリにコピーします。
- **情報**エリアでは、歯科医院を識別するテキスト（名前、住所など）を入力することができます。**Enter**ボタンを押して、行数を最大5行まで増やすことができます。**変更をキャンセルする**ボタンをクリックして、情報テキストの変更を元に戻すことができます。

41.4 HUBの使用を有効または無効にする

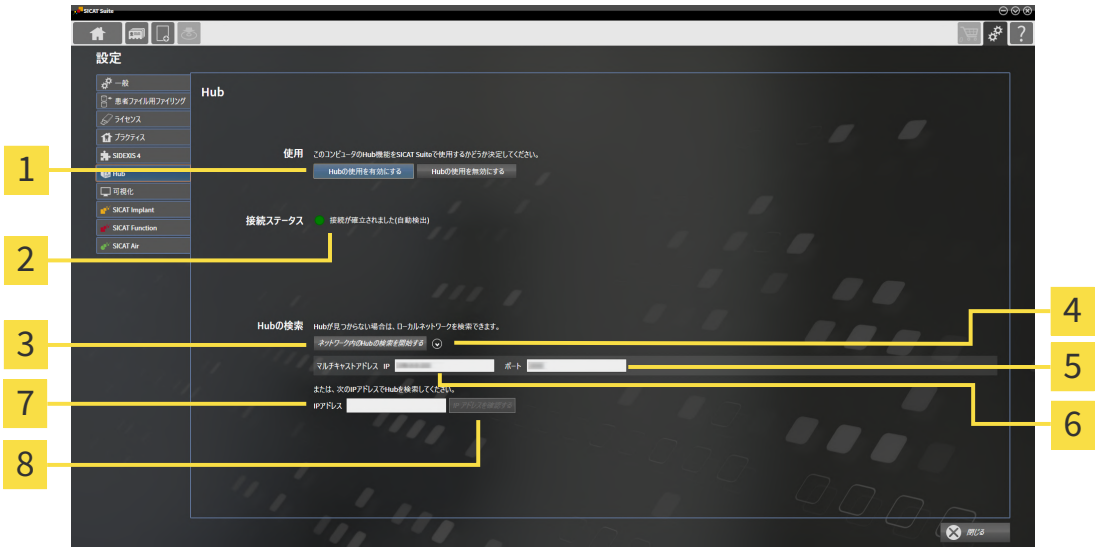
設定ではHubの使用を有効または無効にして接続設定を確認します。デフォルトでは、Hubの使用は無効になっています。

HUBの使用を有効にする

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - Standalone]*を参照してください。

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **Hub**のタブをクリックします。
   ▶ **Hub**ウィンドウが開きます。



1	**Hubの使用を有効にする**および**Hubの使用を無効にする**	5	**ポート**入力欄
2	**接続状況**	6	**マルチキャストアドレス**入力欄 IP
3	**ネットワーク内のHubの検索を開始する**のボタン	7	**IPアドレス**入力欄
4	表示および非表示する	8	**IP アドレスを確認する**のボタン

3. **Hubの使用を有効にする**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT SuiteはHubへの接続を試みます。
   ▶ **接続状況**の他に緑色のアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できています。
   ▶ **接続状況**の他に赤いアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できませんでした。

4. SICAT SuiteがHubに接続できなかった場合は、ここに表示されているものとは別のマルチキャストアドレスがHubに設定されているかどうかを確認してください。
   ネットワーク内のHubの検索を開始するのボタンの横にあるのアイコンをクリックします。
   - **マルチキャストアドレス**フィールドにHubに設定されているマルチキャストアドレスを入力します。デフォルトでは、マルチキャストアドレスは239.0.0.222です。
   - **ポート**フィールドにHubに設定されているポートを入力します。デフォルトでは、ポートは2222です。
   -**ネットワーク内のHubの検索を開始する**のボタンをクリックします。SICAT SuiteがHubを見つけると、緑色のアイコンが表示され、そのHubを使用できるようになります。

5. SICAT Suiteがマルチキャストアドレス経由でHubに接続できなかった場合は、HubのIPアドレスを直接入力して接続してみてください。
   - **IPアドレス**フィールドにHubのIPアドレスを入力して**IP アドレスを確認する**ボタンをクリックします。SICAT Suiteが指定のIPアドレスでHubを見つけた場合は、そのHubを使用できます。

6. SICAT SuiteがHubのマルチキャストアドレスまたはIPアドレスを介してHubに接続できなかった場合は、Hubのサポートに連絡してください。

HUBの使用を無効にする

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。

2. **設定**ウィンドウで**Hub**をクリックします。
   ▶ **Hub**ウィンドウが開きます。

3. **Hubの使用を無効にする**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT SuiteはHubの使用を無効にします。

41.5 可視化設定の変更

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **可視化**タブをクリックします。
   ▶ **可視化** のウィンドウが開きます。

1 タブ **可視化**

2 エリア **画質**

3 エリア **他のビューの更新**

4 エリア **線の太さ**

5 エリア **目線**

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** — **軸方向**レイヤービューと**矢状方向**レイヤービューの目線を切り替えます。

41.6 SICAT IMPLANT設定の変更

以下のSICAT Implant設定を変更することができます。

- **優先インプラントシリーズ** - これに関する情報は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 284 - Standalone]*を参照してください。
- **安全領域** - これに関する情報は*安全範囲の設定 [▶ページ 286 - Standalone]*を参照してください。
- **孔** - これに関する情報は*孔の設定 [▶ページ 287 - Standalone]*を参照してください。

41.6.1 優先インプラントシリーズの指定

SICAT Implantデータベースから選ぶ同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを的を絞って提案されます。

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。

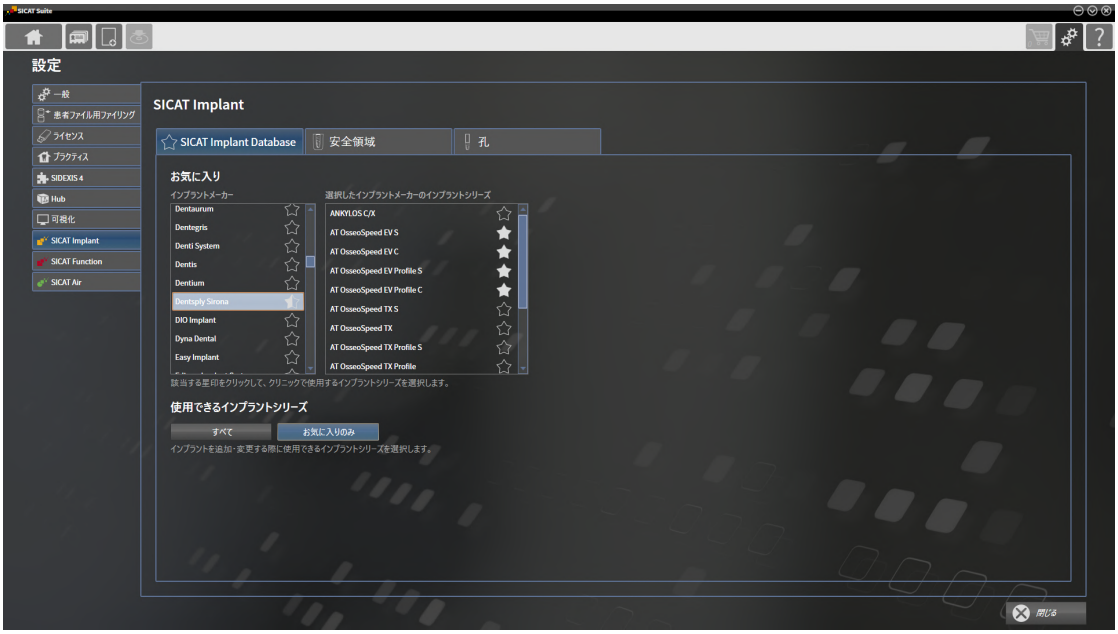
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Implant**のタブをクリックします。

   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。

3. **SICAT Implantデータベース**タブをクリックします。

   ▶ **SICAT Implantデータベース**ページが開きます。



4. 左リストにある治療に使用したい最初のインプラントメーカをクリックーします。

   ▶ SICAT Implant の右リストに選択されたインプラントメーカーの全インプラントシリーズが出ます。

5. **選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りに選択：**アイコン★が現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

6. **選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りから選択解除：**アイコン☆が現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

7. **選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りに選択：**アイコン★が現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

8. **選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りから選択解除：**アイコン☆が現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

9. 左リストにあるクリニックでご利用の次のインプラントメーカーをクリックし、ステップ6に進んでください。

10. **閉じる**をクリックします。

全てのインプラントシリーズまたはお気に入りのみを対象とする
インプラント計画ではお気に入りではなく利用可能な全てのインプラントシリーズを検討したい場合、**使用できるインプラントシリーズ** のページでボタン **すべて**をクリックします。

ご自分のインプラント計画ではお気に入りのみ表示させるには、**お気に入りのみ**ボタンをクリックします。

41.6.2 安全範囲の設定

インプラント周囲の安全範囲寸法は調整できます。安全範囲を新規プランニングの際に表示させるかも設定できます。安全範囲について詳しくは*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 224 - Standalone]*を参照してください。

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。

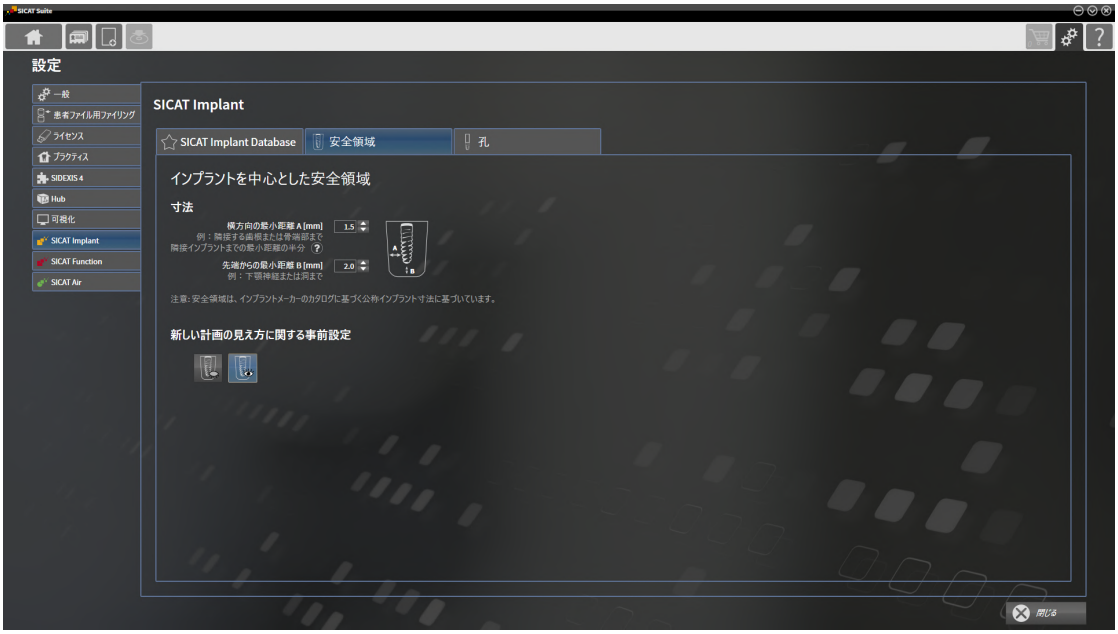
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Implant**のタブをクリックします。

   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。

3. **安全領域**のタブをクリックします。

   ▶ **安全領域**のページが表示されます。



4. **安全範囲の寸法設定：横方向の最小距離**欄と**先端からの最小距離**欄に距離を直接入力するか、矢印キーで距離を調節します。

5. **新規プランの際の安全範囲の非表示新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**安全領域を非表示にする**ボタンをクリックします。

6. **新規プランの際の安全範囲の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**安全領域の表示**ボタンをクリックします。

7. **閉じる**をクリックします。

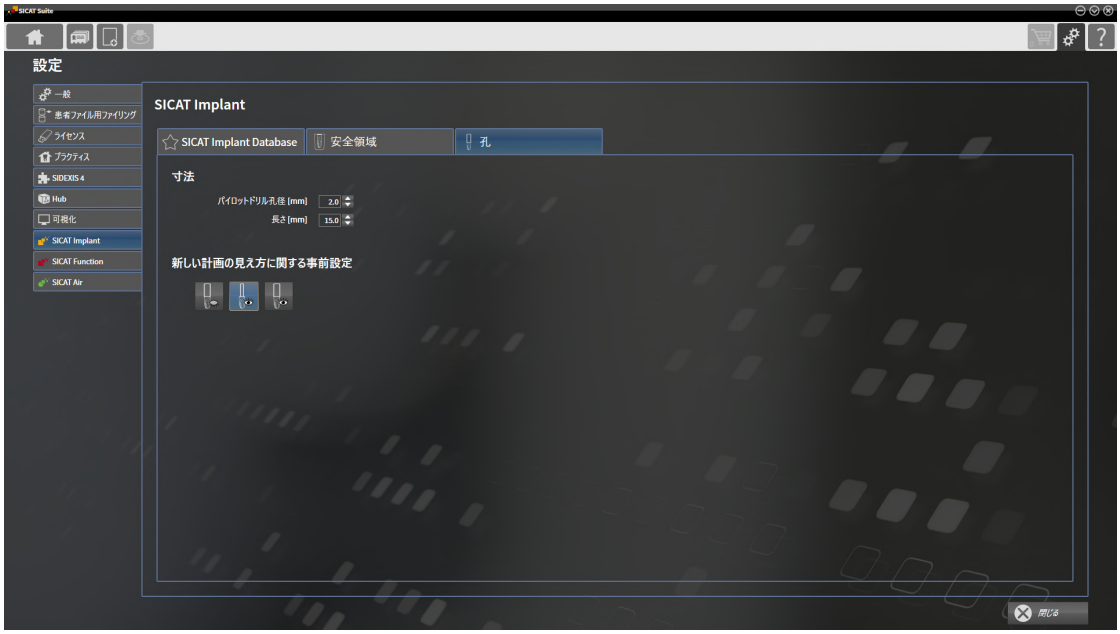
> プランニング中に安全範囲を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 224 - Standalone]*をご覧ください。

41.6.3 孔の設定

パイロットドリル孔の直径及び孔の長さを自分で調節できます。さらに、新規計画でパイロットドリル孔, インプラント孔を表示または孔を表示しないかを設定できます。これについて詳しくは*孔の非表示/表示 [▶ページ 225 - Standalone]*を参照してください。

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Implant**のタブをクリックします。
   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。
3. **孔**のタブをクリックします。
   ▶ **孔**のページが表示されます。



4. **孔の寸法設定：パイロットドリル孔径**欄と**長さ**欄に値を直接入力するか、矢印キーで値を調節します。

5. **新規計画の際始めに孔を非表示: 新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**孔を表示しない**ボタンをクリックします。

6. **新規計画の際のパイロットドリル孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**パイロットドリル孔の表示**ボタンをクリックします。

7. **新規計画の際のインプラント孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**インプラント孔を表示**ボタンをクリックします。
8. **閉じる**をクリックします。

計画中に孔を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、*孔の非表示/表示*[▶ページ 225 - Standalone]をご覧ください。

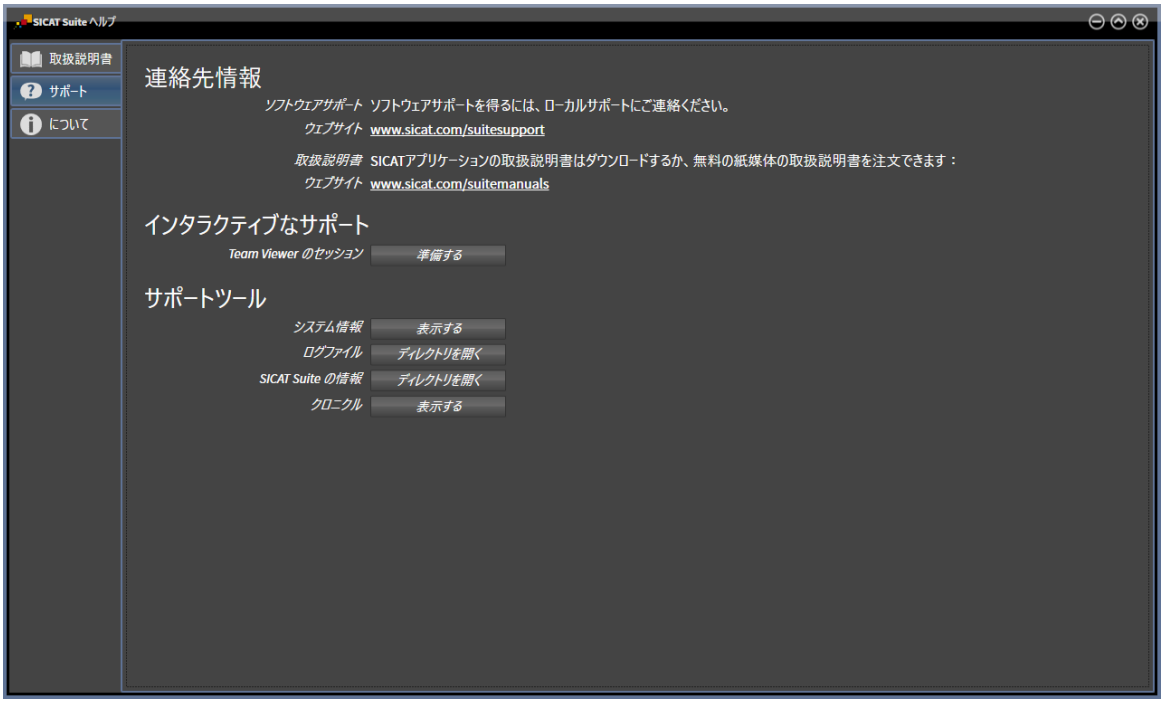
42 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- *サポート態勢のページを開く [▶ページ 290 - Standalone]*



42.1 サポート態勢のページを開く

サポートウィンドウは、**サポート**のアイコンを**ナビゲーションバー**でクリック、またはF1のボタンを押すことによって開くことができます。

SICAT Suite**サポート**ウィンドウは次のタブで構成されます。

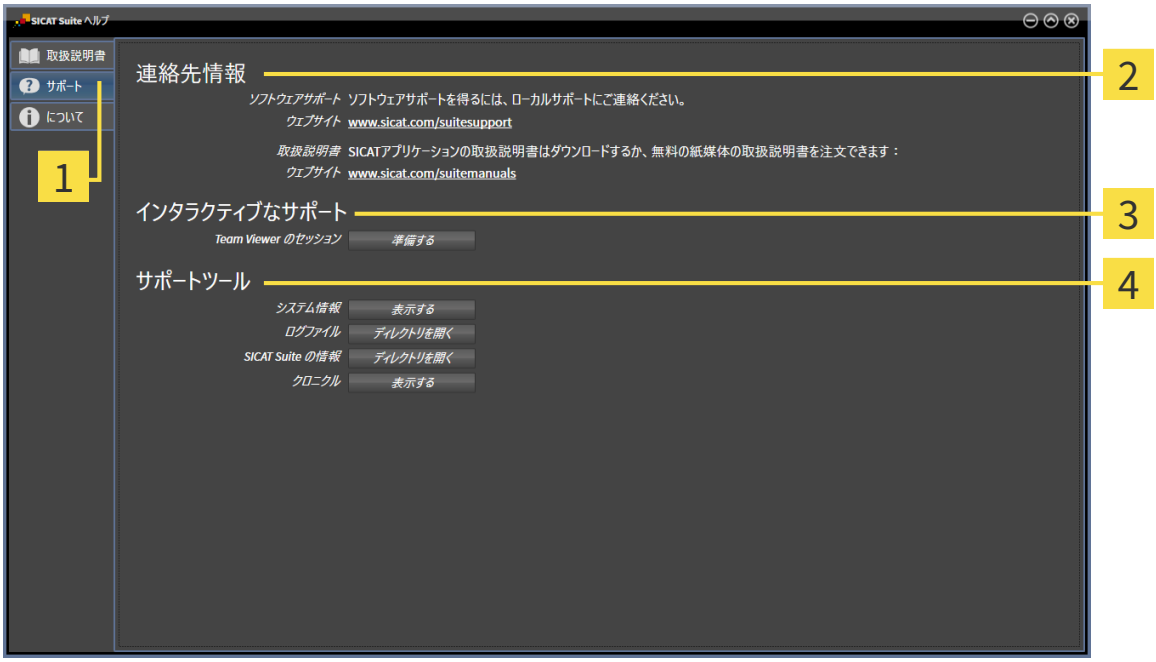
- **取扱説明書** - これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 53 - Standalone]*を参照してください。

- **サポート** - これに関する情報は*連絡先情報およびサポートツール [▶ページ 291 - Standalone]*を参照してください。

- **メニューアイテム：** - これに関する情報はインフォメーションを参照してください。

42.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウインドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ **サポート**

2 エリア **連絡先情報**

3 エリア **インタラクティブなサポート**

4 エリア **サポートツール**

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Implant では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

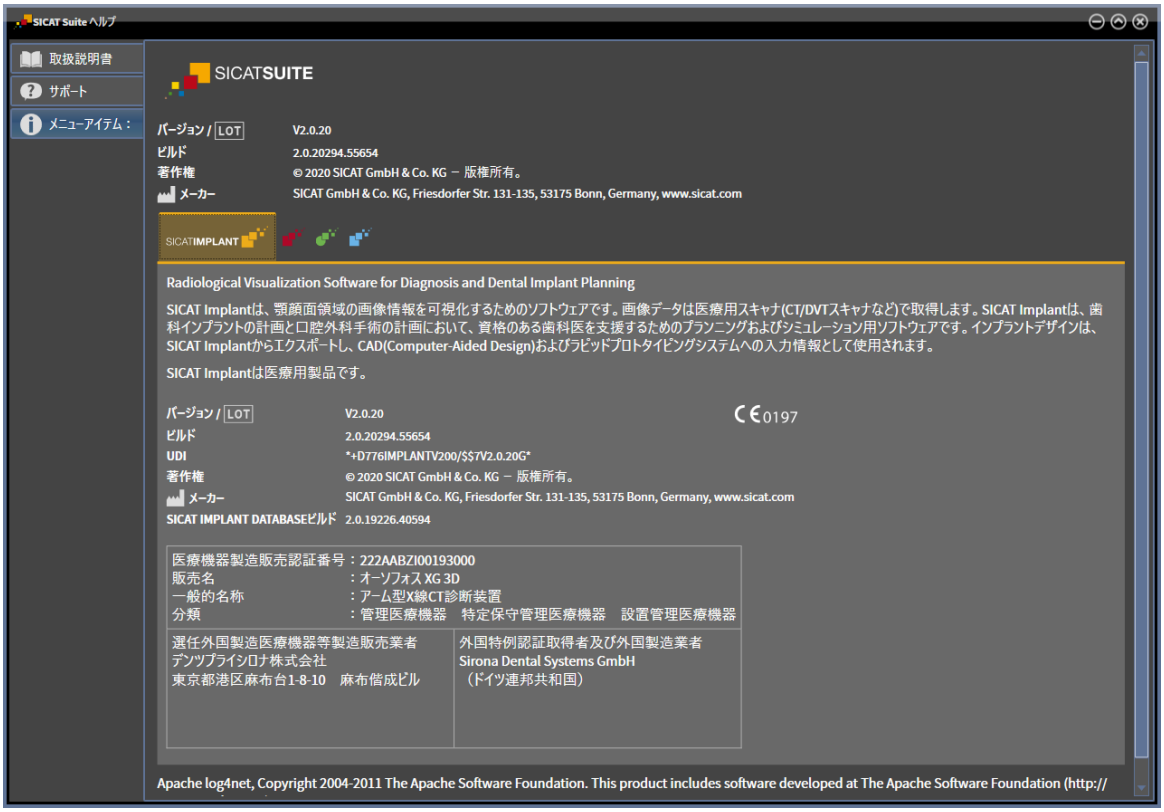
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Implant では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Implantでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Implant では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Implantが通知ウィンドウを表示します。

42.3 インフォメーション

メニューアイテム：タブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



43 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

スタンドアロンバージョンで変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるデータタイプは、患者ファイリングのライセンスステータスの有無によって異なります。

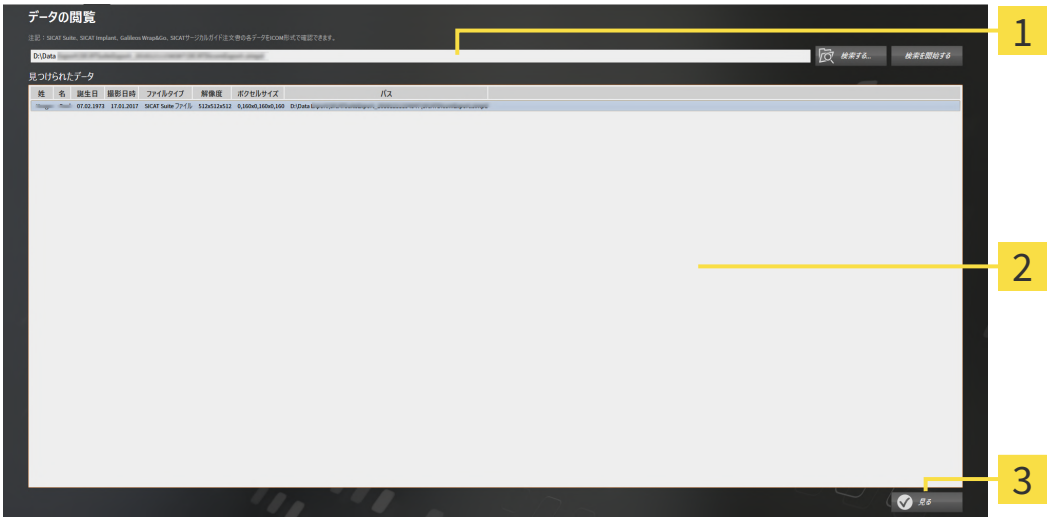
SICAT IMPLANTライセンスの種類	患者ファイリングはアクティブですか？	変更せずに参照することはできますか？
なし	無関係	無
ビューア	無関係	SICATデータ用
フルバージョン	無	有
フルバージョン	有	無

SICAT Implantのフルバージョンライセンスを有効化済みでアクティブな患者ファイリングがない場合は、DICOMデータは表示のみ可能です。

データを変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるようにするには、次のように行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **データの閲覧**のアイコンをクリックします。

   ▶ **データの閲覧** のウィンドウが開きます。



1 欄 **データはどこにあるのですか？**

2 リスト **見つけられたデータ**

3 ボタン **見る**

2. **検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する**ウインドウで、閲覧したいファイルまたはフォルダとファイルを選択し、**OK**をクリックします。
   - ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したものへのパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
   - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストにファイルの内容を表示します。
   - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストに表示します。
4. **見つけられたデータ**リストから希望の3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データの閲覧**ボタンをクリックします。
   - ▶ SICAT Suiteは、3D X線撮影図と計画プロジェクトが含まれる一時的な患者ファイルを作成し、これを有効にします。
5. *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 92 - Standalone]*で続行してください。

データを選択するために、互換性のあるファイルやフォルダを**データはどこにあるのですか？**欄にドラッグ＆ドロップすることができます。

> 説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。

44 SICAT IMPLANTを終了する

SICAT Implantを閉じるには、次の手順で行います。

- アクティブな患者ファイルエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。

▶ SICAT Suiteはすべての SICATアプリケーションを閉じます。

▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

45 SICAT SUITEを閉じる

- SICAT Suiteの右上の隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteがフルバージョンで作動し、編集権限があり、スタディを開いている場合、全ての計画プロジェクトを保存します。

▶ SICAT Suiteが閉じます。

46 ショートカットキー

マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Implantは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、**サポート**ウィンドウが開きます。

次のショートカットキーはSICAT Implantに追加で使用できます。

ショートカットキー	説明
E	CEREC Guide用にエクスポート
I	インプラントの追加
N	下顎神経のマーキング
O	SICATドリルテンプレートを注文する
P	アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する
S	スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する

47 SICAT IMPLANTデータベースのアンインストール

SICAT Implantデータベースをアンインストールするには、次のように行います。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。
   ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
2. リストからSICAT Implantのバージョンが含まれる**SICAT Implantデータベース**を選択します。
3. **アンインストール** ボタンをクリックし、確認メッセージで確認してください。
   ▶ SICAT Implantデータベースアンインストールプログラムが起動します。
   ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。
4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムが終了します。

SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムを開くために、SICAT Implant データベースインストールプログラムをSICAT Implantがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

48 SICAT SUITEのアンインストール

SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - Standalone]*に記載されています。

アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector [▶ページ 252 - Standalone]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。

   ▶ **プログラムおよび機能** のウィンドウが開きます。

2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。

3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウインドウが開きます。

▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-Suiteインストールプログラムを SICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

49 安全に関する注意事項

3D X線撮影図

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意	**DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICATドリルテンプレートの発注方法

⚠ 注意	**不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。** 発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

CERECガイド用エクスポート

⚠ 注意	**不正計画またはCEREC ガイド用不正エクスポートデータに基づくCEREC ガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。** CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。

⚠ 注意

CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。

1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。
2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。

⚠ 注意

スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに精確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り精確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

表示条件

⚠ 注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ 注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理

⚠ 注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ 注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

⚠ 注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

⚠ 注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

インプラント計画

⚠ 注意

処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。

計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。

⚠ 注意

インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

⚠ 注意	**CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。** 自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。

⚠ 注意	**複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。** 自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。

⚠ 注意	**距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。** SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。

⚠ 注意	**スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

ネットワーク

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

光学印象

⚠ 注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ 注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意	**光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意	**光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

⚠ 注意	**過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。** 必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意	**互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

⚠ 注意	**間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

計画レポート

⚠ 注意	**計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながることがあります。** 診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。これは医療画像データの表示専用です。

計画バリエーション

⚠ 注意	**不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 正しい計画をエクスポート用に選択するようにしてください。

オペレーターの資格

⚠ **注意**

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性

⚠ **注意**

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ **注意**

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

⚠ **注意**

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール

⚠ **注意**

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。

1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。
2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠ 注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠ 注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

⚠ 注意

承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

⚠ 注意

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

50 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 µm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 µm

用語集

3D X線撮影画像

3D X線撮影画像とは容積測定タイプのX線画像のことです。

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CAD/CAMデータセット

1つの顎の光学印象または両顎の2つの光学印象と任意の修復を含むCAD/CAMシステムの患者固有のデータセット

CAD/CAM症例

インポートおよび記録されたCAD/CAMデータセットごとに、対応するCAD/CAM症例がオブジェクトブラウザの「光学印象」の下に作成されます。

Clipping

3Dビューでは、ボリュームの一部を一時的に切り取って、残りの部分を調べやすくしたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価しやすくできます。

CMG.DXD

CERECガイドの作成用計画データをエクスポートするためのファイルフォーマット。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク上の異なるデバイス間でデータを交換できるようにする外付けストレージ。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アバットメント

インプラントと装具供給間の接続部。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

インプラント

義歯の固定用に患者の顎に埋め込む人工歯根。

スリーブ

ドリルテンプレートに組み込んだスリーブはお使いの外科機器や場合によってはインプラントをターゲットに対して確実に、計画した位置にガイドしてくれます。

チタンベース

個別の2分割アバットメントの生産用チタンベース。チタンベースは標準アバットメントと同様に計画できます。

ドリルテンプレート

患者別の個別特殊加工。ドリルテンプレートを患者の顎に載せた後、このテンプレートは外科機器と場合によってはインプラントを計画済みの位置に標的に合うようにガイドしてくれます。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

患者ファイリング

患者ファイリングには患者ファイルが含まれています。SICAT Suiteは患者ファイリングをローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダ内に保存します。

患者ファイル

患者ファイルには、特定の患者に属するすべての3D撮影画像および計画プロジェクトが含まれます。SICAT Suiteは、患者ファイルを患者ファイリングに保存します。

計画

計画プロジェクトには複数の代替治療計画が含まれます。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

修復

修復は光学印象に基づくCAD/CAMシステムにおけるデジタ 義歯提案のモデル化の結果です。修復により装具に基づくインプラント計画が可能になります。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー 127
　トリミング部分を移動させる 134
　十字線、フレーム 136
　輝度およびコントラスト 132
　最大化と復元 131
　スクリーンショットの作成 145
　スクロール 135
　ズーミング 134
　リセットする 144
アプリケーションを切り替える 52
ワークスペース
　調整する 125
　MPR/放射性 123
　パノラマ 121
　スクリーンショットの作成 126
　リセットする 125
ユーザーインターフェース
　SICAT Suite 48
　SICAT Suite Homeウィンドウ 50
このバージョンの特徴 37
注文
　再起動後の自動アップロード 253
　アップロードの中断および続行 253
　SICATポータル 251
データを書き込み禁止で開く 294
データエクスポート 269
　データのエクスポート 271
　「データの転送」ウィンドウを開く 270
データインポート 76
　データを選択する 80
　インポート関係の設定内容 82
　新規患者ファイルに帰属させる 83
　既存の患者ファイルに追加する 84
アンインストール 300
設定
　可視化設定の変更 281
Firewallの設定
　WebConnector 13
グレースケール値 169
　調整する 171
Hub
　使用を有効または無効にする 279
インストール
　アンインストール 300
測定
　距離測定を追加する 185
　測定点を移動する 188
　測定値を移動する 189
　概要 184
　移動 188
モニターキャリブレーション 276
患者ファイリング 68
　「患者ファイリング」ウインドウを開く 70
　別の患者ファイリングをアクティブにする 73
　削除する 75
　追加する 71
患者ファイル 87
　3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除する 103
　開く 91
　属性を変更する 94
　「患者ファイル概要」ウインドウを開く 88
　削除 101
　並び替え分類を行う 89
　検索 89
閉じる 297
スクリーンショット
　ビューで作成する 145
　ワークスペースを使って作成する 126
SICAT Implant
　ユーザーインターフェース 105
SICAT Implantデータベース
　アンインストールする 299
　インストールする 28
　更新する 35
　修理する 35
SICAT Implantデータベースのアンインストール 299
SICAT Implantのスタディ
　スタンドアロン 98
SICAT Implantを終了する 296
SICATポータル 251
SICAT Suite
　ユーザーインターフェース 48
　閉じる 297
　インストールする 22

開始する 47
更新する 34
修理する 34
SICAT Suite Homeウィンドウ 50
SICAT Suiteの概要 20
SICAT WebConnector 252
安全に関する情報 15
危険レベル 16
オペレーターの資格 17
SIXD 190, 259
SMPTEテストパターン 276
SSI 190, 262
STLインポート 199
サポート 289
連絡先情報 291
ツール 291
切替
アプリケーション 52
バージョン
様々な 37
WebConnector
Firewallの設定 13
安全領域
距離警告 226
設定 286
非表示/表示 224
横長ビュー
インプラントの回りに回転 141
傾斜 139
下顎神経
マーキング 208
概要 206
神経直径の変更 210
神経点の移動 209
神経点の削除 209
神経点の追加 209
回す
ビュー 140
開始する
SICAT Suite 47
患者ファイル
開いた患者ファイルを使用した作業 92
患者ファイル概要から開く 95
傾斜
ビュー 139
計画
インポートする 168
エクスポートする 165
ブロック 159
ブロック解除 159
開く 158
管理 156
作成 162
削除する 164
切り替える 112
説明の追加または変更 161
不慮の編集から保護 159
複製 163
名前の変更 160
計画レポート
PDFファイルに保存 266
印刷する 266
作成 265
検査ウィンドウ
パノラマワークスペースで 120
最大化する 138
非表示/表示 138
言語 20
光学印象
CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする 259
CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする 262
CERECのスキャンジョブをHubに送信する 196
Hubからダウンロードする 193
STLインポート 199
インポートルート 190
インポート形式 190
カラー表示する 143
ファイルからインポート 197
概要 190
記録と確認 202
計画および実施の基礎として 190
他のSICATアプリケーションから再使用する 200
孔
設定 287
非表示/表示 225
更新
SICAT Implantデータベース 35
SICAT Suite 34
更新する
SICAT Implantデータベース 35
SICAT Suite 34
最初のステップ 44

最大化する
検査ウィンドウ 138
削除する
オブジェクト 115
取扱説明書
開く 53
記号、スタイル 18
取扱説明書の概要 19
修復
概要 190
修理する
SICAT Implantデータベース 35
SICAT Suite 34
縦長ビュー
インプラントの回りに回転 141
回す 140
傾斜 139
切替
光学印象のカラー表示 143
接続設定
WebConnector 13
設定
SICAT Implant設定 283
クリニック情報を表示または変更する 278
安全領域 286
一般的な設定内容を確認する、変更する 274
概要 273
孔 287
測定
角度測定を追加する 186
注文
SICATドリルテンプレートをカートに入れる 245
カートをチェックする 249
データを別のコンピュータから送信する 254
バックグランドでのデータ送信 250
ワークフローの概要 244
調整する
パノラマ エリア 180
ボリュームの配置 175
追加する
アバットメント 213, 228
インプラント 213
スリーブ 213, 235
非表示
アバットメント 233
オブジェクト 114
スリーブ 243
安全領域 224
検査ウィンドウ 138
孔 225
表示
アバットメント 233
オブジェクト 114
スリーブ 243
安全領域 224
検査ウィンドウ 138
孔 225
変更
アバットメント 231
インプラント 220
スリーブ 240
スリーブシステム 238
スリーブ位置 241
ドリルテンプレート 238
パノラマ エリア 180
ボリュームの配置 175
無効にする
Hubの使用 279
有効にする
Hubの使用 279
容量
配置する 175
用途 10

数字

3D X線データ
配置する 175
3Dビュー
表示モードを切り替える 149
3Dビュー 146
クリッピング領域の固定 154
光学印象のカラー表示を切り替える 143
構成設定を行う 150
視線方向を変更する 147
切り抜きモードを切り替える 152

あ

アバットメント
インプラント軸の周りに回す 230
モデルの変更 231
概要 227
角度の変更 231
寸法の変更 231

追加する 213, 228
非表示/表示 233

い

インストール
SICAT Implantデータベース 28
SICAT Implantデータベースのアンインストール 299
SICAT Suite 22
システム要件 12
インストールする
SICAT Implantデータベース 28
SICAT Suite 22
システム要件 12
インプラント
インプラント軸の周りに回す 219
モデルの変更 220
移動 217
概要 211
修復軸に準じて位置決め 213, 222
垂直にする 213, 222
寸法の変更 220
追加する 213
配置する 218
並列させる 213, 222
名称（歯の位置）変更 223

お

オブジェクト
SICAT Implantオブジェクト 117
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する 116
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示 114
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする 113
オブジェクトグループの開閉 113
オブジェクトツールバー 115
オブジェクトバー 110
削除する 115
焦点を合わせる 115

か

カート
開く 248

さ

サポート
サポートウィンドウを開く 290
ヘルプを開く 53
製品情報 293

し

システムの必要条件 12
システム要件 12
ソフトウェア要件 13
ハードウェア要件 12
ショートカットキー 298

す

スタンドアロン
SICAT Implantのスタディ 98
スリーブ
スリーブモデルの変更 240
スリーブ位置の変更 241
概要 234
追加する 213, 235
非表示/表示 243
スリーブシステム
選択 235, 238
対応スリーブシステム 40

そ

ソフトウェアインストール
SICAT Implantデータベース 28
SICAT Suite 22

と

ドリルテンプレート
CEREC Guide用にエクスポート 258
SICATドリルテンプレートの発注 245
選択 235, 238
対応ドリルテンプレート 40

は

パノラマ エリア 174
調整する 180
パノラマビュー
光学印象のカラー表示を切り替える 143

ひ

ビュー
インプラントの回りに回転 141
画像のツールバー 128
回す 141
傾斜 139
検査ウィンドウの移動 137
検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する 138
切替 130

ほ

ボリュームの配置 173
調整する 175

ゆ

ユーザーインターフェース
SICAT Implant 105

ら

ライセンス 54
ライセンスプールに返却する 63
自動アクティベート 59
手動でアクティブ化する 61
表示する 58

わ

ワークスペース 119
アライメント済みインプラント 122
ワークスペースのツールバー 106
切り替える 124
ワークフロー 45
ワークフロー・ステップ
計画する 108
治療 109
準備する 108
診断する 107
ワークフローのツールバー 107

SICATIMPLANT

SICAT IMPLANT バージョン 2.0.20

取扱説明書 | 日本語 | SIDEXIS 4

目次 - SIDEXIS 4

1 目的と効能 7

2 臨床上の有益性 8

3 システム要件 9

4 安全に関する情報 12

4.1 危険レベルの定義 13

4.2 オペレーターの資格 14

5 使用するアイコンおよび強調 15

6 取扱説明書の概要 16

7 SICAT Suiteの概要 17

8 SICAT Suiteのインストール 19

9 SICAT Implantデータベースのインストール 25

10 OSアップデートの確認手順を実行する 27

11 SICAT Suiteの更新、修復 31

12 SICAT Implantデータベースの更新、修復 33

13 このバージョンでの特徴 35

14 次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します 38

15 SICAT Implantの標準ワークフロー 41

16 SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する 45

17 SIDEXIS 4のSICAT Implantのスタディ 47

18 SICAT Suite をスタートする 49

19 SICAT Suiteのユーザーインターフェース 51

20 SICATのアプリケーションを相互に切り替える 52

21 取扱説明書を開く 53

22 ライセンス 54

22.1 「ライセンス」のウィンドウを開く 58

22.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする 59

22.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする 61

22.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する 63

22.5 ネットワークライセンスを有効にする 65

23 SICAT Implantのユーザーインターフェース ... 67
23.1 ワークフローのツールバー ... 69
23.2 オブジェクトバー ... 72
23.3 計画の切替えと管理 ... 74
23.4 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 ... 75
23.5 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 ... 77
23.6 SICAT Implantオブジェクト ... 79
24 ワークスペース ... 81
24.1 パノラマワークスペースの概要 ... 82
24.2 インプラントアライン済みワークスペースの概要 ... 84
24.3 MPR/放射性ワークスペースの概要 ... 85
24.4 ワークスペースを切り替える ... 86
24.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット ... 87
24.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する ... 88
25 ビュー ... 89
25.1 ビューの調整 ... 90
25.2 アクティブなビューの切り替え ... 92
25.3 ビューの最大化および復元 ... 93
25.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット ... 94
25.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動 ... 96
25.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール ... 97
25.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 ... 98
25.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 ... 99
25.9 ビューの傾斜 ... 101
25.10ビューの回転 ... 102
25.11ビューをアクティブなインプラントの回りに回す ... 103
25.12光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする ... 105
25.13ビューをリセットする ... 106
25.14画像のスクリーンショットを作成する ... 107
26 3Dビューの調整 ... 108
26.1 3Dビューの目線を変更する ... 109
26.2 3Dビューの表示タイプを切り替える ... 111
26.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する ... 112
26.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え ... 114
26.5 クリッピング領域の固定 ... 116
26.6 ボリュームの自動回転 ... 117

27 計画の管理 ... 118
27.1 計画を開く ... 120
27.2 計画のブロック/ブロック解除 ... 121
27.3 計画名の変更 ... 122
27.4 計画説明の追加と変更 ... 123
27.5 新規計画の作成 ... 124
27.6 計画の複製 ... 125
27.7 計画の削除 ... 126
27.8 計画のエクスポート ... 127
27.9 計画のインポート ... 130
28 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する ... 131
28.1 ボリュームの配置を調整する ... 134
28.2 パノラマ エリアを調整する ... 139
29 距離/角度測定 ... 143
29.1 距離測定を追加する ... 144
29.2 角度測定を追加する ... 145
29.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する ... 147
30 光学印象 ... 149
30.1 光学印象をインポートする ... 151
30.1.1 Hubから光学印象をダウンロードする ... 152
30.1.2 ファイルから光学印象をインポートする ... 157
30.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する ... 160
30.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する ... 162
30.2 光学印象の記録と確認 ... 164
31 下顎神経のマーキングと調整 ... 168
31.1 下顎神経のマーキング ... 169
31.2 神経点の移動、追加、削除 ... 171
31.3 神経直径の変更 ... 172
32 インプラントの計画 ... 173
32.1 インプラントの追加 ... 175
32.2 インプラントの移動とアライン ... 179
32.3 インプラントを軸の回りに回転する ... 181
32.4 インプラント寸法とインプラントモデルの変更 ... 182
32.5 インプラント固有のアライン ... 184
32.6 名称（歯の位置）の変更 ... 185
32.7 安全範囲の非表示/表示 ... 186

32.8 孔の非表示/表示 ... 187
32.9 距離警告 ... 188

33 アバットメントの計画 ... 189
33.1 アバットメントの追加 ... 190
33.2 アバットメントをインプラント軸の周りに回す ... 192
33.3 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更 ... 193
33.4 アバットメントの非表示/表示 ... 195

34 スリーブの計画 ... 196
34.1 スリーブの追加 ... 197
34.2 ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 ... 200
34.3 スリーブモデルの変更 ... 202
34.4 スリーブ位置の変更 ... 203
34.5 スリーブの非表示/表示 ... 205

35 注文プロセス ... 206
35.1 SICATドリルテンプレートをカートに入れる ... 207
35.2 カートを開く ... 210
35.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する ... 211
35.4 インターネット接続を使用した注文の終了 ... 212
35.5 SICATポータルでの注文手順 ... 213
35.6 SICAT WebConnector ... 214
35.7 インターネット接続を使用しない注文の終了 ... 216

36 CEREC Guide用にエクスポート ... 220
36.1 CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする ... 221
36.2 CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする ... 224

37 計画レポートの作成 ... 226

38 データエクスポート ... 231

39 設定 ... 232
39.1 一般設定の使用 ... 233
39.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション ... 235
39.3 歯科医院情報の使用 ... 237
39.4 Hub接続状態を表示する ... 238
39.5 可視化設定の変更 ... 239
39.6 SICAT Implant設定の変更 ... 241
39.6.1 優先インプラントシリーズの指定 ... 242
39.6.2 安全範囲の設定 ... 244

39.6.3 孔の設定 ... 246

40 サポート ... 248

40.1 サポート態勢のページを開く ... 249

40.2 連絡先情報およびサポートツール ... 250

40.3 インフォメーション ... 251

41 データを書き込み禁止で開く ... 252

42 SICAT Suiteを閉じる ... 253

43 ショートカットキー ... 254

44 SICAT Implantデータベースのアンインストール ... 255

45 SICAT Suiteのアンインストール ... 256

46 安全に関する注意事項 ... 259

47 精度 ... 267

用語集 ... 268

索引 ... 270

記号の説明 ... 275

1 目的と効能

SICAT Implant は、顎顔面領域の画像情報を可視化するためのソフトウェアです。画像データは医療用スキャナ(CT/DVTスキャナなど)で取得します。SICAT Implantは、歯科インプラントの計画と口腔外科手術の計画において、資格のある歯科医を支援するための計画およびシミュレーション用ソフトウェアです。インプラントデザインはSICAT Implantからエクスポートし、CAD(Computer-Aided Design)およびラピッドプロトタイピングシステムへの入力情報として使用されます。

禁忌事項

禁忌はありません。

しかし、SICATインプラントは、複数の異なる医薬製品を必要とする、一貫した完全な治療に使用されます。 この製品では、メーカーの説明書に記載されている禁忌に注意する必要があります。

患者対象グループ

このタイプの患者には、除外基準はありません。

しかし、SICATインプラントは、複数の異なる医薬製品を必要とする、一貫した完全な治療に使用されます。 この製品では、患者のタイプを含めて、メーカーの説明書に記載されている禁忌に注意する必要があります。

対象ユーザー

意図されてるユーザーは、歯科医などの、歯科治療に携わる資格を持った方です。

2 臨床上の有益性

SICATインプラントがその目的通りに使用された場合、患者に次のような治療を提供できます:

- 3Dレントゲン画像を基に計画され、そのため2D画像を基に計画された治療と同等か、それ以上に正確です。
- ドリルの型板などを使用して行う、方向が定められた手術との組み合わせにより、フリーハンドで行われた治療と同等か、それ以上に正確で、さらにフリーハンドの治療に比べて術後の痛みや腫れが少なくなる可能性があります。

3 システム要件

注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサー	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64 ビット版)、 更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8.1（64ビット版、デスクトップ） Windows 10（64ビット版、デスクトップ） これらのオペレーティングシステムは、マイクロソフト社がサポートを継続する期間内でサポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SIDEXIS 4	バージョン4.3.1以降(SiPlanAPI V5)
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降

＊SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限ります。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくとると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーションをご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.6.2
- CodeMeterライセンス管理ソフト7.10a
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152～65534

SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 206 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- *危険レベルの定義 [▶ページ 13 - SIDEXIS 4]*
- *オペレーターの資格 [▶ページ 14 - SIDEXIS 4]*
- *安全に関する注意事項 [▶ページ 259 - SIDEXIS 4]*

本製品を使用したために重篤事象（重症など）が発生した場合はメーカーおよび管轄当局に届け出てください。

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。

⚠ **注意**	**この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。**

注記	**重要であるが、安全に関連していると見なされない情報を示しています。**

4.2 オペレーターの資格

⚠ **注意**	**資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

ℹ	この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

   ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

3. **オプションまたは条件付きステップ：**オプションまたは条件付きステップでは、ステップの目標または条件の前にコロンが付きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

6 取扱説明書の概要

SICAT Implant は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- スタンドアロン版
- SIDEXIS 4のモジュールを追加

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのアンインストール [▶ページ 256 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant - SICAT Implantの用途については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール

注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe**ファイルを手動でスタートすることができます。

SIDEXIS 4および後にSICAT Suiteをインストールする際に、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することができます。これにより、SICAT Suiteを統合してSIDEXIS 4に使用できます。

SICAT Suiteを最初にインストールしてからSIDEXIS 4を次にインストールする場合、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することはできません。その場合は、SICAT Suiteを後ほど手動でSIDEXIS 4モジュールで記録できます。これに関するその他の情報は*SICAT Suiteを SIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Suiteをインストールするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteはSICATのホームページからダウンロードできます。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

   ▶ **オートスタート**のウィンドウが開きます。

2. SICAT Suiteをダウンロード版として購入した場合は、SICATのホームページからISOファイルをダウンロードして、インストールに使用してください。

3. **オートスタート**のウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exeを実行する**のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

   ▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

   ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、**はじめに**のウィンドウが開きます。

4. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**のウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

▶ **使用許諾契約書**のウィンドウが開きます。

5. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。**のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ**をクリックします。

▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

7. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

   ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをどこにインストールしますか？**のボックス内に貼り付けます。

8. お手元のコンピュータにSIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteは、インストール中もしくは後ほどSIDEXIS 4モジュールとして手動で記録できます。

   ▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスは、グレーアウト表示で入力ができません。

9. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

10. **インストールする**のボタンをクリックします。

▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。

▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。

▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

11. **終了する**のボタンをクリックします。
    - ▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。
    - ▶ SICAT Implantデータベース・インストールプログラムが自動的に起動します。これに関するその他の情報は*SICAT Implantデータベースのインストール [▶ページ 25 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ℹ	後ほど手動でSICAT Implantデータベースのインストールを開始するには、SICAT Implantインストールメディアのファイル**SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動し、その際にファイル名にはSICAT Implantデータベースのバージョンが含まれます。

9 SICAT IMPLANTデータベースのインストール

⚠ **注意**

SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。

1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。
2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ **注意**

承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

SICAT Implantデータベースのインストールは SICAT Suiteのインストールに引き続き自動的に起動します。または、インストールを後に手動で起動することができます。

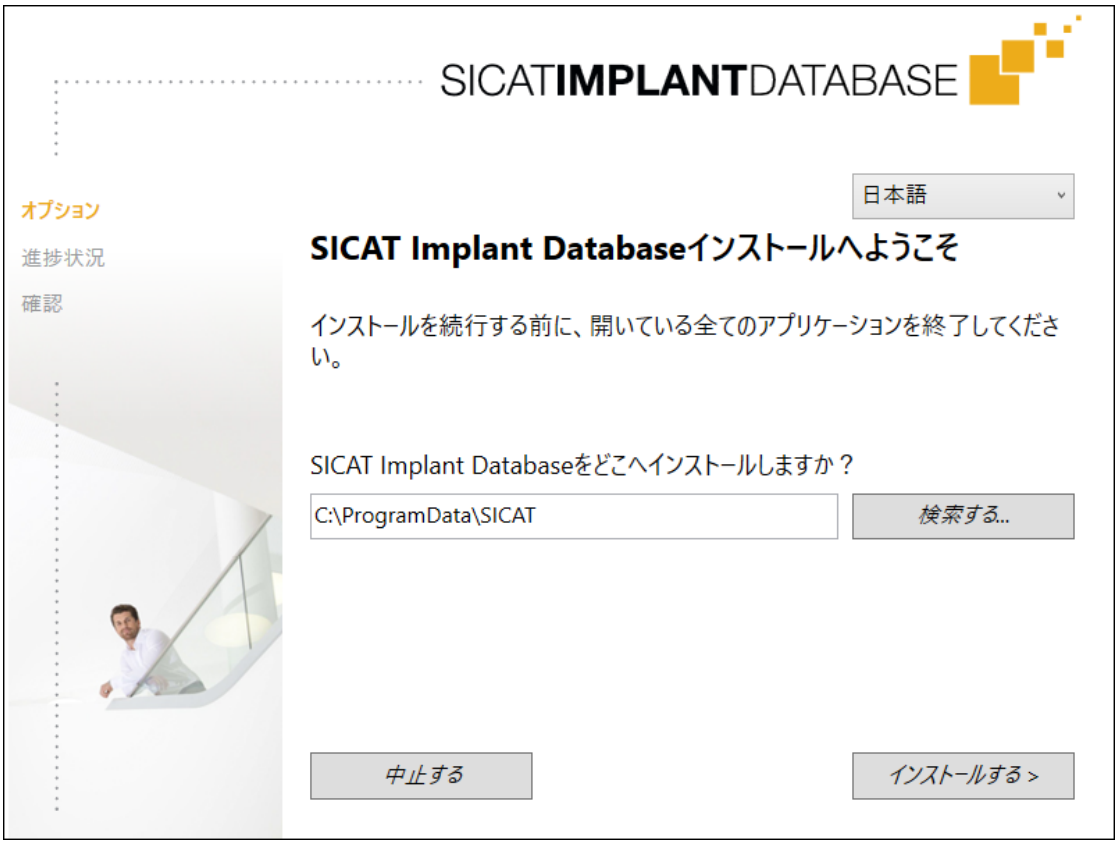
☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースはインストールされていません。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. SICAT Implantデータベースのインストールプログラムがすでに起動していない場合、SICAT Suiteのインストールメディアかダウンロードバージョンの ISOファイルからファイル名にSICAT Implantデータベースのバージョンを含むファイル **SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動してください。

▶ SICAT Implantデータベースのインストールプログラムが起動します。



2. ウィンドウ右上にある**オプション**でSICAT Implantデータベースのインストールプログラムの希望する言語を選択します。

3. インストール先ディレクトリは**検索する**ボタンをクリックして変更することができます。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

4. ご希望のフォルダが見つかったら、**OK**をクリックします。

5. **インストールする**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースがインストールされます。

   ▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

6. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースのインストールプログラムが終了します。

10 OSアップデートの確認手順を実行する

⚠ **注意**

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Implantが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Implantの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

準備

1. SIDEXIS 4を開いている場合は、プログラムを閉じてください。
2. **Windows**ボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによって、SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンでスタートします。
3. 誰も意図せぬ変更をしていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除します。
4. ファイル「SICATSuite_ReferenceDataset_2.0.zip」から基準データセットをインポートします。SICAT Suiteのインストールメディア状にデータセットがあります。
5. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Implantで開きます。

設定

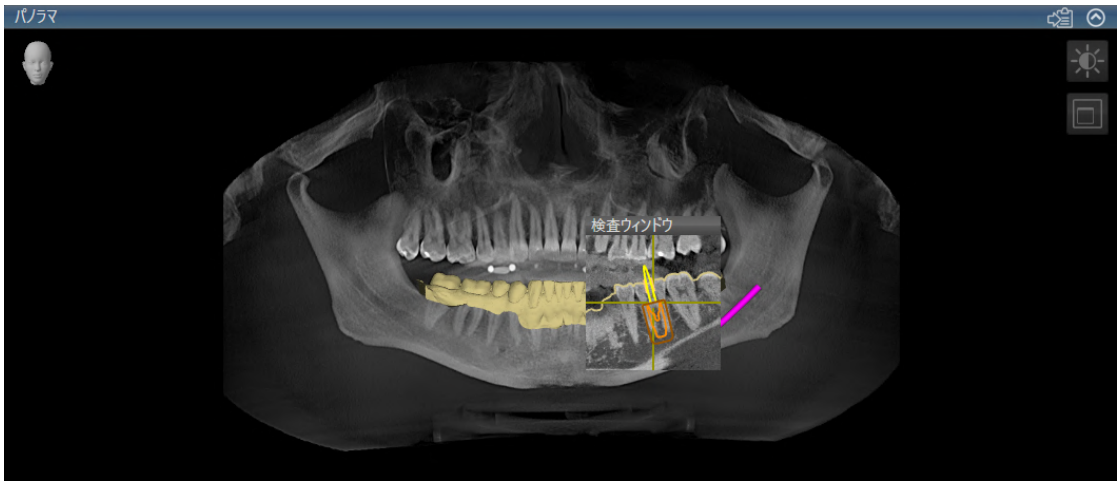
1. FDI歯型図が有効であることを確認してください。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 233 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
2. 見ている方向の「PR」がアクティブであることを確認してください。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 239 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3. インプラント周囲の安全範囲が次の指示通りに設定されていることを確認してください。これに関する情報は*安全範囲の設定 [▶ページ 244 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
   - 横方向の最小距離：1.5 mm
   - 先端からの最小距離：2.0 mm
4. インプラントのパイロットボアチャンネルが下記の指定の通り設定されていることを確認してください。これに関する情報は*孔の設定 [▶ページ 246 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
   - パイロットドリル孔の孔径：2.0 mm
   - 長さ：15.0 mm
5. クロスヘアとフレームが表示されていることを確認してください。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 98 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

パノラマワークスペース

1. ワークスペース**パノラマ**へ切り替えてください。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報は*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 87 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
3. 表示をリセットしてください。これに関する情報は*ビューをリセットする [▶ページ 106 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
4. **パノラマ** ビューで、**検査ウィンドウを標準サイズで表示**の表示モードに設定されていることを確認します。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 99 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
5. **パノラマ**ビューで**輝度**値と**コントラスト**値がそれぞれ基準値50%に一致していることを確認してください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
6. **オブジェクトブラウザ**でグループ**インプラント**を開きます。
7. **オブジェクトブラウザ**で対応するエントリーをダブルクリックしてインプラント36にフォーカスします。

8. 以下のスクリーンショットで**パノラマ**ビューを比較してください。



ワークスペース インプラントアライン済

1. ワークスペース**アライメント済みインプラント**へ切り替えてください。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

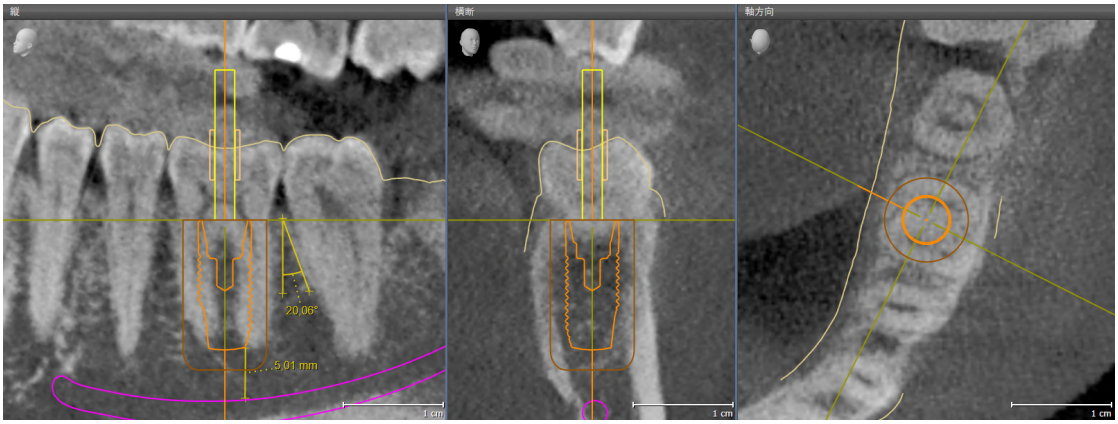
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報は*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 87 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3. 表示をリセットしてください。これに関する情報は*ビューをリセットする [▶ページ 106 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

4. **縦**と**横断**さらに**軸方向**のビューで**輝度**値と**コントラスト**値がそれぞれ基準値50%に一致していることを確認してください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

5. **オブジェクトブラウザ**でまたはビュー上でインプラントをクリックしてインプラント 36を有効にします。

6. 以下のスクリーンショットで**縦**、**横断**、**軸方向**ビューを比較してください。特に長さ測定値、角度測定値、画像データを基準とした以下のオブジェクトの姿勢を確認してください。距離測定、角度測定、光学印象、下顎神経、インプラント、安全領域、パイロットドリル孔、スリーブ



11 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

⚠ 注意	**不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。** ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteをアップデートする前に、次の点にご注意ください。

SIDEXIS 4は、V4.3.1より前のバージョンがインストールされています

SICAT Suiteバージョン2.0は、V4.3.1より前のSIDEXIS 4バージョンとは互換性がありません。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4をV4.3.1以降のバージョンにアップデートしてください。
2. SICAT Suiteをアップデートしてください。

ℹ	SICAT Suiteがアップデート前にSIDEXIS 4モジュールで記録された場合、記録は保持されます。SICAT Suiteがアップグレード前にSIDEXIS 4モジュールで記録されて**いなかった**場合は、SICAT Suiteを手動でSIDEXIS 4モジュールで記録でき、SIDEXIS 4に統合されたSICAT Suiteを使用することができます。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SIDEXIS XGがインストールされています

SICAT Suiteバージョン2.0はSIDEXIS XGと互換性がありません。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS XGをSIDEXIS 4V4.3.1以上にアップデートしてください。
2. SICAT Suiteをアップデートしてください。

SICAT Suiteがアップデート前にSIDEXIS XGプラグインで記録されている場合、SICAT SuiteはSIDEXIS 4モジュールで記録されます。SICAT Suiteがアップグレード前にSIDEXIS XGプラグインで記録されて**いなかった**場合は、SICAT Suiteを手動でSIDEXIS 4モジュールで記録できます。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

GALILEOSインプラントからSICAT IMPLANT V2.0への切り替え

SICAT Suiteは、GALILEOSインプラントから SICAT Implant への切り替えの際に、GALILEOSインプラントからの計画データは引き継がないことにご注意ください。GALILEOSインプラントであなたの計画データを引き続き見たい場合は、GALILEOSインプラントをインストールしてください。あなたはすべての3D X線撮影画像をSICAT Implantで使用できます。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両者で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

12 SICAT IMPLANTデータベースの更新、修復

SICAT IMPLANTデータベースの更新

⚠ 注意	**承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。** SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースの前バージョンはすでにインストールされています。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. SICAT Implant V2.0以降用の最新バージョンSICAT Implantデータベースをwww.sicat.comからダウンロードします。SICAT Implantデータベースは**サービス** > **ダウンロード**の下のメニューにあります。

2. ダウンロードしたファイル**SICATImplantDatabaseSetup.exe**を起動します。ここで、ファイ名にSICAT Implantデータベースバージョン番号が含まれています。

   ▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

3. **更新する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースが更新されます。

   ▶ 更新が完了すると、**確認**ウィンドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ **確認**ウイドウが閉じます。

SICAT IMPLANTデータベースの修復

☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Implantデータベースはすでにインストールされています。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。

   ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Implantデータベース**項目をクリックします。

3. **修理する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantデータベースインストールプログラムが起動します。

4. **修理する**のボタンをクリックします。

   ▶ 修復が完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

5. **終了する**のボタンをクリックします。

   ▶ **確認**ウイドウが閉じます。

13 このバージョンでの特徴

SICAT Implantを単独で使用するか、他のソフトウェアと併用するかに応じて、特定のエリアに違いがあります。

SIDEXIS 4 のモジュールとしてマニュアル操作により登録する

SICAT Suiteは、インストール中に自動で登録を行うことができますが、SIDEXIS 4のモジュールとしてマニュアル操作により登録や削除を行うことが可能です。これに関する情報は*SICAT Suite をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

プログラムの起動

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合、SICAT Suiteの起動は、SIDEXIS 4の内部で**治療計画立案、治療** の段階で行われます。SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを起動する手順は、*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 49 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXISに結合したバージョンのSICAT Implantでは、SIDEXISの患者データとボリュームデータを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS向けで設定されている手順に沿って行われます。

> 患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

設定

SICAT Suiteの設定内容は、SIDEXIS 4の設定内容の中で、カテゴリとして保存されています。

SIDEXISに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくらかの設定内容のもののみに限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXISの設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT ImplantはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Implantで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Implantはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Implantがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Implantがサポートするパノラマ エリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Implantがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Implantはボリュームの配置とパノラマ エリア、または、パノラマ エリア単独のいずれかについては、転送しません。

さらに、SICAT Implantで3D X線撮影画像を初めて開くと、SICAT Implantでは、**3D**ビューの焦点と視線方向として、SIDEXIS 4のものが適用されます。

データエクスポート

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の各種機能を利用して行われます。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

SIDEXIS 4の出力ページへスクリーンショットを追加する

画像や作業画面の各スクリーンショットは、SIDEXIS 4の出力ページに追加することができます。追加したら、2D出力ページに用意されている、SIDEXIS 4の各種機能が利用できるようになります。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

カート

カートは、SICAT Suiteで用意されていますが、SIDEXIS 4では**出力**のフェーズで利用できます。

スタディで、書込権限のあるものとないものを開く

SICAT Implantスタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この結果の1つは、SIDEXIS 4がデータセットを開くときに、データセットがすでに使用中かどうかを確認することです。この場合、SICAT Suiteのデータセットはビューアモードで読み取り専用モードで開き、SICAT Implantスタディの変更を保存できません。

SICAT Implantスタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておくことが必要です。

- SICAT Implantのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	フルバージョンライセンスはアクティベーション済み	ビューアライセンスはアクティベーション済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
SICAT Implant-設定	有	有	無
変更を行う	有	無	無
変更内容を保存せず、データを確認する	無	有	無
ヘルプ	有	有	有

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Implant のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Implantのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Implant このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Implantのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Implantの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Implantのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細は*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 252 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

14 次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します

SICAT Implantは以下のドリルテンプレートに対応します。

ドリルテンプレート	説明	詳細
SICAT **CLASSIC**ガイド	患者が3D X線撮影画像の際身につけるレントゲンテンプレートに基づくドリルテンプレート。レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https://www.sicat.com/ (「インプラントロジー ドリルテンプレート」メニュー項目)
SICAT **OPTI**ガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT **OPTI**ガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルを基に作成する光学印象に基づくドリルテンプレート。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT **DIGITAL**ガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	
SICAT **DIGITAL**ガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルから作成する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	

ドリルテンプレート	説明	詳細
CEREC ガイド 2と CEREC ガイド 3	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。クリニックでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https:// www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

SICAT Implantは以下のスリーブシステムの計画に対応しています。

スリーブシステム	説明	詳細
異なるメーカーの一貫ガイド付き外科システム	初期ドリルからインプラント挿入まで一貫ガイド付きの手術が可能になります。	SICAT Implantでは各マスタースリーブが各インプラントメーカーの規定に従ってのみ（「メーカー処置要綱に従う」）計画可能なようになっています。このことは各インプラントスリーブの組み合わせについて対応するインプラントとの互換性及び可能な離間スリーブ位置に該当します。 SICATドリルテンプレートが当面対応している一貫ガイド外科 システム: https://www.sicat.com/ （「ダウンロード - インプラントロジー」メニュー項目） CERECガイドが当面対応している一貫ガイド外科システム: https://www.dentsplysirona.com （「CERECインプラントロジー」メニュー項目） メーカーの特定一貫ガイド外科システムについての詳細: メーカーのウェブサイト

スリーブシステム	説明	詳細
SICATスリーブインスリーブ	外径 5 mm、内径3.5 mmの外部スリーブ及び、1.6 mm～2.9 mmの異なる内径を持つ内部スリーブから選択して組み合わせて構成するスリーブシステム。パイロットボア及び少なくとも1つの拡張ボアを顎に通して開けることができます。	外部スリーブにはそれぞれ1つの内部スリーブを嵌めることができます。外部スリーブはどの所望の高さにも計画できます。ご注文の際は1つまたは2つの内部スリーブを選択することができます。
SICATパイロットスリーブ	SICATパイロットスリーブは外径が3 mm、1.1 mm～2.3 mmの異なる内径があります。パイロットボアを顎に通して開けることができます。	SICATパイロットスリーブはどんな所望の高さにも計画できます。
CERECガイドドリルキー	対応するCERECガイドドリルキーにホルダーの高さ1 mmを差し引いて一致する計画に合う異なる直径の仮想スリーブ3つで構成するスリーブシステムCERECガイドドリルキーでパイロットボア及び拡張ボアを顎に通して開けることができます。	スリーブはどんな高さにも計画できます。 特に対応するインプラントシステム/外科キット及び設定対象の計画パラメータ (スリーブモデルとスリーブ位置)についての詳細情報入手先： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

次表にスリーブシステムとドリルテンプレートの基本的対応関係を示します。

スリーブシステム	SICAT CLASSICGUIDE SICAT OPTIGUIDE SICAT DIGITALGUIDE	CERECガイド
異なるメーカーの一貫ガイド付き外科システム	有	有 (CERECガイド 3、特定メーカーに限る)
SICATスリーブインスリーブ	有	無
SICATパイロットスリーブ	有	無
CERECガイドドリルキー	有	有 (CEREC ガイド 2)

15 SICAT IMPLANTの標準ワークフロー

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

⚠ 注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ 注意	**ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。** ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT SuiteとSICAT Implantデータベースをインストールする場合、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - SIDEXIS 4]*と*SICAT Implantデータベースのインストール [▶ページ 25 - SIDEXIS 4]*にあります。

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを手動で起動する手順は、*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

- SICAT Implantのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ℹ	SICAT Implantのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビュアーモードで個別に開いてください。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 252 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

設定

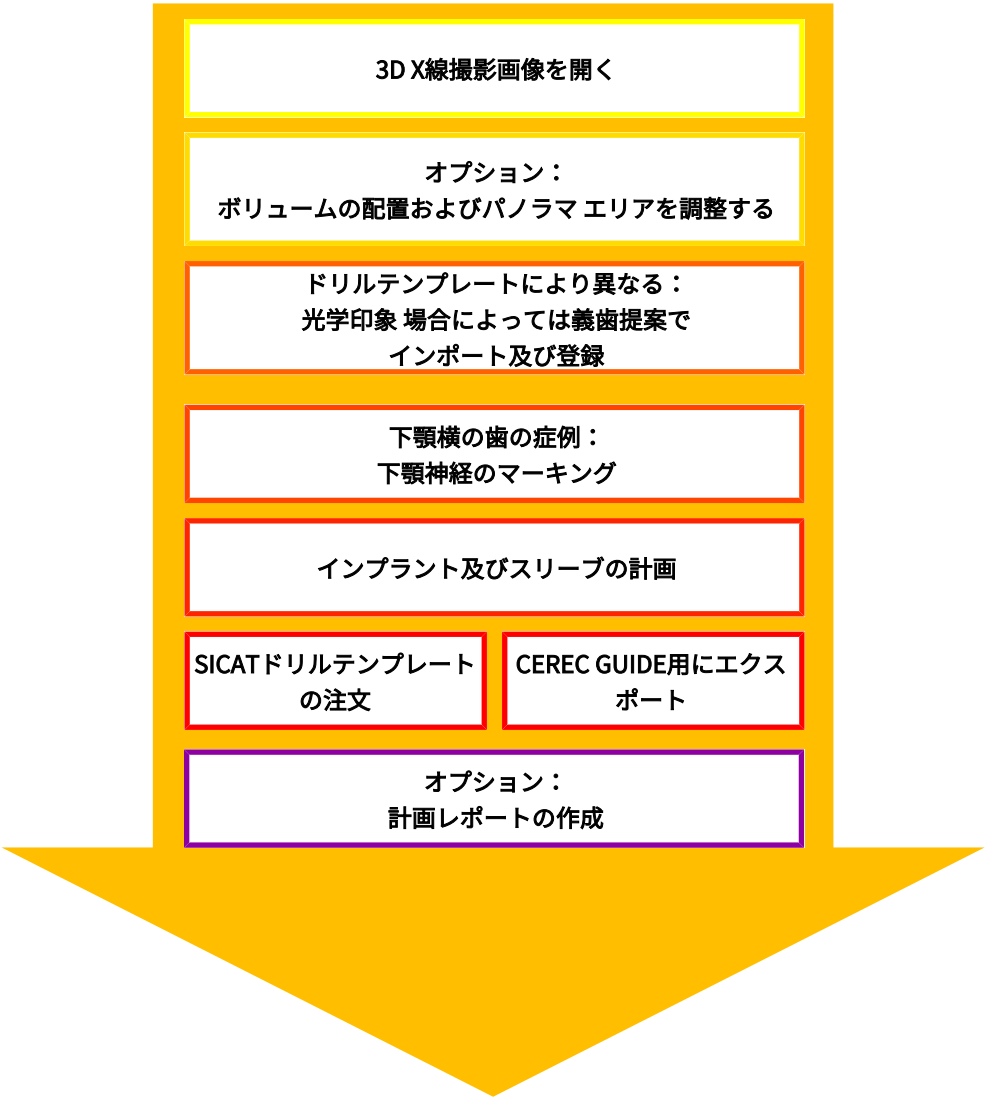
各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は*設定 [▶ページ 232 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

データセットを開く

1. タイムラインに沿って並ぶ中から、3D X線撮影画像か、または、SICAT Implantのスタディを選択します。

2. SICAT Implantを起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 49 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT IMPLANTの作業手順



1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマ エリアを調整します。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 131 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

2. 所望のドリルテンプレートのために必要（*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照）またはインプラント計画の際に所望の場合、場合によっては3Dレントゲンデータとともに義歯提案を含め、光学印象をインポートして登録してください。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3. 下顎横の歯の症例の場合、対応する下顎神経にマークします。これに関する情報は*下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

4. インプラント, 場合によってはアバットメント及びスリーブの計画を行ってください。その際希望のドリルテンプレートを選び、望みのスリーブシステムを選択してください。これに関する情報は*インプラントの計画 [▶ページ 173 - SIDEXIS 4]*、*アバットメントの計画 [▶ページ 189 - SIDEXIS 4]*および*スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

5. SICAT ドリルテンプレートをご注文ください、またはCEREC ガイドの独自生産用計画をエクスポートしてください。患者との練習に関する情報は*注文プロセス [▶ページ 206 - SIDEXIS 4]*と*CEREC Guide用にエクスポート [▶ページ 220 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

6. お望みなら独自の文書またはOP用の計画レポートを作成してください。これに関する情報は*計画レポートの作成 [▶ページ 226 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ℹ	お望みなら、セカンドオピニオンを求める場合などのためにデータをエクスポートします。患者との練習に関する情報は*計画の管理 [▶ページ 118 - SIDEXIS 4]*と *データエクスポート [▶ページ 231 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- お手元の作業を終了したり中断したりするときは、SIDEXIS 4からSICAT Suiteを閉じて、その作業内容を保存します。これに関する情報は*SICAT Suiteを閉じる [▶ページ 253 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 53 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は *サポート [▶ページ 248 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

16 SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する

SIDEXIS 4によるSICAT Suiteの使用に関して、一般的な内容は、*このバージョンでの特徴 [▶ページ 35 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

> SICAT SuiteをSIDEXIS 4へインストールすると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして、自動で登録を行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

「SIDEXIS 4」のウィンドウを開く

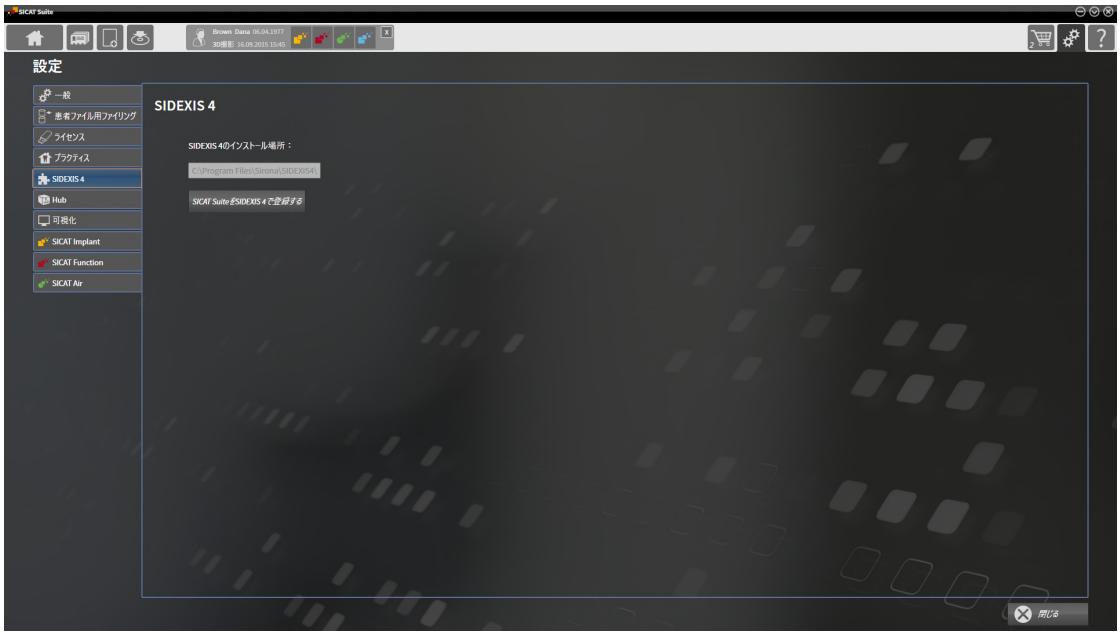
1. SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 49 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

2. **設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

3. **SIDEXIS 4**のタブをクリックします。

▶ **SIDEXIS 4** のウィンドウが開きます。



SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール* [▶ *ページ 19 - SIDEXIS 4*]を参照してください。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウインドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4で登録する**のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして登録を完了しておきます。SIDEXIS 4への登録が支障なく完了したら、**治療計画立案、治療** のフェーズが見えるようになります。

SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT SUITEを削除する

☑ SICAT Suiteが、SIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されていることが必要です。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウインドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4から削除する**のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ 以上で、SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして使用することは、できなくなります。

17 SIDEXIS 4のSICAT IMPLANTのスタディ

⚠ 注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ 注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

⚠ 注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

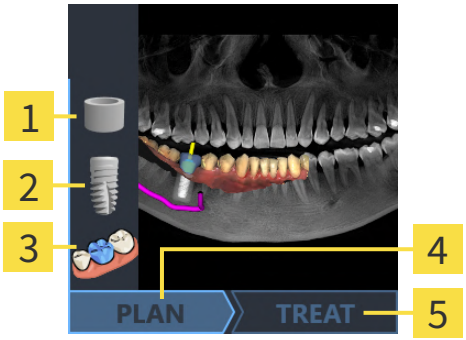
3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールとして登録してある場合、SIDEXIS 4が患者データを管理します。選択した患者のSICAT Implantスタディがある場合、SIDEXIS 4 はSICAT Implantスタディのプレビューを表示します。



1 スリーブ

2 インプラント

3 光学印象

4 計画あり

5 SICAT ドリルテンプレートは発注済みまたはCERECガイド用のエクスポート済み

プレビュービューでは、以下の情報をお知らせします。

- 最後に開いた計画のスクリーンショット
- 最後に開いた計画のインポート済みまたは計画のあるオブジェクト
- 計画の進捗

アイコンが明るく表示されていれば、対応するオブジェクトは最後に開いた計画にあり、計画が対応して進捗していることを表します。

18 SICAT SUITE をスタートする

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SIDEXIS 4のモジュールとして記録したSICAT Suiteを起動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールとして、すでに記録されています。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。SIDEXIS 4へSICAT Suiteをインストールすると、記録は自動で行うことが可能です。

☑ SIDEXIS 4ですでに3D X線撮影画像、スタディまたは3D X線撮影画像と一緒にSICAT Implantスタディを選択しました。

☑ オプションで3D X線撮影画像またはスタディに加えて光学印象も選択しました。

1. 3D X線撮影画像とオプションの光学印象を選択した場合は、**表示**アイコンをクリックして、その後**SICAT Suite**アイコンをクリックしてください。

2. スタディとオプションの光学印象を選択した場合は、**SICAT Suite**アイコンをクリックしてください。

▶ SIDEXIS 4は、**治療計画立案**、**治療**フェーズに切り替わります。

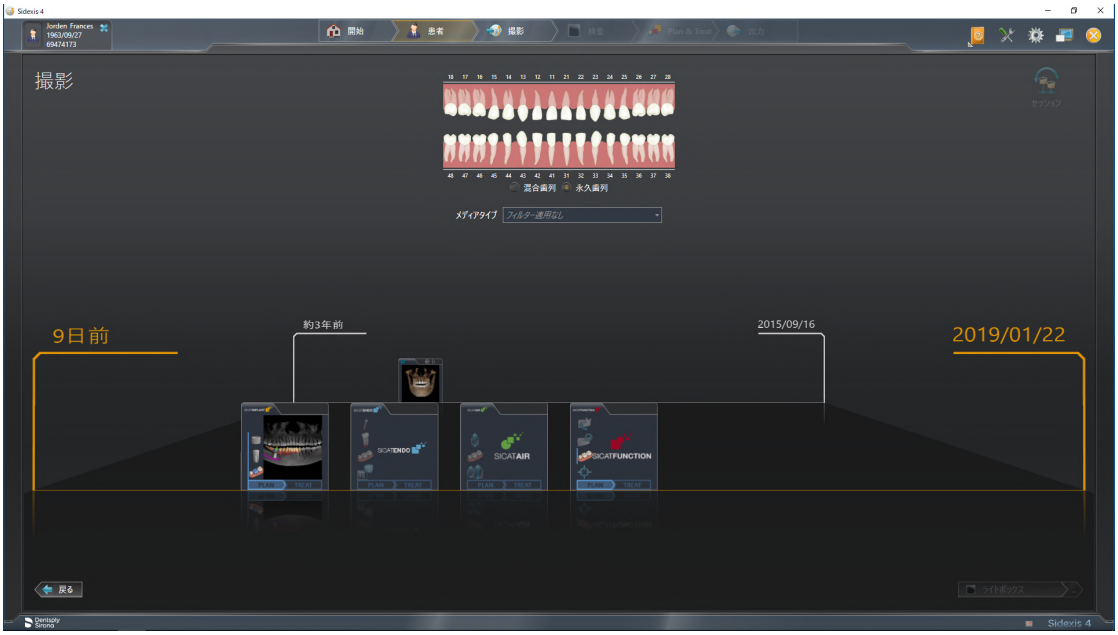
▶ SICAT Suiteは、対応するスタディとともに3D X線撮影画像をSICAT Implantで開きます。

▶ 3D X線撮影画像を選択した場合、または光学印象付きのスタディを行った場合は、SICAT Implantはまず**光学印象をインポートし記録する**のアシスタント機能を**インポートする**のステップで開きます。これに関するその他の情報は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

> 3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

3D X線撮影画像を開いた後は、SICATの別アプリケーションへ切り替えることができます。これに関する情報は*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 52 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

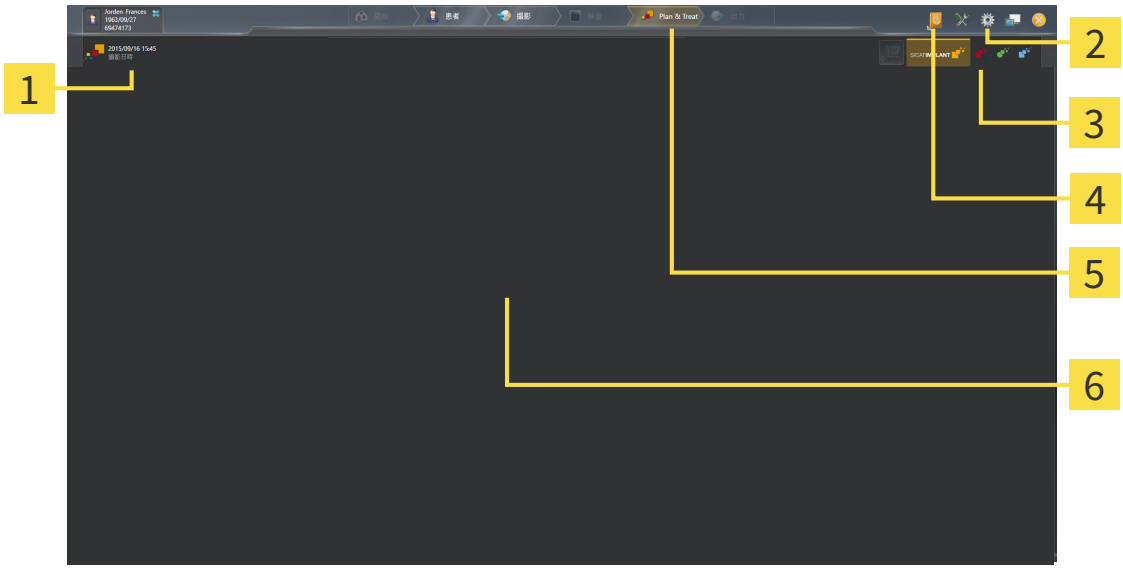
アプリケーション固有のスタディで保存済みのものがあるときは、このスタディを**撮影図**のウィンドウから直接選択して、そのスタディが関係する、SICATのアプリケーションで開くことができます。すでにショッピングカートに入れた商品で、この3D治療計画スタディをベースとするものがあるときは、ショッピングカートが開きます。



SIDEXIS 4でも同様に、**最後の撮影図**のエリアにある、**患者の詳細**のウィンドウでスタディを表示します。これに関する情報は、*SIDEXIS 4のSICAT Implantのスタディ [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

19 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 現時点で開いているスタディ

2 **設定**

3 アプリケーション切替用のボタン、ボタン**カート**

4 **ヘルプ**

5 SIDEXIS 4のフェーズバー

6 **アプリケーション領域**

- 現時点で開いているスタディ ― 現時点で開いているスタディに関する内容とSICAT Suiteを閉じるボタンを表示します。
- **設定** - これに関する情報は*設定 [▶ページ 232 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- アプリケーション切替用のボタン、**カート**のボタン ― これらのボタンに関する内容は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 52 - SIDEXIS 4]*、 *注文プロセス [▶ページ 206 - SIDEXIS 4]*の各節をご覧ください。
- **ヘルプ** - これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 53 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

20 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。

- SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されているボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

21 取扱説明書を開く

SIDEXIS 4では、**ヘルプ**のメニューから、PDFファイルの形式で、SICATのアプリケーションの取扱説明書を呼び出すことができます。SICATのアプリケーションの取扱説明書を開くときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。

   ▶ 利用が可能な取扱説明書のリストが開きます。

2. お好みの使用説明書をクリックします。

▶ 選択した使用説明書が開きます。

SICATアプリケーションが開いている場合、対応するヘルプを開くには同様にF1ボタンを押します。

22 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。

SICAT SuiteのSIDEXIS 4と接続されたバージョンではSICAT Implant治療計画も有効なSICAT Implantライセンスなしで表示することができます。

ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの*License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にすると、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのアクティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプリケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーショライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピューターで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされています。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動的に解放されます。
- SIDEXIS 4でSICAT Suiteをネットワークライセンスで使用する場合は、SICAT Suiteの設定で、クリニックネットワークでライセンスサーバーへの接続を確立するための時間制限を設けるかどうかを指定できます。

次に続くアクション

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンス**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 59 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 61 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、*ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 65 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

22.1 「ライセンス」のウィンドウを開く

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

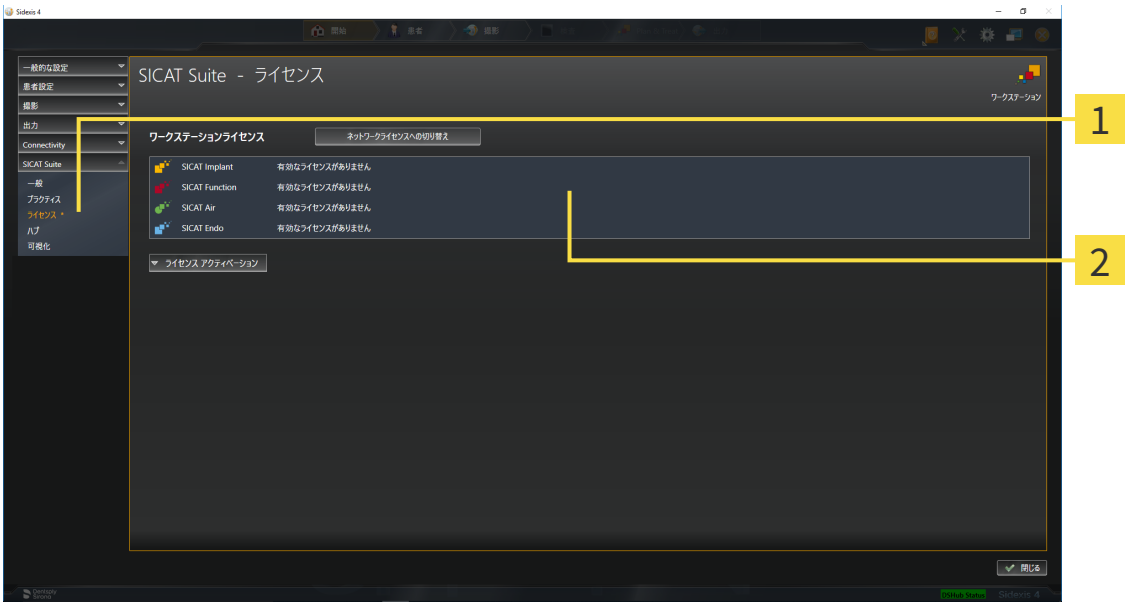
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **ライセンス**のボタンをクリックします。

   ▶ **ライセンス**のウィンドウが開きます。



1 **ライセンス**のタブ

2 **ライセンス**のウィンドウ

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 59 - SIDEXIS 4]*
- *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 61 - SIDEXIS 4]*
- *ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 65 - SIDEXIS 4]*
- *ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*

22.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

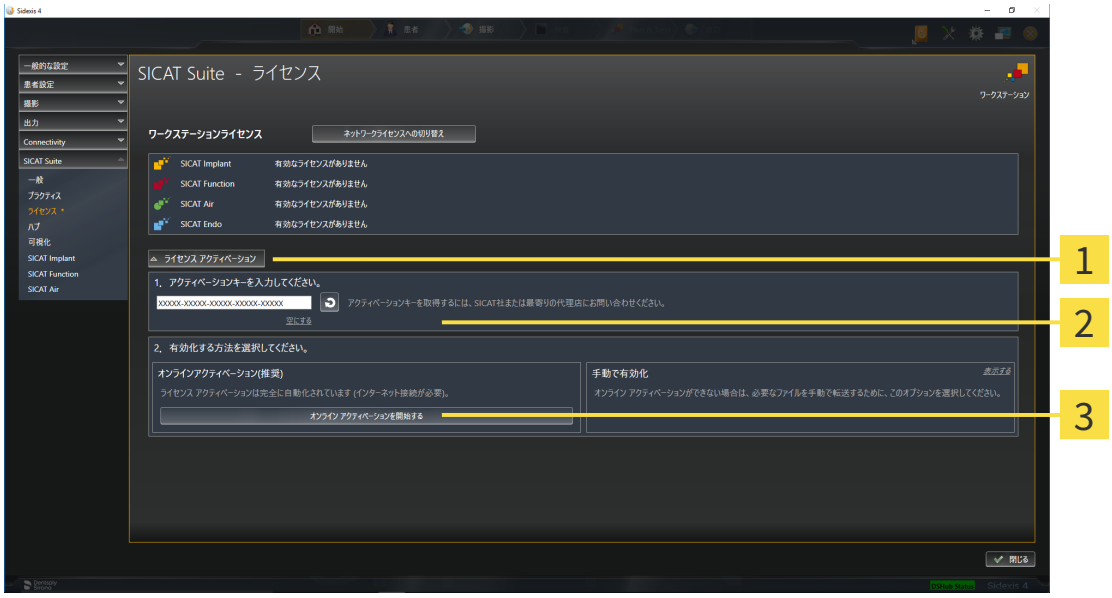
☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。

   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。



1 **ライセンス アクティベーション**のボタン

2 エリア

3 **オンライン アクティベーションを開始する**のボタン

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。

3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。

▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

注記	**再起動が必要** ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

ℹ	SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

22.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

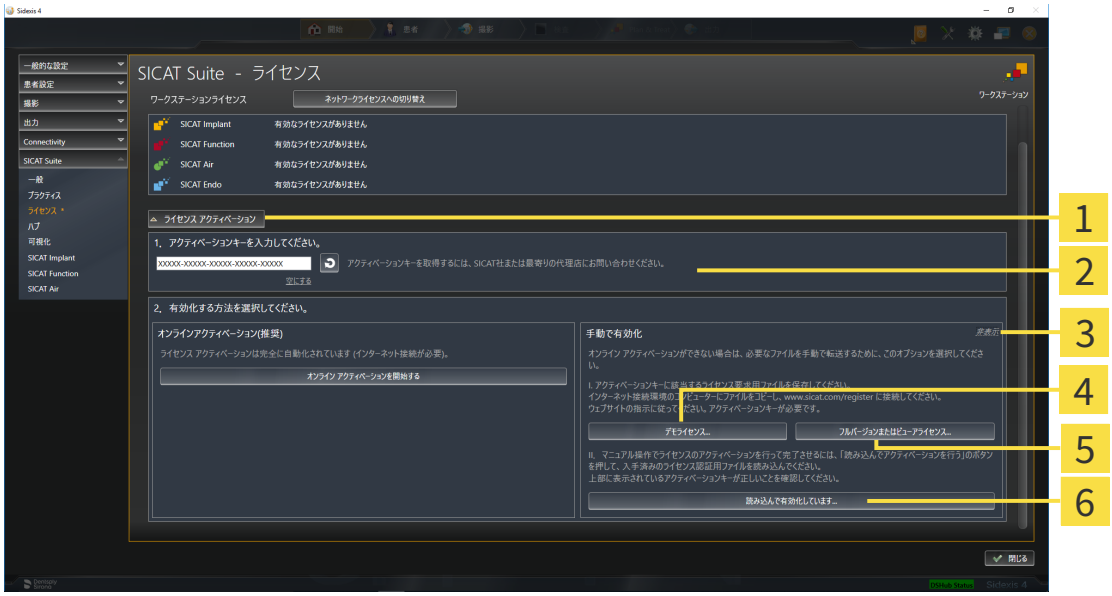
☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。

   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。

2. **手動アクティブ化**エリアの**表示する**をクリックします。

   ▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。



1	**ライセンス アクティベーション**	4	**デモライセンス**のボタン
2	エリア	5	**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタン
3	**表示する**	6	**読み込んで有効化しています**のボタン

3. フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタンをクリックします。

4. デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。

   ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。

6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。

7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.com/registerを開きます。

8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。

   ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。

   ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータへダウンロードしてください。

9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。

10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。

11. **ライセンス**のウィンドウで、**読み込んで有効化しています**のボタンをクリックします。

    ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。

▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

注記	**再起動が必要** ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

22.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する

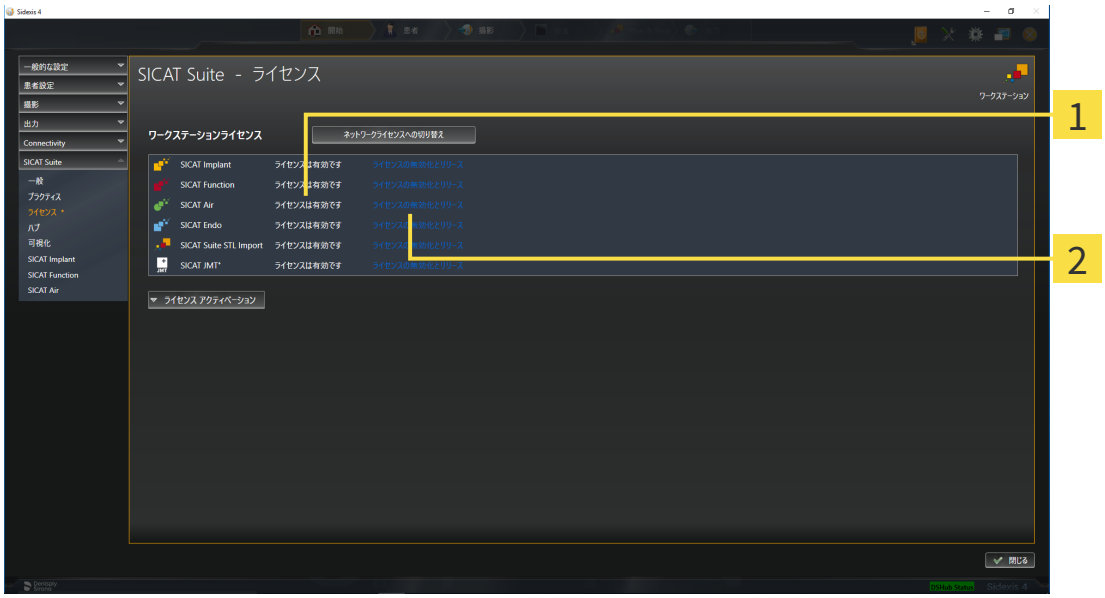
注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 **ライセンスの無効化とリリース**のボタン

- **ライセンス**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスの無効化とリリース**のボタンをクリックします。

▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**。

▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

注記	**再起動が必要** ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

	インターネット接続のないコンピューターでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

22.5 ネットワークライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンスが欠けています。

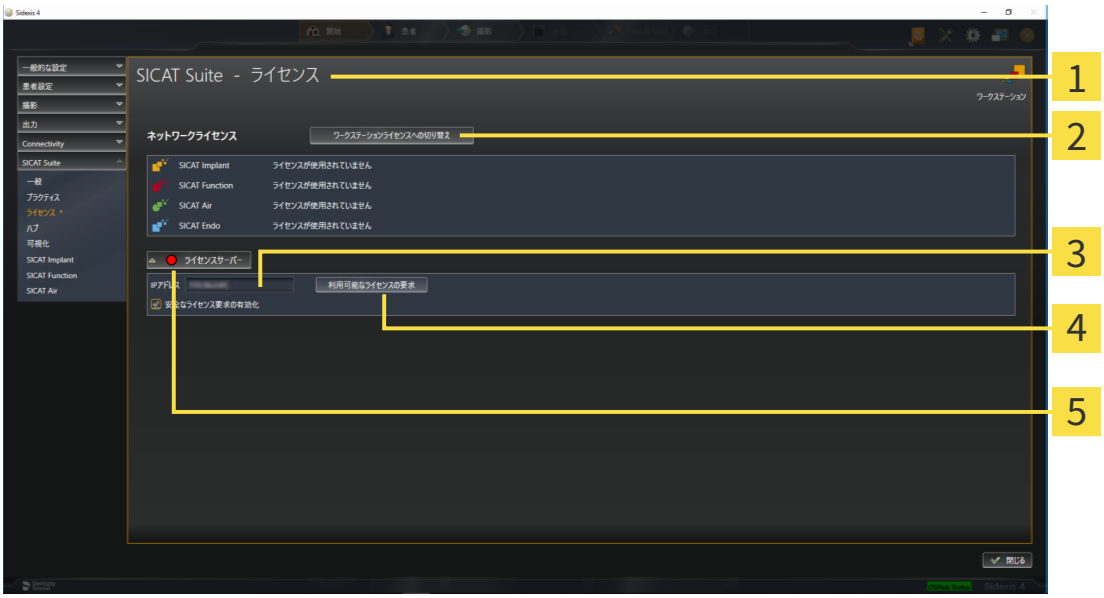
☑ ライセンスサーバーを設定しました。

☑ SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワークへのアクティブなネットワーク接続を行っています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンスへの切り替え**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はネットワークライセンスに関する情報を表示し、**ライセンスサーバー**エリアが開きます。



1	**ライセンス**のウィンドウ	4	**利用可能なライセンスの要求**のボタン
2	**ワークステーションライセンスへの切り替え**のボタン	5	状態表示
3	**IPアドレス**エリア		

2. **IPアドレス**エリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力します。

3. **利用可能なライセンスの要求**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。

▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。

▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。

▶ **ライセンスサーバー**エリアが閉じます。

ℹ	ネットワークライセンスが期限なしで確実にライセンスサーバーから取得できるようにするために、**安全なライセンス要求を有効にする**のチェックボックスがデフォルトで有効になっています。

注記	**再起動が必要** ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

23 SICAT IMPLANTのユーザーインターフェース

SICAT Implantのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。

1 **アクティブな患者ファイル**のタブ

2 開いている3D X線撮影画像に関する情報

3 ワークスペースの切替用ボタン

4 **ワークスペースのツールバー**

5 **ワークフローのツールバー**

6 **画像のツールバー**

7 **オブジェクトバー**

- **有効な患者ファイル** のタブには、開いている患者ファイルの属性を表示します。
- **ワークフローのツールバー** は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。ワークフローステップに関する内容は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 69 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。
- **ワークスペースエリア** は**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Implantで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は*ワークスペース [▶ページ 81 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。患者との練習に関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]*と*3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のオブジェクトを管理するための各種ツールが用意されています。患者との練習に関する情報は*オブジェクトバー [▶ページ 72 - SIDEXIS 4]*と*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 98 - SIDEXIS 4]*、*ビューをリセットする [▶ページ 106 - SIDEXIS 4]*、*アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 87 - SIDEXIS 4]*および *ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 88 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

23.1 ワークフローのツールバー

SICAT Implantでは、**ワークフローのツールバー**は4つのワークフローステップで構成されています。

1. **診断する**
2. **準備する**
3. **計画する**
4. **治療**

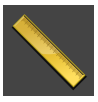
ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. 「診断」ワークフローステップ

ワークフロー・ステップ**診断する**では、以下のツールを使用できます。

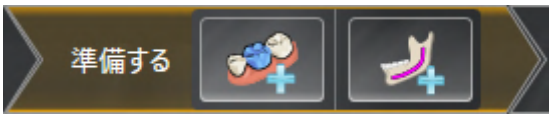
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します** - これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*と*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 139 - SIDEXIS 4]*を参照してください。



- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は*距離測定を追加する [▶ページ 144 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は*角度測定を追加する [▶ページ 145 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

2. 「準備」ワークフローステップ

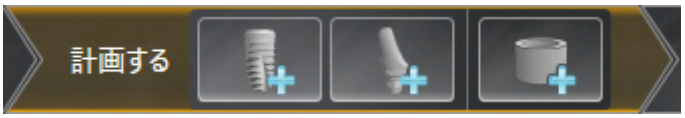


ワークフロー・ステップ**準備する**では、以下のツールを使用できます。

- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **下顎神経のマーキング** - これに関する情報は*下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*を参照してください

3. 「計画」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ**計画する**では、以下のツールを使用できます。

- **インプラントの追加** - これに関する情報は*インプラントの追加 [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は*アバットメントの追加 [▶ページ 190 - SIDEXIS 4]*を参照してください

- **スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は*スリーブの追加 [▶ページ 197 - SIDEXIS 4]*を参照してください

4. 「治療」ワークフローステップ

ワークフロー・ステップ**治療**では、以下のツールを使用できます。

- **SICATドリルテンプレートを注文する** - これに関する情報は*SICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ページ 207 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **CEREC Guide用にエクスポート** - これに関する情報は*CEREC Guide用にエクスポート [▶ページ 220 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- **計画レポートの作成** - これに関する情報は*計画レポートの作成 [▶ページ 226 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

23.2 オブジェクトバー

1	**計画**エリア	4	**オブジェクトツールバー**
2	**オブジェクトブラウザ**	5	**プロパティ**エリア
3	**オブジェクトバーを非表示にする**のボタンまたは**オブジェクトバーを表示する**のボタン		

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- SICAT Implantは計画内の診断オブジェクトと計画オブジェクトを管理します。**計画**エリアでは、現在開いている計画のドリルテンプレートとスリーブシステムを変更するだけでなく、計画を変更して管理することができます。これに関する情報は*計画の切替えと管理 [▶ページ 74 - SIDEXIS 4]*および*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 200 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **オブジェクトブラウザ**は、診断や治療計画の対象 (オブジェクト) として、現在開いている計画に追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにす

る、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

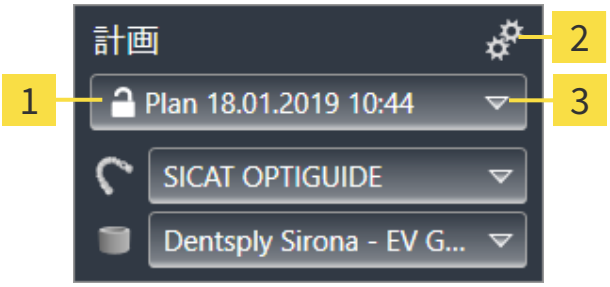
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **プロパティ**エリアでは、アクティブなオブジェクトの最も重要なプロパティを表示したり、特定のオブジェクト用にそれらを変更したりできます。

オブジェクトバーの視点を**オブジェクトバー**の右側の2つのボタンで変更することができます。**オブジェクトバーを非表示にする**および**オブジェクトバーを表示する**

SICAT Implantで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

23.3 計画の切替えと管理

治療計画は診断オブジェクトと計画オブジェクトを含む計画に常に基づいています。現在開いている計画は**計画**エリアに表示されます。



1 開いた計画の状態と名前

2 **計画の管理**アイコン

3 **計画の切替え**ボタン

計画の切替え

☑ スタディには2つかそれ以上の計画があります。

1. **計画切替え**ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが計画リストを表示します。
2. 開きたい計画をクリックします。

▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。

▶ SICAT Implantは所望の計画を開きます。

計画の管理

計画の管理アイコンをクリックすると**計画の管理**ウィンドウを呼び出せます。詳細は*計画の管理 [▶ページ 118 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更
ドリルテンプレート及びスリーブシステムの変更についての情報は*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 200 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

23.4 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。

1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックします。

   ▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。

2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。

▶ SICAT Implant は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。

▶ SICAT Implant は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。

▶ SICAT Implant は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。

> オブジェクトをクリックすることによって、ビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。

1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一部表示**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。

▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコンが表示されます。

2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**非表示**アイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。

▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示されます。

セキュリティエリア、チャンネル、アバットメント、およびスリーブの非表示および表示については、以下を参照してください。

- *安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*
- *孔の非表示/表示 [▶ページ 187 - SIDEXIS 4]*
- *アバットメントの非表示/表示 [▶ページ 195 - SIDEXIS 4]*
- *スリーブの非表示/表示 [▶ページ 205 - SIDEXIS 4]*

23.5 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。

- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Implantには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。

オブジェクトブラウザをダブルクリックして、オブジェクトに焦点を合わせることもできます。ビュー内で特定のオブジェクトをダブルクリックしても、それらに焦点を合わせることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

- **アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。

2. **オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。

SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

23.6 SICAT IMPLANTオブジェクト

オブジェクトブラウザではSICAT Implantが以下のようにアプリケーション固有オブジェクトグループとオブジェクトをグループ化しています。

- 修復を伴う光学印象
- 神経
- アバットメントとスリーブ付きインプラント

オブジェクトグループ「光学印象」

SICAT Implantでは複数のCAD/CAM事例をインポートできます。インポートした各CAD/CAM事例ごとにSICAT Implantはオブジェクトグループ**光学印象**内の**オブジェクトブラウザ**に対応する歯の位置とともに下位オブジェクトグループ **CAD/CAM症例**を表示します。オブジェクトグループ**CAD/CAM症例**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- **光学印象 上顎骨**
- **光学印象 下顎骨**
- 対応する歯の位置とともに1つまたは複数の **修復**オブジェクト

アクティブなCAD/CAM事例に対して SICAT Implant は**プロパティ**エリアにインポート日及びフォーマットを表示します。アクティブな光学印象に関しては **プロパティ**エリアに撮影日と撮影システムが表示されます。

CAD/CAM事例オブジェクトを1つ削除するとSICAT Implantが対応するCAD/CAM事例を削除します。CAD/CAM事例を削除すると復元できなくなります。

「神経」オブジェクトグループ

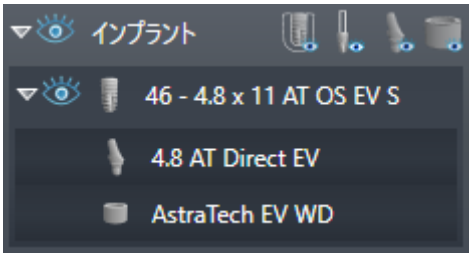
下顎神経をマークすると、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**神経**を表示します。オブジェクトグループ**神経**は以下のオブジェクトを含むことができます。

- **左下顎神経**
- **右下顎神経**

神経にフォーカスすると前回にアクティブだった神経上のポイントに焦点が行きます。

> 神経が表示されていないと、神経の計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするには神経を再び表示してください。

「インプラント」オブジェクトグループ



計画したインプラントごとに、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**インプラント**にある下位オブジェクトグループ**インプラント**を歯の位置、インプラント直径(mm)、インプラントの長さ(mm)、インプラントシリーズとともに表示します。オブジェクトグループ**インプラント**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- 角度付きアバットメント用角度（°）ありのアバットメント、プラットフォーム、アバットメントシリーズ
- スリーブ

インプラント及びアバットメントにフォーカスするとインプラントの咬合点に焦点が合います。スリーブにフォーカスするとスリーブの中心に焦点が合います。

> インプラントが表示されていないときは、インプラントやアバットメント、スリーブの計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするにはインプラントを再び表示してください。

24 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

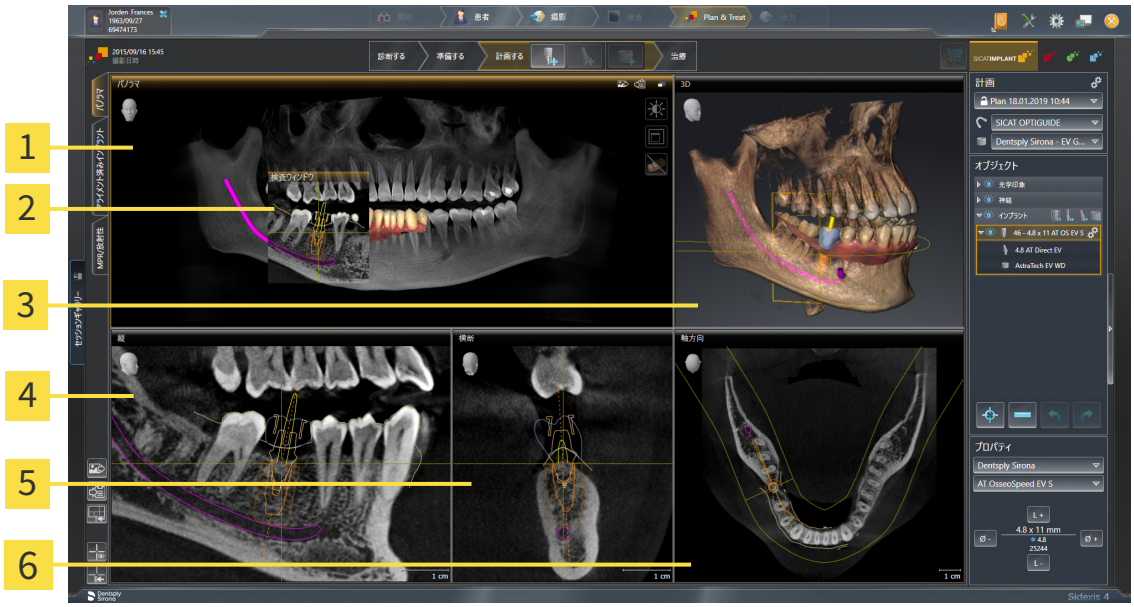
SICAT Implantでは、異なる3種類のワークスペースが用意されています。

- **パノラマ**ワークスペースに関する情報は*パノラマワークスペースの概要 [▶ページ 82 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **アライメント済みインプラント**ワークスペースに関する情報は*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*を参照してください
- **MPR/放射性**ワークスペースに関する情報は*MPR/放射性ワークスペースの概要 [▶ページ 85 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- *ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*。
- *アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 87 - SIDEXIS 4]*。
- *ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]*。
- **3D**ビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は*ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 88 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

24.1 パノラマワークスペースの概要



1 **パノラマ**-ビュー

2 **検査ウィンドウ**

3 **3D**-ビュー

4 **縦**-ビュー

5 **横断**-ビュー

6 **軸方向**-ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する [▶ページ 139 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、**パノラマ**ビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、**パノラマ**ビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 99 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

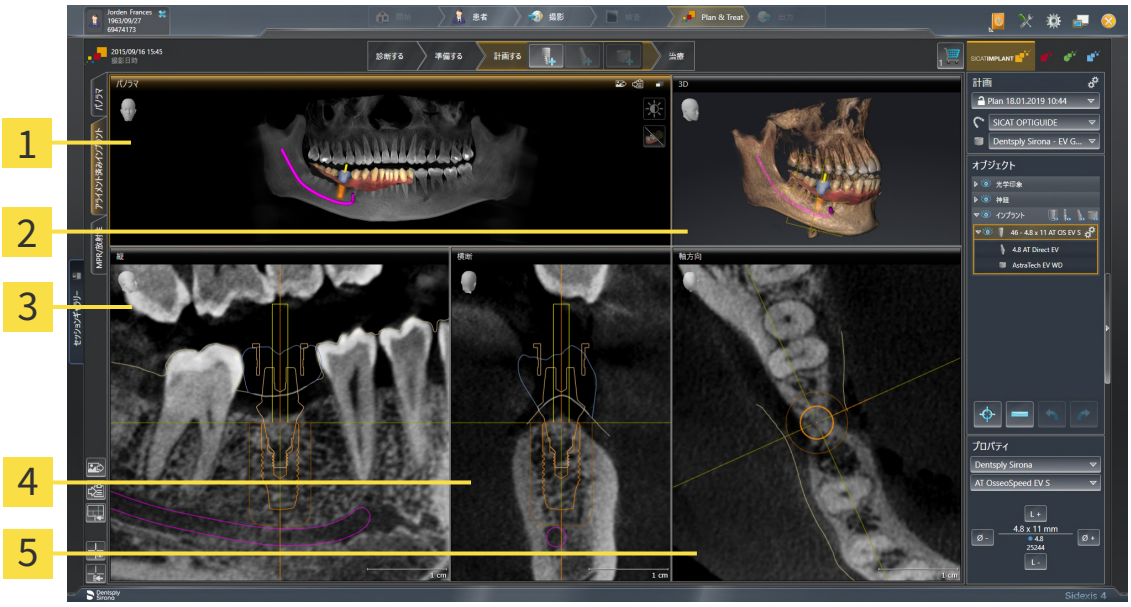
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 239 - SIDEXIS 4]* の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、*ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

24.2 インプラントアライン済みワークスペースの概要



1 パノラマビュー

2 3Dビュー

3 縦ビュー

4 横断ビュー

5 軸方向ビュー

ワークスペース**アライメント済みインプラント**ではインプラントを正確に位置決めし、アラインメントを調節し、計画を最終的に確認します。詳細は*インプラントの移動とアライン [▶ページ 179 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

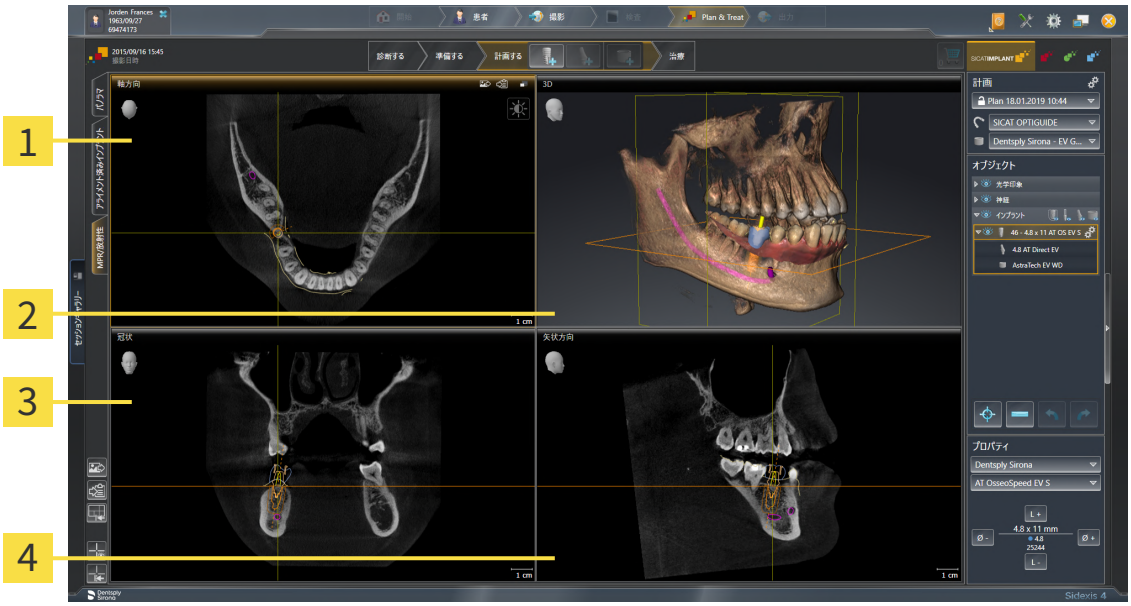
ワークスペース**アライメント済みインプラント**にはワークスペース **パノラマ**と同じビューが表示されます。しかしレイヤービューは常にアクティブなインプラントにアラインされています。アクティブなインプラントの位置や向きを変更したりアクティブなインプラントを入れ替えるやいなや、SICAT Implantがレイヤービューを3つの寸法全てにおいて常に最適なインプラント断面を視野に把握できるように適切に調整します。

さらに、ワークスペース**アライメント済みインプラント**では、**縦**ビューと**横断**をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画をどの向きからも最適に判断し、必要な場合には調整できます。詳細は*ビューをアクティブなインプラントの回りに回す [▶ページ 103 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ビューの機能については*ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]*と*3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

> ボリュームの配置とパノラマカーブを精確に調整してあればあるほど、インプラントの計画をワークスペース **アライメント済みインプラント**で容易にできるようになります。詳細は*ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する [▶ページ 131 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

24.3 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 **軸方向**- ビュー

2 **3D**- ビュー

3 **冠状**- ビュー

4 **矢状方向**- ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 239 - SIDEXIS 4]* の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの**矢状方向**ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。**矢状方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 239 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

ビューの機能については以下をご覧ください。 *ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]* および *3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*。

24.4 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。

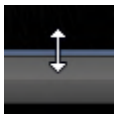
▶ 選択したワークスペースが開きます。

24.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
   ▶ マウスポインターの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
   ▶ 境界線の位置が変わります。
   ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー** で、 **アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

24.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4出力に追加する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant では、ワークスペースのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

> クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

25 ビュー

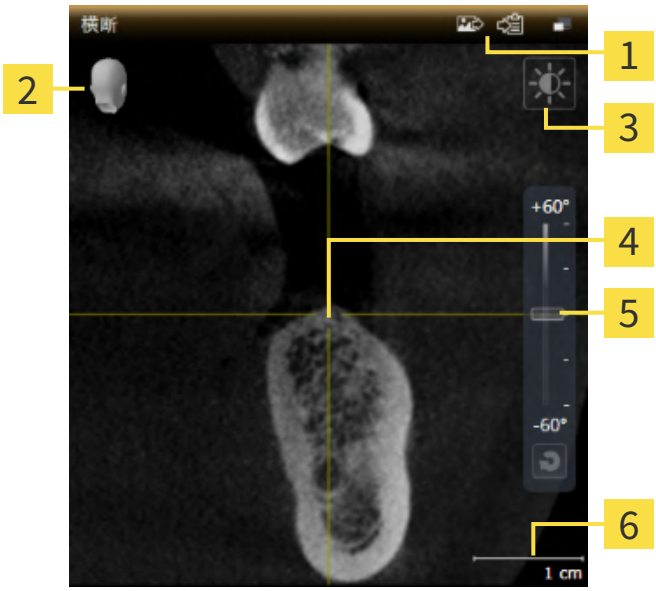
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 *ワークスペース [▶ページ 81 - SIDEXIS 4].*

ビューを調整することができます。これに関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 90 - SIDEXIS 4]* と *3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

25.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、*アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 92 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



1	タイトルバー	4	十字線
2	オリエンテーションヘッド	5	傾きを調整するためのスライダー
3	画像のツールバー	6	尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Implantは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*
- *ビューの最大化および復元 [▶ページ 93 - SIDEXIS 4]*
- *2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*
- *ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ページ 96 - SIDEXIS 4]*
- *レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 97 - SIDEXIS 4]*
- *十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 98 - SIDEXIS 4]*
- *検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 99 - SIDEXIS 4]*
- *ビューの傾斜 [▶ページ 101 - SIDEXIS 4]*
- *ビューの回転 [▶ページ 102 - SIDEXIS 4]*
- *ビューをアクティブなインプラントの回りに回す [▶ページ 103 - SIDEXIS 4]*
- *光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 105 - SIDEXIS 4]*
- *ビューをリセットする [▶ページ 106 - SIDEXIS 4]*

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は*画像のスクリーンショットを作成する [▶ページ 107 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

25.2 アクティブなビューの切り替え

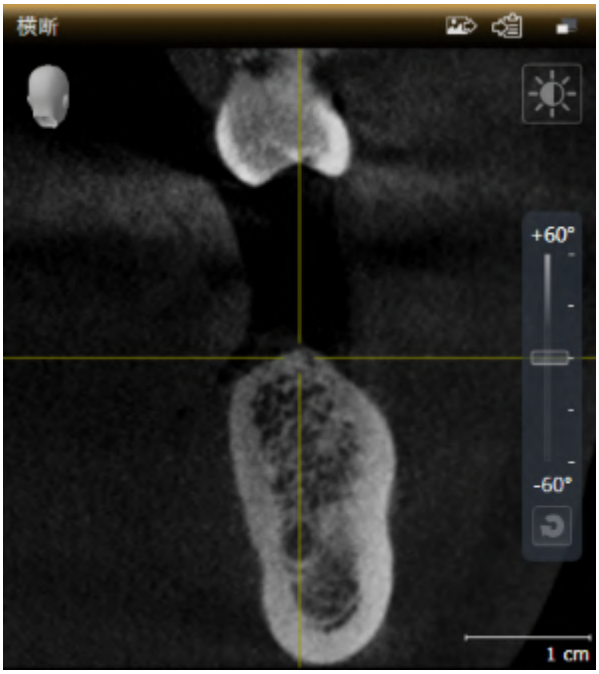
画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。

2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Implantがビューを有効にします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

25.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*。

☑ 希望のビューは最大化していません。

1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がビューを最大化します。

2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant では、ビューが元のサイズに戻ります。

ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

25.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. 2Dビューの**画像のツールバー**に**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。

2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Implant では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在の輝度を保持します。

5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Implant では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **輝度およびコントラストの調整** の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。

全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

25.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズーミングするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
   ▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。

▶ ビューがズームアウトします。

上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

25.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
   ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
   ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

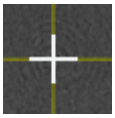
25.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
   ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant では、十字線が移動後の位置を維持します。

> 十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. **ワークスペースのツールバー** で、 **十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューででフレームが隠れます。

2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
   ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューでフレームが表示されます。

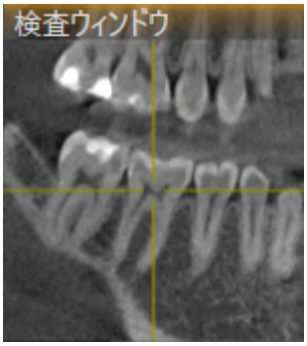
25.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、*アクティブなワークスペースの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さずに表示しておきます。



1. **パノラマ**ビューで、**検査ウィンドウ**のタイトルバーにマウスポインタを重ねます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ **検査ウィンドウ**は、マウスポインタの動きに追随します。
   ▶ SICAT Implantは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

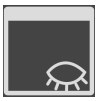
検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**パノラマ**ビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ SICAT Implantは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



2. **検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

3. **検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

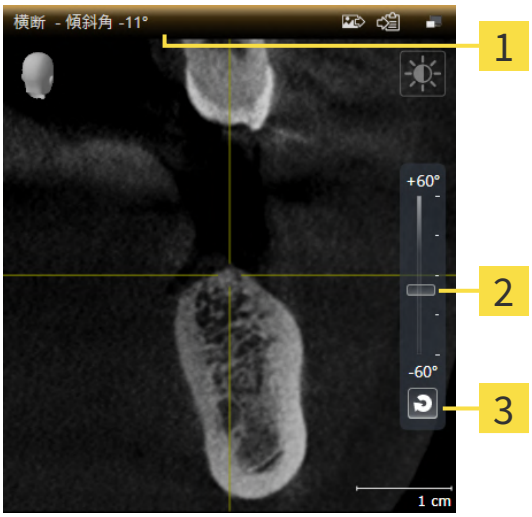
   ▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

4. **検査ウィンドウの最大化**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、検査ウィンドウを最大化します。

25.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで**縦**ビュー、および**横断**を傾けることができます。これにより、特定の解剖学的構造 (歯など) または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化することができます。



1 現在設定されている傾斜

2 傾きを調整するためのスライダー

3 **傾斜をリセットする**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **縦**ビュー、もしくは**横断**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**アップ**と**ダウン**することにより、傾斜を変更することもできます。

▶ SICAT Implantアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

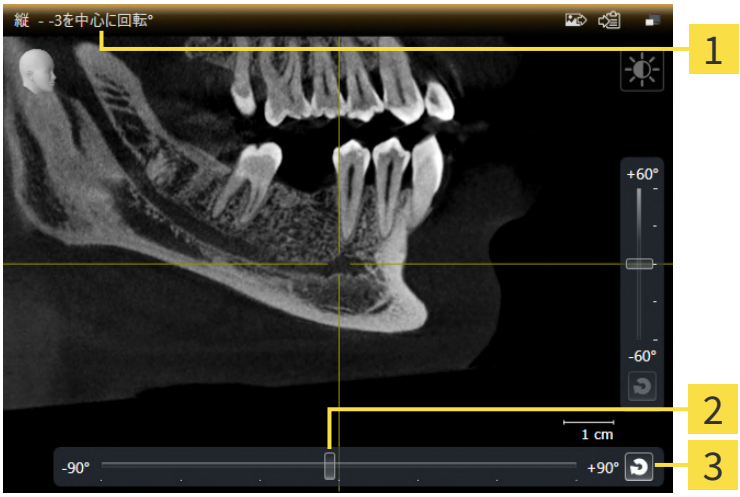
▶ SICAT Implantは**縦**もしくは**横断**ビュー内の十字線を更新します。

▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを傾けます。

傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻すことができます。

25.10 ビューの回転

ワークスペース**パノラマ**で**縦** ビューを回せます。例として下顎神経のマーキングのために、下顎神経の上昇幹が一つのレイヤーに見えるようにビューを回すことができます。



1 現在設定されている回転

2 起点調整スライダー

3 **回転のリセット**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **縦**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**右**と**左**に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implantはアクティブビューを回し、現在設定されている回転をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implantはクロスヘアの対応する線をビュー **横断**と**軸方向**で回転します。

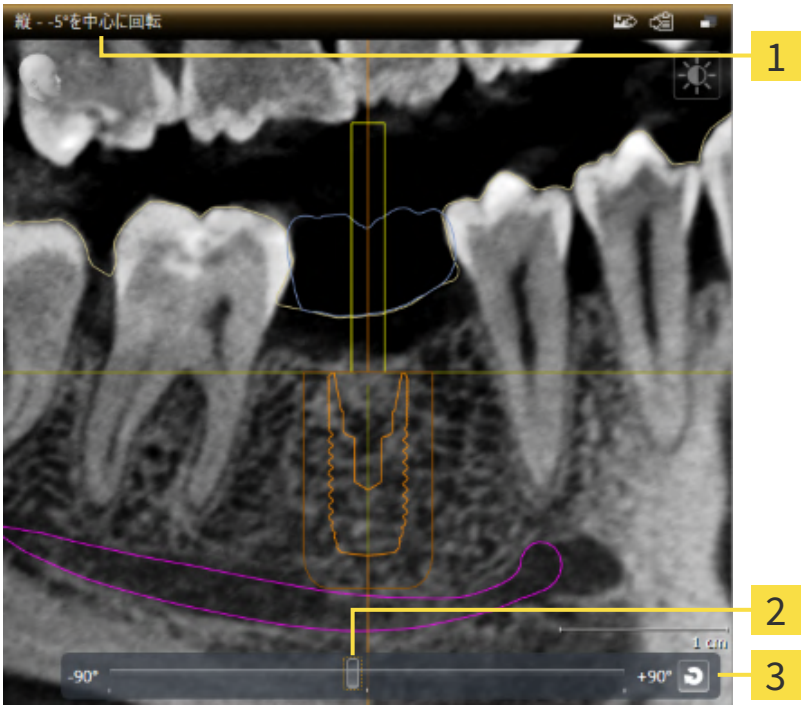
▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを回します。

ℹ	回転はクロスヘアの現在位置の回りに実行されます。ビューを他の位置に回すには、まずその位置にフォーカスします。

ℹ	**回転のリセット**のボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

25.11 ビューをアクティブなインプラントの回りに回す

ワークスペース**アライメント済みインプラント**ではビュー **縦**と**横断** をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画を全方位から最適に見極めて、必要な場合には調整することができます。



1 現在設定されている回転

2 起点調整スライダー

3 **回転のリセット**のボタン

☑ **アライメント済みインプラント**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **オブジェクト**からまたは表示でインプラントをクリックし表示を変更したいインプラメントを有効にします。

2. ビューアクティブなインプラントを回転させたい**縦** ビューまたは**横断**ビューを有効にします。

3. 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**右**と**左**に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implant は**縦**と**横断**ビューを同時に回し、現在設定されている回転を両方のビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implant は十字線を**軸方向**ビュー の中で回転します。

▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを回します。

回転のリセットのボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

25.12 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラーが有効になっている場合は、**パノラマ**および**3D**ビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

☑ **パノラマ**ビュー、もしくは**3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオフにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。

2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。

> 光学印象のカラー表示を**3D**ビューで切り替えるとき、表示は同時に**パノラマ**ビューでも切り替わります。これは逆にも当てはまります。

25.13 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー**で、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantでは、すべてのビューで、ズーミング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。

▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

▶ SICAT Implantはビューの傾きと回転を0°にリセットします。

25.14 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEXIS 4の出力ページに追加する
- Windowsのクリップボードにコピーする

ビューのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加します

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantでは、ビューのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl＋C）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

26 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、*3Dビューで視線方向を変更する [▶ページ 109 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- *3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*
- *3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 112 - SIDEXIS 4]*
- *3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 114 - SIDEXIS 4]*
- *クリッピング領域の固定 [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*

さらに、音量を自動的に回転させることもできます。これに関する情報は*ボリュームの自動回転 [▶ページ 117 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

26.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを3Dビューに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
   ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantでは、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 3Dビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
   ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。

   ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

▶ **3D**ビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。

3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

26.2 3Dビューの表示タイプを切り替える

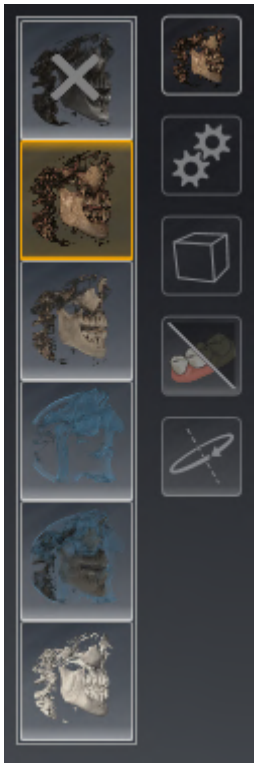
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え* *[▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**で、 **表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える** の透明なウィンドウが閉じます。

26.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する

アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**アクティブな表示モードを設定する**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが開きます。

2. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが閉じます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

26.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューでボリュームの一部を一時的にトリミングして、残りの部分を良く調べたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価したりできます (「クリッピング」) 。

各ワークスペースの2Dスライスビューおよび/またはフォーカスポイント周辺のエリアに沿ってボリュームをトリミングできます。クリッピングエリアは通常他のビューと同期しています。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**切り抜きモードを切り替える**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

視線方向でクリッピングエリアを調整する
各ワークスペースの2Dレイヤービューに沿ってボリュームをトリミングする場合は、**3D**ビューで視線方向を変更することで行うことができ、両方のボリューム部分のうちの1つがトリミングされます。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

顎を解除する
顎を解除するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **現在の軸方向レイヤーでクリッピング**切り抜きモードを選択してください。

2. 咬合方向から目的の顎を見られるように**3D**ビューで視線方向を変更します。
3. 咬合平面に達するまで軸方向のビューをスクロールします。
4. 現在設定されているクリッピングエリアを修正します。詳細は*クリッピング領域の固定 [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

26.5 クリッピング領域の固定

3Dビューで現在設定されているクリッピング領域を固定するには次の手順で行います。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ボリュームの一部が一時的に切り抜かれる切り抜きモードが選択されています。これに関する情報は*3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 114 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域を固定します。

2. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域の固定を解除します。

> 他の切り抜きモードを選択するとクリッピング領域の固定が自動的に解除されます。

26.6 ボリュームの自動回転

ボリュームを全ワークスペースの**3D**ビュー内で自動回転させるには次の手順で行います。

☑ 開いたワークスペースの**3D**ビューはすでにアクティブです。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **自動回転**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantはボリュームを主軸の回りに自動回転させ始めます。

2. 自動回転を終了するには **自動回転**ボタンまたは**3D**ビューの任意の個所を再度クリックします。

27 計画の管理

一人の患者について複数の代替治療計画をスタディ一件で作成できます。これらの計画の間で迅速に切り替えて計画を相互に比較し、最終的計画を手術のために指定できます。さらに、SICAT Implant はSICAT ドリルテンプレーの発注やCEREC ガイドへのエクスポート、計画のエクスポート時には開いた計画のコピーを「完了」状態で保存します。「完了」状態ではそれ以上変更できなくなります。

治療計画のどの時点でも一つの計画が常に開いています。一件のスタディを最初に開くと日付と時刻表記付きで一つの計画が名前に作成されます。全計画機能は開いた計画に関しています。例えば距離測定を追加すると、測定が開いているプランに追加されます。後に再度開きたいまたはすでにインポートした計画は計画を閉じたまたはエクスポートした時と同じ状態になっています。

計画管理は次のアクションを含みます。

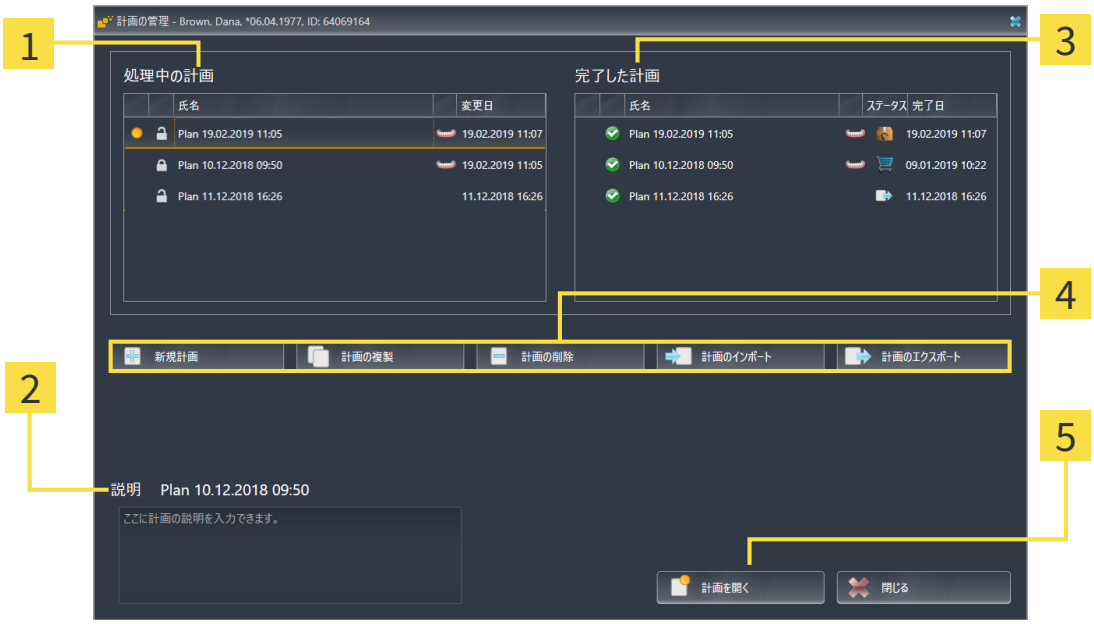
- *計画切替え [▶ページ 74 - SIDEXIS 4]及び計画を開く [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*
- *計画のブロック/ブロック解除 [▶ページ 121 - SIDEXIS 4]*
- *計画名の変更 [▶ページ 122 - SIDEXIS 4]*
- *計画説明の追加と変更 [▶ページ 123 - SIDEXIS 4]*
- *新規計画の作成 [▶ページ 124 - SIDEXIS 4]*
- *計画の複製 [▶ページ 125 - SIDEXIS 4]*
- *計画の削除 [▶ページ 126 - SIDEXIS 4]*
- *計画のエクスポート [▶ページ 127 - SIDEXIS 4]とインポート [▶ページ 130 - SIDEXIS 4]*

オブジェクトバーにある**計画**領域について詳しくは*計画の切替えと管理 [▶ページ 74 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

「計画の管理」ウィンドウを呼び出す

- **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantに**計画の管理**ウィンドウが開きます。



1 **処理中の計画**エリア

2 計画の説明

3 **完了した計画**エリア

4 計画管理用ボタン

5 **計画を開く**のボタン

開いた計画は選択済みであり、アイコンが強調表示されます。上顎および下顎のアイコンが表示されここに両顎のインプラント計画が出ます。

計画は**処理中の計画**エリアで変更日別にソートされています。編集中の計画は「ブロック」または「ブロック解除」状態のどちらかです。

計画は**完了した計画**エリアで **完了日**日別にソートされています。完了した計画はアイコンでわかります。完了した 計画は次のうちいずれかの状態になります。

- 「カートにある」
- 「発注済」/「CEREC ガイド用にエクスポート済」
- 「エクスポート済」 (**計画のエクスポート**ボタンで)

27.1 計画を開く

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されています。

2. 開きたい計画をクリックします。

3. **計画を開く**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。

▶ SICAT Implant は所望の計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。

計画は計画をワークスペースで**計画**エリアに切り替えるだけですぐに開きます。これに関する情報は*計画の切替えと管理 [▶ページ 74 - SIDEXIS 4]*を参照してください

27.2 計画のブロック/ブロック解除

計画をブロックし、計画を不慮の編集や削除から保護できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。

2. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Implantは計画をブロックします。
   ▶ アイコンがに変わります。

3. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Implantが計画をブロック解除します。
   ▶ アイコンがに変わります。

27.3 計画名の変更

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。

2. **処理中の計画**エリアで名前を変更したい計画をクリックします。ブロック解除された計画のみ名前を変更できます。

3. 計画行で名前をクリックします。

   ▶ 計画名は編集可能です。

4. 名前を入力し、名前を確定します。名前が空であってはなりません。

▶ 名前欄を出るとSICAT Implantが変更後の名前を適用します。

27.4 計画説明の追加と変更

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. 希望の計画をクリックします。ブロックされていない計画の説明のみ追加または変更できます。
3. **説明**欄をクリックし、説明を入力してください。

▶ 説明欄を終えるとSICAT Implantが説明を適用します。

27.5 新規計画の作成

診断オブジェクトまたは計画オブジェクトがいまだない新規計画を作成します。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。

2. **新規計画**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが新規計画を今日の日付を作成日として**処理中の計画**エリアに追加し、計画を選択します。

3. **新規計画を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が新規計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。

27.6 計画の複製

既存の計画を全診断オブジェクトまたは計画オブジェクトごと複製もできます。この機能では例えば完了した計画に基づいて変更を行うことができます。複製したい計画はブロック、ブロック解除、完了のいずれかの状態です。複製は常にブロックされていません。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。
2. 複製したい計画をクリックします。

3. **計画の複製**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が複製計画を**処理中の計画**エリアに追加し、選択します。複製計画は**完了した計画**エリアからも**処理中の計画**エリアに保存されます。

4. **複製を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant が複製を開きます。

27.7 計画の削除

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されています。

2. 削除したい計画をクリックします。ブロックされているか完了した計画を削除することはできません。

3. **計画の削除** ボタンをクリックし、確認メッセージを確認してください。

▶ SICAT Implant が計画を削除します。スタディの前回計画を削除すると、SICAT Implant は自動的に新規計画を作成します。

27.8 計画のエクスポート

注意

不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

正しい計画をエクスポート用に選択するようにしてください。

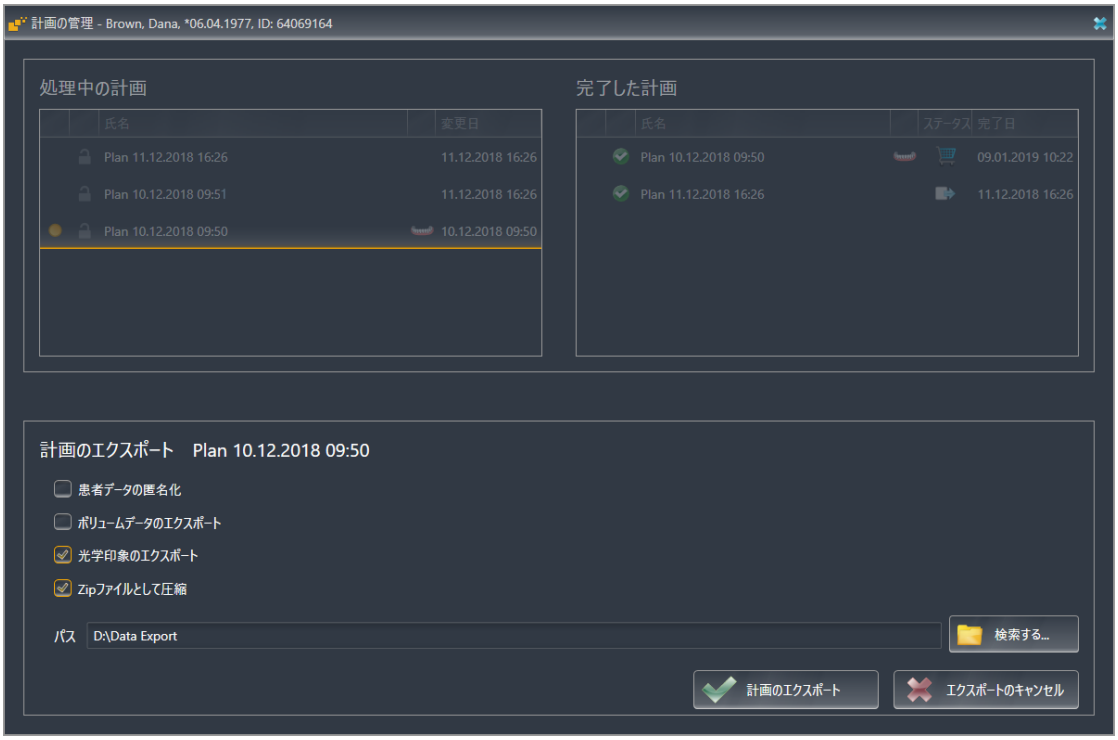
計画をエクスポートして例えば計画を転送し、セコンドオピニオンを取得するか訂正した計画をSICATサポートに送信します。この機能を使用できるのは同一3Dレントゲンデータが送信側にも受信側にもある場合のみです。

受信者側でSIDEXIS 4にまだ同じ3Dレントゲンデータがある限り、まずSIDEXIS 4でデータエクスポート機能を利用し、3Dレントゲンデータをエクスポートします。SIDEXIS 4では受信者がデータインポート機能を利用できます。

SIDEXIS 4のデータエクスポート機能では計画が自動的にエクスポートされます。このためデータエクスポートの利用時におけるプランの以下のエクスポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他の計画を SIDEXIS 4の送信側と受信側で同じ3Dレントゲンデータを基にエクスポートするとき使用できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. エクスポートしたい計画をクリックします。
3. **計画のエクスポート**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画管理**ウィンドウ下部にはエクスポートの設定を行う**計画のエクスポート**エリアが表示されます。



4. 必要な場合に以下のオプションの一つまたは複数を有効にします。
   – **患者データの匿名化**、患者データをエクスポート後のプランで匿名化する。
   – **ボリュームデータのエクスポート**、3Dレントゲンデータを計画とともにエクスポートする。
   – **光学印象のエクスポート**、計画の光学印象もともにエクスポートする。
   – **Zipファイルとして圧縮**、エクスポートデータをサイズの小さいファイルに圧縮する。

5. **パス**欄に計画のエクスポート先ディレクトリを指定します。これは **検索する** ボタンをクリックしてディレクトリを選んでもできます。

6. **計画のエクスポート**をクリックします。

▶ SICAT Implant はボリュームデータをエクスポートしない場合はエクスポートした計画をSIMPPファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。

▶ SICAT Implant はボリュームデータをエクスポートする場合は、エクスポートした計画をSIMPDファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。

▶ オプション**Zipファイルとして圧縮** にチェックが入っているときはSICAT Implant は選択されたデータをZIPファイルに圧縮して保存します。

▶ SICAT Implant はエクスポートのために選択した元の計画のコピーを**完了した計画**エリアのステータス「エクスポート済み」に作成しません。

▶ SICAT Implantはエクスポート後にメッセージを表示します。

ボリュームデータのエクスポートオプションを有効にし、これで計画を3Dレントゲンデータと共にSIMPDファイルにエクスポートする場合、この方法でSIDEXIS 4 にエクスポートした3Dレントゲンデータ、またはSIDEXIS 4に統合して受信者のSICAT Suiteにインポートすることは技術的にできなくなります。

- 受信者がSICAT Suiteスタンドアロンを使用している場合、受信者はSICAT Suiteのデータインポートを利用して計画を3Dレントゲンデータと共にインポートできます。
- 受信者がSICAT SuiteをSIDEXIS 4に統合して利用している場合、データエクスポート機能をSIDEXIS 4で使用し、3Dレントゲンデータをエクスポートできます。

エクスポート用にコピーされており、**完了した計画**エリアに保存されている計画を複製できます。エクスポートした計画に基づいて処置を後のために再計画できます。

27.9 計画のインポート

SICAT Implant で以前にエクスポートした計画をインポートすることができます。SICAT Implant は全光学印象をまだ手元のシステムにはないインポートする計画にインポートします。

> この機能によりインポート対象計画のSIMPDファイルにある3Dレントゲンデータを SIDEXIS 4にインポートすることができます。
>
> インポート対象計画の3Dレントゲンデータもインポートしたい場合、3Dレントゲンデータを**最初に** SIDEXIS 4のインポート機能でインポートします。そのための前提条件は、最初に3Dレントゲンデータを SIDEXIS 4 のエクスポート機能でエクスポートしたことです。3DレントゲンデータのSIDEXIS 4へインポートについて詳細は SIDEXIS 4の取扱説明書をご参照ください。
>
> SIDEXIS 4へのデータインポート機能で計画もインポートされます。このためデータインポートの利用時における計画の以下のインポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他のプランをSICAT Suiteと送り先のSICAT Suiteにある既存の同じ3Dレントゲンデータを基にインポートするとき使用できます。

1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
   ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。

2. **計画のインポート**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT ImplantはWindowsファイルエクスプローラーウィンドウを開きます。
3. インポートするSIMPPファイルまたはZIPファイルのあるディレクトリに切替え、ファイルを選択したら、 **開く**をクリックします。
   ▶ インポートした計画は**処理中の計画**エリアに追加されます。同名の計画がすでにあればインポートした計画には(2)等の括弧入り数字が付記されます。
   ▶ SICAT Implant が計画をインポートできなければ、SICAT Implant はエラーメッセージを追加情報とともに表示します。

4. **インポートした計画を開く。計画を開く**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはインポートした計画を開きます。

28 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する

ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

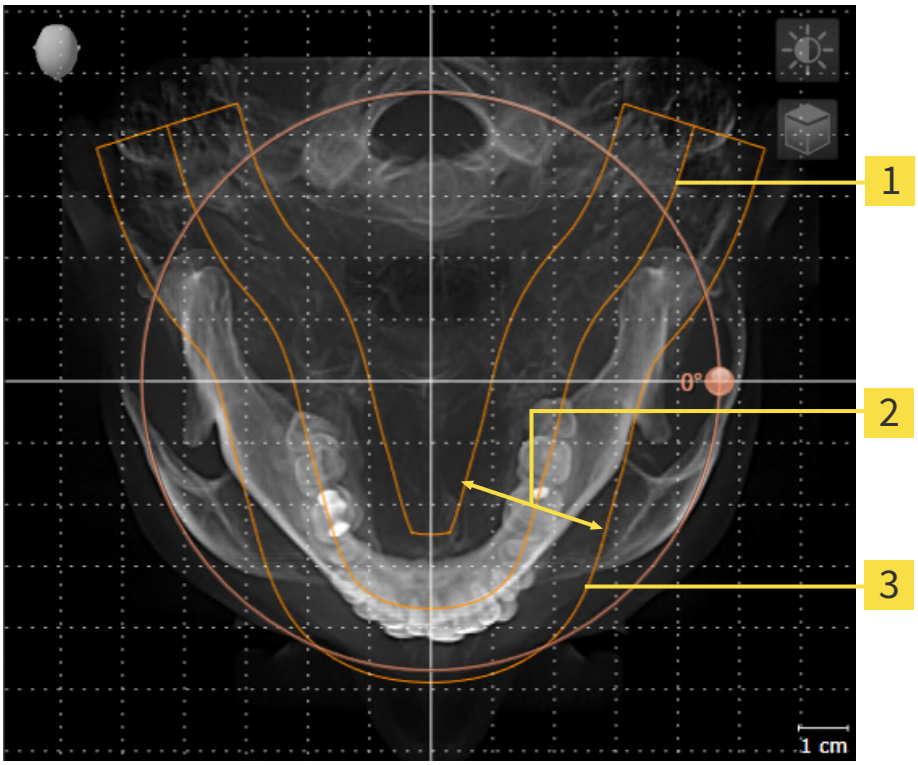
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- **パノラマ**ビューの最適化

音量調整をSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Implantでは、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、**パノラマ**ビューを出力します。**パノラマ**ビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマ エリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマ エリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマ エリアをSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を転送します。

パノラマ エリアを調整する手順は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 139 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT ImplantはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Implantで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Implantはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Implantがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Implantがサポートするパノラマ エリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Implantがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Implantはボリュームの配置とパノラマ エリア、または、パノラマ エリア単独のいずれかについては、転送しません。

SICAT Implantでは、この場合に、その時点の3D X線撮影画像に関する情報の横に、お知らせアイコンを表示します。マウスポインタをお知らせアイコンの上に移動すると、次のお知らせが表示されます。

- 受け入れられない設定とデータ。
- 操作説明書には、SICAT Implantでの設定方法が記載されています。

28.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する*[▶ページ 131 - SIDEXIS 4]に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

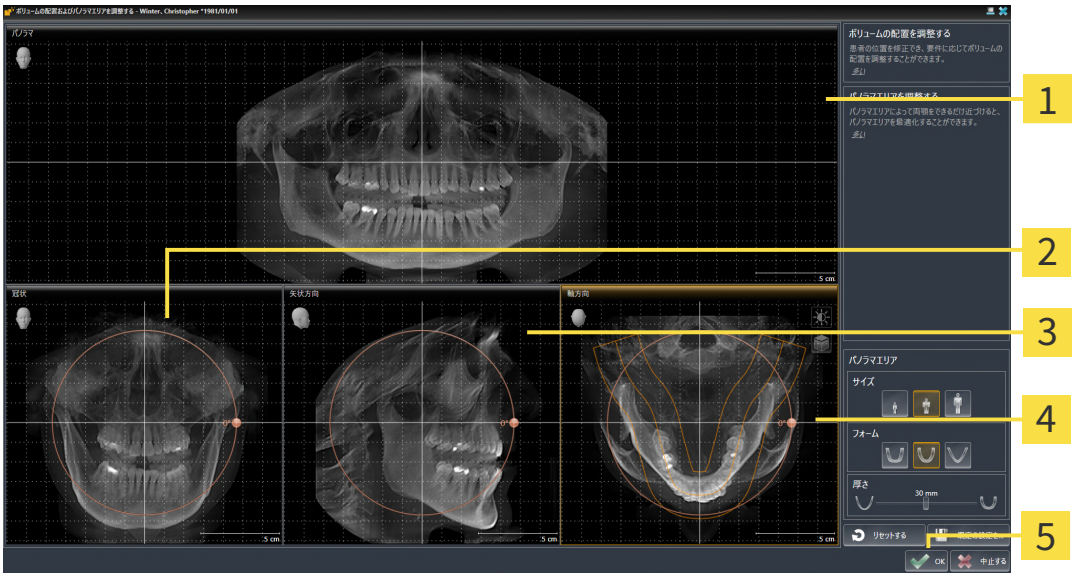
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **冠状**ビューでボリュームを回す
- **矢状方向**ビューでボリュームを回す
- **軸方向**ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 **冠状**ビューと**回転**スライダー

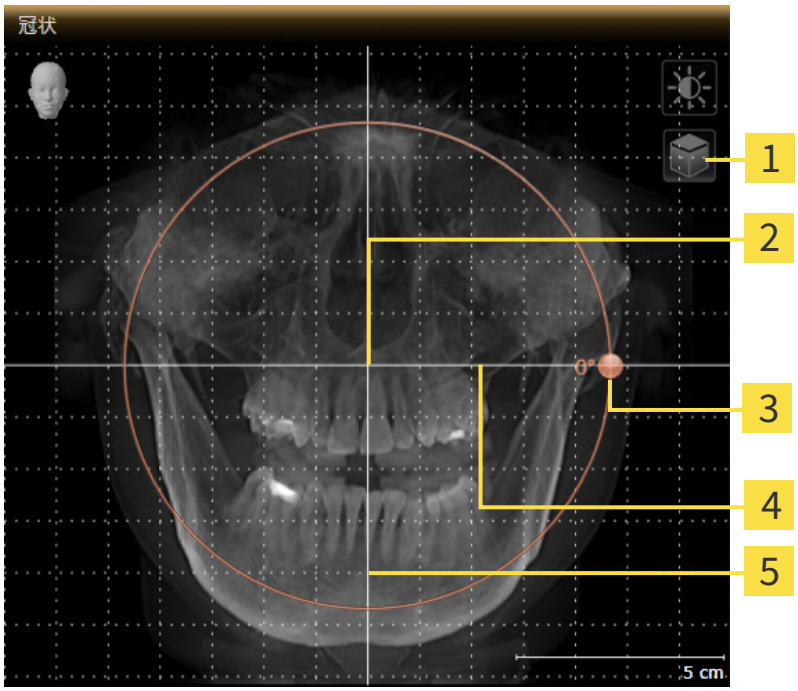
3 **矢状方向**ビューと**回転**スライダー

4 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

5 **OK**のボタン

冠状ビューでボリュームを回す

1. **冠状**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

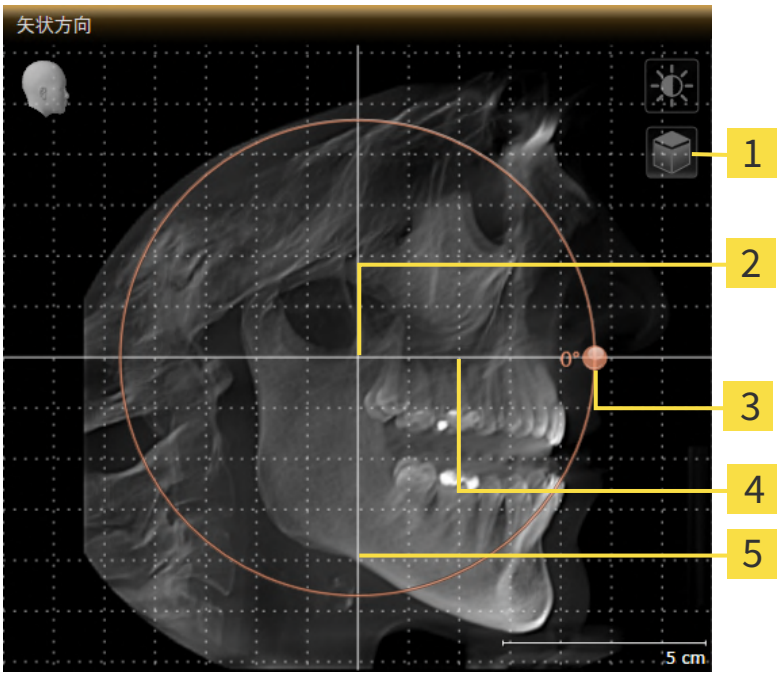
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**冠状**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. **矢状方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

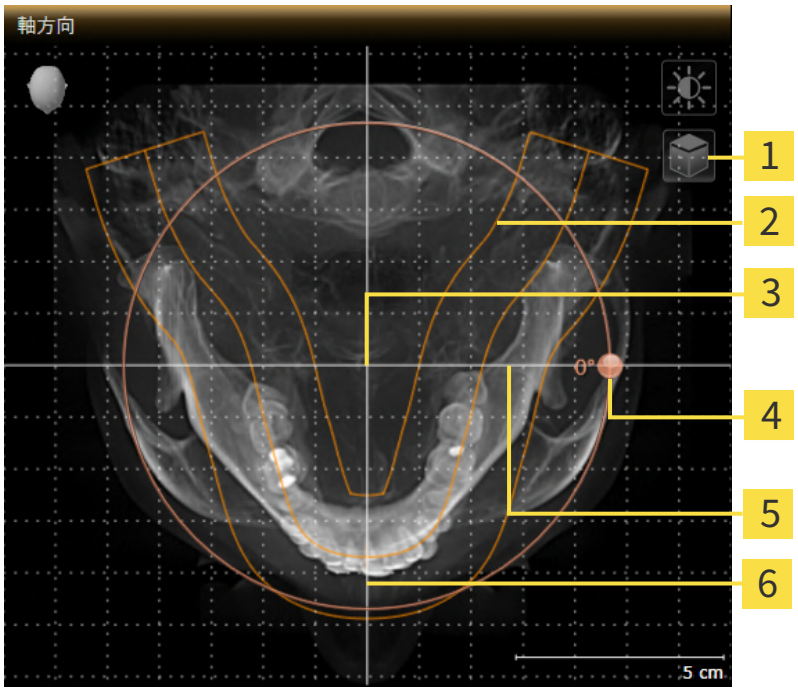
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**矢状方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	**回転**スライダー
2	パノラマ エリア	5	水平基準線
3	回転中心	6	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. その必要があれば、パノラマ エリアの移動は、**軸方向**ビューで行います。このときは、パノラマ エリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Implantでは、パノラマ エリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。

4. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

6. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Implantでは、**軸方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

7. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマ エリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

   ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICAT Implantに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Implantで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

9. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

▶ SICAT Implantは調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Implantは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

28.2 パノラマ エリアを調整する

パノラマ エリアに関する一般的な情報は、*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 131 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

パノラマ エリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

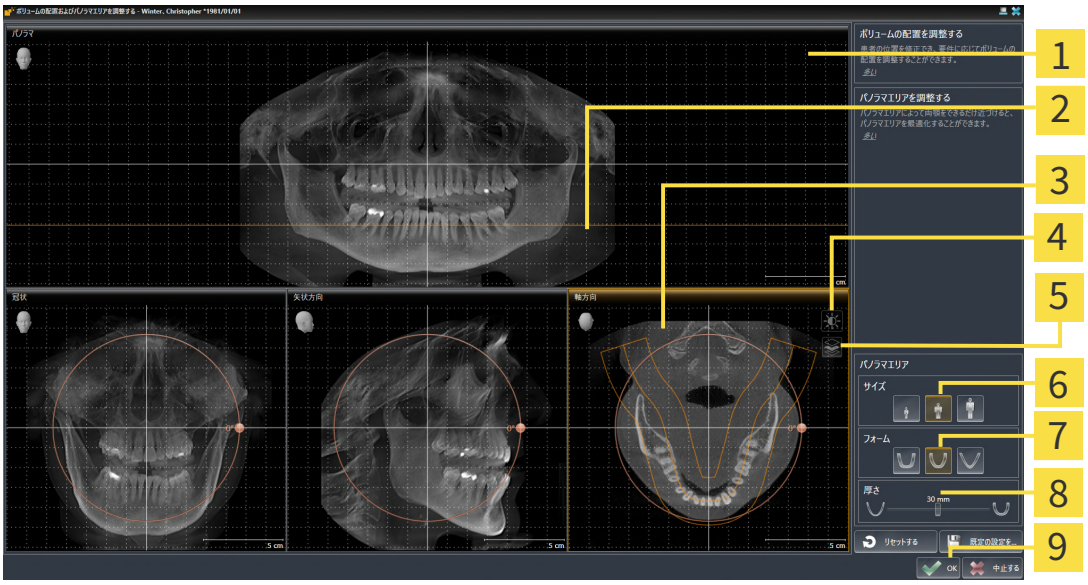
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **軸方向**ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマ エリアを移動する
- **軸方向**ビューでボリュームを回す
- **サイズ**、**フォーム**および**厚さ**のパノラマ エリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1	**パノラマ**ビュー	6	**サイズ**のボタン
2	軸方向基準線	7	**フォーム**のボタン
3	**軸方向**ビューと**回転**スライダー	8	**厚さ**スライダー
4	**輝度およびコントラストの調整**アイコン	9	**OK**のボタン
5	**投影モードをアクティブにする**アイコンまたは**レイヤーモードをアクティブにする**アイコン		

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する

1. **軸方向**ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効になっている場合は、**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックします。
2. **パノラマ**ビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向**ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。

   ▶ **軸方向**ビューのレイヤーは、**パノラマ**ビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

   ▶ **軸方向**ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマ エリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Implant では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマ エリアの調整が行われます。
4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ パノラマ エリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転**調整つまみに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**調節つまみを移動させます。
   ▶ SICAT Implant では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマ エリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する

1. パノラマ エリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。

2. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。

3. パノラマ エリアの**厚さ**を選択は、**厚さ**のスライダー位置を移動させて行います。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。
4. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

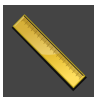
▶ SICAT Implantでは、ボリュームの配置とパノラマ エリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、 **パノラマ**ビューは、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Implantは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

29 距離/角度測定

SICAT Implantには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定

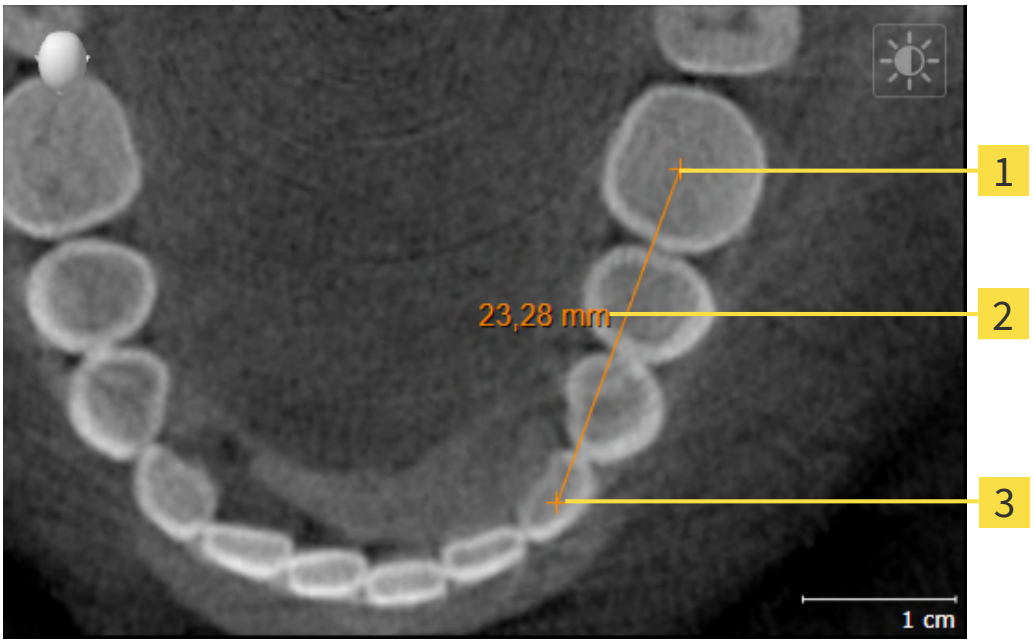
- 角度測定

測定を追加するツールは、**ワークフローのツールバー**の**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Implantはその測定を**測定**のグループ**オブジェクトブラウザ**にも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する [▶ページ 144 - SIDEXIS 4]*
- *角度測定を追加する [▶ページ 145 - SIDEXIS 4]*
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する [▶ページ 147 - SIDEXIS 4]*
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

29.1 距離測定を追加する



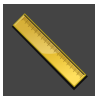
1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する** は、展開させておきます。

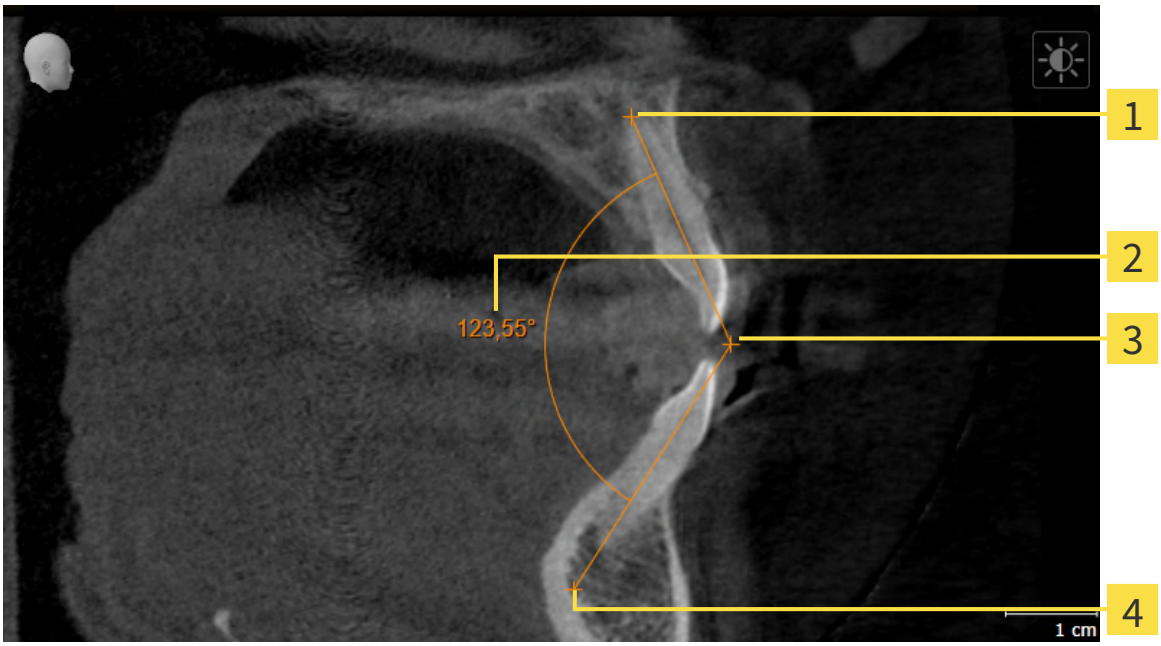


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implant 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Implant は小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Implant は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
   ▶ SICAT Implant 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implant は小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 頂点

4 終点

角度測定を追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。

1. ワークフローステップ**診断する**で**角度測定を追加する(A)**アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Implantは小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Implantは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは小さい十字で頂点を表します。
   ▶ SICAT Implantは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。

▶ SICAT Implantは角度測定の2本の辺の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
   ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
   ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
   ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
   ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Implant は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implant は現在の測定値の位置を保持します。

ℹ	1回の測定の値を移動すると、SICAT Implantはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

30 光学印象

光学印象は、Dentsply Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

同じ患者について、SICAT Implantは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を重ね合わせることが (記録することが) できます。光学印象に加えて、既存のデジタル義歯の提案もまた重ね合わせて表示されます。

表示の重ね合わせは、計画および実施のための追加情報を提供します。デジタル義歯の提案は義歯ベースのインプラント計画を可能にし、3D X線データによる患者の解剖学的構造に加えて、計画された義歯修復を考慮することも可能にします。重ね合わされた表示では、歯茎のプロセスもよりよく認識できます。

重ね合わせでは、光学印象に基づいたドリルガイドを使用することもできます。詳細は*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

たとえば2つの異なる光学撮影画像を比較するために、計画ごとに光学印象と修復を含む複数のCAD/CAMデータセットをインポートできます。インポートされたCAD/CAMデータセット用に、オブジェクトブラウザにあるCAD/CAMの例が作成されます。これに関するその他の情報は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
   - *Hubから光学印象をダウンロードする [▶ページ 152 - SIDEXIS 4]*
   - *ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 157 - SIDEXIS 4]*
   - *SIDEXIS 4から光学印象を転送する [▶ページ 160 - SIDEXIS 4]*
   - *SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ページ 162 - SIDEXIS 4]*
2. 3D X線データによる光学印象の記録 (重ね合わせ)。 *光学印象の記録と確認 [▶ページ 164 - SIDEXIS 4]*

SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する場合、記録は必要ありません。

SICAT Implant 光学印象および修復用に次のデータ形式に対応しています。

- SIXD上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、目標のインプラント位置と同様に一つ以上の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降を使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、**または**下顎の光学印象を含むデータセット*。修復はサポートされていません。STLフォーマットをサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、一本または隣接する複数の歯の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降、またはinLabソフトウェアを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。

*STLデータセットには、有効になっている**SICAT Suite STLインポート**ライセンスが必要です。さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報は*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 159 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

次のアクションは光学印象および修復に使用することができます。

- 光学印象および修復を有効化、非表示、および表示する。*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*
- 光学印象や修復に焦点を合わせて削除する。*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*
- カラーの光学印象の表示を設定する。*光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 105 - SIDEXIS 4]*

30.1 光学印象をインポートする

⚠ 注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ 注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

30.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象と既存する場合は修復をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、 SICAT Implantにインポートできます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 238 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

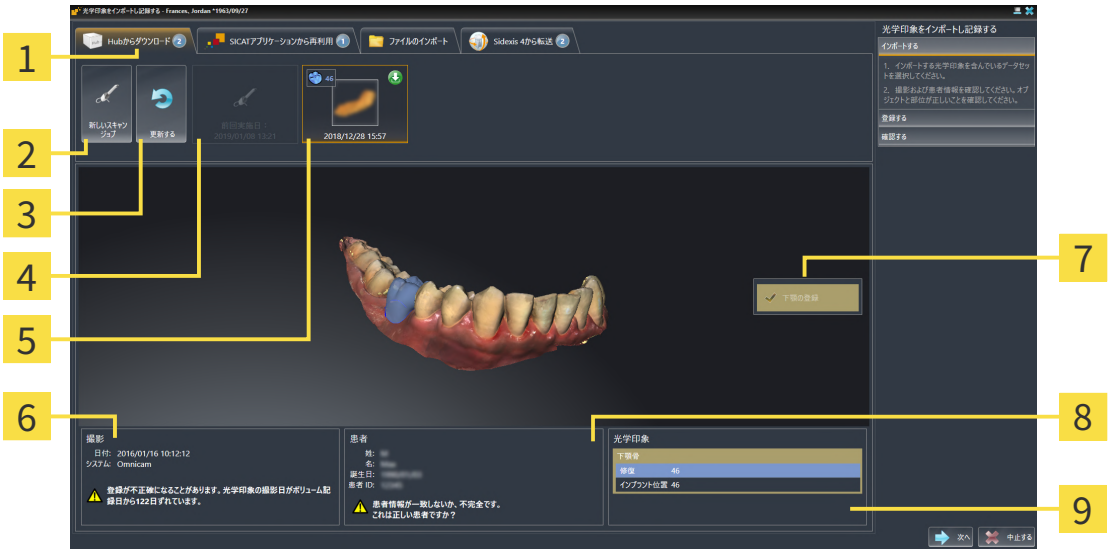
☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。

▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



1	**Hubからダウンロード**タブ	6	撮影図情報
2	**新しいスキャンジョブ**のボタン	7	記録の選択
3	**更新する**のボタン	8	患者情報
4	ステータス付きのスキャンジョブ。 は保留中 は、まだダウンロードされていません	9	**光学印象**エリア
5	ステータス付きの使用できる光学印象。 一本の歯のデータを含む一回の修復、もしくは複数の歯のデータを含む数回の修復 まだダウンロードされていません ダウンロード済みです		

3. 希望する光学印象をクリックしてください。

   ▶ SICAT Implant は、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、SICAT Implantは印象を**3D**ビューで表示します。

4. 記録の選択を確認してください。

5. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。

6. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

7. **次へ**をクリックします。

▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

8. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

   ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 164 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

ℹ	たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。

ℹ	これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

- 希望する光学印象が表示されない場合は、**更新する**のボタンをクリックして概要を更新できます。あるいは、Hubに光学印象を記録するジョブを送ることができます。これに関する情報は*光学印象のスキャンジョブを作成する [▶ページ 156 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- デフォルトでは、Hubへの接続は切断されています。接続状況に関する情報は、*Hub接続状態を表示する [▶ページ 238 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- Hubを使用するための適切なライセンスを有効にしていれば、Hubを使用できます。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

30.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

☑ SIDEXIS 4はHubに接続しました。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 238 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。
   ▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。

3. **新しいスキャンジョブ**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは、**新しいスキャンジョブ**ウィンドウを表示します。スキャンジョブの情報を指定できます。

4. 医師を選択します。

5. 下顎と上顎の歯の位置をそれぞれクリックして義歯の位置を決定します。

6. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。

7. スキャンジョブをHubに送信するには、**スキャンジョブの作成**をクリックし、照会を**OK**で確定します。

▶ SICAT Implantはスキャンジョブを Hubに送信し、保留中のスキャンジョブを**Hubからダウンロード**タブに⌛アイコンで表示します。

▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

30.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

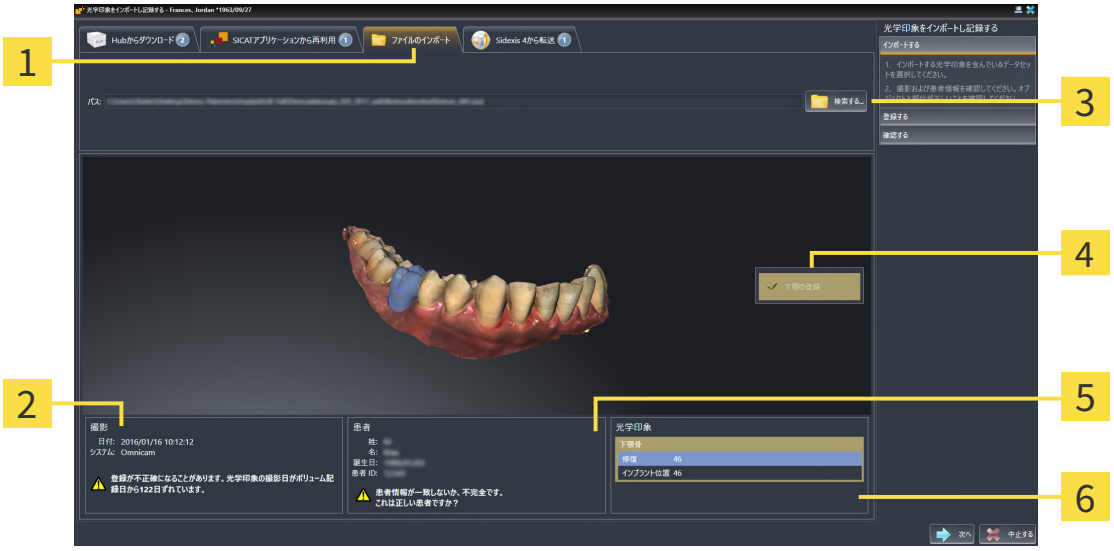
計画ごとに光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **ファイルのインポート**のタブをクリックします。



1	**ファイルのインポート**タブ	4	記録の選択
2	撮影図情報	5	患者情報
3	**検索する**のボタン	6	**光学印象**エリア

3. **検索する**のボタンをクリックします。

4. **ファイルを光学印象で開く**ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、選択したファイルを開きます。

5. **STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。**上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Implantがウィンドウを1つ開きます。*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 159 - SIDEXIS 4]*の手順に従ってください。
   欠如していた上顎または下顎の別のSTLファイルを選択し、顎の割り当てと方向を調整することができます。続いて、次のステップに進んでください。

6. 記録の選択を確認してください。

7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

8. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

9. **次へ**をクリックします。

   ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

    ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 164 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

ℹ	たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。

ℹ	これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

30.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ **SICAT Suite STL Import**ライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 157 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

   ▶ ウィンドウ**STL Import-Assistent**が開きます。

1 顎の選択

2 向きの変更

3 内側と外側の交換

2. **顎**エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。

3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. **パラメータ**エリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. **OK**のボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Implantは、2つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

   ▶ SICAT Implantは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能に表示します。

7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 157 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

30.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する

SIDEXIS 4にインポートされていて、すでに使用されているSTL形式の光学印象をSIDEXIS 4からSICAT Implantに転送できます。

☑ 開いているスタディ用にSIDEXIS 4で、まだSICAT Implantで使用していない、上顎、下顎、またはその両方の光学印象を使用します。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

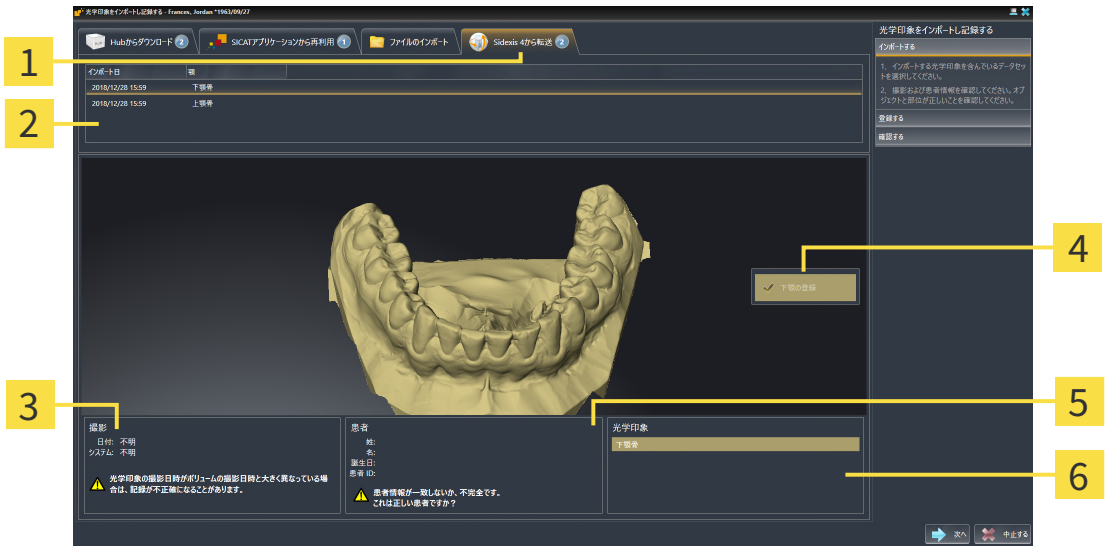
1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Sidexis 4から転送**のタブをクリックします。タブは、少なくとも1つのSIDEXIS 4の光学印象がSICAT Implantの計画に適している場合にのみ表示されます。

3. 上のエリアにある転送したい光学印象のラインをクリックします。

   ▶ SICAT Implantに選択した複数の光学印象が表示されます。



1	**Sidexis 4から転送**タブ	4	記録の選択
2	光学印象の一覧	5	患者情報
3	撮影図情報	6	**光学印象**エリア

4. 記録の選択を確認してください。

5. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

6. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

7. **次へ**をクリックします。

   ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 164 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

30.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

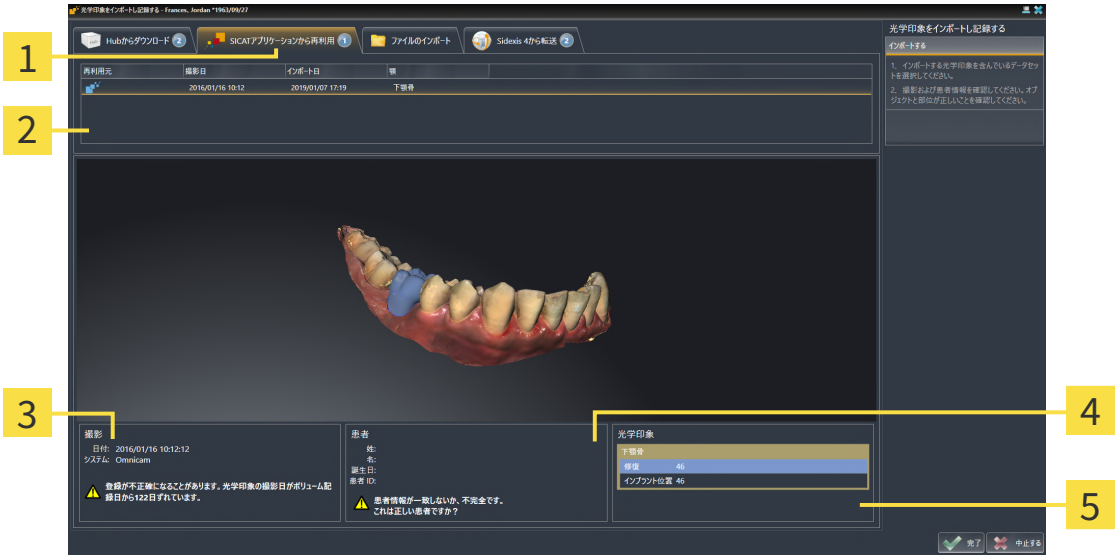
☑ 開いているスタディのために、SICAT Implantでまだ使用していない、適合する複数の光学印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **SICATアプリケーションから再利用**のタブをクリックします。

3. 上のエリアにある再利用したい複数の光学印象のラインをクリックします。
   ▶ SICAT Implantに選択した複数の光学印象が表示されます。



1	**SICATアプリケーションから再利用**タブ	4	患者情報
2	再利用可能な光学印象の一覧	5	**光学印象**エリア
3	撮影図情報		

4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

5. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。

6. **完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を表示します。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

30.2 光学印象の記録と確認

⚠ 注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

⚠ 注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

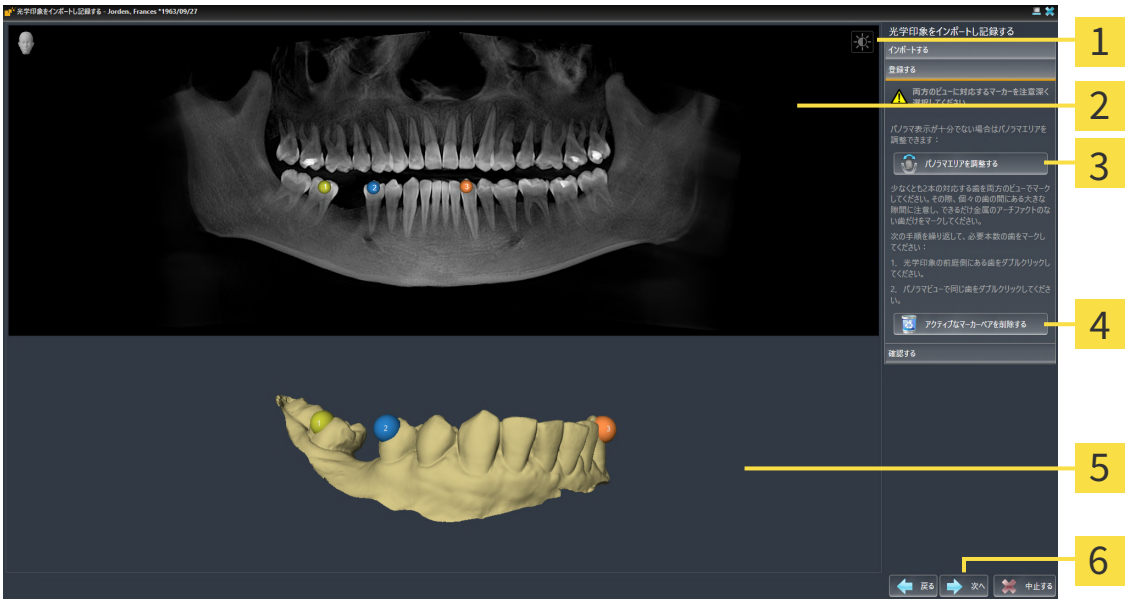
光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

カラー光学印象は**インポートする**ステップで、3Dプレビューに自動的にカラーで表示されます。**登録する**ステップ、および**確認する**ステップでは、カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**登録する**ステップで開いています。



1 **輝度およびコントラストの調整**アイコン

2 **パノラマ**ビュー

3 **パノラマ エリアを調整する**のボタン

4 **アクティブなマーカーペアを削除する**のボタン

5 **3D**ビューは、最初の光学印象を表示します

6 **次へ**のボタン

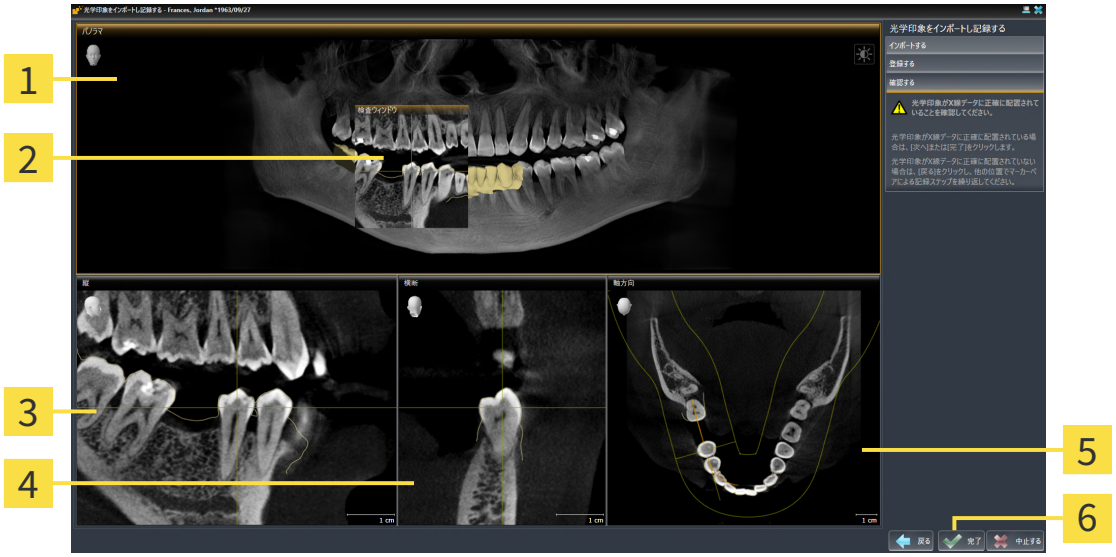
1. **パノラマ**ビューと**3D**ビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が**2本**以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。光学印象が顎弓の3/4以上を覆っている場合は、一致する歯を少なくとも**3本**マークします。

   ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

2. **次へ**をクリックします。

   ▶ SICAT Implantは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ **確認する**のステップが開きます。



1	**パノラマ**ビュー	4	**横断**ビュー
2	**検査ウィンドウ**	5	**軸方向**ビュー
3	**縦**ビュー	6	**完了**のボタン

3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを**各レイヤービュー**でスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。

5. 光学印象がX線データに正確に配置されていて、記録用に2つの光学印象を選択した場合は、**次へ**のボタンをクリックしてください。2回目の光学印象について前の手順を繰り返します。

6. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Implantに記録されている光学印象と既存の修復が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能で使用できます。

- **輝度およびコントラストの調整**アイコンをクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 139 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **登録する**で特定のマーカーペアを削除する場合、両方のビューでペアのマーカーをマウスクリックで選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**のボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

31 下顎神経のマーキングと調整

SICAT Implant はインプラント計画時に下顎神経からじゅうぶん安全距離を維持できるようにサポートしてくれます。

インプラントを下顎の側面歯領域に計画し、対応する下顎神経または両側の下顎神経を3Dレントゲンデータにマークしてください。マーキングは点列（神経点列）入力により、 SICAT Implant により自動的に一つのチューブを設定します。

マーキング後に下顎神経をインプラント計画の際全ビューではっきり認識できます。インプラントが下顎神経との安全距離内に入ると警告が出ます。これに関する詳細は*距離警告 [▶ページ 188 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

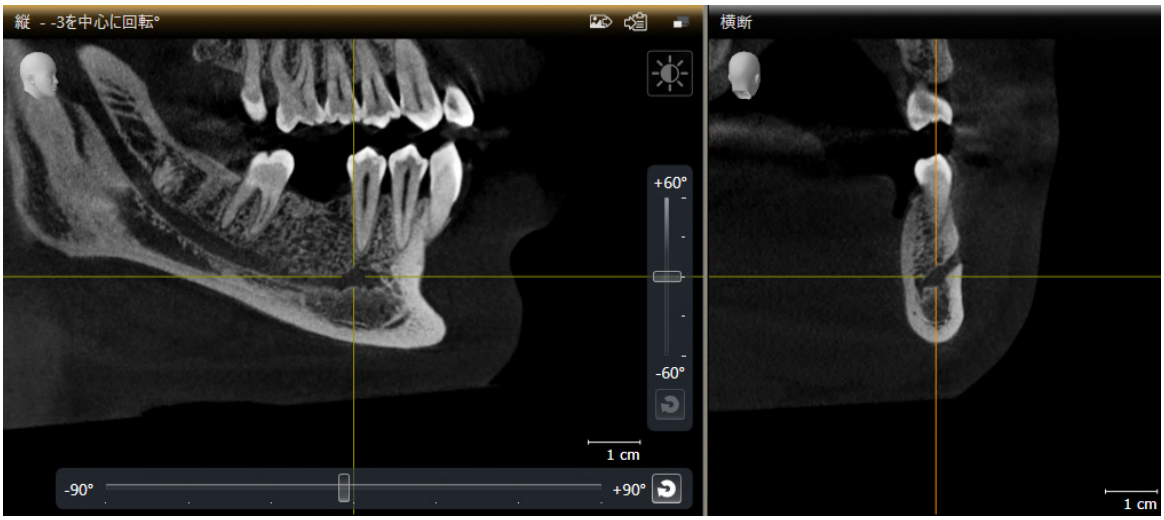
以下の機能は下顎神経のマーキングと調整のために利用できます。

- *下顎神経のマーキング [▶ページ 169 - SIDEXIS 4]*
- 神経の有効化、非表示および表示 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- 神経に焦点を当てる、神経を削除する、神経操作を元に戻して再度実行する - この手順に関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- *神経点の移動、追加、削除 [▶ページ 171 - SIDEXIS 4]*
- *神経直径の変更 [▶ページ 172 - SIDEXIS 4]*

31.1 下顎神経のマーキング

ビューを上下左右に調整する

ビュー**縦**と**横断**は下顎神経が完全に見えるように調整します。



このためには以下の手順に従ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースは開いています。

1. 検査ウィンドウはオトガイ孔がビュー**横断**に見えるように移動します。

   ▶ 次にビュー**横断**で神経経路が神経出口まで見えるはずです。

2. 十字線を**横断** ビューで見えている神経経路の最も深い位置に移動します。こうしてステップ4で使う良好な回転点を設定できます。

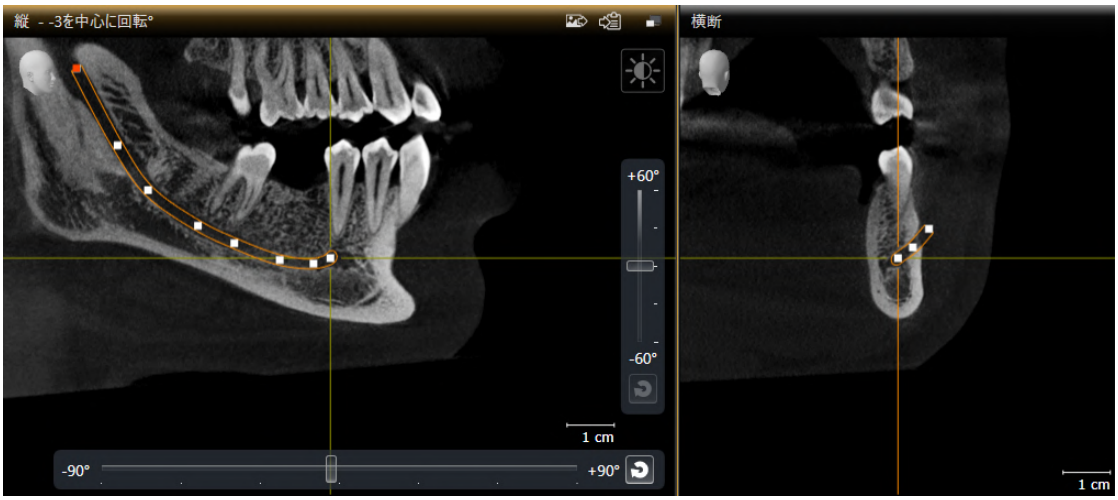
3. **縦**ビューを有効にします、このためには例えば**縦**ビューをクリックします。

4. **縦**ビューを回転し、下顎神経の上向き幹が**縦**ビューに見えるようにします。これに関する詳細は*ビューの回転 [▶ページ 102 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

下顎神経のマーキング

☑ ワークフロー ステップ**準備する**は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ**準備する**で**下顎神経のマーキング**アイコンをクリックします。



2. ビュー **横断**で神経出口をクリックし最初の神経点を追加します。

3. さらにビュー **横断** をクリックして第2の神経点を見える神経経路の中点に追加し、第3の神経点は見える神経経路の最も深い位置に置きます。

4. **縦** の表示に切り替え、再度クリックしてその他の神経点を神経の近心と遠心方向に沿って追加します。

5. 最後の神経点をシングルクリックせずにダブルクリックして追加できます。

▶ 下顎骨神経は全表示でも**オブジェクト** でも表示されます。

神経の位置を特定するために神経のマーキング中でもレイヤー間をスクロールできます。これに関する詳細は*レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 97 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

神経のマーキング中に右クリックするとそれぞれ最後に追加した神経点を削除できます。

下顎神経のマーキングを**ESC**キーまたは **下顎神経のマーキング**ボタンを再度クリックして中断できます。

31.2 神経点の移動、追加、削除

神経点の移動

神経点の移動は、以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで所望の神経点をクリックし、マウス左ボタンを押したままにします。マウスを動かして神経点を移動します。
3. 所望の位置でマウスボタンを放します。

▶ SICAT Implant が神経点を移動します。

神経点の追加

神経点を後から追加するには次の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. **中間点の追加：**2Dレイヤービューで既存の神経点2つの間で所望の神経位置をダブルクリックします。
3. **エンドポイントの追加：**2Dレイヤービューでこれまでの端点近辺にある所望の神経位置をダブルクリックします。

▶ SICAT Implant が神経点を所望の位置に追加します。

神経点の削除

神経点の削除は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで神経点をクリックして削除する神経点を有効化します。
3. **プロパティ**エリアで**点削除**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは神経点を削除します。

31.3 神経直径の変更

神経直径の変更は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. **プロパティ**エリアで所望の神経直径を選択します

▶ SICAT Implantが神経の直径を変えます。

32 インプラントの計画

⚠ 注意	**処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。** 計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。

⚠ 注意	**インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースには異なるメーカーのインプラントモデルを含んでいます。インプラントモデルは各メーカーごとのインプラントシリーズに組織化されています。

同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを標的に絞って提案できます。詳細は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 242 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

希望のインプラントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、インプラント計画とインプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントがマークされた下顎神経に近すぎたり相互に近すぎて計画されていれば警告を出します。これに関する詳細は*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*および*距離警告 [▶ページ 188 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Implant はインプラントの咬合延長部に孔を1つ表示します。詳細は*孔の非表示/表示 [▶ページ 187 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Implantは2分割インプラントと一体インプラントに対応します。2分割インプラント用のアバットメントをインプラントごと計画したり、後から追加できます。アバットメントの計画についての詳細は *アバットメントの計画 [▶ページ 189 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合スリーブを計画する必要があります。スリーブはインプラントごと計画したり、後から追加できます。スリーブ計画についての詳細は *スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

以下の機能をインプラント計画のためにご利用になれます。

- *インプラントの追加 [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*
- インプラントの有効化、非表示および表示 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- インプラントに焦点を当てる、インプラントを削除する、インプラント操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- *インプラントの移動とアライン [▶ページ 179 - SIDEXIS 4]*
- *インプラントを軸の回りに回転する [▶ページ 181 - SIDEXIS 4]*
- *インプラント寸法とインプラントモデルの変更 [▶ページ 182 - SIDEXIS 4]*
- *インプラント固有のアライン [▶ページ 184 - SIDEXIS 4]*
- *名称（歯の位置）の変更 [▶ページ 185 - SIDEXIS 4]*
- *安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*
- *孔の非表示/表示 [▶ページ 187 - SIDEXIS 4]*
- *距離警告 [▶ページ 188 - SIDEXIS 4]*

32.1 インプラントの追加

⚠ **注意**

CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。

⚠ **注意**

複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。

新規インプラントまたは複数の新規インプラントを同じ側の顎で開いた計画に追加するのは次の手順で行います。

☑ 所望のドリルテンプレートに応じてインプラントの全位置をカバーする顎の光学印象(場合によっては修復あり)をインポートし登録しました。これに関する情報は*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*と*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ インプラント1つまたは複数のインプラントを下顎横の歯列に計画する場合、対応する下顎神経をマークしました。詳細については*下顎神経のマーキング [▶ページ 169 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ**計画する**で**インプラントの追加**アイコンをクリックします。

▶ インプラント選択ウィンドウが表示されます。

1	選択された歯の位置	5	インプラントモデルの選択用表
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	6	**アライメント**の選択用アイコン
3	**メーカー-インプラント**と**一般的なインプラント**間の切替え用ボタン	7	商品番号付き3Dプレビュー
4	メーカー及びインプラントシリーズの選択用ボタン		

2. 新規インプラントの歯の位置（複数可能）を選択します。光学印象を修復及び/または予定しているインプラント位置ごとインポートして表示させた場合、歯の位置はすでに自動選択されています。（事前）選択された歯の位置は選択された歯の位置を（再度）クリックすると選択解除できます。

   注記：
   以下のボタンは少なくとも一つの歯の位置を選択していれば表示されます。

3. 所望のメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。前回使用したメーカーとインプラントシリーズはそれぞれのコンボボックスのいちばん上にあります。

4. 表の対応するセルをクリックして所望のインプラントモデルを選択してください。表には選択されたインプラントシリーズの利用可能なインプラントモデルが含まれています。行は異なるインプラントの長さに対応し、列は異なるインプラントの直径(mm)に対応します。2つ

の直径が出ていれば最初の直径が咬合直径です。小さいアバットメントアイコンとスリーブアイコンが出ていれば、メーカーの適切なアバットメント及びメーカーの一貫ガイド外科システムスリーブを計画できます。

▶ 選択されたインプラントモデルは3Dプレビューにある表に対応する商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままインプラントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

5. **事前アラインの選択：**所望の事前アラインはマウスポインターをアイコン **アライメント** の上にホーバーさせ、次のアイコンのどれかを クリックして選択します。
   - 垂直
   - SIXDフォーマットで修復の場合は修復軸に従い、それ以外は垂直。このオプションを選択できるのは少なくとも一つ選択された歯の位置で修復がSIXDフォーマットであり、表示されているときに限られます。
   - 計画済み顎のインプラントと平行。このオプションを選択できるのはインプラントを顎に計画済みの場合に限られます。

6. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。インプラントのおおまかな位置決めはインプラントまたは複数のインプラントを追加するかということと修復と予定のインプラント位置が存在して表示されているかということに依存します。

   ▶ インプラントを修復にも予定インプラント位置にも対応しない一つの歯の位置で追加する場合、インプラントをマウスクリックで2Dビューにある所望の位置におおまかな位置決めします。

   ▶ インプラントを表示されている修復または予定インプラント位置に対応する歯の位置に追加する際、 SICAT Implant はインプラントを自動的におおまかな位置決めします。

   ▶ 複数のインプラントを追加すると、SICAT Implantがインプラントを先に自動位置決めし、このとき垂直位置が通常は軸レイヤーの現位置に適用されます。

▶ 新規インプラント（複数も可）は全ビューでも **オブジェクト**にも表示されます。

優先インプラントシリーズの指定
治療に使用したいメーカーとインプラントシリーズからのみ選択するように設定できます。詳細は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 242 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ジェネリックインプラントの使用
希望のインプラントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックインプラントを使用することもできます。このためには**一般的なインプラント**ボタンをクリックし、インプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力してください。

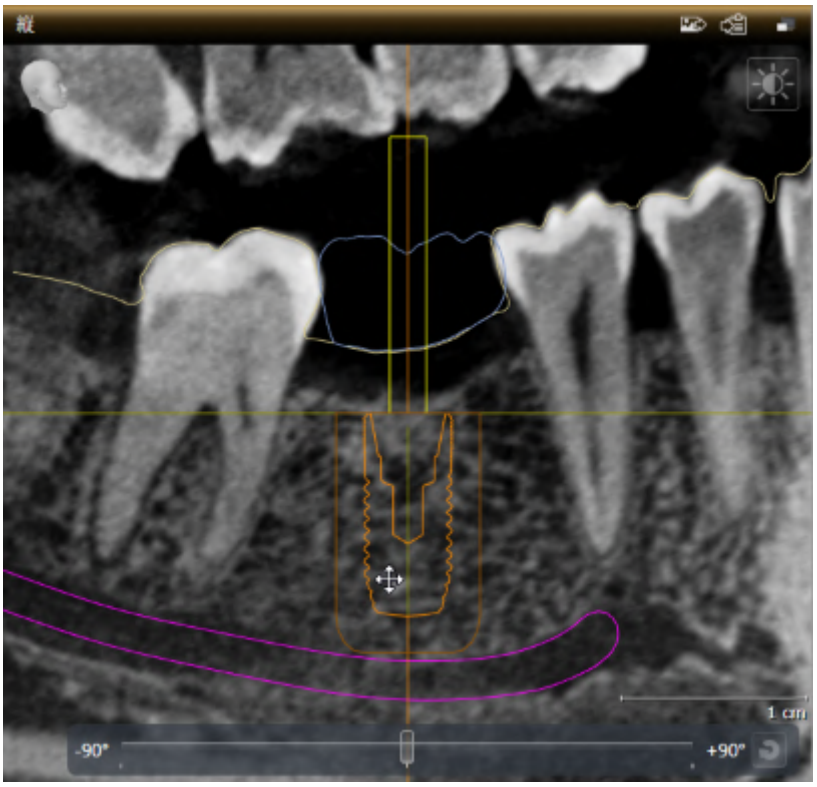
アバットメント及び/またはスリーブの同時計画
インプラント（複数あり）と同時にアバットメント及び/またはスリーブも計画する場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**アバットメント**または**スリーブ**をクリックします。これに関する詳細は*アバットメントの追加 [▶ページ 190 - SIDEXIS 4]*および*スリーブの追加 [▶ページ 197 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

FDI-/ADA歯型図
この取扱説明書ではどの画像でもFDI歯型図を使用しています。SICAT ImplantはADA歯型図にも対応します。歯型図の切替えに関する情報は、*一般設定の使用 [▶ページ 233 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

32.2 インプラントの移動とアライン

インプラントは精緻に移動とアラインできます。

インプラントの移動

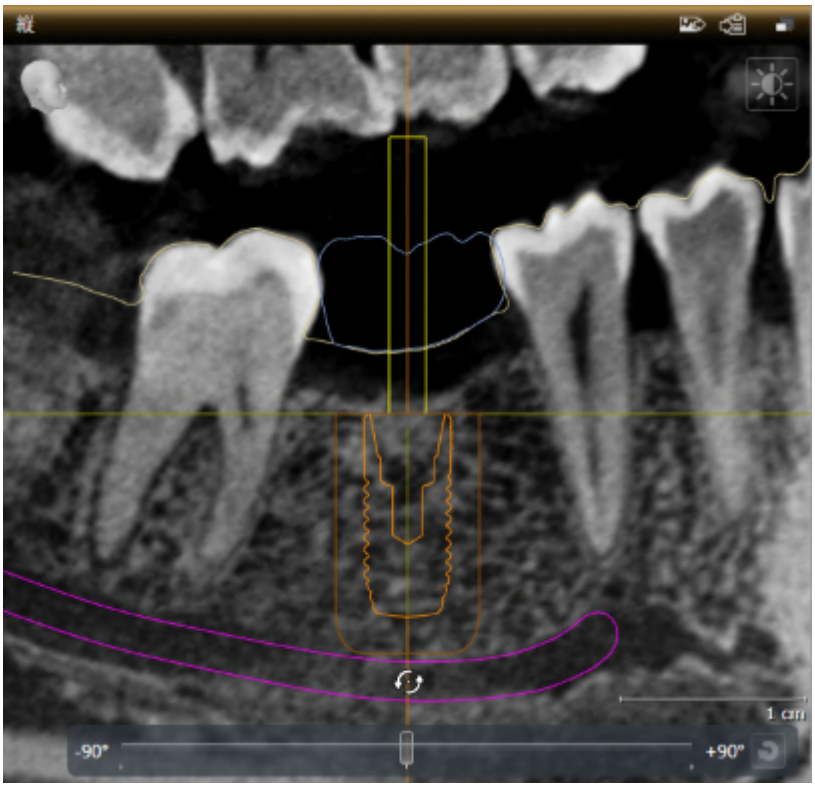


1. 2Dビューの一つでインプラントにマウスポインターを重ねます。
   ▶ マウスポインタの形が✥に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターをご希望のインプラントの位置に動かします。
   ▶ SICAT Implant がインプラントをマウスポインターの動きに沿って移動します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantは現在のインプラントの位置を保持します。

ワークスペース インプラントアライン済
インプランはワークスペース**アライメント済みインプラント**のビュー**縦**と**横断**で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

インプラントの配置



1. マウスポインターを2Dレイヤービューで**軸方向**ビューを例外として、インプラント軸の頂点部分へ動かし、インプラントを咬合端点の回りで回転したり、インプラント軸の咬合部分へ動かすとインプラントを咬合端点の回りで回転できます。

   ▶ マウスポインタの形が⟲に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の方向が決まるまで移動します。

   ▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに沿って方向を決めます。

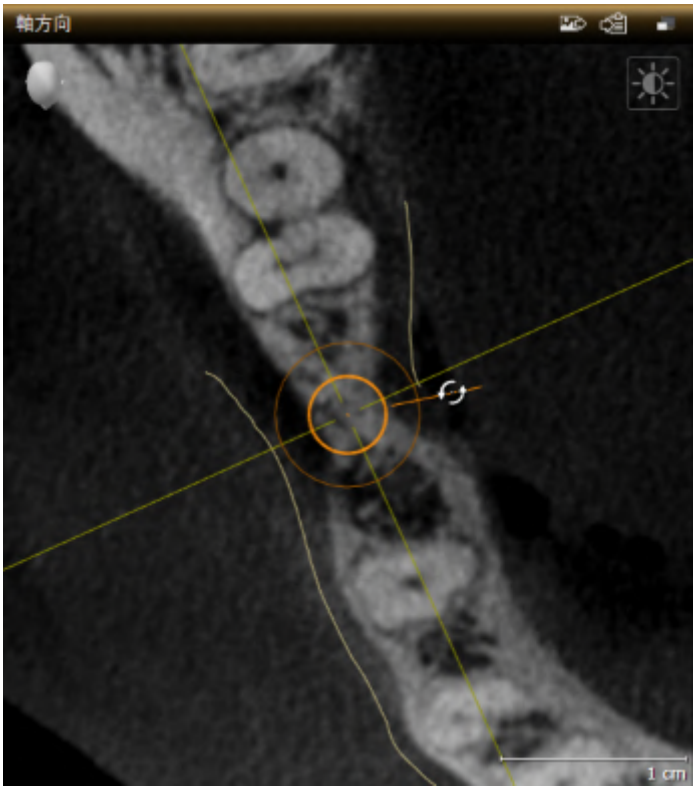
4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Implantは現在のインプラントの向きを保持します。

ワークスペース インプラントアライン済
インプランはワークスペース**アライメント済みインプラント**のビュー**縦**と**横断**で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

32.3 インプラントを軸の回りに回転する

インプラントを自軸の周りに回して例えば角度付きアバットメントを自由に計画することができます。



1. マウスポインターを**軸方向**ビューでインプラントのロータリーグリップの上に置きます。
   ▶ マウスポインタの形が に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の回転位置になるまで移動します。
   ▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに応じて軸の回りに回します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Implantはその軸の周りのインプラントの現在の回転を保持します。

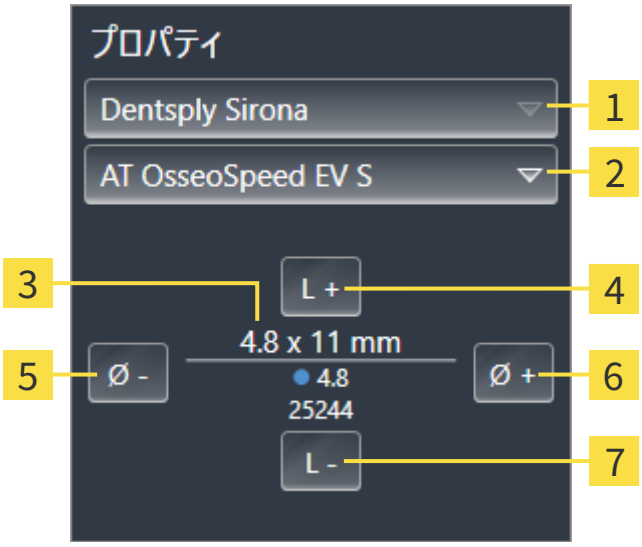
ワークスペース インプラントアライン済
インプラントはワークスペース**アライメント済みインプラント**の表示**軸方向**で最もシンプルかつ安全にその軸の周りに回せます。インプラントをその軸の周りに回転させる場合はビュー**縦**と**横断** またはビュー**3D**を基準にします。ワークスペース**アライメント済みインプラント**に関する情報は、*インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ ページ 84 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

32.4 インプラント寸法とインプラントモデルの変更

インプラントの寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、変更したいインプラントを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアでアクティブなインプラントの現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



1	**製造元**のボタン	5	**より狭い**のボタン
2	**インプラントシリーズ**のボタン	6	**より幅広い**のボタン
3	**現在のインプラントモデル：**直径 x 長さ、プラットフォーム、商品番号	7	**より短い**のボタン
4	**より長い**のボタン		

2. **インプラントメーカーとインプラントシリーズの変更：**所望のインプラントメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。

   ▶ SICAT Implant はインプラントモデルと場合によってはインプラント寸法も変更します。

3. **インプラント寸法とインプラントモデルの変更：より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたインプラントシリーズから選択します。**より長い** または**より短い**ボタンをクリックし次に長いまたは次に短いモデルを選択されたインプラントシリーズで選択します。

▶ SICAT Implantがインプラント寸法とインプラントモデルを変更します。

インプラント選択ウィンドウ
インプラントの寸法とモデルをインプラント選択ウィンドウで、 **オブジェクト**の下で変更したいインプラントの横のアイコンをクリックして変更します。そこで**メーカー-インプラント**と**一般的なインプラント**の間を切り替えます。詳細は*インプラントの追加 [▶ ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ジェネリックインプラント
プロパティエリアでまたはインプラント選択ウィンドウでもジェネリックインプラントの寸法を変更できます。

アバットメントの自動調整
インプラントの寸法またはモデルを変更し、対応するアバットメントが変更後に合わなくなる場合、SICAT Implantがアバットメントを自動的に適合します。この際、SICAT Implantは選択したアバットメント系列内部で互換であり、プラットフォームの直径さらに場合によっては排出口直径まで元のアバットメントと一致するアバットメントを選択します。こうしたアバットメントが見つからない場合、SICAT Implantはそのアバットメントを削除します。

スリーブの自動調整
インプラントの寸法またはモデルを変更し、その後は対応するスリーブが互換でなくなったりスリーブ位置がもはや許容範囲を超えていれば、SICAT Implant がスリーブ及び/またはスリーブ位置を自動的に調整します。この際、SICAT Implantは選択されたスリーブシステムの中で互換なスリーブ及び/または許容範囲にあるスリーブ位置を自動的に選択します。この種のスリーブを利用できない場合、 SICAT Implant がスリーブを削除します。

32.5 インプラント固有のアライン

インプラントを事後的に以下の通り固有アラインできます。

- 垂直
- 修復軸に従っSIXDフォーマットての修復
- 同じ顎に計画済みインプラントと平行

このためには以下の手順に従ってください。

1. **オブジェクト**でインプラントの横にあるアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。
2. 所望の固有のアラインを選択します。マウスポインターをアイコン **アライメント** の上に置き、所望の固有アラインメントに対応するアイコンをクリックします。詳細は*インプラントの追加 [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
   ▶ SICAT Implant がインプラントの向きを変えます。
3. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

32.6 名称（歯の位置）の変更

インプラントの名称（歯の位置）が間違っていれば、名称(歯の位置)を次のようにして変更できます。

1. **オブジェクト**でインプラントの横にあるアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。

2. 新規歯の位置を選択します。詳細は*インプラントの追加 [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

   ▶ SICAT Implant がインプラントの名称（歯の位置）を変更します。

3. OKをクリックしてウィンドウを閉じます。

32.7 安全範囲の非表示/表示

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントの計画時に例えば隣接する歯根が隣接するインプラントや歯の縁、下顎神経または洞との一定の最小距離が保たれるかを判断できます。安全範囲に基づいて距離警告も出ます。距離警告について詳しくは*距離警告 [▶ページ 188 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

インプラント周囲の安全範囲寸法は設定で調整できます。そこでは新規計画の際に安全範囲を表示させるかの初期設定を行うことができます。これに関する詳細は*安全範囲の設定 [▶ページ 244 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

計画中に全インプラントに対して安全範囲を同時に非表示または表示させることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ 安全範囲は現在表示されています。

1. オブジェクトグループ **インプラント**でマウスポインターを**安全範囲表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲の非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **安全領域を非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲を非表示します。

3. **安全領域の表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が安全範囲を表示します。

> **安全範囲表示/非表示**アイコンの上にマウスポインターを置いてクリックし、安全範囲の表示/非表示を切り替えられます。再度クリックすると安全範囲の表示か非表示に切り替わります。

> 安全範囲が非表示されている場合でも、距離警告の際に該当する安全範囲はビューでは表示されています。

32.8 孔の非表示/表示

SICAT Implant はインプラント用のパイロットドリル孔またはインプラント孔を表示できます。これで特に支障なく孔にアクセスできるかを確認できます。パイロットドリル孔はスクリュー孔を表示するのに利用します。

パイロットドリル孔の直径及び両孔の長さを自分で設定できます。インプラント孔の直径は対応するインプラントの最大直径に常に一致します。設定では新規計画でパイロットドリル孔, インプラント孔を表示または孔を表示しないかを指定できます。これに関する詳細は*孔の設定 [▶ページ 246 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

計画中にパイロットドリル孔とインプラント孔を全てのインプラントに対して同時に非表示または表示させることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ パイロットドリル孔は現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント**でマウスポインターを**孔表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implantが孔の非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **孔を表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant が孔を非表示します。

3. **パイロットドリル孔の表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はパイロットドリル孔を表示します。

4. **インプラント孔を表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant はインプランアチャンネルを表示します。

> アイコン**孔表示/非表示**の上へマウスポインターをホーバーしてクリックし、孔の見え方を切り替えられます。再度クリックすると孔の見え方をアイコンの順序に切り替えられます。

32.9 距離警告

⚠ 注意	**距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

SICAT Implantが以下の対象間の安全距離を検証します。

- マークした下顎神経へのインプラント - 詳細は *下顎神経のマーキングと調整 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。
- インプラントへのインプラント

2つのオブジェクト間の安全距離が規定値（*安全範囲の設定 [▶ページ 244 - SIDEXIS 4]*を参照）より短くなると、対応するオブジェクトやその安全範囲はビューに赤く表示されます。さらに該当するオブジェクトは**オブジェクトブラウザ**に警告アイコン付きで出ます。

33 アバットメントの計画

注意

SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。

SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのインプラントモデルも含んでいます。インプラントモデルは各メーカーのインプラントシリーズ別で整理されています。

SICAT Implant では直物や角度付き標準アバットメントならびにチタンベースも計画できます。計画したインプラントに対してインプラントと互換なアバットメントモデルのみ提案されます。

希望のアバットメントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、ジェネリックアバットメントを計画し、角度とアバットメント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

以下の機能をアバットメント計画のためにご利用になれます。

- *アバットメントの追加 [▶ページ 190 - SIDEXIS 4]*
- アバットメントの有効化 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- アバットメントに焦点を当てる、アバットメントを削除する、アバットメント操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- *アバットメントをインプラント軸の周りに回す [▶ページ 192 - SIDEXIS 4]*
- *角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更 [▶ページ 193 - SIDEXIS 4]*
- *アバットメントの非表示/表示 [▶ページ 195 - SIDEXIS 4]*

33.1 アバットメントの追加

計画した2分割インプラントにアバットメントを追加するには、次の手順で行います。

☑ 計画したインプラントにはまだアバットメントがない。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、アバットメントを追加したいインプラントを有効にします。

2. ワークフローステップ**計画する**で**アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する**アイコンをクリックします。

   ▶ アバットメント選択ウィンドウが表示されます。

1	インプラントの歯の位置	5	アバットメントシリーズ選択用ボタン
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	6	角度選択用ボタン
3	**アバットメントなし**、**メーカー-アバットメント**、**一般的なアバットメント**間の切替え用ボタン	7	アバットメントモデルの選択用表
4	製造元	8	商品番号付き3Dプレビュー

3. 所望のアバットメントシリーズを選択してください。

4. 所望の角度を選択してください。

   注記：
   どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

5. 表の対応するセルをクリックして所望のアバットメントモデルを選択してください。表には選択されたアバットメントシリーズの利用可能な全アバットメントモデルが計画したインプラントと互換な選択された角度付きで含まれ明日。行は異なるカラー部高さ及び/またはポスト部高さに対応し、列は異なる出口直径(mm)に対応します。

   ▶ 選択されたアバットメントモデルは3Dプレビューにある表に商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままアバットメントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

6. **OK**をクリックし、ウィンドウを閉じます。

▶ 新規アバットメントは全ビューで対応するインプラントの咬合延長部及び**オブジェクト** の下の対応するインプラントの下側に表示されます。

ジェネリックアバットメントの使用
希望のアバットメントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックアバットメントを使用することもできます。このためには**一般的なアバットメント** ボタンをクリックし、角度とアバットメント寸法をメーカーの規定値に従って入力してください。

インプラント及び/またはスリーブの同時変更
アバットメントを追加するときに同時に対応するインプラントまたは対応するスリーブも変更したい場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**インプラント**または**スリーブ**をクリックします。

33.2 アバットメントをインプラント軸の周りに回す

アバットメントをインプラント軸の周りに回して特に角度付きアバットメントを自由に計画することができます。

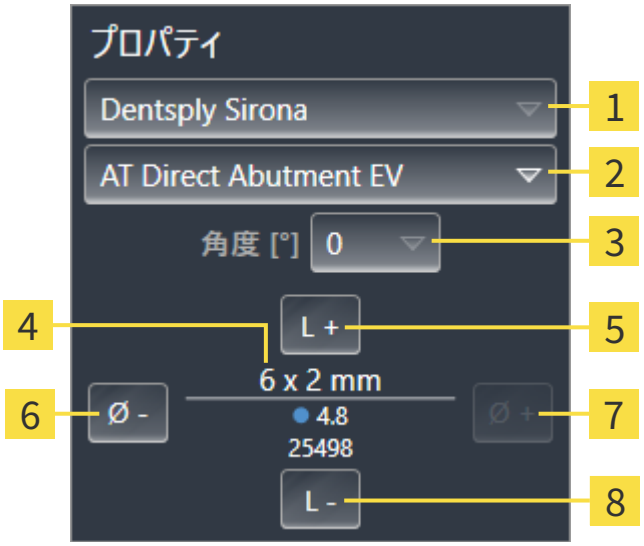
そのためには対応するインプラントをその軸の周りに回してください。詳細は*インプラントを軸の回りに回転する [▶ページ 181 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

33.3 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更

アバットメントの角度や寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. **オブジェクト**からまたは表示でアバットメントをクリックして変更したいアバットメントを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアにアクティブなアバットメントの現在の角度、現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



1	**製造元**	5	**より長い**のボタン
2	**アバットメントシリーズ**のボタン	6	**より狭い**のボタン
3	**角度**のボタン	7	**より幅広い**のボタン
4	**現在のアバットメントモデル：**カラー部高さ及び/またはポスト部高さ x 出口直径、プラットフォーム、商品番号	8	**より短い**のボタン

2. **アバットメントシリーズの変更：**所望のアバットメントシリーズを選択してください。

   ▶ SICAT Implant はアバットメントモデル及び場合によっては角度とアバットメント寸法も変更します。

3. **角度の変更：**所望の角度を選択してください。

   注記：
   どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

   ▶ SICAT Implant はアバットメントトモデルと場合によってはアバットメント寸法も変更します。

4. **アバットメント寸法とアバットメントモデルの変更：より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。**より長い**または**より短い**ボタンをクリックし、次に長いまたは次に短いモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。

   ▶ SICAT Implantがアバットメント寸法とアバットメントモデルを変更します。

インプラント選択ウィンドウ
アバットメントの角度と寸法さらにモデルをアバットメント選択ウィンドウで、 **オブジェクト**の下で変更したいアバットメントの横のアイコンをクリックして変更します。そこで**メーカー-アバットメント**と**一般的なアバットメント**、**アバットメントなし**の間を切り替えます。詳細は*アバットメントの追加 [▶ページ 190 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ジェネリックインプラント
プロパティエリアでまたはアバットメント選択ウィンドウでもジェネリックアバットメントの角度と寸法を変更できます。

33.4 アバットメントの非表示/表示

すべてのインプラントのアバットメントは同時に非表示または表示にすることができます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ アバットメントは現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント** でマウスポインターを**アバットメント表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントの非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **アバットメントを表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントを非表示します。

3. **アバットメントの表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がアバットメントを表示します。

> アイコン**アバットメント表示/非表示**の上にマウスポインターを置き、クリックし、アバットメントの見え方を切り替えられます。再度クリックするとアバットメントの表示か非表示に切り替わります。

> アバットメントが非表示されているとき、一部のアバットメント計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはアバットメントを再び表示してください。

34 スリーブの計画

⚠ 注意	**スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのスリーブモデルも含んでいます。スリーブモデルは各メーカーごとのスリーブシステムに整理されています。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合スリーブを計画する必要があります。インプラント計画が実際実行可能かを検証してください。例えば、スリーブは隣接する歯やスリーブ、歯茎（歯茎をオペで返さない場合）あるいは骨（歯茎をオペで返す場合）とじゅうぶん距離があることが必要です。

SICAT Implant が対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

SICAT Implant はドリルテンプレートの選択後は選択されたドリルテンプレートが対応しており計画したインプラントと互換なスリーブシステムしか提案してきません。例外：CEREC ガイドドリルキーは全インプラントシステムにCERECガイドドリルキーが対応しているわけではなくてもSICAT Implantで全インプラントと互換です。CEREC ガイドドリルキーが対応するインプラントシステム/外科キットについて詳しくはCEREC ガイドの取扱説明書をご参照ください。

一貫ガイドスリーブシステムのスリーブモデルはメーカープロトコルに従ってインプラントと相対的に許容される離間的スリーブ位置で計画できます。それ以外のスリーブシステムのスリーブモデルはインプラントと相対的に入力するスリーブ位置で計画できます。

以下の機能をスリーブ計画のためにご利用になれます。

- *スリーブの追加 [▶ページ 197 - SIDEXIS 4]*
- スリーブの有効化 - これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 75 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- スリーブに焦点を当てる、スリーブを削除する、スリーブの操作を元に戻して再度実行する - 詳しくは*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- *ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 200 - SIDEXIS 4]*
- *スリーブモデルの変更 [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*
- *スリーブ位置の変更 [▶ページ 203 - SIDEXIS 4]*
- *スリーブの非表示/表示 [▶ページ 205 - SIDEXIS 4]*

34.1 スリーブの追加

計画したインプラントにスリーブを追加するには、次の手順で行います。

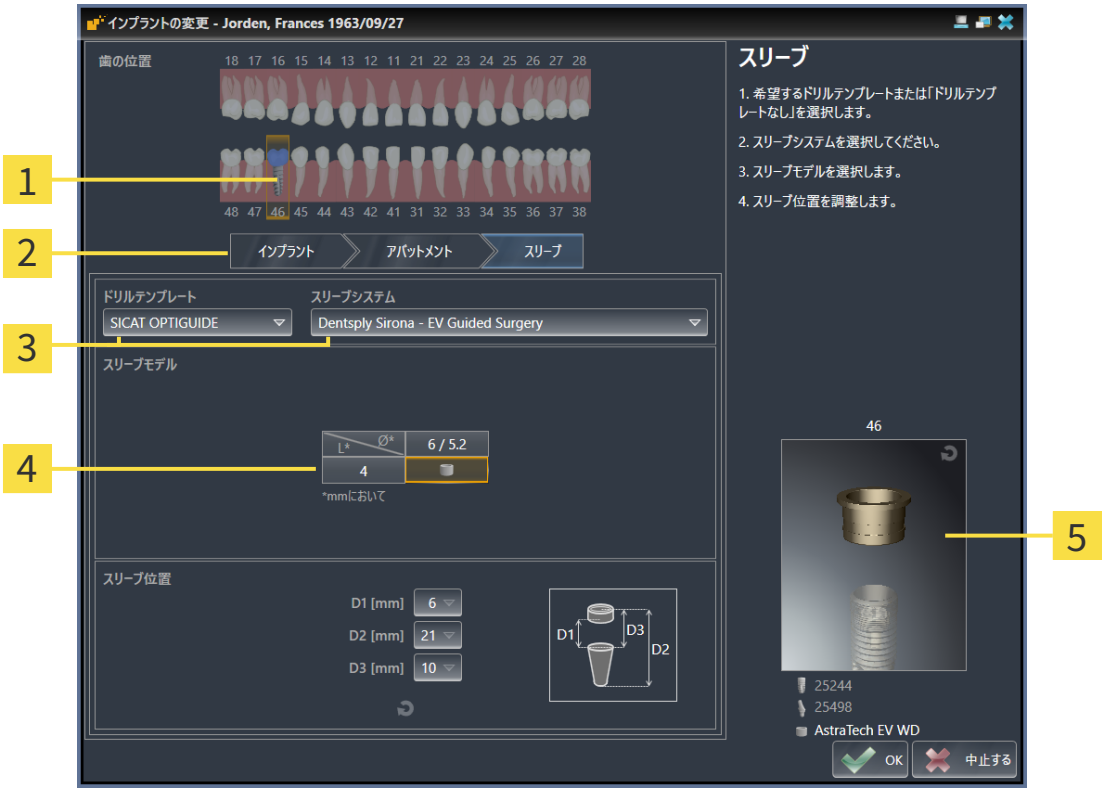
☑ ドリルテンプレートもスリーブシステムも選択していない。

☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、スリーブを追加したいインプラントを有効にします。

2. ワークフローステップ**計画する**で**スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する**アイコンをクリックします。

   ▶ スリーブ選択ウィンドウが表示されます。



1	インプラントの歯の位置	4	スリーブモデルの選択用表
2	インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン	5	スリーブデザイン付き3Dプレビュー
3	ドリルテンプレートとスリーブシステムの選択用ボタン		

3. 希望するドリルテンプレートを選択してください。SICAT Implantが対応するドリルテンプレートについて詳しくは *次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

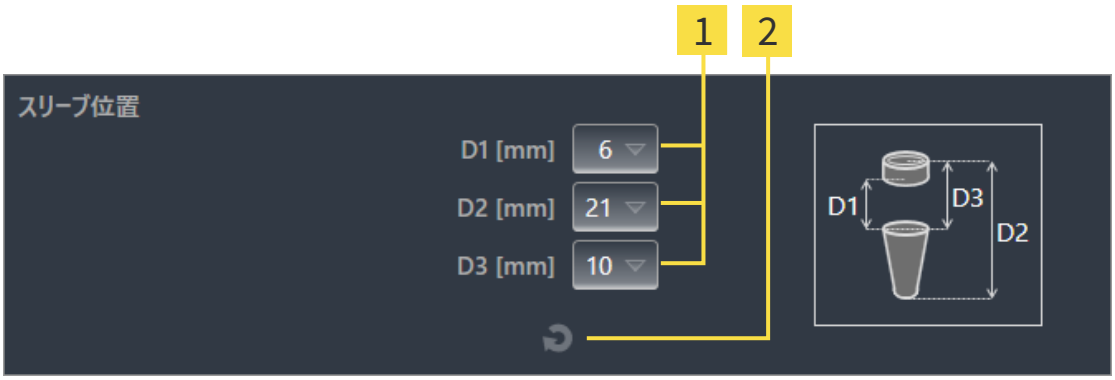
注記：
以下のボタンは一つのドリルテンプレートを選択していれば表示されます。

4. 所望のスリーブシステムを選択してください。SICAT Implant が対応するスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

5. 表の対応するセルをクリックして所望のスリーブモデルを選択してください。表は選択されたスリーブシステムの、計画したインプラントと互換な利用可能な全スリーブモデルを含みます。利用可能な多くのスリーブシステムにおいて各対応インプラントについてそれにぴたりと合うスリーブモデルがあります。行は異なるスリーブ長さに対応しており、列は異なるスリーブ直径(外径 / 内径、mm)に対応します。

   ▶ 選択されたスリーブモデルは3Dプレビューにある表にその名称とともに表示されます。マウスボタンを押したままスリーブを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

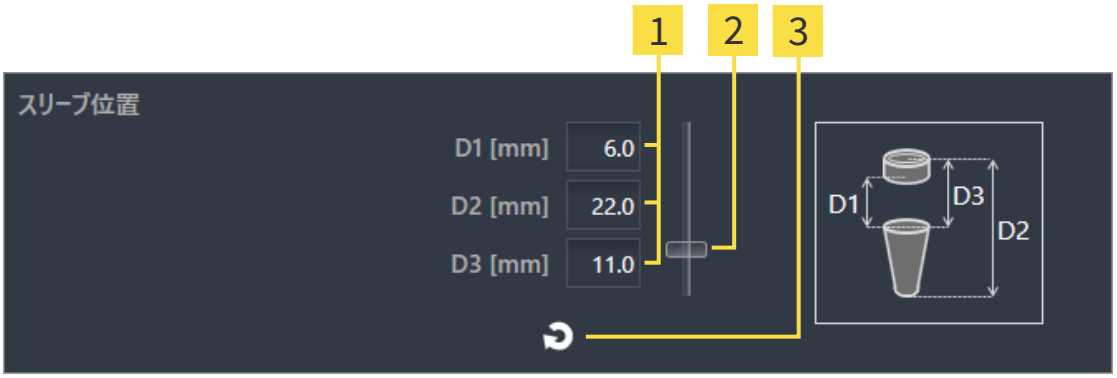
6. **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム：**所望のスリーブ位置を選択してください。選択できるのはメーカー要綱に従って、選択されたインプラントスリーブの組み合わせに認め得る全スリーブ離間位置です。D値の一つを選択すると他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の選択用ボタン

2 **スリーブ位置のリセット**のボタン

7. **スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム：**所望のスリーブ位置を欄のどれかに入力する、または所望のスリーブ位置をスライダーで決めることもできます。D値をいずれか入力すると、他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の入力欄

2 スリーブ位置調整用スライダー

3 **スリーブ位置のリセット**のボタン

8. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

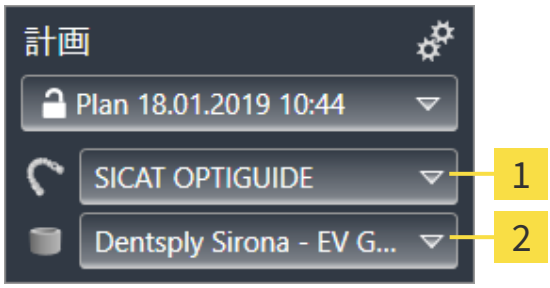
▶ 新規スリーブは全ビューで、設定したスリーブ位置においては対応するインプラントに対して及び**オブジェクト**の下の対応するインプラントの下側に表示されます。

開いた計画の残りインプラントへの影響
選択されたドリルテンプレートと選択された スリーブシステムは全体計画つまり開いた計画の全インプラントに関連しています。スリーブシステムを選択または変更したら開いている計画の残りのインプラントのスリーブモデルとスリーブ位置も確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細は*スリーブモデルの変更 [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*および*スリーブ位置の変更 [▶ページ 203 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

インプラント及び/またはアバットメントの同時変更
スリーブを追加するときに同時に対応するインプラントまたは対応するアバットメントも変更したい場合、 **OK**でウィンドウを閉じる前に**インプラント**または**アバットメント**ボタンをクリックします。

34.2 ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更

ドリルテンプレートまたはスリーブシステムは後からでも変更できます。SICAT Implant が対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについて詳しくは*次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。



1 **ドリルテンプレート変更**ボタン

2 **スリーブシステム変更**ボタン

ドリルテンプレート変更

1. **オブジェクトバー**バーの**計画**エリアで**ドリルテンプレート変更**ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantは対応ドリルテンプレートのリストを表示します。
2. インプラント計画の実行に使う新規ドリルテンプレートをクリックします。

▶ SICAT Implantが ドリルテンプレートを変更します。

▶ 新規ドリルテンプレートがそれまで選択していたスリーブシステムに対応していない場合、SICAT Implantが新規ドリルテンプレートに対応するスリーブシステムに切り替えます。この場合、開いている計画の全計画済みインプラントのスリーブシステム及びスリーブモデルさらにスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。詳しくは この節の*スリーブシステム変更、スリーブモデルの変更 [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*、*スリーブ位置の変更 [▶ページ 203 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

スリーブシステムの変更

1. **オブジェクトバー**の**計画**エリアで**スリーブシステムの変更**ボタンをクリックします。

   注記：
   スリーブシステム変更ボタンが表示されるのは ドリルテンプレートの選択後です。

   ▶ SICAT Implantには選択されたドリルテンプレートが対応し、計画したインプラントと互換なスリーブシステムリストが表示されます。

2. 使用したい新規スリーブシステムをクリックします。

▶ SICAT Implantがスリーブシステムを変更します。

▶ 以前のスリーブシステムの計画したスリーブが削除され、計画したインプランが新規スリーブシステムと互換である限り新規スリーブシステムのスリーブに追加されます。

▶ 開いている計画の計画した全インプラントのスリーブモデルとスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細は*スリーブモデルの変更 [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*および*スリーブ位置の変更 [▶ページ 203 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

34.3 スリーブモデルの変更

計画した一つのインプラントに選択されたスリーブシステムの複数のスリーブモデルが互換な場合、スリーブモデルを後から変更できます。

このためには以下の手順に従ってください。

☑ 所望の ドリルテンプレートと所望のスリーブシステムをすでに選択したこと。ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更について詳しくは*ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ページ 200 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

1. **オブジェクト**からまたは任意の表示でスリーブをクリックして、スリーブモデルを変更したいスリーブを有効にします。

   ▶ **プロパティ**エリアに現在のスリーブモデルが表示されます。

1	**より狭い**のボタン	3	**より幅広い**のボタン
2	**現在のスリーブモデル：**外径 / 内径 x 長さ及び名称		

2. **より幅広い**または**より狭い**ボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたスリーブシステムから選択します。

   ▶ SICAT Implantがスリーブモデルを変更します。

   ▶ SICAT Implantが必要ならスリーブ位置を変更します。

3. スリーブ位置を確認し、場合によってはこれを調整します。詳細は*スリーブ位置の変更 [▶ページ 203 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

> **スリーブ選択ウィンドウ**
> スリーブモデルはスリーブ選択ウィンドウで**オブジェクト**の下のスリーブ横にあるスリーブモデルを変更したいアイコンをクリックして変更します。詳細は*スリーブの追加 [▶ページ 197 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

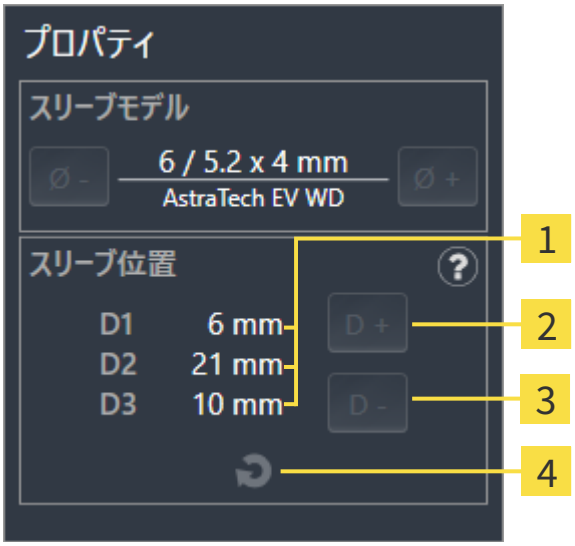
34.4 スリーブ位置の変更

計画したスリーブの位置を後から変更するには次の手順で行います。

☑ 任意のスリーブ位置があるスリーブシステムを選択したかスリーブ離間位置による一貫ガイドスリーブシステムを選択してあり、インプラントスリーブの組み合わせ用にメーカー要綱に従って複数のスリーブ離間位置が可能です。

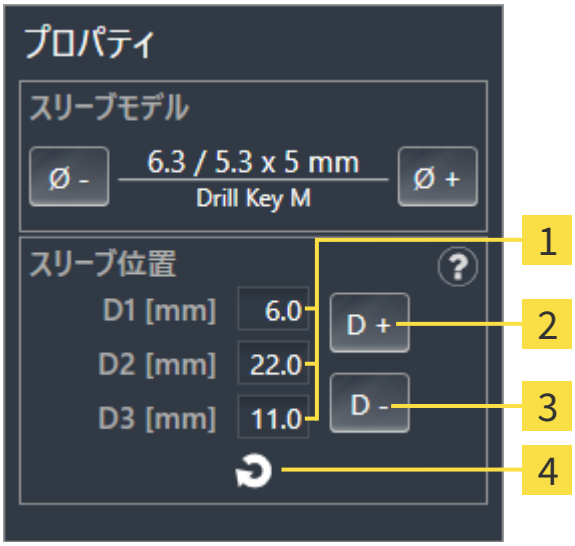
1. **オブジェクト**からまたは表示でスリーブをクリックして位置を変更したいスリーブを有効にします。

   ▶ **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム：プロパティ**エリアに下のように現在のスリーブ位置が出ます。



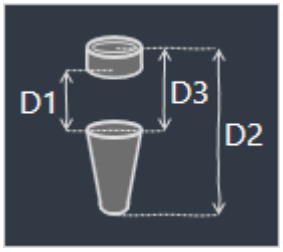
1	現在のスリーブ位置	3	**縮小**のボタン
2	**拡大**のボタン	4	**スリーブ位置のリセット**のボタン

▶ **スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム：プロパティ**エリアに下のように現在のスリーブ位置が出ます。



1	現在のスリーブ位置用入力欄	3	**縮小**のボタン
2	**拡大**のボタン	4	**スリーブ位置のリセット**のボタン

▶ **D値の説明**



2. **拡大** または **縮小**ボタンをクリックし次に大きいまたは次に小さいスリーブ位置を選択します。任意のスリーブ位置があるスリーブシステムでは所望のスリーブ位置を欄の一つにも入力できます。D値を調整すると、他の二つのD値も自動調整されます。

▶ SICAT Implantはスリーブ位置を変更します。

> **スリーブ位置をビューで直接変更**
> スリーブ位置は、所望のスリーブをクリックし、マウスボタンを押したまま上または下にドラッグしてビュー**軸方向**以外の2Dレイヤービューでも変更できます。スリーブ離間位置を持つ一貫ガイドスリーブシステムではこの方法でもメーカー要綱に従ってのみ可能なスリーブ位置に設定できます。

> **スリーブ選択ウィンドウ**
> スリーブ位置はスリーブ選択ウィンドウで、位置を変更したいスリーブ横の **オブジェクト**でアイコンをクリックして変更できます。詳細は*スリーブの追加 [▶ページ 197 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

34.5 スリーブの非表示/表示

スリーブは全インプラントについて同時に非表示/表示できます。

☑ オブジェクトグループ**インプラント**は**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は*SICAT Implantオブジェクト [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ スリーブは現在表示されています。

1. オブジェクトグループ**インプラント**でマウスポインターを**スリーブ表示/非表示**アイコンの上に置きます。

   ▶ SICAT Implant がスリーブ非表示/表示用アイコンを表示します。

2. **スリーブを表示しない**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant がスリーブを非表示します。

3. **スリーブの表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Implant スリーブを表示します。

> アイコン**スリーブ表示/非表示**の上へマウスポインターをホーバーしてクリックし、スリーブの見え方を切り替えられます。再度クリックするとスリーブ表示か非表示に切り替わります。

> スリーブが非表示されている場合、いくつかの スリーブ計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはスリーブを再び有効にしてください。

35 注文プロセス

希望するSICATドリルテンプレートを注文するには、以下の手順に従ってください。

- SICAT Implantにショッピングカート内の計画データを含む希望するSICATドリルテンプレートを入れます。これに関する情報は*SICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ページ 207 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報は*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 211 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報は*インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 212 - SIDEXIS 4]*もしくは*インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 216 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。

35.1 SICATドリルテンプレートをカートに入れる

> ⚠ **注意**
>
> **不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。**
>
> 発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

SICAT Implant で最初の注文プロセスでSICATドリルテンプレートをカートに入れます。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 173 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ 所望のSICAT ドリルテンプレートと所望のスリーブシステムを選択してあり、さらに各インプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2を計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画について選択されたSICAT ドリルテンプレートを発注するには、ワークフローステップ **治療**で**SICATドリルテンプレートを注文する**をクリックします。

   ▶ SICAT OPTIGUIDEまたはSICAT DIGITALGUIDEを発注したいときでまだ光学印象はインポートも登録もしていないとき、次から選択できます。
   – 光学印象をインポートして登録するこれに関する詳細は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
   – 光学印象なしで発注する。この場合は対応する顎の石膏モデルをSICATへご送付ください。SICATが石膏モデルを元に必要な光学印象を作成します。

   ▶ **SICATドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが出ます。

2. **患者**と**注文への詳細**エリアで患者情報と発注用明細情報が正しいことを確認します。

3. **スリーブシステム「SICATスリーブインスリーブ」用内部スリーブを選択する。**スリーブシステムに「SICATスリーブインスリーブ」を選択した場合、**注文への詳細**エリアに第1と第2内部スリーブの内径を選択します。内部スリーブは1つでよければ、**内部スリーブ**用の二つの欄で「無し」を選びます。

4. 計画を確認してください。発注が正しい計画に基づいたものであることとインプラント、スリーブ、スリーブ位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ インプラントのための全発注条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン ⚠ を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン ⚠ の上に置くと、対応する注記が出ます。
   発注の前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラントとスリーブシステムに互換性がない。
   – スリーブシステムとして「CEREC ガイドドリルキー」を選択してあり、スリーブ位置はまだ計画していない場合。
   安全距離より近い場合。
   これらの場合は発注を止め、問題を解決してください。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもドリルテンプレートをカートに入れることは可能なことも指定できます。

5. 希望する場合、**追加情報**欄にSICATの追加情報を入力します。

6. 一貫ガイド外科システムを発注のために初めてお使いになる場合、**確認**エリアで対応する外科キットがあることを確認してください。

7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Implantは所望のSICAT ドリルテンプレートを計画データごとSICAT Suiteカートに入れます。

   ▶ SICAT Implant を計画のコピーを「完結」状態で作成します。SICAT ドリルテンプレートの発注用の基礎とする計画を後から元の状態で検討することができます。

   ▶ SICAT Implant は**SICATドリルテンプレートを注文する**ウインドウを閉じます。

   ▶ SICAT ImplantはSICAT Suiteのカートを開きます。

8. *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 211 - SIDEXIS 4]*で続行してください。

9. **SICAT CLASSICガイドの発注：**レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。

> **両顎インプラント計画**
> 上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次に **SICATドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが出ます。ドリルテンプレートを注文したい顎を選びます。ドリルテンプレーを最初の顎用にカートに入れてから、第2の顎用ドリルテンプレートは**SICATドリルテンプレートを注文する**ボタンを再度クリックしてカートに入れます。

SICAT CLASSICガイドの発注
レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATにお送りください。SICATで小包を受領後初めて受注処理が可能ですのでそれからSICAT CLASSICガイドの製造を始めます。

35.2 カートを開く

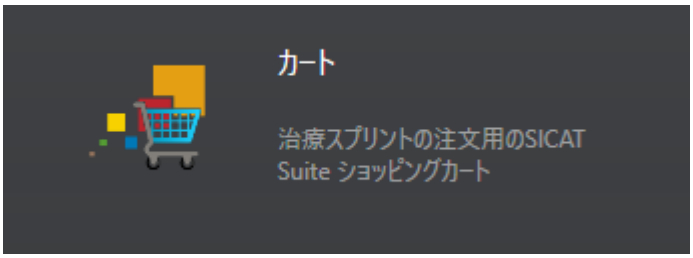
☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。

☑ **出力**のフェーズで、カートの表示を開いておきます。この操作に関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書をご覧ください。

- ショッピングカートをまだ開いていない場合、**ナビゲーションバー**の**カート**のボタンをクリックします。

▶ **カート**のウィンドウが開きます。

上記に代えて、**出力**のフェーズで、**カート**のボタンをクリックしても結構です。

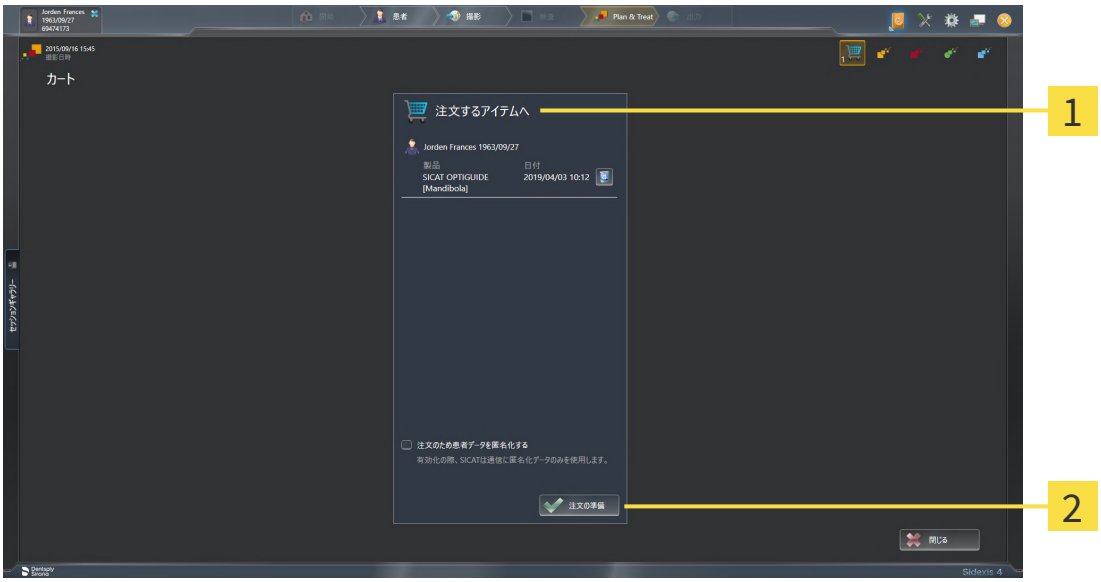


以下の操作で、処理を続けてください。

- *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 211 - SIDEXIS 4]*

35.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ **カート**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*カートを開く [▶ページ 210 - SIDEXIS 4]*を参照してください。



1 **注文するアイテムへ**のリスト

2 **注文の準備**のボタン

1. **カート**ウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
2. **注文のため患者データを匿名化する**のチェックボックスを有効または無効にします。
3. **注文の準備**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文状況を**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 212 - SIDEXIS 4]*
- *インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 216 - SIDEXIS 4]*

35.4 インターネット接続を使用した注文の終了

Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**は有効になっています。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 233 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

   ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されます。

2. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 213 - SIDEXIS 4]*の指示に従ってください。

▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。

▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。

また、**トリート**項目が強調されるよう、SIDEXIS 4のタイムラインでスタディのアイコンが変わります。

SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで現在のSIDEXISサーバーを利用している場合は、他のコンピューターでアップロードされる注文にもこれは適応されます。注文内容のアップロードを開始したコンピュータであれば、そのコンピュータで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。

アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

35.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。

患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

35.6 SICAT WEBCONNECTOR

> SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

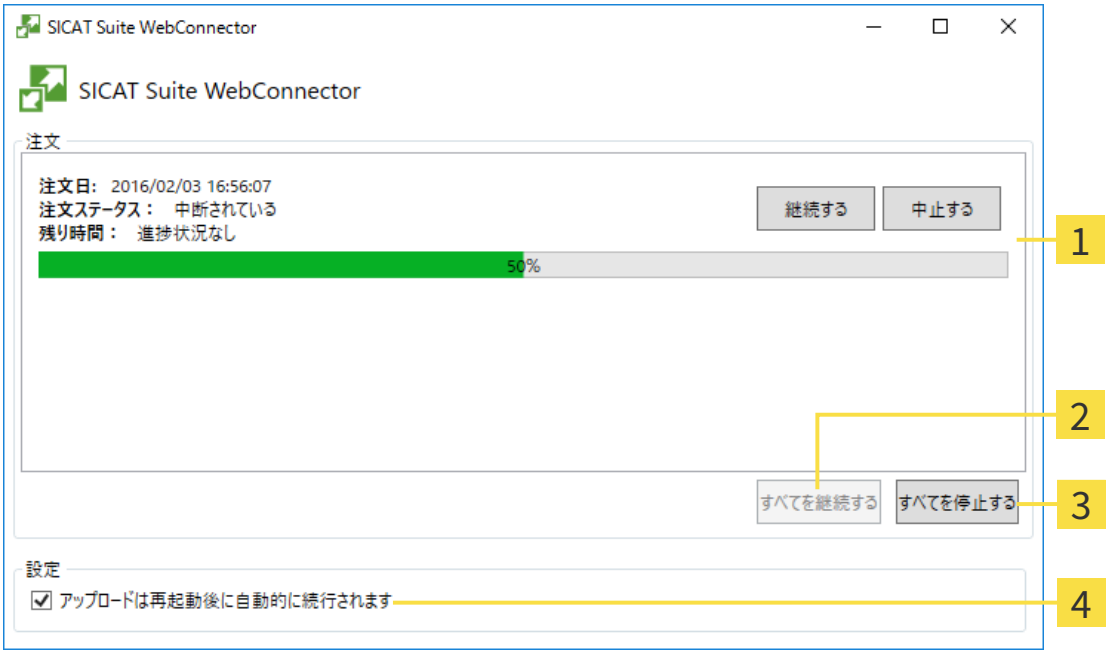
> Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Implant 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectoを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われないことがありますが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く

- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト **注文**

2 ボタン **すべて再開する**

3 ボタン **すべて停止する**

4 チェックボックス **再起動後にアップロードを自動で再開する**

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

35.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT Suiteが**SICAT Suite - SICAT サーバーに接続できない**ウィンドウを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- **インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**
- **SICATポータルにアクセスできません。**
- **「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。**
- **「SICATWebConnector」サービスが起動していません。**
- **未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

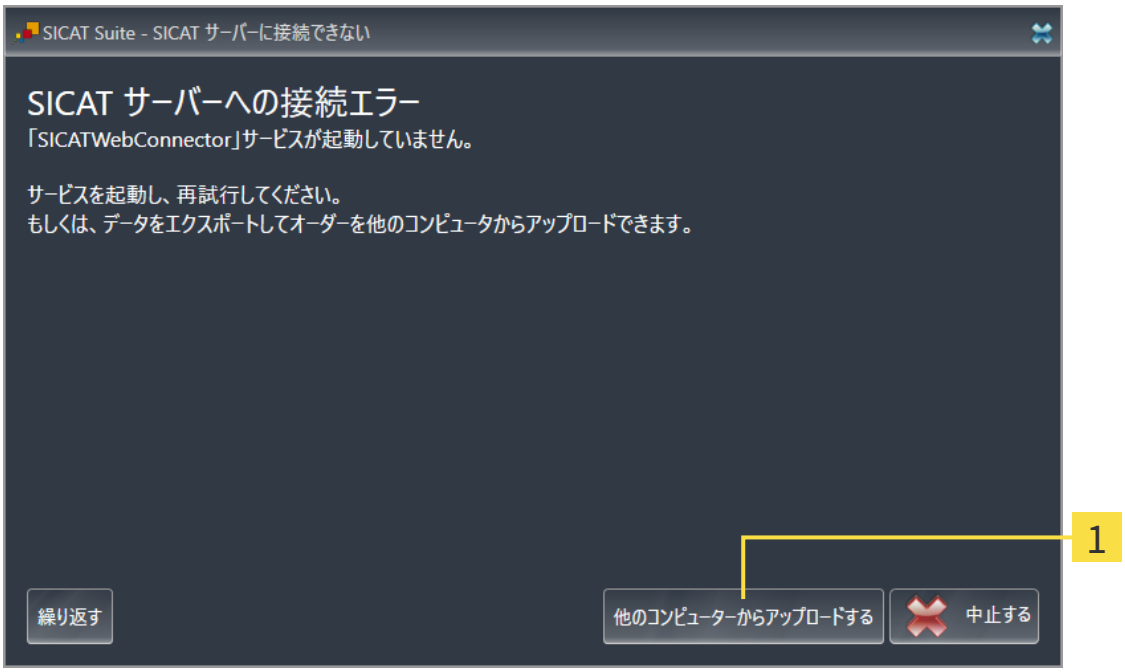
一般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無効にした場合は、**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウが直接開きます。

トラブルシューティングの代わりとして、またはインターネットへのアクセスを無効にしている場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

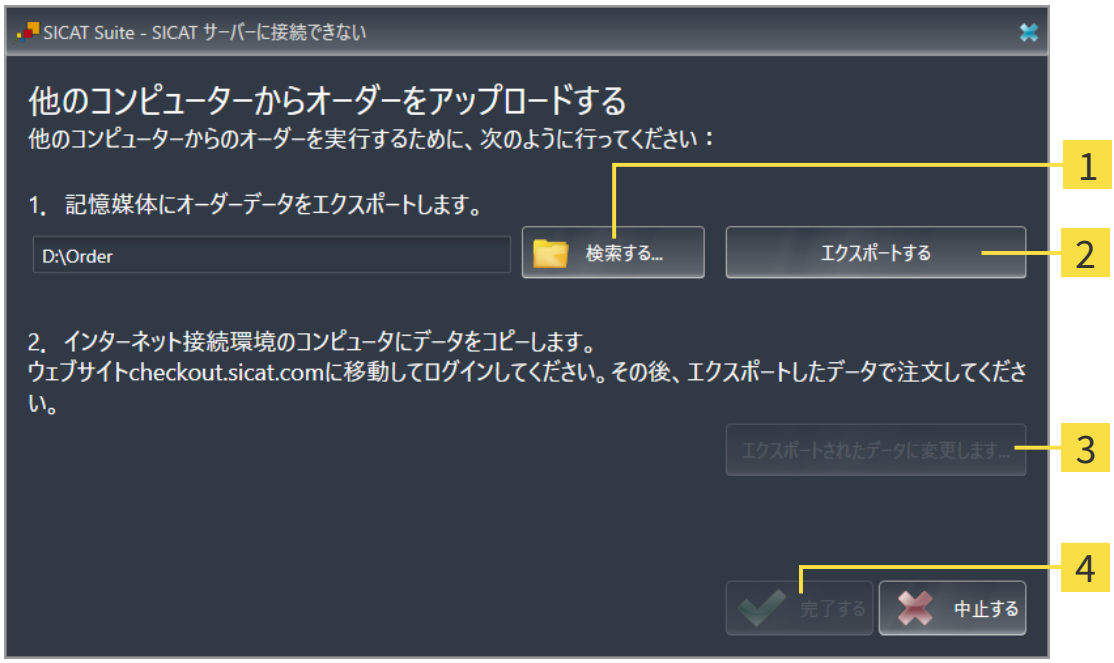
☑ ウインドウに表示されるメッセージ： **SICAT サーバーへの接続エラー**



1 **他のコンピューターからアップロードする**のボタン

1. **他のコンピューターからアップロードする**のボタンをクリックします。

   ▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**のウィンドウが開きます。



1 **検索する**のボタン

2 **エクスポートする**のボタン

3 **エクスポートされたデータに変更します**のボタン

4 **完了する**のボタン

2. **検索する**のボタンをクリックします。

▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

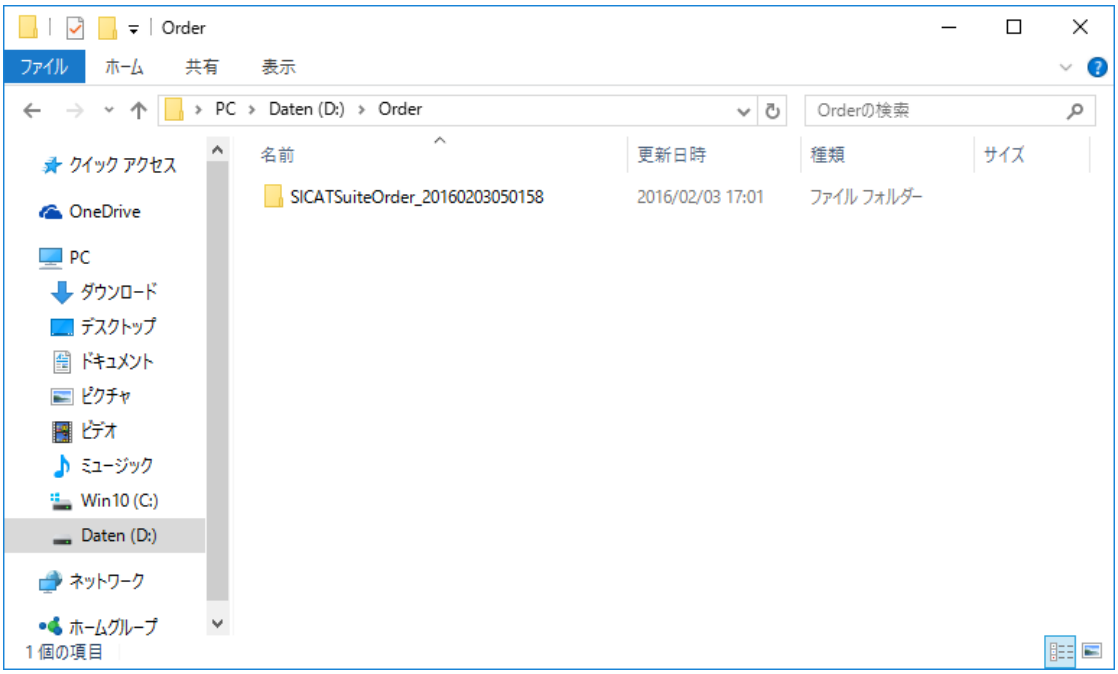
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。

7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。

   ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。

8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページwww.sicat.comを開きます。

9. SICATポータルへのリンクをクリックします。

   ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。

12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。

    ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。

13. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 213 - SIDEXIS 4]*の指示に従ってください。

14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。

15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。

▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

ℹ	SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

36 CEREC GUIDE用にエクスポート

⚠ 注意	**不正計画またはCEREC ガイド用不正エクスポートデータに基づくCEREC ガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。** CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。

⚠ 注意	**CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。** 1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。 2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。

⚠ 注意	**スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。** スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに精確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り精確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

SICAT ドリルテンプレートの発注に加え、計画をCEREC ガイドの作成用に光学印象に基づいてエクスポートできます。

SICAT Implant は2種類のエクスポートに1つのCEREC ガイドについて対応します。

- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSIXDフォーマットで実行する、*CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする [▶ページ 221 - SIDEXIS 4]*の節をご参照ください。CEREC ガイド 3またはCEREC ガイド 2のワークフロー用にCEREC ソフトウェアのバージョン5.1以降を使用するときはこの方法を取ります。この方法ではデータをHub経由でCERECソフトウェアへ転送できます。
- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSSIフォーマットで実行するには*CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする [▶ページ 224 - SIDEXIS 4]*の節をご参照ください。CERECソフトウェアのバージョン5.1より前またはinLabソフトウェアを使用している場合は、CERECガイド2ワークフローにこの方法を適用してください。

ℹ	CERECガイドの取扱説明書を参照し、用途についてのご案内や適合する方法についてご参考にしてください。

36.1 CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

☑ 「CEREC ガイド エクスポート」ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。

☑ インプラントの全位置をカバーする光学印象 (場合によっては修復あり)をSIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 173 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **オプション：**チタンベースを計画した。詳細は*アバットメントの計画 [▶ページ 189 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **CEREC ガイド3ワークフロー：**ドリルテンプレートとして「CEREC ガイド」、CEREC ガイド3が対応する一貫ガイドスリーブシステムを選択してあり、さらにインプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **CEREC ガイド2ワークフロー：**ドリルテンプレートとして「CERECガイド」、スリーブシステムには「Dentsply Sirona – CEREC ガイドドリルキー」を選択してあり、さらにインプラント毎にスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

注記：
CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

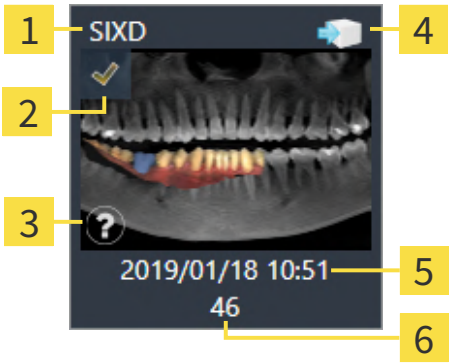
☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ**治療**で**CEREC Guide用にエクスポート**をクリックします。

▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていなければ対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされている場合は、次のウィンドウが出ます。

2. 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。

3. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際SIXDフォーマットの光学的投影に基づいて1つのCAD/CAMケースがSIXDフォーマットで選択されていることを確認してください。Hubアイコンは対応するCAD/CAMケースをHubに送ることが可能なことを表します。



1	データフォーマット	4	Hubアイコン
2	オプションチェックボックス	5	インポート日とインポート時間
3	撮影日と撮影システムを記載した情報ウィンドウ	6	修復

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエク、スートするインプラントが「グレーアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン⚠を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン ⚠の上に置くと、対応する注記が出ます。
   エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
   – CERECガイド3ワークフローでインプラントとスリーブシステムが互換でない場合。
   – CERECガイド2ワークフローでスリーブ位置が未計画だった場合。
   安全距離より近い場合。
   この場合は別の光学印象を選択またはエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。

5. **Hubへ送る**：**Hubに送信**をクリックします。HubからこれらのデータをCERECソフトウェアのバージョン 5.1以降からはダウンロードできます。

6. **ファイルにエクスポート**：**ファイルにエクスポート**をクリックし、バージョン5.1以降のCERECソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。

▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

Hubに送信ボタンはSICAT SuiteがHubと結合され、Hubのライセンスが有効なとき表示されます。

Hubに送信ボタンは特に次の前提が成立しているときに有効です。

- CAD/CAM症例を事前にHubからダウンロードした。
- CAD/CAM事例のワークフローステータスが適していること。
- CAD/CAM事例を含む計画が別の計画の複製ではないこと。
- CAD/CAM事例は別のSICATアプリケーションによって適用されなかったこと。

36.2 CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

☑ 「CEREC ガイド エクスポート」ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。

☑ インプラントのSSISIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は*光学印象 [▶ページ 149 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 173 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ドリルテンプレートに「CEREC ガイド」、スリーブシステムに「Dentsply Sirona - CEREC ガイドドリルキー」を選択し、各インプラントについてスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は*スリーブの計画 [▶ページ 196 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

注記：
CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

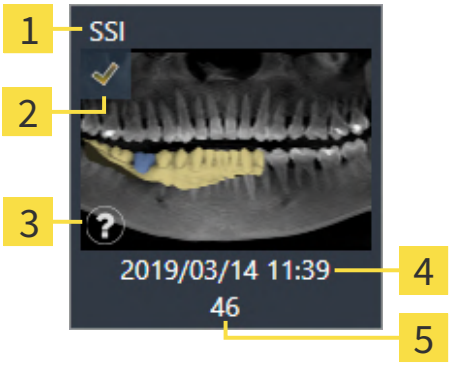
☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ**治療**で**CEREC Guide用にエクスポート**をクリックします。

   ▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていなければ対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされていれば、次のウィンドウが出ます。

2. 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。

3. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際、SSIフォーマットで光学的投影に基づいて1つまたは複数のCAD/CAMケースがSSIフォーマットで選択されていることを確認してください。



1	データフォーマット	4	インポート日とインポート時間
2	オプションチェックボックス	5	修復
3	撮影日と撮影システムを記載した情報ウィンドウ		

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエク、スートするインプラントが「グレーアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。

   ▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン⚠を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン⚠の上に置くと、対応する注記が出ます。
   エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。
   – インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
   – スリーブ位置が未計画な場合。
   安全距離より近い場合。
   この場合は別の光学印象を選択するかエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。

5. **ファイルにエクスポート**をクリックし、CERECソフトウェアまたはinLabソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。

▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

37 計画レポートの作成

⚠ **注意**	**計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながることがあります。** 診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。これは医療画像データの表示専用です。

インプラント計画は計画レポートとして文書化できます。

SICATドリルテンプレートをご注文の場合、ドリルテンプレートレポートをオペのためにご報告します。CERECガイドをご利用の場合、計画レポートはドリルテンプレートレポートとしてもオペ用にご利用可能です。

計画レポートには全インプラントが記載された概要ページを含むほかインプラント毎の明細ページにインプラントの詳細情報が記載されています。計画レポートはPDFファイルに保存または印刷できます。

「計画レポートの作成」のウィンドウを開く

☑ インプラントは計画済みであること。詳細は*インプラントの計画 [▶ページ 173 - SIDEXIS 4]* を参照してください。

☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

- 開いた計画について計画レポートを作成するには、ワークフローステップ**治療**で**計画レポートの作成**をクリックします。

▶ **計画レポートの作成**のウィンドウが開きます。

1	**内容**エリア	3	**グローバル設定**エリア
2	ページナビゲーション	4	プレビュー
		5	**結果**エリア

両顎インプラント計画
上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次に **計画レポートの作成**ウィンドウが出ます。計画レポートを作成したい顎を選びます。

計画レポート設定の変更

1. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Implantが選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
2. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
   ▶ SICAT Implantが、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報を計画レポート上に表示します。

計画レポートをPDFファイルに保存

1. **結果**エリアで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

2. 計画レポートの保存先ディレクトリに移ってください。

3. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

▶ SICAT Implantは計画レポートをPDFファイルに保存します。

計画レポートの印刷

> 適切な品質の計画レポートには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

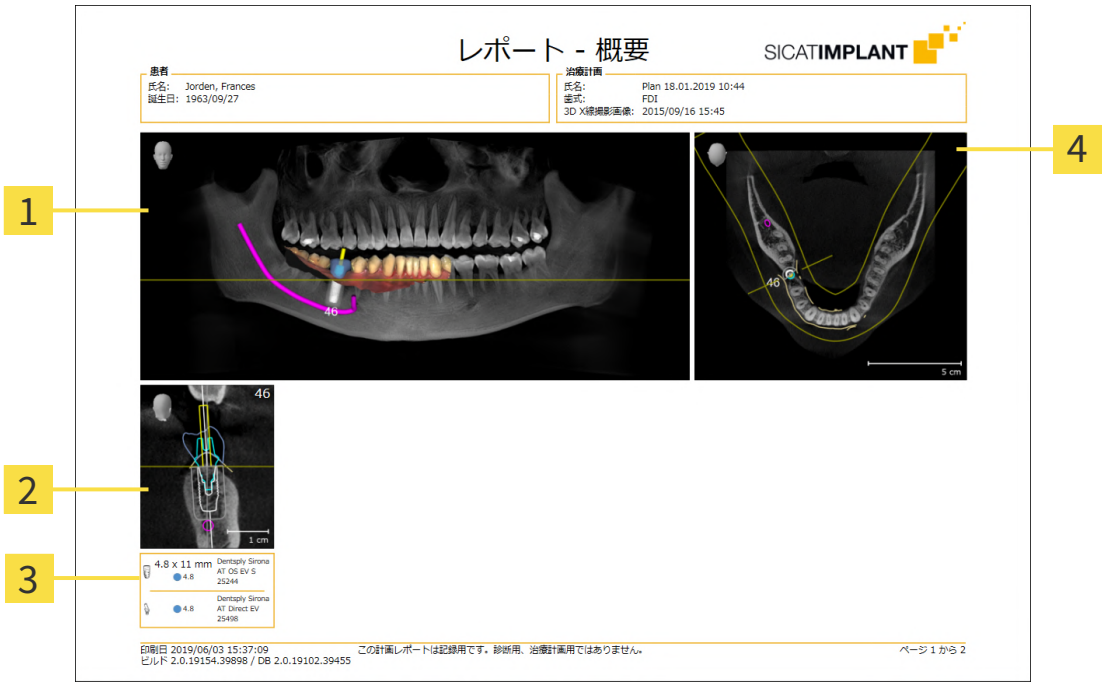
1. **印刷する**のボタンをクリックします。
   ▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。

2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。

3. **印刷する**をクリックします。

▶ SICAT Implantはプリンターに計画レポートを送信します。

計画レポートの説明

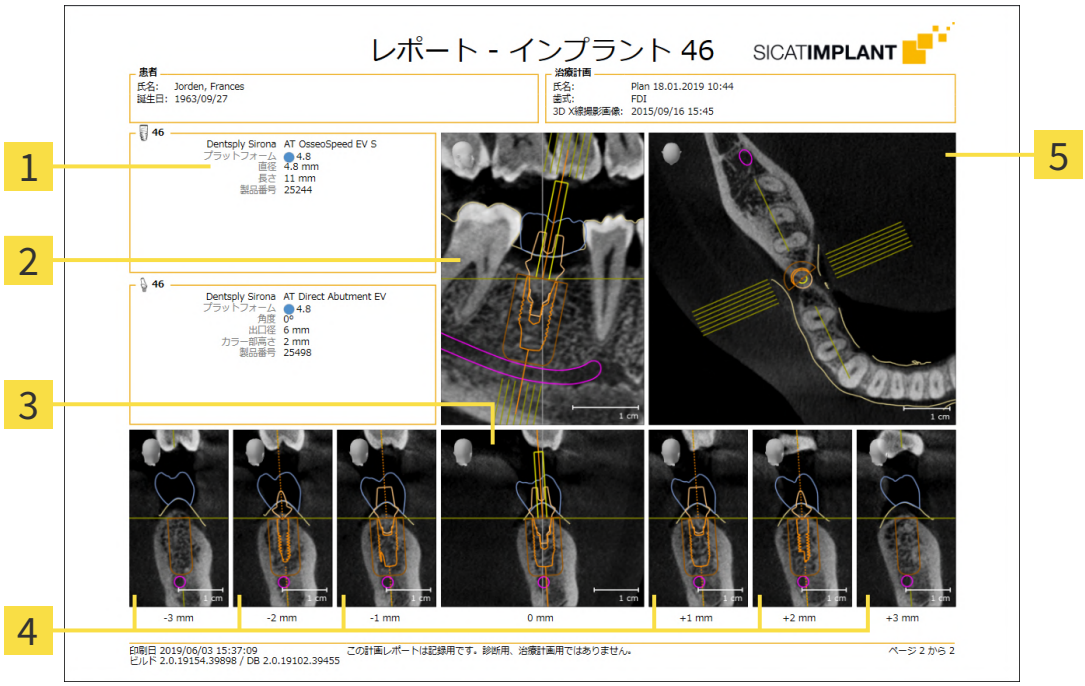


1 **パノラマ**ビュー

2 インプラント毎のインプラントアライン済ビュー **横断**

3 インプラント毎の寸法とモデル情報

4 **軸方向**ビュー



1 寸法とモデル情報

2 インプラントアライン済ビュー**縦**

3 インプラントアライン済ビュー**横断**

4 ビュー **横断**と平行なビュー

5 **軸方向**ビュー

オブジェクトの表示
インプラントは計画レポートでは常時表示されます。スリーブは計画レポートでは、SICATドリルテンプレートとともに入手されるスリーブ情報はSICATドリルテンプレートレポートでは主要な要素なのでSICAT ドリルテンプレートに対しては表示されません。その他の全オブジェクトは計画レポートの作成時にSICAT Implantに表示されている限り、計画レポートに表示されます。

38 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の機能を利用してください。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

39 設定

SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXIS 4と結合して、SIDEXIS 4の設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用されたSICAT Implantの設定内容のデータは、で確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXIS 4の各種設定においてのみに限定されています。

設定ウインドウで一般設定を変更または閲覧することができます。**設定**のグループをクリックすると、メニューで左側に以下のボタンが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 233 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **プラクティス** - クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は*歯科医院情報の使用 [▶ページ 237 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **Hub** - Hub接続設定はSIDEXIS 4に転送され、接続状態が表示されます。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 238 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **可視化** — ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 239 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **SICAT Implant** — アプリケーション固有のSICAT Implant設定内容を変更します。これに関する情報は*SICAT Implant設定の変更 [▶ページ 241 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Implantが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

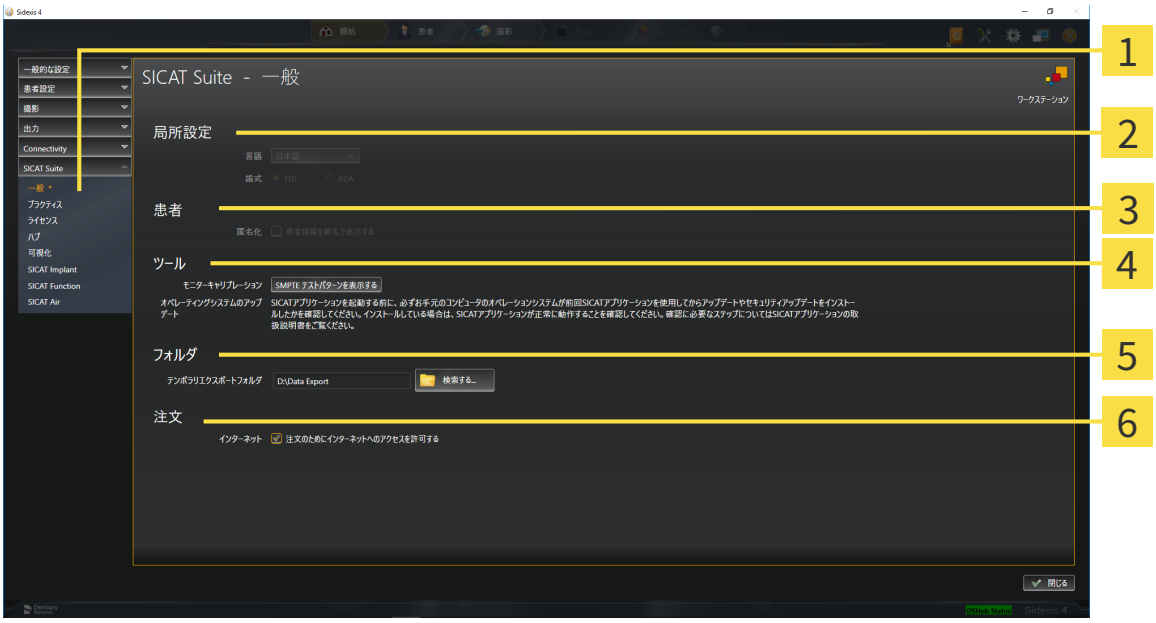
SICAT Suiteの設定は現在のワークステーションのアクティブなユーザーに適用されます。SICAT Suiteには設定で変更した事項がすぐに反映されます。SICAT Suiteでは、各種設定で別の種類へ切り替えても、変更後の設定内容を継続的に保存して、同様に維持します。

39.1 一般設定の使用

> SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXIS 4と結合して、SIDEXIS 4の設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用されたSICAT Implantの設定内容のデータは、で確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXIS 4の各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **一般**のボタンをクリックします。
   ▶ **一般** のウィンドウが開きます。



1	**一般**のタブ	4	**ツール**エリア
2	**局所設定**エリア	5	**ディレクトリ**エリア
3	**患者**エリア	6	**注文**エリア

SICAT Implantでは、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- **局所設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- **局所設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を閲覧できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Implantでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。
- **注文**エリアでは、**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール**、**モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**のボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報は*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ページ 235 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Implantがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Implantでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。

対応している歯型図はFDIとADAです。

39.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション

⚠ **注意**

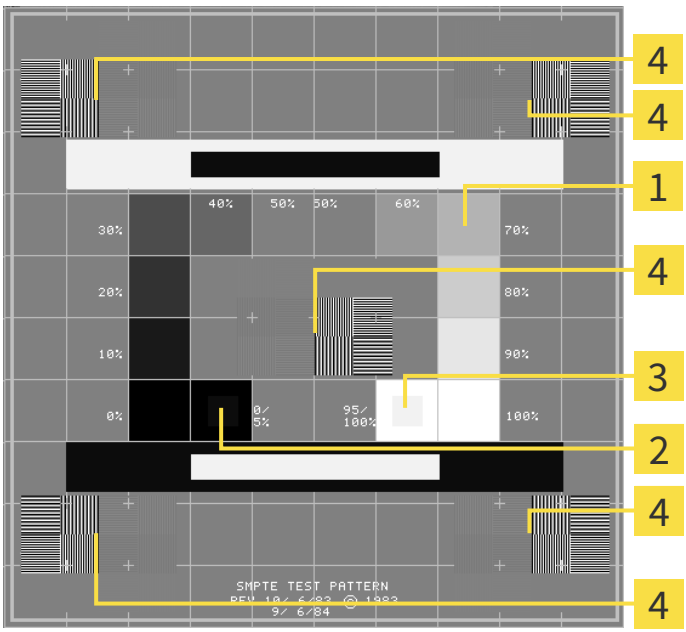
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0% ～ 5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95% ～ 100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。

- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

ℹ	多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。

▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

39.3 歯科医院情報の使用

SIDEXIS 4と結合しているSICAT SuiteのバージョンにはPraxislogoとSIDEXIS 4の情報テキストが適用されています。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これらの設定内容は、SIDEXIS 4からご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

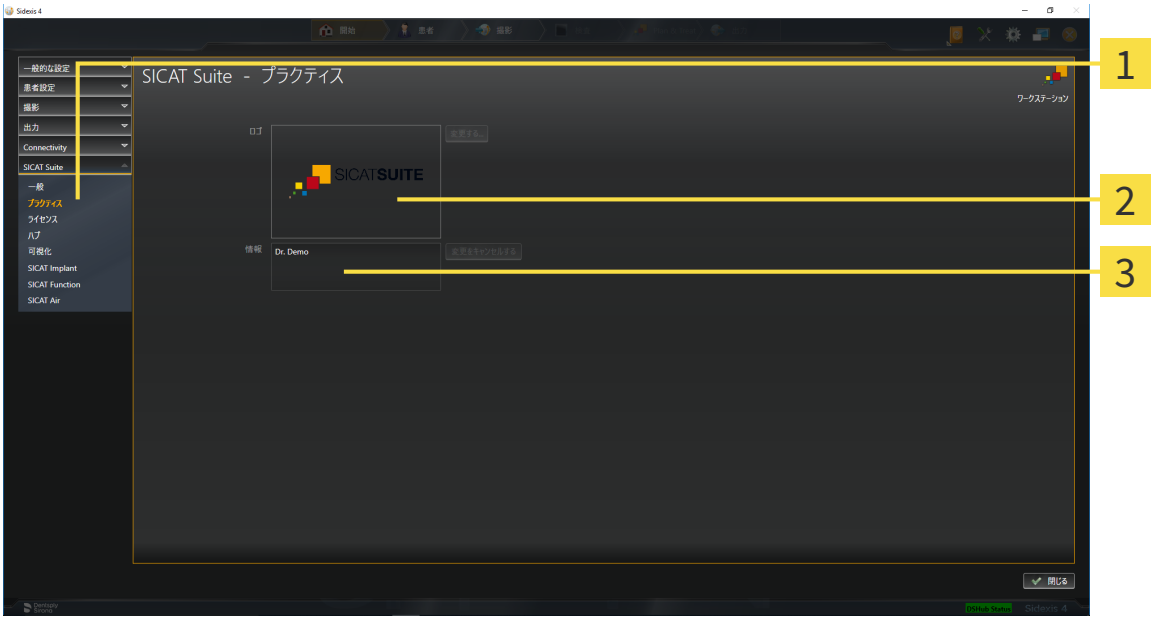
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **プラクティス**のボタンをクリックします。

   ▶ **プラクティス** のウィンドウが開きます。



1 **プラクティス**のタブ

2 **ロゴ**エリア

3 **情報**エリア

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

39.4 HUB接続状態を表示する

SICAT Suiteでは、Hubの接続状態を見ることができます。Hub使用の設定はSICAT SuiteにSIDEXIS 4から転送されます。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4タイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **Hub**のボタンをクリックします。

   ▶ **Hub**のウィンドウが開きます。

▶ 右側に接続状況が表示されます。

39.5 可視化設定の変更

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **可視化**のボタンをクリックします。

▶ **可視化** のウィンドウが開きます。

1 タブ **可視化**

2 エリア **画質**

3 エリア **他のビューの更新**

4 エリア **線の太さ**

5 エリア **目線**

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** — **軸方向**レイヤービューと**矢状方向**レイヤービューの目線を切り替えます。

39.6 SICAT IMPLANT設定の変更

以下のSICAT Implant設定を変更することができます。

- **優先インプラントシリーズ** - これに関する情報は*優先インプラントシリーズの指定 [▶ページ 242 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **安全領域** - これに関する情報は*安全範囲の設定 [▶ページ 244 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **孔** - これに関する情報は*孔の設定 [▶ページ 246 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

39.6.1 優先インプラントシリーズの指定

SICAT Implantデータベースから選ぶ同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを的を絞って提案されます。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

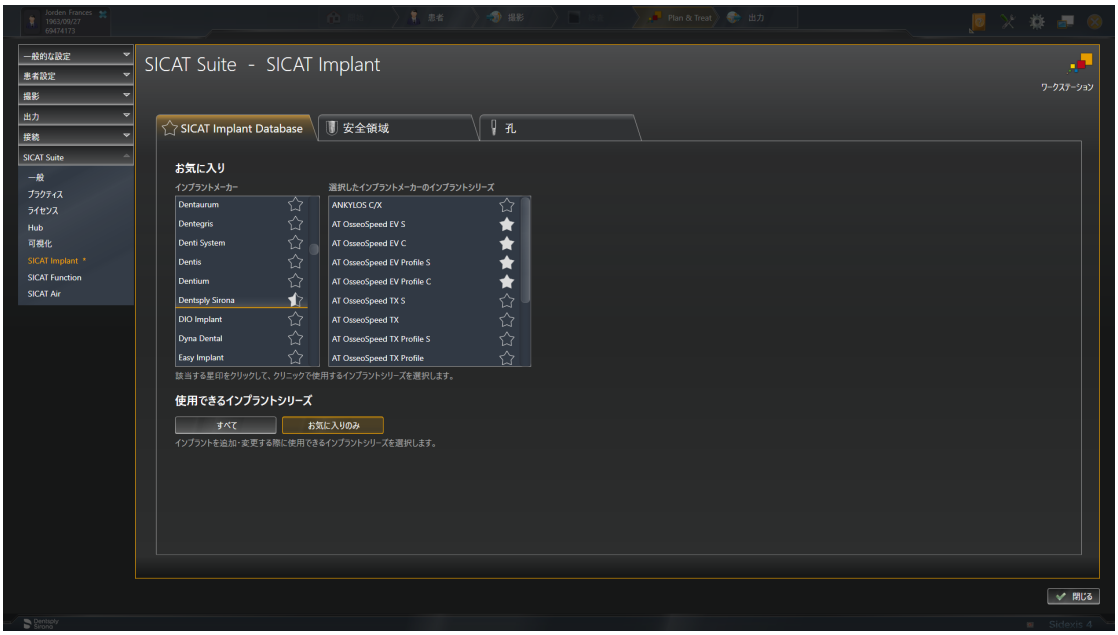
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **SICAT Implant**のボタンをクリックします。

   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。

4. **SICAT Implantデータベース**タブをクリックします。

   ▶ **SICAT Implantデータベース**ページが開きます。



5. 左リストにある治療に使用したい最初のインプラントメーカをクリックーします。

   ▶ SICAT Implant の右リストに選択されたインプラントメーカーの全インプラントシリーズが出ます。

6. **選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りに選択：**アイコンが現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

7. **選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りから選択解除：**アイコンが現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

8. **選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りに選択：**アイコンが現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

9. **選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りから選択解除：**アイコンが現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

10. 左リストにあるクリニックでご利用の次のインプラントメーカーをクリックし、ステップ6に進んでください。

11. **閉じる**をクリックします。

全てのインプラントシリーズまたはお気に入りのみを対象とする
インプラント計画ではお気に入りではなく利用可能な全てのインプラントシリーズを検討したい場合、**使用できるインプラントシリーズ** のページでボタン **すべて**をクリックします。

ご自分のインプラント計画ではお気に入りのみ表示させるには、**お気に入りのみ**ボタンをクリックします。

39.6.2 安全範囲の設定

インプラント周囲の安全範囲寸法は調整できます。安全範囲を新規プランニングの際に表示させるかも設定できます。安全範囲について詳しくは*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **SICAT Implant**のボタンをクリックします。

   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。

4. **安全領域**のタブをクリックします。

   ▶ **安全領域**のページが表示されます。

5. **安全範囲の寸法設定：横方向の最小距離**欄と**先端からの最小距離**欄に距離を直接入力するか、矢印キーで距離を調節します。

6. **新規プランの際の安全範囲の非表示新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**安全領域を非表示にする**ボタンをクリックします。

7. **新規プランの際の安全範囲の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**安全領域の表示**ボタンをクリックします。

8. **閉じる**をクリックします。

プランニング中に安全範囲を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、*安全範囲の非表示/表示 [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

39.6.3 孔の設定

パイロットドリル孔の直径及び孔の長さを自分で調節できます。さらに、新規計画でパイロットドリル孔, インプラント孔を表示または孔を表示しないかを設定できます。これについて詳しくは*孔の非表示/表示 [▶ページ 187 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。

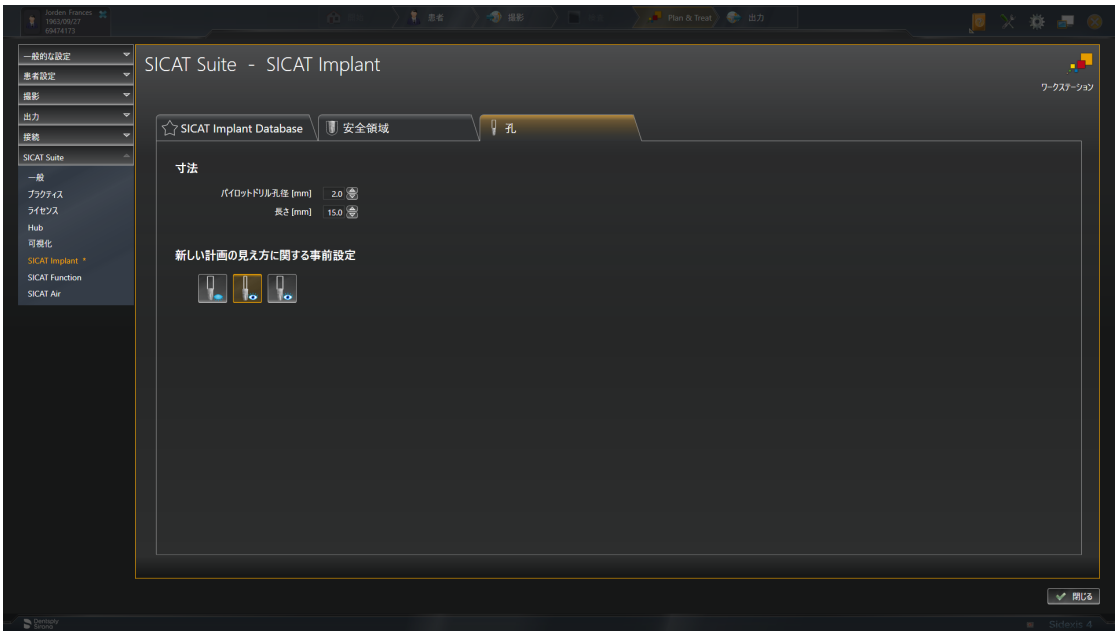
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。

3. **SICAT Implant**のボタンをクリックします。

   ▶ **SICAT Implant**のウィンドウが開きます。

4. **孔**のタブをクリックします。

   ▶ **孔**のページが表示されます。



5. **孔の寸法設定：パイロットドリル孔径**欄と**長さ**欄に値を直接入力するか、矢印キーで値を調節します。

6. **新規計画の際始めに孔を非表示: 新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**孔を表示しない**ボタンをクリックします。

7. **新規計画の際のパイロットドリル孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**パイロットドリル孔の表示**ボタンをクリックします。

8. **新規計画の際のインプラント孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定**で、**インプラント孔を表示**ボタンをクリックします。

9. **閉じる**をクリックします。

計画中に孔を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、*孔の非表示/表示* [▶ページ 187 - SIDEXIS 4]をご覧ください。

40 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- *サポート態勢のページを開く [▶ページ 249 - SIDEXIS 4]*

40.1 サポート態勢のページを開く

SICAT Suite の情報 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。
2. **SICAT Suite の情報**項目をクリックします。

▶ **SICAT Suite の情報** のウィンドウが開きます。

SICAT Suite の情報ウインドウは次のタブで構成されています：

- **サポート** - これに関する情報は *サポート [▶ページ 248 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **インフォメーション** - これに関する情報はインフォメーションを参照してください。

40.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウインドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。

1 タブ **サポート**

2 エリア **連絡先情報**

3 エリア **インタラクティブなサポート**

4 エリア **サポートツール**

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Implant では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

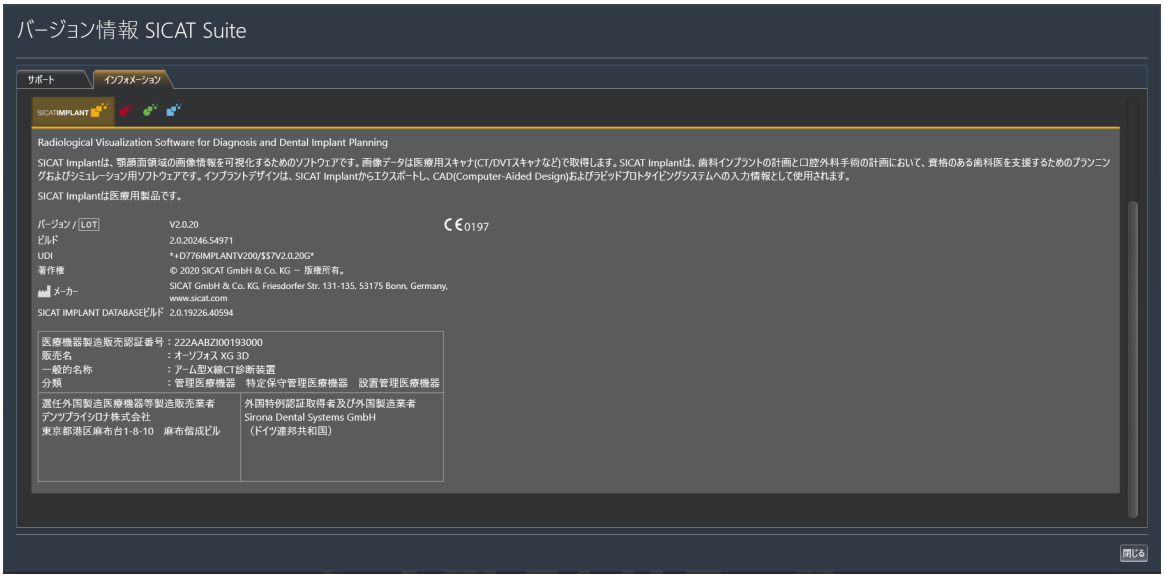
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Implant では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Implantでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Implant では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Implantが通知ウィンドウを表示します。

40.3 インフォメーション

インフォメーションタブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



41 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

SIDEXIS 4モジュールとしてインストールしたSICAT Implantでは、データとして変更や保存はできませんが、確認が可能なものがありますが、いずれのデータがそれに該当するのかは、ライセンスのステータスに応じて異なります。

SICAT IMPLANTライセンスの種類	変更せずに参照することはできますか？
なし	無
ビューア	有
フルバージョン	無

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Implant のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Implantのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Implant このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Implantのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Implantの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

> SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この結果の1つは、SIDEXIS 4がデータセットを開くときに、データセットがすでに使用中かどうかを確認することです。この場合、SICAT Suiteのデータセットはビューアモードで読み取り専用モードで開き、SICAT Implantスタディの変更を保存できません。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSIDEXIS 4から起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 49 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS 4検査からビューアモードで開きます。

▶ これがSIDEXIS 4からの最初のデータ転送で、SIDEXIS 4の設定がSICAT Suiteの設定と互換性がある場合、SICAT ImplantにSIDEXIS 4からボリューム方向とパノラマ曲線が転送されます。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する [▶ページ 131 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

42 SICAT SUITEを閉じる

- 現時点で開いているスタディの左上隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが閉じます。

▶ SICAT Suiteでは、SICATの各種アプリケーションのうち、フルバージョンで実行させているものすべてで、変更後の治療計画プロジェクトがSIDEXIS 4に保存されます。

43 ショートカットキー

マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Implantは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、**サポート**ウィンドウが開きます。

次のショートカットキーはSICAT Implantに追加で使用できます。

ショートカットキー	説明
E	CEREC Guide用にエクスポート
I	インプラントの追加
N	下顎神経のマーキング
O	SICATドリルテンプレートを注文する
P	アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する
S	スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する

44 SICAT IMPLANTデータベースのアンインストール

SICAT Implantデータベースをアンインストールするには、次のように行います。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。
   ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
2. リストからSICAT Implantのバージョンが含まれる**SICAT Implantデータベース**を選択します。
3. **アンインストール** ボタンをクリックし、確認メッセージで確認してください。
   ▶ SICAT Implantデータベースアンインストールプログラムが起動します。
   ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。
4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムが終了します。

SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムを開くために、SICAT Implant データベースインストールプログラムをSICAT Implantがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

45 SICAT SUITEのアンインストール

SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*に記載されています。

アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector [▶ページ 214 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。

   ▶ **プログラムおよび機能** のウィンドウが開きます。

2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。

3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウインドウが開きます。

▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-Suiteインストールプログラムを SICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

46 安全に関する注意事項

3D X線撮影図

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意	**DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICATドリルテンプレートの発注方法

⚠ 注意	**不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。** 発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

CERECガイド用エクスポート

⚠ 注意	**不正計画またはCEREC ガイド用不正エクスポートデータに基づくCEREC ガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。** CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。

⚠ 注意

CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。

1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。
2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。

⚠ 注意

スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに精確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り精確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

表示条件

⚠ 注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ 注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理

⚠ 注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ 注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

⚠ 注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

⚠ 注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

インプラント計画

⚠ 注意

処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。

計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。

⚠ 注意

インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

⚠ 注意	**CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。** 自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。

⚠ 注意	**複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。** 自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。

⚠ 注意	**距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。** オブジェクト間の距離を常に確認してください。

⚠ 注意	**SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。** SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。

⚠ 注意	**スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。** メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

ネットワーク

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

光学印象

⚠ 注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ 注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意	**光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意	**光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

⚠ 注意	**過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。** 必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意	**互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

⚠ 注意	**間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

計画レポート

⚠ 注意	**計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながることがあります。** 診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。これは医療画像データの表示専用です。

計画バリエーション

⚠ 注意	**不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 正しい計画をエクスポート用に選択するようにしてください。

オペレーターの資格

⚠ 注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ 注意

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

⚠ 注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール

⚠ 注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。

1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。
2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠ 注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠ 注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

⚠ 注意

承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

⚠ 注意

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

47 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 µm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 µm

用語集

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CAD/CAMデータセット

1つの顎の光学印象または両顎の2つの光学印象と任意の修復を含むCAD/CAMシステムの患者固有のデータセット

CAD/CAM症例

インポートおよび記録されたCAD/CAMデータセットごとに、対応するCAD/CAM症例がオブジェクトブラウザの「光学印象」の下に作成されます。

Clipping

3Dビューでは、ボリュームの一部を一時的に切り取って、残りの部分を調べやすくしたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価しやすくできます。

CMG.DXD

CERECガイドの作成用計画データをエクスポートするためのファイルフォーマット。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク上の異なるデバイス間でデータを交換できるようにする外付けストレージ。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アバットメント

インプラントと装具供給間の接続部。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

インプラント

義歯の固定用に患者の顎に埋め込む人工歯根。

スリーブ

ドリルテンプレートに組み込んだスリーブはお使いの外科機器や場合によってはインプラントをターゲットに対して確実に、計画した位置にガイドしてくれます。

チタンベース

個別の2分割アバットメントの生産用チタンベース。チタンベースは標準アバットメントと同様に計画できます。

ドリルテンプレート

患者別の個別特殊加工。ドリルテンプレートを患者の顎に載せた後、このテンプレートは外科機器と場合によってはインプラントを計画済みの位置に標的に合うようにガイドしてくれます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

計画

計画プロジェクトには複数の代替治療計画が含まれます。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

修復

修復は光学印象に基づくCAD/CAMシステムにおけるデジタ 義歯提案のモデル化の結果です。修復により装具に基づくインプラント計画が可能になります。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー 89
　トリミング部分を移動させる 96
　十字線、フレーム 98
　輝度およびコントラスト 94
　最大化と復元 93
　スクリーンショットの作成 107
　スクロール 97
　ズーミング 96
　リセットする 106
アプリケーションを切り替える 52
ワークスペース
　調整する 87
　MPR/放射性 85
　パノラマ 83
　スクリーンショットの作成 88
　SIDEXIS 4の出力ページへスクリーンショットを追加する 88
　リセットする 87
ユーザーインターフェース
　SICAT Suite 51
このバージョンの特徴 35
注文
　再起動後の自動アップロード 215
　アップロードの中断および続行 215
　SICATポータル 213
データを書き込み禁止で開く 252
データエクスポート 231
アンインストール 256
設定
　可視化設定の変更 239
Firewallの設定
　WebConnector 10
GALILEOSインプラント
　SICAT Implant V2.0への切り替え 32
Hub
　Hub接続状態を表示する 238
インストール
　アンインストール 256
測定
　距離測定を追加する 144
　測定点を移動する 147
　測定値を移動する 148
　概要 143
　移動 147
モジュールを登録する
　SIDEXIS 4 45
モニターキャリブレーション 235
閉じる 253
スクリーンショット
　ビューで作成する 107
　ワークスペースを使って作成する 88
SICAT Implant
　ユーザーインターフェース 67
SICAT Implantデータベース
　アンインストールする 255
　インストールする 25
　更新する 33
　修理する 33
SICAT Implantデータベースのアンインストール 255
SICAT Implantのスタディ
　SIDEXIS 4内 48
SICATポータル 213
SICAT Suite
　ユーザーインターフェース 51
　閉じる 253
　インストールする 19
　開始する 49
　更新する 31
　修理する 32
SICAT Suiteの概要 17
SICAT WebConnector 214
安全に関する情報 12
　危険レベル 13
　オペレーターの資格 14
SIDEXIS 4
　モジュールを登録する 45
　フェーズバー 46
　ワークスペースのスクリーンショットを追加する 88
　SICAT Implantのスタディ 48
　タイムライン 50
　ビューのスクリーンショットを追加します 107
SIXD 149, 221
SMPTEテストパターン 235
SSI 149, 224

STLインポート 159
サポート 248
連絡先情報 250
サポートウィンドウを開く 249
ツール 250
切替
アプリケーション 52
バージョン
様々な 35
WebConnector
Firewallの設定 10
安全領域
距離警告 188
設定 244
非表示/表示 186
横長ビュー
インプラントの回りに回転 103
傾斜 101
下顎神経
マーキング 170
概要 168
神経直径の変更 172
神経点の移動 171
神経点の削除 171
神経点の追加 171
回す
ビュー 102
開始する
SICAT Suite 49
傾斜
ビュー 101
計画
インポートする 130
エクスポートする 127
ブロック 121
ブロック解除 121
開く 120
管理 118
作成 124
削除する 126
切り替える 74
説明の追加または変更 123
不慮の編集から保護 121
複製 125
名前の変更 122
計画レポート
PDFファイルに保存 227
印刷する 228
作成 227
検査ウィンドウ
パノラマワークスペースで 82
最大化する 100
非表示/表示 100
言語 17
光学印象
CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする 221
CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする 224
CERECのスキャンジョブをHubに送信する 156
Hubからダウンロードする 152
STLインポート 159
インポートルート 149
インポート形式 149
カラー表示する 105
ファイルからインポート 157
概要 149
記録と確認 164
計画および実施の基礎として 149
他のSICATアプリケーションから再使用する 162
孔
設定 246
非表示/表示 187
更新
SICAT Implantデータベース 33
SICAT Suite 31, 32
更新する
SICAT Implantデータベース 33
SICAT Suite 31
最初のステップ 42
最大化する
検査ウィンドウ 100
削除する
オブジェクト 77
取扱説明書
開く 53
記号、スタイル 15
取扱説明書の概要 16
修復
概要 149
修理する
SICAT Implantデータベース 33
SICAT Suite 32
縦長ビュー

インプラントの回りに回転 103
回す 102
傾斜 101
切替
光学印象のカラー表示 105
接合
Hub 238
接続設定
WebConnector 10
設定
SICAT Implant設定 241
クリニック情報を表示または変更する 237
安全領域 244
一般的な設定内容を確認する、変更する 233
概要 232
孔 246
測定
角度測定を追加する 145
注文
SICATドリルテンプレートをカートに入れる 207
カートをチェックする 211
データを別のコンピュータから送信する 216
バックグランドでのデータ送信 212
ワークフローの概要 206
調整する
パノラマ エリア 139
ボリュームの配置 134
追加する
アバットメント 175, 190
インプラント 175
スリーブ 175, 197
非表示
アバットメント 195
オブジェクト 76
スリーブ 205
安全領域 186
検査ウィンドウ 100
孔 187
表示
アバットメント 195
オブジェクト 76
スリーブ 205
安全領域 186
検査ウィンドウ 100
孔 187
変更
アバットメント 193
インプラント 182
スリーブ 202
スリーブシステム 200
スリーブ位置 203
ドリルテンプレート 200
パノラマ エリア 139
ボリュームの配置 134
容量
配置する 134
用途 7

数字

3D X線データ
配置する 134
3Dビュー
表示モードを切り替える 111
3Dビュー 108
クリッピング領域の固定 116
光学印象のカラー表示を切り替える 105
構成設定を行う 112
視線方向を変更する 109
切り抜きモードを切り替える 114

あ

アバットメント
インプラント軸の周りに回す 192
モデルの変更 193
概要 189
角度の変更 193
寸法の変更 193
追加する 175, 190
非表示/表示 195

い

インストール
SICAT Implantデータベース 25
SICAT Implantデータベースのアンインストール 255
SICAT Suite 19
システム要件 9
インストールする
SICAT Implantデータベース 25
SICAT Suite 19
システム要件 9
インプラント
インプラント軸の周りに回す 181

モデルの変更 182
移動 179
概要 173
修復軸に準じて位置決め 175, 184
垂直にする 175, 184
寸法の変更 182
追加する 175
配置する 180
並列させる 175, 184
名称（歯の位置）変更 185

お

オブジェクト
SICAT Implantオブジェクト 79
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する 78
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示 76
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする 75
オブジェクトグループの開閉 75
オブジェクトツールバー 77
オブジェクトバー 72
削除する 77
焦点を合わせる 77

か

カート
開く 210

さ

サポート
ヘルプを開く 53
製品情報 251

し

システムの必要条件 9
システム要件 9
ソフトウェア要件 10
ハードウェア要件 9
ショートカットキー 254

す

スリーブ
スリーブモデルの変更 202
スリーブ位置の変更 203
概要 196
追加する 175, 197
非表示/表示 205
スリーブシステム
選択 197, 200
対応スリーブシステム 38

そ

ソフトウェアインストール
SICAT Implantデータベース 25
SICAT Suite 19

と

ドリルテンプレート
CEREC Guide用にエクスポート 220
SICATドリルテンプレートの発注 207
選択 197, 200
対応ドリルテンプレート 38

は

パノラマ エリア 132
SIDEXIS 4から転送 36, 133
調整する 139
パノラマビュー
光学印象のカラー表示を切り替える 105

ひ

ビュー
インプラントの回りに回転 103
画像のツールバー 90
回す 103
傾斜 101
検査ウィンドウの移動 99
検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する 100
切替 92

ほ

ボリュームの配置 131
SIDEXIS 4から転送 36, 133
調整する 134

ゆ

ユーザーインターフェース
SICAT Implant 67

ら

ライセンス 54
ライセンスプールに返却する 63
自動アクティベート 59
手動でアクティブ化する 61
表示する 58

わ

ワークスペース 81
アライメント済みインプラント 84
ワークスペースのツールバー 68
切り替える 86
ワークフロー 43
ワークフロー・ステップ
計画する 70
治療 71
準備する 70
診断する 69
ワークフローのツールバー 69

記号の説明

アイコン

注意！添付書類を参照してください。

取扱説明書を参照してください。

メーカー

LOT バッチコード

MD 医療用製品

CE0197

TÜVRheinland LGA Products GmbH、Tillystrasse 2、90431ニュルンベルクの届出機関番号を含むCEマーキング

ソフトウェアのバッチコード

ソフトウェアに表示されるソフトウェアのバッチコード。これに関する情報は*インフォメーション [▶ページ 251 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

V2.0.20

SICATインストール媒体のバッチコード

SICATインストール媒体に印刷されたSICATインストール媒体のバッチコード (入手可能な場合)

1020130921

1 2 3 4

1 ABフォーマットでの製造バージョン (10はV1.0を表します)

2 インストール媒体の製造年

3 インストール媒体の製造月

4 インストール媒体の製造日

生産データ

ソフトウェアの製造日は、ソフトウェアに表示されているビルド番号から読み取ることができます。これに関する情報は*インフォメーション [▶ページ 251 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ビルド番号の例：

2.0.18001.38120

1 2

1 ソフトウェアの製造年 (18は2018年を表します)

2 ソフトウェアの製造日 (001は1月を表します)

SICATインストール媒体の製造年は、SICATインストール媒体のバッチコードから読み取ることができます。

状態: 2020-11-24

お問い合わせ先

メーカー

SICAT GMBH & CO. KG

FRIESDORFER STR. 131-135

53175 BONN、ドイツ

WWW.SICAT.COM

CE0197

商品番号： 6687904
改訂番号： 129943
文書ID： DA20IFU004

世界各地のサポート

WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

© 2020 SICAT GmbH & Co. KG

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につきましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面により承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

© 2020 Dentsply Sirona

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書のいくつかのスクリーンショットはDentsply Sironaソフトウェア Sidexis 4のユーザーインターフェースの一部を示しています。

言及または表示されたすべての製品、ブランド、およびロゴはそれらの各所有者に帰属します。

医療機器製造販売認証番号：222AABZI00193000	
販売名 ：オーソフォス XG 3D	
一般的名称 ：アーム型X線CT診断装置	
分類 ：管理医療機器　特定保守管理医療機器　設置管理医療機器	
選任外国製造医療機器等製造販売業者 デンツプライシロナ株式会社 東京都港区麻布台1-8-10　麻布偕成ビル	外国特例認証取得者及び外国製造業者 Sirona Dental Systems GmbH （ドイツ連邦共和国）

SICAT